

# 曹洞宗海外日系寺院史

S O T O インターナショナル

創立 20 周年記念



# 曹洞宗海外日系寺院史

S O T O

イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル

創立 20 周年記念



# 目 次

まえがき 「曹洞宗海外日系寺院史」発刊に寄せて .....	
SOTO禅インターナショナル 会長／福島県天徳寺住職 細川 正善	2
監 修 言 ..... 駒澤大学名誉教授・大本山總持寺顧問／長野県廣澤寺住職 小笠原 隆元	3
本文 凡例 .....	4
 ● ハワイ地区	
両大本山布哇別院 正法寺 .....	8
アイエア太平寺 .....	24
ワイパフ大陽寺 .....	29
ワヒアワ龍仙寺 .....	34
コナ大福寺 .....	38
カウアイ禪宗寺 .....	45
マウイ満徳寺 .....	50
ヒロ大正寺 .....	54
モロカイ弘誓寺 .....	60
ワイアホレ洞門寺 .....	63
エワ曹洞寺 .....	64
 ● 北アメリカ地区	
両大本山北米別院 禅宗寺 .....	67
サンフランシスコ桑港寺 .....	80
モントレー禪宗寺 .....	85
モンテベロ曹禪寺 .....	87
ロングビーチ仏教会 .....	89
 ● 南アメリカ地区	
両大本山南米別院 佛心寺 .....	95
禪源寺 .....	99
ローランジャ佛心寺 .....	103
慈恩寺 .....	106
 ● アジア地区	
シンガポール日本寺 .....	114
伝道史年表 凡例 .....	117
伝道史年表 曹洞宗国際布教及び関係事項(各宗海外伝道含) .....	118

## —まえがき—

**『曹洞宗海外日系寺院史』発刊に寄せて**

SOTO禪インターナショナル会長  
福島県天徳寺住職 **細川 正善**

1993年（平成5年）2月、当時曹洞宗海外開教師支援と国際布教の現状を広く宗門は元より国内外に周知すべく、海外開教師（当時の名称）経験者・現国際布教師・関係者の有志により発足したのが、SOTO禪インターナショナルです。

さて、曹洞宗の国際布教の取り組みはここ十数年目覚ましく、国際課の設立に加え国際センターの開設、各布教区の機構の充実、僧侶分限の見直しと画期的な飛躍を遂げました。このことは本会の真摯な啓蒙支援活動が機構改革の一翼を担ってきたと自負しております。しかし、その取り組みは、未だ関係者ののみの事で終わっており、広く認識されているわけではありません。更に、過去に歴史的誤認による『曹洞宗海外開教伝道史』の回収・総括があり、宗門には国際布教に関する資料となるべき物がないという現状もあります。

そこで、本会では今年、創立20周年を迎える記念事業として、国際布教110年の歴史を支えてきた歴代開教師（現国際布教師）の並々ならぬ道念と偉業をたたえて、『曹洞宗海外日系寺院史』を発刊する運びとなりました。本誌の意図するところは、第一に5年前に発刊された『海外寺院ガイドブック』を基本に先ず日系寺院史を中心とした各寺院の沿革を補足し、近代布教史としての国際布教の現状と正しい歴史的認識をすることにあります。

尚、日系寺院史を振り返るにあたり、アジア諸国に於ける布教について補足していくことは重要でありますが、本誌では十分な掲載には至りませんでした。本誌を元に、このアジアの布教史も含め、新たな『(仮称)曹洞宗国際布教史』の編纂事業が進められんことを切望するものであります。

終わりに、この日系寺院史の編纂にあたり、小島泰道教化部長の御配慮を賜り、宗務庁国際課、国際センター、各総監部をはじめとする皆様にご協力を頂いたことに対しまして、心より感謝申し上げます。

また、この編纂事業に惜しみない協力をしてくれたスタッフ、福島伸悦師、亀野哲也師、菅原研州師、佐藤慧真師、内山温子さんにお礼申し上げ、歴代開教師、国際布教師の各位に報恩の真を献げるものです。

合掌

## 監修言

駒澤大学名誉教授・大本山總持寺顧問  
長野県廣澤寺住職

小笠原 隆元

230年間余に及ぶ日本国策としての鎖国状態から、幕末と明治維新の開国により、日本人の関心は広く国外に向けられた。以後周辺近隣諸国・諸島へ雄飛した人々・移民に追従あるいは呼び寄せられる形で日本佛教各宗が国外に開教師を派遣した。そして開教師が日系邦人を教化し、子弟の教育に従事し、さらに滞在地の人々へ日本佛教文化活動の紹介などを行い、試行錯誤した期間が130年間程経過した。

わが曹洞宗がこれまでに国外各地で開創した数百にも及ぶ布教所・寺院は、歴史上の有為転変、諸行無常の大風に翻弄されて雲散霧消した。しかし、先の大戦の前、中、後の艱難辛苦を乗り越えて、これまで110年前から戦後60年以上にわたり厳然として存在感を示している洞門寺院が、ハワイ諸島・北アメリカ・南アメリカ・アジアの各地で19ヶ寺を数えている。

今般SOTO禪インターナショナル創立20周年記念事業として『曹洞宗海外日系寺院史』を刊行し、その沿革・寺院史・歴代開教師・国際布教師について明記する事は、今後の曹洞禪の展開に対して裨益する所、大なるものと確信する。更には、温故知新の心意気で次世代へと継承されてほしいものである。

昔、子どもの頃、信州の山寺で耳にした常套句「佛教はインドで起り、中国で発展し、日本で花咲いた」が、鮮明な記憶として想起されるが、咲いた後はしおれて散るしかないと問われれば、その種子はどこかに飛来して芽生えているものと思いたい。ハワイ・北米・南米での長年にわたる歴代開教師・布教師各位の地ならし・種まき作務により、1960年代頃から欧米各地に「禪センター」「禪道場」が雨後の筍の如くに出現した。この50年近く、特に最近20~30年の間に、坐禅中心とする「禪センター」は当初「根無し草」と危惧されたものの、2代目から3代目に相承されて、大樹に発展する可能性を示している。

この日系寺院史が、現状の再認識と今後の相関相対的立場からの視点、また能動的立場である国際布教師と一面受動的立場でもある信徒・メンバー側からの反応等をも含めた、より詳細なる海外各地の曹洞宗伝道・開教・布教史としてまとめられる事は大変有意義なことであった。

過去110年余の間に日本から国外に出向された曹洞宗侶で、只管に精進された開教師・国際布教師は数百人から千人余に及ぶが、SOTO禪インターナショナル20周年にあたり、諸師方に深甚なる感謝を申し上げ、宗門史上で永く顕彰すべきと思う次第である。

合掌

## 「曹洞宗海外日系寺院史」

### 【凡例】

- ① 寺院ガイド中の所属僧侶、過去の所属僧侶については、敬称を略し、アルファベット順に表記しております。
- ② 寺院ガイド中の住職という呼び方は、宗制上の概念とは異なりますが、歴史的な実績を尊重して使用しました。
- ③ ハワイ布教総監部・ハワイ開教総監部、北アメリカ開教総監部、南アメリカ開教総監部は、現在それぞれハワイ国際布教総監部、北アメリカ国際布教総監部、南アメリカ国際布教総監部となっていますが、本書では当時の名称で表記しました。
- ④ 総監部の職務は「当該地域における宗務を処理すること」であり、各別院の布教活動とは多少内容が異なりますが、本書では明確に区別せずまとめて記載しました。
- ⑤ 曹洞宗両大本山ハワイ別院正法寺、曹洞宗両大本山北米別院禪宗寺、曹洞宗両大本山南米別院佛心寺については、それぞれハワイ別院、北米別院、南米別院と略して表記しました。
- ⑥ 国際布教師とは宗制において「本宗の2等教師以上の教師のうちで、管長の任命を受け当該国際布教総監の指示を受けて布教教化に従事する者」をいいます。しかしこれらの定義に当てはまらないが実際現地で布教にあたった者もあり、本書では明確な区別を行っていません。
- ⑦ ( )内は、各々の当時の僧籍地を表しています。
- ⑧ ハワイにおける「法務担当」とは、宗制に則した名称ではなく、ハワイ布教の独自性による名称です。
- ⑨ ハワイの洞門寺、曹洞寺に関しては現在廃寺となっていますが、ハワイの国際布教の歴史を伝える上で欠かせないものとして別にページを設けました。
- ⑩ 本書のすべてにつきましては、平成25年12月現在SOTO禪インターナショナルが入手出来得た資料に基づいてまとめられたものです。訂正すべき情報がありましたら、SOTO禪インターナショナル事務局までお知らせください。
- ⑪ 本宗では僧侶の敬称は「師」で統一されていますが、本書では国際布教の歴史的背景を明確にするために、あえて「尼」という敬称を用いました。



# ハワイ地区

Hawaii

## ハワイの布教 概説

今から遡る事110年の1903年（明治36年）、ハワイの国際布教は広島県出身の道心に満ち溢れた2人の宗侶・河原仙英師・菅良雲師によって幕開けとなった。それは、1868年（明治元年）よりハワイの砂糖産業を支える大きな労力として移住した初期の移民が、広島・山口出身者が主軸であり、その出身地の僧侶を迎えていたとの願いに縁るものであった。両師は、オアフ島ワイパフ耕地とカウアイ島ワヒアワ耕地に布教所を開き、曹洞宗のハワイ布教の第一歩を印した。これに前後して浄土真宗・真言宗・日蓮宗・浄土宗の各宗派も、同様に移住者の地元の僧侶を迎えて布教が開始された。次第に福島・新潟・和歌山・静岡そして九州からの移民も増え、移住者の支えとなって布教路線を展開し定着していく。

その後曹洞宗の教線は、オアフ島はじめマウイ島・ハワイ島・モロカイ島に伸びて、移住者の要望に応える布教活動がなされ、四攝法の教えを主軸に観音信仰に支えられて、各寺院・布教所が発展し信徒数が伸びて行った。移住者の要望は、曹洞宗に限らず各宗派に於いても大事な宗教者の使命に付加して、子女の教育の一端を担う事であった。特に、2・3世に日本語教育を施すために、寺院や耕地内に日本語学校を開き、僧侶がその教師を勤める事は大きな布教への一助となり信頼へ繋がった。そして、信仰の拠点となるお寺は、誕生から教育、命の終焉とその後の菩提供養は基より、ありとあらゆる場面での宗教的関わりを大切にし、老若男女に日本の伝統や文化、さらに誇りを自覚する場へとも発展した。

日米が敵対する戦争により、敵国民族として日本語を制せられる悲惨な環境に置かれるなどして、日常言語が英語になり慣習もアメリカ化して久しいハワイだが、一世紀を超える布教の歴史では、日本より布教に渡った大勢の先哲宗侶達・そのご縁でハワイに生まれ育った2世宗侶達・特に宗侶達を支え陰で涙を流す事も多かった寺族達が、言語や文化がアメリカ化する中で世代を経ぐ信徒達に、曹洞宗の教義を身近に解りやすく親しみやすく伝道する努力を重ねた。また信徒達は、彼らの努力に感謝し共にお寺を守っていこうと心を一つに、財と智と労の布施を惜しまなかった。

時が流れ、日系人がアメリカ自国民として自立して行く過程で、寺院と縁をつなぐ日本語学校の存在価値も退化し、生活全面に英語化が進む事で、寺院への要望も変化していった。寺院でも英語が主流となり、僧侶もそれに対応すべく努力を重ねてきた。これは、家庭の宗教から個人の宗教への価値観の変化にも結び付き、現在では日系人=仏教と言い切れず、信徒の減少も顕著な問題となってきている。反面、アメリカ人も英語化される仏教によって、信徒となる事例も多くある。特に曹洞宗は、坐禅という他宗派には得られない本義があることで、信仰に精神的向上を願うアメリカ人が、近年は信徒としてお寺を支援する現状もある。

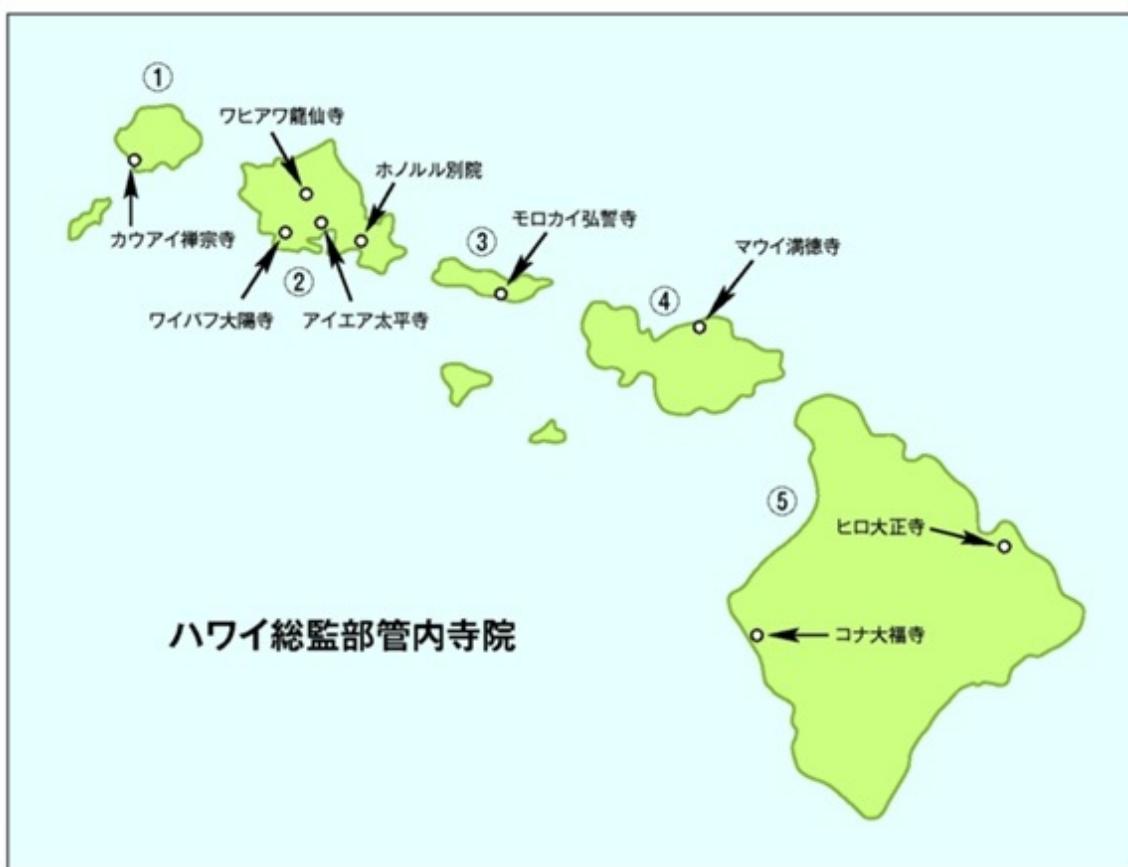
南国のリゾート地として知られるハワイには、大勢の宗侶・寺族と献身的な布施を惜しまない信徒の弛まない精進の歴史が存在するのである。

静岡県 萬松院住職  
元ハワイ国際布教総監部讀事  
吉田 宏得 記

ハワイ総監部管内寺院の表記は、以下を参考にしてください。

本誌で使用している名称	所在地	過去の名称
・(両大本山)ハワイ別院	②オアフ島	薬師堂、ハワイ仮別院
・アイエア太平寺	②オアフ島	アイエア布教所
・ワイバフ大陽寺	②オアフ島	ワイバフ布教所
(・ワイヤホレ洞門寺	②オアフ島	ワイヤホレ布教所 )
(・エワ曹洞寺	②オアフ島	エワ布教所 )
・ワヒアワ龍仙寺	②オアフ島	カワイロア布教所、カワイロア龍潜寺
・コナ大福寺	⑤ハワイ島	コナ布教所
・ヒロ大正寺	⑤ハワイ島	新町布教所
・カウアイ禪宗寺	①カウアイ島	ワヒアワ布教所
・マウイ満徳寺	④マウイ島	バイア布教所
・モロカイ弘誓寺	③モロカイ島	カウナカカイ布教所

①カウアイ島 ②オアフ島 ③モロカイ島 ④マウイ島 ⑤ハワイ島





Soto Mission of Hawaii, Shoboji

# 両大本山布哇別院 正法寺



Address : 1708 Nuuanu Avenue,  
Honolulu, HI 96817 U.S.A.  
TEL : 1-808-537-9409  
FAX : 1-808-537-6320  
E-mail : sotomission.hawaii@gmail.com



#### ◆寺院の歴史

1913年創立

#### ◆御開山と歴代住職

- 第1世 磯部峰仙 (Isobe Hosen)
- 第2世 駒形善教 (Komagata Zenkyo)
- 第3世 駒形善秀 (Komagata Zenshu)
- 第4世 大山興隆 (Oyama Koryu)
- 第5世 松浦玉英 (Matsuura Gyokuei)
- 第6世 町田時保 (Machida Jiho)
- 第7世 駒形宗彦 (Komagata Shugen)

#### ◆現住職

駒形宗彦 (Komagata Shugen)

#### ◆過去の所属僧侶

- 遠藤教元 (Endo Kyogen)
- 江沢白道 (Ezawa Hakudo)
- 藤木道明 (Fujiki Domyo)
- 藤本宗道 (Fujimoto Shudo)
- 藤沢秀南 (Fujisawa Shunan)
- 福谷静岳 (Fukutani Jogaku)
- ガリック禪巖 (Garlick Zengan)
- ハント真覚アーネスト (Hunt Shinkaku Ernest)
- 一ノ瀬妙真 (Ichinose Myosin)
- 飯島尚之 (Iijima Shoshi)
- 岩井恵澄 (Iwai Echo)
- 金井秀元 (Kanai Shugen)

神原義孝 (Kanbara Giko)  
 小島賢道 (Kojima Kendo)  
 穀藏ロイ良尚 (Kokuzo Roy Ryosho)  
 穀藏禪戒 (Kokuzo Zenkai)  
 工藤正典 (Kudo Shoten)  
 三浦清光 (Miura Seiko)  
 三好晃一 (Miyoshi Koichi)  
 水野克彦 (Mizuno Kokugen)  
 森田宏悦 (Morita Koetsu)  
 室賀龍海 (Muroga Ryukai)  
 永井智孝 (Nagai Chiko)  
 中小路問道 (Nakakoji Keido)  
 中山宝瑞 (Nakayama Hozui)  
 西沢宏山 (Nishizawa Kozan)  
 西澤応人 (Nishizawa Ojin)  
 萩久保正潤 (Ogikubo Shojun)

小野月舟 (Ono Gesshu)  
 酒井俊晃 (Sakai Shunko)  
 柴山輝行 (Shibayama Kigyo)  
 渋川太嶺 (Shibukawa Tairei)  
 志田光隨 (Shida Kozui)  
 鈴木光輪 (Suzuki Korin)  
 立花隆幸 (Tachibana Ryuko)  
 高橋理円 (Takahashi Rien)  
 竹之内榮禪 (Takenouchi Eizen)  
 田中哲彦 (Tanaka Tetsugen)  
 戸田泰雄 (Toda Taiyu)  
 津田默竜 (Tsuda Mokuryu)  
 山本道勲 (Yamamoto Dokun)  
 吉田宏得 (Yoshida Kotoku)  
 与野蒼玄 (Yono Sogen)

#### ◆所属僧侶

石井怜慧 (Ishii Ryokei)

#### ◆行事・活動

日曜法要、梅花講、婦人会、観音講、理事会、仏前結婚式、修証会、大般若会、春秋彼岸会、盂蘭盆法要、両祖忌、永代經、バザー、除夜会

## 沿革史

### 1912年(明治45年)

7月25日 ホノルル市薬師堂創立者光永良悟師(菅良雲師に就いて得度)遷化。遺言により同寺を日本の宗務院に寄進する旨、ワイパフ布教所岡田大豊師(広島県金蓮寺)が宗門に仲介。

### 1913年(大正2年)

2月24日 磯部峰仙師(山口県華嚴寺)、両大本山より特派され、薬師堂を仮別院とし布教開始。磯部師は、来布に先立ち、同郷の貿易商本重和助氏を東京芝の事務所に訪ね、ハワイでの援助を懇請(曹洞宗宗務院総務弘津説三師も同氏事務所を訪

問、同様に援助を懇請)。来布後は、尾道屋小出寅吉氏、本重商店代行山本清三氏、山中甚蔵氏の援助を受ける。

### 1915年(大正4年)

10月 江沢白道師(山口県洞玄寺)、仮別院駐在就任。

### 1916年(大正5年)

4月6日 江沢白道師、ハワイ島ヒロ市に転出。  
 10月18日 津田黙龍師(山口県淨光寺)、仮別院駐在就任。  
 12月27日 宗務院で、ハワイ布教規定・朝鮮布教規定を制定公布。

**1917年(大正6年)**

6月 神原義孝師(広島県法常寺)、仮別院駐在就任。

**1918年(大正7年)**

3月25日 磯部峰仙師、ハワイ「布教管理」に任命される。磯部師、東京本重和助商店の銀行保証により、仮別院の敷地をスクール街とヌアヌ街角に購入。  
神原義孝師、マウイ満徳寺へ転出。

**1919年(大正8年)**

4月 仮別院を新敷地に移転。既存の住宅を庫裡に改築利用。  
5月 本堂の新築に着手する。  
7月17日 駒形善教師(新潟県龍谷寺)、仮別院駐在就任。  
10月 本堂、新敷地に完成。  
11月9日 曹洞宗婦人会発足。

**1921年(大正10年)**

1月24日 曹洞宗ハワイ仮別院、ハワイ県政府より法人として認可される。  
7月3日 大本山總持寺貫首新井石禪禪師を特請して、本堂落慶入仏式を厳修(オアフ島砂糖産業ストライキのため延期されていたもの)。隨行員:祥雲晚成、新井石龍、来馬琢道の各師。この日より、ハワイ曹洞宗別院の称が認証される。  
新井禪師一行は94日にわたり巡錫。各地で授戒会を修行。別院での戒弟60人。  
9月 新井禪師の米本土渡航に駒形善教師隨行。

**1922年(大正11年)**

3月 仏心会(新井禪師得度者の会)発足。  
4月28日 磯部峰仙師辞任、ロサンゼルスへ転出。駒形善教師、第2代主任に就任。  
9月 渋川太嶺師(新潟県東福寺)、駐在就任。

**1923年(大正12年)**

4月8日 仏教青年会発足。  
心華会結成。

**1924年(大正13年)**

5月 太祖瑩山禪師600回大遠忌予修法要嚴修。  
YBAホール建設。

**1925年(大正14年)**

7月 佐々木珍龍師、ハワイ北米在留同胞慰問。両大本山特派布教師として來訪。各島巡回。  
9月14日 佐々木珍龍師、戒会修行。  
9月 中山宝瑞師(新潟県潮山寺)、再来布し駐在就任。

**1926年(大正15年)**

7月3日 西国33番観音像勧請入仏式厳修。  
10月 鈴木光輪師(愛知県西明寺)、駐在就任。  
10月20日 中山宝瑞師、モロカイ島へ布教所開設の為派遣される。

**1927年(昭和2年)**

1月8日 渋川太嶺師、ヒロ大正寺へ転出。

**1928年(昭和3年)**

8月28日 鈴木光輪師辞任。米本土へ転出。  
 11月1日 駒形善教師、ハワイ布教管理に任命される。  
 12月 高橋理円師(北海道法王寺)、駐在就任。遠藤教元師(僧籍地不明)、布教補佐となる。

**1929年(昭和4年)**

9月 永平寺二租国師650回大遠忌予修法要のため、曹洞宗管長北野元峰禪師代理として、大森禪戒師が各島巡錫。石原憲光師、欧米社会教化事業視察のため同行来布。  
 11月 石田義道師、欧米社会教化事業視察の途次来布。各島視察。

**1930年(昭和5年)**

2月 河合真英師、宗教事情視察の途次来布。各島視察。  
 7月8日 与野蒼玄師(僧籍地不明)、駐在就任。  
 8月 戸田泰雄師(愛知県西光寺)、駐在就任。

**1931年(昭和6年)**

8月19日 西沢宏山師(東京都宗參寺)、駐在就任。  
 9月 実科女学校を創設。校舎増築。駒形よう氏校長となる。

**1932年(昭和7年)**

6月 高橋理円師辞任。市内カリヒに「Zen Mission Hawaii」を設立。

9月 付属ヌアヌ和敬学園、日本語学校小学部、中等部を創設。同時に付属女子寄宿舎も設営、各島及びオアフ郡部よりホノルルに勉学に出る学生のための便宜を提供。

**1933年(昭和8年)**

6月 四方清氏の勧進により小野寺宗雲作十一面觀音像(総丈2丈)を安置、入仏供養を厳修。

**1934年(昭和9年)**

6月 市内ヌアヌ街1708番地に敷地2エーカーを購入。  
 8月 新敷地に和敬学園校舎(6教室)を新築。

**1935年(昭和10年)**

8月19日 ハワイ布教師会議及び第1回曹洞宗佛教青年代表者会議開催。  
 8月 立花隆幸師(東京都松門寺)、駐在就任。  
 9月12日 穀藏禪戒師(北海道清輪寺)、駐在就任。  
 11月1日 西沢宏山師、モロカイ弘誓寺に主任として転任。

**1936年(昭和11年)**

3月3日 穀藏禪戒師、ヒロ大正寺へ転出。  
 3月 宗務院教化主事三尾透閑師布教視察のため来布。各島巡回。  
 8月6日 松浦玉英師(山形県宝林寺)、駐在就任。  
 8月 永井智孝尼(新潟県龍谷院)、駐在就任。

**1937年(昭和12年)**

7月 志田光隨尼(東京都勢至院)、コナ大福寺より駐在に転任。

フ島ホノウリウリ収容所に逮捕抑留。

**1938年(昭和13年)**

4月1日 松浦玉英師、カウアイ禪宗寺へ転出。

**1945年(昭和20年)**

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

4月30日 小島賢道尼(富山県万泉寺)、駐在就任(マウイ満徳寺へ一時出張)。

**1946年(昭和21年)**

6月1日 駒形善教布教管理、ハワイ布教総監に就任。

**1948年(昭和23年)**

2月10日 総会で、別院移転再建を議決。アイエア太平寺において「ハワイ曹洞宗協会、Hawaii Soto Mission Association」の設立が議決されたが、別院代表は欠席。

8月 立花隆幸師辞任。米本土へ転出。

**1949年(昭和24年)**

12月 志田光隨尼、マウイ満徳寺へ転任。

8月 新敷地、市内ヌアヌ街1708番地に、第1期工事として庫裡を起工。同所の和敬学園校舎を女子寄宿舎に改築。

**1939年(昭和14年)**

8月3日 森田宏悦師(群馬県宝珠寺)、駐在就任。

12月23日 ハワイ曹洞宗協会、法人として県政府より認可される。

11月 永井智孝尼辞任、帰国。

**1950年(昭和25年)**

1月3日 室賀龍海尼(新潟県妙喜寺)、駐在就任。

1月4日 金井秀元師(新潟県竜門寺)、駐在就任。

8月 藤沢秀南師(宮城県陽山寺)、オアフ島ワイヤホレ洞門寺主任より、駐在に転任。

3月6日 金山活牛師、特派布教師として来布。

森田宏悦師、ワイヤホレ洞門寺へ転出。戸田泰雄師辞任、帰国。

5月 鉄筋二階建ての庫裡竣工。

**1941年(昭和16年)**

山本道勲氏、別院法務員に委嘱。

7月 ハワイ曹洞宗協会に参加。

5月 小島賢道尼辞任、帰国。

9月 和敬学園日本語学校再開。竹井時次氏主事就任。

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。布教活動中止。

女子寄宿舎新敷地にて運営始まる。

藤沢秀南師、戸田泰雄師はテキサス州クリストル収容所に、駒形善教総監はオア

**1951年(昭和26年)**

1月21日 新敷地にて本堂起工式厳修。

**1952年(昭和27年)**

2月23日 新本堂にて、大観音像の遷座入仏式厳修。

3月1日 英国人のハント真覚アーネスト師、曹洞宗伝道師となり、別院内一室を貸与される。

3月3日 曹洞宗宗憲(曹洞宗規則)が制定され、ハワイ布教総監部が、ハワイ開教総監部となつたため、駒形善教ハワイ布教総監は、初代ハワイ開教総監となつた。

4月 高祖道元禪師700回大遠忌本山参拝団(ハワイ曹洞宗協会主催)、50名訪日。

5月4日 鉄筋コンクリート造りの新本堂竣工。

12月 駒形善秀師(新潟県龍谷寺)、駐在就任。

**1953年(昭和28年)**

5月5日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師、新本堂落慶法要の為に来布。隨行長:新井石龍師、隨行員:馬場文翁師。

5月9日、10日 巡錫。本堂入仏式、落慶法要厳修。

6月25日~30日 授戒会修行。

駒形善秀師辞任、帰国。

**1954年(昭和29年)**

8月18日~20日 第7回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第9回YBA大会開催。

12月 駒形善教総監、ビルマ(ラグーン)で開催の第3回世界佛教徒会議に出席。市村承秉師(新潟県大輪寺)、別院の留学生として来布。

**1955年(昭和30年)**

9月1日 町田時保師(埼玉県東昌院)、洞門寺主任より別院駐在に転任。

12月5日 岩井惠澄尼(富山県吉祥寺)、駐在就任。

12月 曹洞宗管長高階瓈仙禪師、南米巡錫の帰途来布、親化。

**1956年(昭和31年)**

6月 和敬学園、主事竹井時次氏辞任。町田時保師、後任主事となる。市村承秉師、米本土へ。ガーリック禪巖師(新潟県龍谷寺・ニュージーランド国籍)、駐在就任。

**1958年(昭和33年)**

1月 ホノルル市ラジオKOHO日本語放送局より、「曹洞宗アワー」の放送開始。毎週日曜日午前8時より15分間。別院担当する。

9月28日 ガーリック禪巖師辞任。日本へ転出。

11月 ハワイ曹洞宗協会主催全島サンデースクール教師講習会を開催。

**1959年(昭和34年)**

2月 第1回梅花特派師範として権藤円立師来任。各島巡回指導。

5月31日 第1回梅花流詠讚歌奉詠大会開催。

7月9日 茶道裏千家14代家元来寺。許状授与式挙行。

8月10日 福谷静岳尼(僧籍不明・愛知県)、駐在就任。和敬学園教師。

9月 和敬学園、スクールバス運行によ

り、生徒増加。新校舎建設募金活動開始。

#### 1960年(昭和35年)

4月9日、10日 曹洞宗サンデースクール教師講習会を開催。

5月 第13回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第15回YBA大会を開催。

8月14日 別院書院(坐禪室、日本座敷、会議室)竣工。

開創50周年記念法要厳修のため、總持寺貫首孤峰智燦禪師来布。隨行長：乙川瑾暎師、隨行員：孤峰文雄師。

10月2日 駒形善教総監、禪師一行の米本土渡航に同行後南米訪問。

#### 1961年(昭和36年)

3月 曹洞宗サンデースクール教師講習会開催。担当：町田時保師、補佐：岩井惠澄尼、福谷静岳尼。全参加者別院に宿泊。3日間の研修プログラムに全島より50名参加。

9月 和敬学園、登録生徒数350人を超える。

11月10日 全島開教師会議を開催。

#### 1962年(昭和37年)

9月14日 大本山總持寺副貫首岩本勝俊師、宗務総長金剛秀一師、シカゴで開催された仏教東漸70周年記念行事に出席の途次来布。隨行員：山口秀孝師。全島にて法要厳修。

12月12日 竹之内栄禪師(新潟県正応寺)、開教師補として、駐在就任。

#### 1963年(昭和38年)

ボーイスカウトTROOP41を編成。スカウトマスター：山下ジョージ英雄氏。

#### 1964年(昭和39年)

8月 福谷静岳尼辞任。米本土へ転出。

#### 1965年(昭和40年)

3月 裕蔵ロイ良尚師(北海道清輪寺)、日本留学を終え帰布。ハワイ曹洞宗協会開教師として、駐在。

4月24日 ハワイ曹洞宗連合婦人会結成。駒形よう氏先導で、開教師4名、各寺より20名の婦人代表集う。

4月 大本山總持寺二祖峨山禪師600回大遠忌に当たり、別院主催両大本山参拝団54名、駒形善教団長で訪日。

#### 1966年(昭和41年)

2月5日 梅花流特派師範久我尚寛師、安田博道師、来任。各島を巡回指導。

4月 全島梅花大会開催。400名参加。

5月 第1回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。初代会長：ナンシーニシムラ氏、担当開教師：岩井惠澄尼で発足。

#### 1967年(昭和42年)

2月7日 ハント真覚アーネスト師遷化。

2月16日 「友の会」発足。

5月 第2回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

三好晃一師(北海道高沢寺)、駐在就任。

#### 1968年(昭和43年)

3月10日 オアフ盆ダンス連盟発足。

4月 曹洞宗管長高階瓈仙禪師茶毘式に、駒形善教総監上山拝登。

5月 第3回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

6月 第21回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第23回YBA大会がカウアイ禪宗寺を会場にして開催されたが、日系社会の世代交替が進み、英語を母語とする代議員が増加したことにより、会議の効果的進行のため二世信徒代議員の理事長就任が小沢義淨前理事長より発議された。別院代表、柳川明新理事長就任となり、以降、会議の英語化が急速に進む。ハワイ曹洞宗協会の歴史的転機となった。

8月22日 金井秀元師遷化。

10月10日 駒形善秀師（新潟県龍谷寺）、再来布し駐在就任。

#### 1969年(昭和44年)

5月 梅花特派師範天野賢定師来任。7月まで各島巡回指導。

8月22日～24日 第22回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第24回YBA大会開催。

#### 1970年(昭和45年)

2月22日、23日 全島開教師会議開催。

5月31日 駒形善教総監、別院正法寺主任を辞任。

6月1日 駒形善秀師、第3代主任に就任。

6月30日 岩井恵澄尼辞任、帰国。

穀藏ロイ良尚師辞任。日本へ転出。

9月1日 藤木道明師（滋賀県東円寺）、駐在就任。柔道師範。

#### 1971年(昭和46年)

1月14日 三好晃一師、カウアイ禪宗寺主任に転出。

3月16日 駒形宗彦師（埼玉県真福寺）、駐在就任。

4月6日 一ノ瀬妙真尼（新潟県龍谷寺）、駐在就任。

4月20日 駒形よう氏（和敬学園園長）逝去。

5月21日～23日 第6回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。

6月16日 田中哲彦師（広島県聖光寺）、駐在就任。

8月2日 竹之内栄禪師辞任、帰国。

8月19日 中小路問道師（京都府祥雲寺）、駐在就任。

9月1日 町田時保師、和敬学園園長就任。

10月15日 別院文化教育会館（和敬学園校舎）竣工。総工費24万ドル。鉄筋コンクリート2階建て（一部3階）、8教室、多目的ホールを持つ。後日、この建物は駒形ホールと命名される。

#### 1972年(昭和47年)

2月7日 駒形善教総監遷化。

別院で本葬。大導師：大本山總持寺貫首岩本勝俊禪師、奠茶師：山下顯光師、奠湯師：吉住浩巖師、大本山永平寺専師：丹羽廉芳師、大本山總持寺専師：余語翠巖師。

4月1日 駒形善秀師、第2代開教総監に就任。

9月8日～11月22日 梅花特派師範逸見智成師来任。各島巡回指導。

**1973年(昭和48年)**

1月21日 太祖豎山禪師650回大遠忌予修法要厳修。大本山總持寺より、大遠忌局長渡部秀雄師、僧俗70名と共にこの予修法要のために来布。

2月17日 全島開教師会議開催。

5月18日～20日 第8回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

8月1日、2日 タンダバハ佛教舞踊団、賀来良江団長、来訪。発表会開催。

9月2日 第1回曹洞宗柔道連盟大会開催。ワイパフ、アイエア、コナ、別院柔道部が参加。

**1974年(昭和49年)**

1月27日 駒形善教別院2世の胸像除幕式厳修。

3月 室賀竜海尼辞任。

4月17日 太祖豎山禪師650回大遠忌参拝団(駒形善秀団長)147名が大本山總持寺参拝。

6月 第27回ハワイ曹洞宗協会代議員会開催。

7月 藤木道明師辞任、帰国。

**1975年(昭和50年)**

2月28日 駒形善秀師、開教総監を辞任、帰国。

3月15日 中小路問道師辞任、帰国。

4月13日 大山興隆師(千葉県長安寺)、第4代主任に就任。

6月13日 第28回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第30回YBA大会開催。

6月15日 大山興隆師、第3代開教総監に就任。

8月20日 梅花特派師範忠内孝寛師来任。

10月末日まで各島巡回指導。

8月30日 藤本ウォーレン宗道師、伝道師として駐在就任。

10月15日 「布哇山正法寺」寺号下付される。

11月2日 ハワイ梅花流20周年奉詠大会開催。

11月20日 工藤正典師(群馬県天宗寺)、駐在就任。

**1976年(昭和51年)**

4月8日 大本山總持寺貫首岩本勝俊禪師により「正法寺」の寺額を寄進される。

4月26日 駒形宗彦師、コナ大福寺主任に転出。

5月21日～23日 第11回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

7月30日～8月3日 鶴見女子高校一行22名(生徒10名)来布。別院に宿泊、英語研修実施。

10月22日 宗務庁主催の開教総監会議に大山興隆総監出席。

**1977年(昭和52年)**

2月7日 柴山輝行師(群馬県宗泉寺)、駐在就任。

2月26日、27日 全島開教師会議開催。

3月19日 総監部編『SOTOSHU SUTRA』2,000部、日本より到着。

4月22日～24日 サンデースクール教師講習会開催。

5月20日～22日 第12回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

8月30日 藤本ウォーレン宗道師辞任。

11月26日 全島開教師、教団理事長、協会役員合同会議開催。開教75周年祝賀行事に就いて協議。

#### 1978年(昭和53年)

2月25日、26日 定例開教師会議開催。  
 3月9日 高橋理円師 (Zen Mission of Hawaii)、元別院開教師より、奨学金1万9千ドル寄進の申し出があり、ハワイ曹洞宗協会がこれを受領、Rien Takahashi Scholorship Fundとなる。  
 3月27日～4月1日 駒沢大学岩見沢校より、研修生と教師61名來訪。ホームステイし、別院関係者とのキャンプ交歓会開催。  
 4月11日 宗務庁で開催の海外開教総監会議に大山興隆総監出席。  
 6月12日 三浦清光師 (愛知県広目寺)、駐在就任。  
 9月1日～10月29日 梅花特派師範児玉建司師來任。全島巡回指導。  
 9月21日 町田時保師、東京で開催の第12回世界佛教徒会議出席。  
 10月29日 ハワイ開教75周年記念法要と式典が厳修され、曹洞宗管長乙川瑾映禪師親修。大本山永平寺副貫首丹羽廉芳師、隨行長：余語翠巖師、布教部長樋山大典師、北米開教総監山下顯光師來布、隨喜。  
 11月30日 田中哲彦師辞任、帰国。

#### 1979年(昭和54年)

2月24日、25日 定例開教師会議開催。  
 5月23日 海外布教研修生山本健善師(長野県桃源院)、半年間の研修。

9月1日 駒沢大学職員同友会(堀口英一團長、菅原光信会長)一行65名來布。

9月 和敬学園新学年生徒数359名。ハワイ州最大の日本語学校となる。

9月30日～10月9日 梅花特派師範飛田正道師來布。各島巡回指導。

11月 大本山永平寺二祖国師700回大遠忌ハワイ予修法要のため、大本山永平寺貫首秦慧玉禪師と共に88名の参拝団來布。禪師親修の予修法要と因脈会修行。

#### 1980年(昭和55年)

2月23日、24日 定例開教師会議開催。  
 3月1日、2日 信徒研修会開催。参加80名。  
 4月20日 大本山永平寺二祖国師700回大遠忌参拝団80名出発。  
 6月10日 三浦清光師辞任。ホノルル市内に居住。  
 7月5日 萩久保正潤師(山梨県広禅院)、駐在就任。  
 8月20日～30日 梅花特派師範大島賢龍師來任。各島巡回指導。

#### 1981年(昭和56年)

2月21日、22日 定例開教師会議開催。  
 4月3日 大山興隆師、開教総監を辞任、帰国。工藤正典師辞任、帰国。  
 4月 町田時保師、別院主任代行就任。  
 5月15日 西澤応人師 (東京都祥雲寺)、駐在就任。  
 9月27日 ワヒアワ龍仙寺主任松浦玉英師 (山形県宝林寺)、第4代開教総監に就任。  
 11月1日 松浦玉英総監、第5代主任に

就任。

### 1982年(昭和57年)

2月20日、21日 定例開教師会議開催。  
10月21日～11月1日 梅花特派師範早瀬妙順師来任。各島巡回指導。  
11月12日 飯島尚之師(東京都宗清寺)、駐在就任。

### 1983年(昭和58年)

2月19日、20日 定例開教師会議開催。  
3月21日～23日 第1回開教師子弟研修会開催。  
4月9日 大本山總持寺慶弔会に松浦玉英総監出席。  
6月10日、11日 第36回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第38回YBA大会開催。  
7月20日 柴山輝行師辞任、帰国。  
10月 大本山總持寺副貫首成田芳隨師來布。ハワイ開教80周年記念法要、梅花詠讚大会を厳修。  
11月1日 曹洞宗海外開教総監会議をホノルルで開催。

### 1984年(昭和59年)

1月 本堂、大塔修理始まる。  
2月25日、26日 定例開教師会議開催。  
4月15日 海外布教研修生富井清光師(僧籍不明)、半年間の研修。  
4月20日～22日 第19回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。  
8月 梅花特派師範木村照嗣師来任。各島巡回指導。  
11月5日、6日 宗務庁主催の海外開教シンポジュームに松浦玉英総監、町田時保

師訪日、出席。

### 1985年(昭和60年)

2月23日 定例開教師会議開催。  
4月19日～21日 第20回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。  
7月17日 曹洞宗海外開教総監会議及び役員会議開催。宗務総長永井孝道師、教化部長小田原利仁師来布。  
9月 梅花特派師範新井一路師来任。各島巡回指導。

### 1986年(昭和61年)

2月6日～9日 曹洞宗授戒運動の一環として、海外に於ける授戒会を企画、別院で修行。戒師：永平寺貫首丹羽廉芳禪師、戒弟は別院から44名。法要を英語で進行。  
2月11日 小野月舟師(岩手県報恩寺)、駐在就任。  
2月22日 定例開教師会議開催。  
2月23日 臨時ハワイ曹洞宗協会代議員会開催。  
3月7日 萩久保正潤師、モロカイ弘誓寺主任に転出。  
6月 本堂内陣仏具修理。  
9月24日～10月8日 梅花特派師範北野良昭師来任。各島巡回指導。

### 1987年(昭和62年)

2月21日 定例開教師会議開催。  
2月22日 ハワイ曹洞宗協会春季特別代議員会開催。  
12月11日 酒井俊見尼(長野県無量寺)、駐在就任。

**1988年(昭和63年)**

2月20日 定例開教師会議開催。

2月21日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

8月27日、28日 創立75周年記念法要厳修。宗務総長橋山大典師来布。

10月7日～9日 ロサンゼルス禪宗寺で開催の第1回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会に参加。

海外布教研修生篠田一法師(愛知県長松院)来布。半年間の研修。

11月 梅花特派師範野倉鉄雄師来任。各島巡回指導。

**1989年(平成元年)**

2月25日 定例開教師会議開催。

2月26日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

5月10日～15日 宗務庁主催の海外開教師研修懇談会に、町田時保師出席。

10月7日、8日 第2回曹洞宗ハワイ・北米信徒大会を別院及びハワイアンリージェントホテルにて開催。日本より教化部長石塚良光師、ハワイ大学教学部ジョン・タナベ氏を特別講師にパネルディスカッション「アメリカの仏教」を開催。

11月 梅花特派師範谷曉雲師来任。各島巡回指導。

**1990年(平成2年)**

2月22日 定例開教師会議開催。

2月23日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

9月9日 別院婦人会、創立70周年記念式典、アラモアナホテルで開催。

10月10日～23日 梅花特派師範松浦泰俊師来任。各島巡回指導。

**1991年(平成3年)**

2月16日 定例開教師会議開催。

2月17日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

6月8日、9日 YBA大会を、別院ホストでパゴダホテルを会場にして開催。

8月 和敬学園の大規模なスクールバス運行は、ハワイ州の交通規制の強化により継続が不可能になる。

10月 梅花特派師範鈴木文夫師来任。各島巡回指導。

10月21日～26日 宗務庁企画海外開教師研修懇談会に、飯島尚之師出席。

11月2日、3日 第44回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会を別院ホストで、アラモアナホテルにて開催。

**1992年(平成4年)**

2月24日 定例開教師会議開催。

2月25日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

3月7日 全島教団理事長会議開催。各教団の法的地位、運営の実態について協議。

8月30日 ハワイ梅花35周年祝賀大会開催。

10月13日 町田時保師、ハワイ開教総監部贊事に就任。

11月14日、15日 サンフランシスコ桑港寺にて開催の第3回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会に参加。

**1993年(平成5年)**

2月25日 定例開教師会議開催。

2月26日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

3月10日 ハワイ総監部、初めて宗務庁より補助金として11,440.50ドルを受領。

4月27日 駒形宗二師にハワイ曹洞宗協会開教師養成基金より、修学補助を決定。

6月10日 小野月舟師遷化。

10月 梅花特派師範堀内正樹師来任。各島巡回指導。

11月1日～7日 宗務庁国際課企画海外開教師研修懇談会に町田時保師出席。

11月21日、22日 ハワイ開教師研修会開催。講師：奈良康明駒澤大学教授。

**1994年(平成6年)**

2月26日 定例開教師会議開催。

2月27日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

5月31日 飯島尚之師辞任、帰国。

6月20日 水野克彦師(静岡県積雲院)、駐在就任。

10月11日～24日 梅花特派師範柴田弘一師来任。各島巡回指導。

**1995年(平成7年)**

1月18日 松浦玉英総監、曹洞宗海外開教総監会議出席。

2月25日 定例開教師会議開催。

2月26日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

4月29日、30日 第30回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、別院及びアラモアナホテルにて開催。

7月 町田時保師、ワイパフ大陽寺臨時主任に就任。水野克彦師、ワイパフ大陽寺在住となる。

8月 松浦玉英総監、南米別院開堂式に出席。

10月6日 第48回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、タータルベイヒルトンリゾートにて開催。

10月7日、8日 第4回曹洞宗ハワイ・北米檀信徒大会をタータルベイヒルトンリゾートにて開催。

11月10日 開教師、寺族研修会を、ハレクラニホテルにて開催。講師：ニシモト・ウォーレン、ニシモト・コダマ・ミチコ夫妻。

11月16日～29日 梅花特派師範安田光彰師来任。各島巡回指導。

**1996年(平成8年)**

1月15日 曹洞宗開教総監会議に松浦玉英総監、町田時保賛事出席。

2月24日 定例開教師会議開催。

2月25日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

3月30日 モロカイ弘誓寺保管の観音像(山本瑞雲作)を別院に保管。

8月 別院女子寄宿舎、約60年の歴史を閉じ廃止となる。

9月27日 開教師、寺族研修会をパゴダホテルにて開催。

10月4日、6日 連合婦人会主催合宿研修をハワイ島キラウエアミリタリーキャンプで開催。

10月30日～11月12日 梅花特派師範久我経二師来任。各島巡回指導。

**1997年(平成9年)**

2月23日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

4月19日、20日 北米別院禪宗寺創立75周年慶讚法要に、7名の開教師と27名の信徒参加。

5月24日 開教師研修会「仏壇と位牌に就いて」開催。

9月26日 臨時開教師会議開催。松浦総監引退を表明、後任問題を討議。

町田時保師の総監推薦を承認。

10月9日～22日 梅花特派師範大徳道賢師来任。オアフ、ハワイ両島で指導。

11月15日 ハワイ曹洞宗教会、ハワイ総監部及び別院共催で、松浦玉英師の開教総監引退の顕彰夕食会をアラモアナホテルにて開催。

12月31日 松浦玉英総監辞任、ホノルル市内に居住。

**1998年(平成10年)**

1月1日 町田時保師、第5代開教総監に就任。

2月1日 町田時保総監、和敬学園園長を辞任。教師、校長職併せて43年間在任。駒形宗彦師、和敬学園園長に就任。

2月21日 定例開教師会議開催。

2月22日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会、町田総監の就任祝賀昼食会をパゴダホテルにて開催。

3月1日 山下顯光前北米総監葬儀に町田総監参列。

4月30日 宗務庁国際課主催海外開教関係者会議に、町田時保総監出席。

10月27日～11月9日 梅花特派師範阿部

伸世師来任。各島巡回指導。

**1999年(平成11年)**

2月4日 開教師、教団理事長、協会役員合同会議をパゴダホテルにて開催。日系社会の世代交代、社会変化と寺院運営の問題を討議。

3月13日 定例開教師会議をハレクラニホテルにて開催。宗務庁より教化部長洞外文隆師、国際課係長善波俊典師参加。

3月14日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会をアラモアナホテルにて開催。洞外師、善波師参加。

4月17日、18日 第34回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、別院婦人会ホストでパゴダホテルにて開催。

6月15日 吉田宏得師(静岡県萬松院)、ヒロ大正寺より駐在に転任。

9月23日 秋季開教師連絡会議開催。

10月7日～20日 梅花特派師範安藤英明師来任。各島巡回指導。

10月30日 第52回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、ワイキキリージェントホテルにて開催。

11月17日 開教師研修会開催。

**2000年(平成12年)**

2月4日、5日 ハワイ曹洞宗連合婦人会、理事会と研修会を別院とクインカビオラニホテルにて開催。

2月15日 吉田宏得師、開教総監部書記を委嘱される。

2月19日 定例開教師会議開催。

2月20日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会、ハワイアンリージェントホテルにて開

催。ハワイ曹洞宗協会を今後「ハワイ曹洞宗寺院連盟」と呼称することに決定。

3月3日～5日 町田時保総監、駒形宗彦贊事、北米開教師会議、山下顯光前北米総監の3周忌に出席。

3月24日 開教師研修会開催。

9月29日 秋季開教師連絡会議開催。

10月11日 梅花特派師範横山義弘師来任。各島巡回指導。

10月27日～29日 ラスベガスで開催の第5回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会(ロサンゼルス禪宗寺主催)に参加。

11月10日 特派布教師峯岸正典師、別院法要に隨喜。オアフ寺院訪問。開教師との懇談会開催。

### 2001年(平成13年)

2月17日 定例開教師会議開催。

2月18日 ハワイ曹洞宗寺院連盟春季代議員会、ワイキキマリオットホテルにて開催。

4月26日 高祖道元禪師750回大遠忌海外予修法要実務者会議に総監部書記吉田宏得師を派遣。

5月19日 高祖道元禪師750回大遠忌予修法要のため、宗務総長大竹明彦師、教化部長吉田公雄師、永平寺大遠忌局長山田康夫師、永平寺副監院久我尚寛師他來布。

5月20日 高祖道元禪師750回大遠忌予修法要厳修。

11月2日 開教師研修会「カウンセリングについて」開催。講師：ハヤセ・メルビン。

12月14日 開教師特別研修会「米本土の日系仏教の変遷と現状」をワイキキシェラ

トンホテルにて開催。講師：加藤和光師。

12月18日 2003年に開催のハワイ開教百年記念行事について、宗門と連絡のため、理事長ヤマシタ・ジョージ師、駒形宗彦贊事、吉田宏得書記を日本に派遣。

### 2002年(平成14年)

2月16日 定例開教師会議開催。

2月17日 ハワイ曹洞宗寺院連盟春季代議員会、シェラトンワイキキホテルにて開催。

3月24日 駒形善秀前ハワイ開教総監の追悼法要、別院彼岸会に因み町田時保総監導師により厳修。

9月28日 第55回ハワイ曹洞宗寺院連盟秋季年次代議員会をシェラトンワイキキホテルにて開催。

10月15日 高祖道元禪師750回大遠忌ハワイ団参50名出発。

11月14日 梅花特派師範三浦信孝師来任。各島巡回指導。

### 2003年(平成15年)

2月20日 S Z I 創立10周年記念「ハワイ開教100年 現状と未来」と題するシンポジウムに、総監部書記吉田宏得師を派遣。

10月25日 S Z I 引率の下、日本各地からの法要参加者のハワイ別院正法寺拝登誦経。

S Z I の協力を得て日本より600余名の檀信徒をお迎えし、シェラトンワイキキホテルにて、地元ハワイの檀信徒合わせて2,000余名による歓迎交流晩餐会を開催。宗務庁教化部長宮川敬學師が祝辞を述べる。

10月26日 開教100年祝賀法要。  
シェラトンワイキキホテルにおいて、宗務  
総長有田惠宗師の導師の下に先亡開教師  
諷經嚴修。  
大本山總持寺副貫首齊藤信義師を大導師  
に、ハワイ開教100年祝賀報恩法要嚴修。

#### 2004年(平成16年)

11月22日 吉田宏得師、総監部贊事に就  
任。  
町田時保総監、結制修行。

#### 2005年(平成17年)

10月16日 第58回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パゴダホテルにて開催。

#### 2007年(平成19年)

10月20日～22日 ラスベガスで開催の第  
7回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会(サンフ  
ランシスコ桑港寺主催)に参加。  
11月4日 第59回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パシフィックビーチホテルに  
て開催。

#### 2008年(平成20年)

7月23日 松浦玉英元国際布教総監の本  
葬執行。  
7月31日 吉田宏得師辞任、帰国。  
8月30日 町田時保総監、辞任。  
9月1日 駒形宗彦師、第7代主任並びに  
第6代国際布教総監に就任。  
11月1日 酒井俊晃尼辞任、帰国。  
12月20日 石井怜慧師(埼玉県正覚寺)、  
駐在就任。

#### 2009年(平成21年)

10月11日 第60回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パゴダホテルにて開催。

#### 2010年(平成22年)

2月21日 第61回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パゴダホテルにて開催。  
4月24日、25日 第45回ハワイ曹洞宗連  
合婦人会大会開催。

#### 2011年(平成23年)

2月20日 第62回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パゴダホテルにて開催。

#### 2012年(平成24年)

3月10日、11日 第8回曹洞宗ハワイ・北  
米檀信徒大会をアラモアナホテルにて開  
催。

#### 2013年(平成25年)

2月17日 第64回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パゴダホテルにて開催。  
11月9日、10日 大本山總持寺貫首江川  
辰三禪師ご親修の下、曹洞宗ハワイ国際  
布教110周年、両大本山ハワイ別院正法  
寺創立100周年記念慶讚法要嚴修。



1920年の両大本山ハワイ別院正法寺本堂



Soto Mission of Aiea, Taiheiji

# アイエア太平寺



Address : 99-045 Kauhale Street,  
Aiea, HI 96701 U.S.A.

TEL : 1-808-488-6794  
FAX : 1-808-488-6794  
E-mail : taiheiji@hawaii.rr.com



#### ◆寺院の歴史

1904年創立

#### ◆御開山と歴代住職

開山 津田黙龍 (Tsuda Mokuryu)  
第2世 吉住浩巖 (Yoshizumi Kogen)  
第3世 田宮黎友 (Tamiya Reiyu)  
第4世 長棟梅峯 (Nagamine Baiho)  
第5世 浅山賢栄 (Asayama Kenei)  
第6世 工藤正典 (Kudo Shoten)  
第7世 篠田一法 (Shinoda Ippo)  
第8世 長谷川俊道 (Hasegawa Shundo)

#### ◆過去の所属僧侶

金井秀元 (Kanai Shugen)

#### ◆所属僧侶

駒形宗二 (Komagata Shuji)

#### ◆行事・活動

婦人会、観音講、梅花講、仏前結婚式、YBA (青年会)、春秋彼岸会、三仏忌、盂蘭盆法要、両祖忌、摂心、バザー、除夜会

## 沿革史

**1904年(明治37年)**

7月 植岡祖暁師(広島県徳寿院)来布。オアフ島アイエアキャンプに仮布教所を開設。

**1906年(明治39年)**

11月7日 植岡祖暁師、マウイ島バイアに移住。

**1918年(大正7年)**

7月17日 仮別院駐在の津田黙龍師(山口県淨光寺)、アイエア布教所を開設。

**1919年(大正8年)**

津田黙龍師、シープルーアー経営のホノルル精糖会社より借地の許可を得て、アイエア布教所の本堂建立に着手。

**1921年(大正10年)**

7月8日 大本山總持寺貫首新井石禪禪師、ホノルル別院の法要後、アイエアで前年2月のストライキにより中断していた本堂建立の再開始を信徒に説く。建設中の本堂とそのリース地は、ホノルル砂糖会社により押収の状況にあり、ストライキ解決後、再度の願い出により押収を解除され本堂建設を再開しこれを成就。

**1924年(大正13年)**

7月4日 アイエア布教所に「真珠山太平寺」の寺号下付。

**1926年(大正15年)**

11月16日 県政府より法人認可をうける。  
Soto Mission of Aiea。

**1927年(昭和2年)**

11月 津田黙龍師が辞任、米本土ロサンゼルス禪宗寺へ転出。吉住浩巖師(山形県法眼寺)、第2代主任に就任。

**1928年(昭和3年)**

4月1日 アイエア太平日本語学校創立。

**1929年(昭和4年)**

10月 吉住浩巖師、ワイパフ大陽寺兼務となる。

**1930年(昭和5年)**

ボイスカウト TROOP157 を編成。  
5月28日 吉住浩巖師、ワイパフ大陽寺との兼務を解かれる。

**1937年(昭和12年)**

9月 アイエア太平日本語学校校舎新築落成。

**1941年(昭和16年)**

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。  
(吉住浩巖師、米本土ニューメキシコ州サンタフェ収容所に逮捕抑留。)

**1945年(昭和20年)**

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

**1948年(昭和23年)**

大戦後のハワイ曹洞宗の組織的活動について討議するため、アイエア太平寺にて開教師、信徒有志の懇談会が開かれ、各教団の代表者による「代議員制ハワイ曹洞宗協会 Hawaii Soto Mission Association」の設立が議決される(別院代表欠席)。

**1953年(昭和28年)**

6月21日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。

**1955年(昭和30年)**

寺院敷地をオアフ砂糖会社より買収。

**1956年(昭和31年)**

8月17日～19日 第9回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第11回YBA大会開催。

**1965年(昭和40年)**

3月1日 鉄筋二階建ての本堂竣工。  
3月23日 吉住浩巖師病気入院。別院駐在の金井秀元師(新潟県竜門寺)、寺務を助ける。

**1966年(昭和41年)**

2月 吉住浩巖師辞任。  
2月 田宮黎友師(新潟県興源寺)、第3代主任に就任。  
9月18日 新本堂落慶法要厳修。

**1970年(昭和45年)**

5月22日～24日 第5回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

**1971年(昭和46年)**

6月11日～13日 第24回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第26回YBA大会開催。  
6月11日 開創50周年記念法要厳修。

**1972年(昭和47年)**

8月12日 長棟梅峰師(新潟県新光寺)、第4代主任に就任。  
8月15日 田宮黎友師辞任、帰国。

**1974年(昭和49年)**

9月 第2回ハワイ曹洞宗柔道大会開催。

**1975年(昭和50年)**

3月29日 吉住浩巖師遷化。  
4月1日 教団葬執行。

**1977年(昭和52年)**

6月 第30回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第32回YBA大会開催。

**1978年(昭和53年)**

6月26日 開創60周年記念法要厳修。  
長棟梅峰師、結制修行。

**1979年(昭和54年)**

婦人会創立50周年記念法要厳修。

**1980年(昭和55年)**

6月8日 長棟梅峰師辞任、帰国。  
12月20日 浅山賢栄師(青森県儒童寺)、第5代主任に就任。

**1981年(昭和56年)**

4月24日、25日 第16回ハワイ曹洞宗連

合婦人会大会開催。

**1985年(昭和60年)**

6月8日、9日 第38回ハワイ曹洞宗協会代議員会開催。

8月13日 浅山賢栄師辞任、帰国。

8月24日 前別院駐在、工藤正典師(群馬県天宗寺)が再来布、第6代主任に就任。

**1986年(昭和61年)**

2月6日～9日 別院で修行された授戒会(戒師:大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師)に、アイエアから11名の戒弟が参加。法要を英語で進行。

**1988年(昭和63年)**

4月10日 納骨堂を設営、献堂式厳修。

**1990年(平成2年)**

4月20日～22日 第25回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、アイエア太平寺、アラモアナホテルを会場に開催。アイエア太平寺婦人会創立25周年記念祝賀行事同時開催。

8月20日 工藤正典師辞任、帰国。

8月27日 篠田一法師(愛知県長松院)、第7代主任に就任。

**1992年(平成4年)**

6月22日 屋上の鉄塔を除去。

**1993年(平成5年)**

10月23日、24日 創立75周年記念法要と祝賀行事をアイエア太平寺とシェラトンワイキキホテルにて開催。

11月1日～7日 宗務庁企画海外開教師研修懇談会に篠田一法師出席。

**1994年(平成6年)**

8月1日 篠田一法師辞任、帰国。

**1995年(平成7年)**

7月20日 長谷川俊道師(群馬県瑞岩寺)、第8代主任に就任。

**1997年(平成9年)**

11月15日 第50回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、アイエア太平寺ホストでアラモアナホテルにて開催。

**1998年(平成10年)**

4月18日、19日 第33回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ワイキキバシフィックビーチホテルを会場にアイエア太平寺婦人会ホストにて開催。

**2002年(平成14年)**

3月 長谷川俊道師辞任。

7月 帰国。

**2005年(平成17年)**

駒形宗二師(新潟県大久寺)、法務担当に就任。

**2006年(平成18年)**

4月22日、23日 第41回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

**2008年(平成20年)**

10月12日 創立90周年記念慶讃法要厳

修。

2012年(平成24年)

1月20日 駒形宗二師、国際布教師に就任。

---



アイエア太平寺旧本堂



アイエア太平寺 日本人学校



ブッダガヤ大塔のような  
現在の両大本山ハワイ別院正法寺



Waipahu Soto Zen Temple, Taiyoji

# ワイパフ大陽寺



Address : 94-413, Waipahu Street,  
Waipahu, HI 96797 U.S.A.

TEL : 1-808-671-3103

FAX : 1-808-671-6803



#### ◆寺院の歴史

1903年創立

#### ◆御開山と歴代住職

- 開 山 河原仙英 (Kawahara Sen-ei)
- 第2世 関田大豊 (Okada Daiho)
- 第3世 佐脇昇雲 (Sawaki Shoun)
- 第4世 花井嶺松 (Hanai Reisho)
- 第5世 井上道雄 (Inoue Doyu)
- 第6世 中山宝瑞 (Nakayama Hozui)
- 第7世 上島泰岳 (Ueshima Taigaku)
- 第8世 光英勇猛 (Mitsufusa Yumyo)
- 第9世 大川玄道 (Okawa Gendo)
- 第10世 小沢義淨 (Ozawa Gijo)
- 第11世 大山陽堂 (Oyama Yodo)
- 第12世 佐藤博隆 (Sato Hakuryu)
- 第13世 梅沢原憲 (Umezawa Genken)
- 第14世 水野克彦 (Mizuno Kokugen)
- 第15世 穀藏ロイ良尚 (Kokuzo Ryosho)

#### ◆現住職

穀藏ロイ良尚 (Kokuzo Ryosho)

#### ◆過去の所属僧侶

- 藤沢秀南 (Fujisawa Shunan)
- 梅本為隣 (Umemoto Irin)
- 山崎自性 (Yamazaki Jisho)
- 吉住浩巖 (Yoshizumi Kogen)

## ◆行事・活動

観音講、理事会、仏前結婚式、YBA（青年会）、修証会、春秋彼岸会、涅槃会、盂蘭盆法要、両祖忌、達磨忌、摶心、成道会、除夜会

## 沿革史

## 1903年(明治36年)

3月18日 河原仙英師(広島県龍雲寺)同胞慰問使として来任。オアフ島ワイパフキャンプに入り仮布教所を設立。

## 1905年(明治38年)

4月 河原仙英師、ワイパフ砂糖会社支配人ハンス氏の好意により布教所を設営。  
10月 入仏式を厳修。菅良雲師、平井隆機師、植岡祖暉師、これに参列。

## 1908年(明治41年)

6月5日 河原仙英師、オアフ島ワイパフ布教所にて遷化。  
11月 岡田大豊師(広島県金蓮寺)、第2代主任に就任。

## 1910年(明治43年)

8月31日 裁縫学校開設。  
12月8日 婦人会結成。

## 1912年(明治45年)

6月1日 ワイパフ裁縫学校を「ワイパフ日本語学校」と改称。

## 1913年(大正2年)

3月5日 佐脇昇雲師(岐阜県千手院)、駐在就任。

## 1914年(大正3年)

3月 花井嶺松師(三重県万寿寺)、駐在就任。  
5月 岡田大豊師辞任。米本土へ転出。佐脇昇雲師、第3代主任に就任。

## 1916年(大正5年)

4月2日 佐脇昇雲師、ワイパフ布教所隣接地に日本人小学校校舎を新築。  
6月20日 佐脇昇雲師辞任、米国留学。花井嶺松師、第4代主任に就任。  
12月15日 井上道雄師(岐阜県雲龍寺)、駐在就任。

## 1917年(大正6年)

9月 花井嶺松師辞任、帰国。井上道雄師、第5代主任に就任。  
10月15日 中山宝瑞師(新潟県潮山寺)、駐在就任。

## 1920年(大正9年)

8月 井上道雄師辞任、帰国。中山宝瑞師、第6代主任に就任。

## 1922年(大正11年)

6月 中山宝瑞師辞任、米本土へ転出。  
8月 上島泰岳師(山形県禪会寺)、第7代主任に就任。

## 1924年(大正13年)

5月 ワイパフ日本語学校の校舎落成。

生徒400名を数え、オアフ島随一と称される。

#### 1926年(大正15年)

3月26日 「松嶽山大陽寺」の寺号下付される。

#### 1927年(昭和2年)

10月 藤沢秀南師(宮城県陽山寺)、駐在就任。

#### 1929年(昭和4年)

10月 上島泰岳師辞任、帰国。アイエア太平寺の吉住浩巖師、大陽寺との兼務となる。

#### 1930年(昭和5年)

5月28日 光英勇猛師(兵庫県大竜寺)、第8代主任に就任。吉住浩巖師、兼務を解かれる。

#### 1936年(昭和11年)

8月 光英勇猛師辞任、帰国。朝鮮布教総監部主任に就任。

10月15日 大川玄道師(東京都永心寺)、第9代主任に就任。

#### 1939年(昭和14年)

4月30日 山崎自性師(長野県金鳳寺)、駐在就任。

#### 1941年(昭和16年)

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。  
(大川玄道師、米本土ニューメキシコ州サ

ンタフェ収容所に逮捕抑留。山崎自性師オアフ島ホノウリウリ収容所に逮捕抑留。)

#### 1945年(昭和20年)

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

#### 1948年(昭和23年)

大川玄道師「代議員制ハワイ曹洞宗協会」の初代理事長に就任。

#### 1949年(昭和24年)

8月17日 本堂、庫裡を信徒の奉仕活動により建設完成。落慶入仏法要を厳修。  
第2回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第4回YBA大会開催。  
山崎自性師辞任、帰国。

#### 1950年(昭和25年)

5月 ワイパフ出身者の第2次世界大戦戦死者慰靈碑を建立。

#### 1951年(昭和26年)

8月 小沢義淨師(山梨県大聖寺)カウアイ禪宗寺より、第10代主任に転任。  
9月25日 大川玄道師辞任、帰国。

#### 1953年(昭和28年)

7月5日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師、別院新本堂落慶法要の為に来布のおり、巡錫。隨行長:新井石龍師、隨行員:馬場文翁師。

#### 1957年(昭和32年)

8月 第10回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第12回YBA大会開催。

**1962年(昭和37年)**

6月 梅本為隣師(山梨県大聖寺)、サンディアゴ大学を卒業し、駐在就任(開教師任命は、1957年5月29日)。

**1963年(昭和38年)**

8月20日～22日 第16回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第18回YBA大会を開催。

**1964年(昭和39年)**

9月15日 ワイパフ大陽寺移転の新敷地を購入。

**1971年(昭和46年)**

8月15日 小沢義淨師、大陽寺主任としてハワイ最初の初会結制修行。

**1973年(昭和48年)**

3月31日 梅本為隣師辞任。  
 5月5日、6日 移転事業(本堂、庫裏、会館)の落慶法要を曹洞宗管長佐藤泰舜禅師を請して厳修。隨行長:丹羽廉芳師。法要親修後、オアフ島内巡錫。  
 6月 第26回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第28回YBA大会を開催。  
 9月2日 別院で開催の第1回曹洞宗柔道連盟大会にワイパフ柔道部参加。

**1974年(昭和49年)**

5月26日～28日 第9回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。  
 5月29日 大山陽堂師(千葉県長安寺)、駐在就任。  
 6月19日 小沢義淨師辞任、引退。大山陽堂師、第11代主任に就任。

12月7日 小沢義淨師遷化。

12月12日 教団葬執行。

**1979年(昭和54年)**

6月8日～10日 第32回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第34回YBA大会を開催。

**1983年(昭和58年)**

4月22日～24日 第18回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。  
 8月27日、28日 開創80周年記念法要厳修。

**1986年(昭和61年)**

2月6日～9日 別院で修行された授戒会に(戒師:大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師)、ワイパフから41名の戒弟が参加。法要を英語で進行。

**1987年(昭和62年)**

6月12日～14日 第40回ハワイ曹洞宗協会代議員会年次大会を開催。

**1989年(平成元年)**

11月26日 大山陽堂師辞任、帰国。

**1990年(平成2年)**

1月24日 佐藤博隆師(東京都慈光院)、第12代主任に就任。

**1992年(平成4年)**

4月17日～19日 第27回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。  
 8月 佐藤博隆師辞任、市内に居住。

**1994年(平成6年)**

4月15日 梅沢原憲師(岐阜県西光寺)、第13代主任に就任。

主任に転任。

**1995年(平成7年)**

6月30日 梅沢原憲師辞任、帰国。  
7月 町田時保師(埼玉県広見寺)臨時主任に就任。水野克彦師(静岡県積雲院)を在住とする。

**2001年(平成13年)**

10月6日 第54回ハワイ曹洞宗寺院連盟秋季年次大会、ワイパフ大陽寺ホストによりパゴダホテルにて開催。

**1996年(平成8年)**

12月 水野克彦師、常在開教師に任命され、第14代主任に就任。

**2003年(平成15年)**

3月30日 創立100周年記念慶讃法要厳修。

**1998年(平成10年)**

11月30日 水野克彦師辞任、帰国。

**2008年(平成20年)**

4月19日、20日 第43回ハワイ連合婦人会大会開催。

**2000年(平成12年)**

4月22日、23日 第35回ハワイ連合婦人会大会、ワイパフ大陽寺とアラモアナホテルにて開催。

**2010年(平成22年)**

12月11日 婦人会創立100周年記念法要厳修。

**2012年(平成24年)**

10月13日 第63回ハワイ曹洞宗寺院連盟秋季年次大会開催。



ワイパフ大陽寺 初期の本堂



1949年のワイパフ大陽寺本堂



Wahiawa Ryusenji Soto Mission

# ワヒアワ龍仙寺



Address : 162 California Avenue,  
Wahiawa, HI 96786 U.S.A.  
TEL : 1-808-622-1429  
FAX : 1-808-622-1430



## ◆寺院の歴史

1904年創立

## ◆御開山と歴代住職

開山 平井隆機 (Hirai Ryuki)  
第2世 荒原見山 (Arahara Kenzan)  
第3世 木下靈牛 (Kinoshita Reigyu)  
第4世 石黒法龍 (Ishiguro Horyu)  
第5世 後藤古仙 (Goto Kosen)  
第6世 細川靠山 (Hosokawa Kozan)  
第7世 田中哲翁 (Tanaka Tetsuou)  
第8世 善波卓道 (Yoshinami Takudo)  
第9世 松浦玉英 (Matsuura Gyokuei)  
第10世 駒形宗彦 (Komagata Shugen)

## ◆現住職

不在

## ◆過去の所属僧侶

細川治学 (Hosokawa Jigaku)  
石黒法龍 (Ishiguro Horyu)  
小畠大拙 (Obata Daisetsu)  
大八木春邦 (Oyagi Shunpo)

## ◆行事・活動

日曜礼拝、婦人会、観音講、病院慰問、梅花講、理事会、仏前結婚式、YBA (青年会)、修証会、大般若会、春秋彼岸会、降誕会、涅槃会、盂蘭盆法要、地蔵供養、両祖忌、達磨忌、成道会、攝心、バザー、除夜会

## 沿革史

### 1904年(明治37年)

平井隆機師(広島県米山寺)が、オアフ島カワイロアキャンプに仮布教所を開設。

### 1906年(明治39年)

7月25日 平井隆機師、ワイルア砂糖会社社長グデール氏の好意を受け、カワイロアキャンプに布教所及び日本人小学校を設立。開校式挙行。

### 1914年(大正3年)

9月15日 耕地会社より貸与されたカワイロアキャンプ中央部に移転。本堂落成入仏式厳修。日本人小学校建築落成。

### 1915年(大正4年)

6月 荒原見山師(岐阜県大隆寺)、駐在就任。  
12月 平井隆機師辞任、帰国。荒原見山師、第2代主任に就任。

### 1919年(大正8年)

7月26日 小畠大拙師(愛媛県実法寺)、駐在就任。

### 1920年(大正9年)

2月29日 荒原見山師辞任、帰国。  
5月 木下靈牛師(大阪府梅林寺)、第3代主任に就任。

### 1921年(大正10年)

8月10日 石黒法龍師(東京都大光寺)、駐在就任。

9月 木下靈牛師辞任。米本土へ留学。

石黒法龍師、第4代主任に就任。

### 1922年(大正11年)

7月 石黒法龍師辞任、帰国。  
7月2日 後藤古仙師(愛知県成道寺)、第5代主任に就任。  
8月24日 後藤師、日本語学校教師英語検定取得のため辞任。ホノルルへ転出。  
8月 木下靈牛師米本土より帰布。主任として再任される。

### 1928年(昭和3年)

9月30日 木下靈牛師辞任、帰国。小畠大拙師辞任。細川靠山師(福井県天竜寺)、コナ大福寺より第6代主任に転任。

### 1933年(昭和8年)

5月10日 細川靠山師の実弟、細川治学師(福井県天竜寺)、駐在就任。  
5月20日 海雲山龍潛寺の寺号が下付される。

### 1935年(昭和10年)

6月 細川靠山師辞任、帰国。細川治学師暫定補席。

### 1937年(昭和12年)

4月 細川靠山師再来布。主任として再任。細川治学師辞任、帰国。

### 1938年(昭和13年)

10月 田中哲翁師(広島県聖光寺)、駐在就任。

**1940年(昭和15年)**

2月 細川靠山師辞任、帰国。  
3月 田中哲翁師、第7代主任に就任。

**1941年(昭和16年)**

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。  
(田中哲翁師、米本土ニューメキシコ州サンタフェ収容所に逮捕抑留。)

**1945年(昭和20年)**

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

**1952年(昭和27年)**

10月 田中哲翁師辞任、帰国。

**1953年(昭和28年)**

6月13日 善波卓道師(神奈川県勝興寺)、第8代主任に就任。  
6月20日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。隨行長:新井石龍師、隨行員:馬場文翁師。

**1957年(昭和32年)**

8月 県政府より法人として認可される。  
オアフ島ワヒアワに移転再建を企画。期成会を組織する。

**1958年(昭和33年)**

11月28日 カワイロア龍潜寺教団、ワヒアワ・カリフォルニア街164に6ロットの土地を購入することを契約。

**1963年(昭和38年)**

10月18日 善波卓道師辞任、帰国。

**1965年(昭和40年)**

6月5日 松浦玉英師(山形県宝林寺)、コナ大福寺より第9代主任に転任。大八木春邦師(山形県福生庵)、コナ大福寺より転任。  
7月 大八木春邦師辞任、帰国。  
9月27日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師、ブラジル開教10周年記念法要出席の途次、ワヒアワ龍潜寺庫裏・日本学校校舎新築落成式に出席。

**1975年(昭和50年)**

10月15日 寺号を「龍潜寺」より「龍仙寺」に変更認可される。

**1976年(昭和51年)**

8月21日、22日 ワヒアワ龍仙寺移転再建記念及び開創70周年慶讚法要を、管長代理松浦英文師を請して厳修。隨行員:布教部長栗田伸美師。

**1979年(昭和54年)**

4月27日~29日 第14回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ワヒアワ龍仙寺とタートルベイヒルトンホテルにて開催。

**1981年(昭和56年)**

6月 第34回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第36回YBA大会を開催。  
9月27日 松浦玉英師、第4代開教総監に就任。  
11月1日 松浦玉英師、別院主任として転出。  
11月3日 駒形宗彦師(埼玉県真福寺)、コナ大福寺より第10代主任に転任。

**1984年(昭和59年)**

11月11日 創立80周年記念法要厳修。  
社交ホール完成祝賀会開催。

当開教師との兼務に着任。

**1986年(昭和61年)**

2月6日～9日 別院で修行の授戒会(戒師:大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師)に、ワヒアワ龍仙寺より戒弟40名参加。法要を英語で進行。

**1999年(平成11年)**

10月30日 第52回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会を、ワヒアワ龍仙寺ホストで、ワイキキリージェントホテルにて開催。  
10月31日 創立95周年記念法要を同ホテルにて厳修。

**1988年(昭和63年)**

4月22日～24日 第23回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ワヒアワ龍仙寺及びワイキキビーチ・ホリデーインにて開催。

**2001年(平成13年)**

2月25日 移転25周年記念法要と祝賀会をパゴダホテルにて開催。

**1989年(平成元年)**

10月6日～8日 第42回ハワイ曹洞宗協会秋季代議員会、ワヒアワ龍仙寺ホストでワイキキビーチ・ホリデーインにて開催。

**2004年(平成16年)**

10月31日 100周年記念慶讃法要厳修。  
4月24日、25日 第39回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。  
12月12日 地蔵堂改築落慶入仏式厳修。

**1994年(平成6年)**

10月29日 第47回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、ワヒアワ龍仙寺ホストで、ワイキキビーチ・ホリデーインにて開催。  
10月30日 創立90周年記念法要と祝賀行事をハワイアンリージェントホテルにて開催。

**2011年(平成23年)**

5月29日 入信式厳修。  
12月14日 駒形宗彦師、辞任。

**1996年(平成8年)**

4月20日、21日 第31回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ワヒアワ龍仙寺とハワイアンリージェントホテルにて開催。

**2012年(平成24年)**

4月21日、22日 第47回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。



1914年のカワイロア龍潜寺本堂

**1998年(平成10年)**

1月1日 駒形宗彦師、モロカイ弘誓寺担



Daifukuji, Soto Mission

# コナ大福寺



Address : 79-7241 Mamalahoa Hwy  
Kealakekua HI 96750 U.S.A.  
TEL : 808-322-3524  
FAX : 808-322-2129  
E-mail : [rev.jiko@daifukuji.org](mailto:rev.jiko@daifukuji.org)  
URL : <http://daifukuji.org/>



#### ◆寺院の歴史

1914年創立

#### ◆御開山と歴代住職

開 山 児玉介石 (Kodama Kaiseki)  
第2世 垣浦明道 (Kakiura Myodo)  
第3世 神原義孝 (Kanbara Giko)  
第4世 細川靠山 (Hosokawa Kozan)  
第5世 中山宝瑞 (Nakayama Hozui)  
第6世 松浦玉英 (Matsuura Gyokuei)  
第7世 佐藤博道 (Sato Hakudo)  
第8世 駒形宗彦 (Komagata Shugen)  
第9世 市村承秉 (Ichimura Shohei)  
第10世 長田敬道 (Osada Keido)  
第11世 田宮隆兒 (Tamiya Ryuji)

#### ◆過去の所属僧侶

大八木春邦 (Oyagi Shunpo)  
高橋千鶴 (Takahashi Chikaku)

#### ◆所属僧侶

法務担当者：中出慈光 (Nakade Jiko)

#### ◆行事・活動

坐禅会、観音講、理事会、婦人会、日曜礼拝、梅花講、太鼓俱楽部、仏前結婚式、YBA (青年会)、修証会、涅槃会、春秋彼岸会、降誕会、盂蘭盆法要、地蔵祭り、達磨忌、永代経、接心、除夜会

## 沿革史

### 1914年(大正3年)

コナ白峰山大福寺はハワイ島西部の北コナのホナロにあり、この年の晩春マウイ島バイヤの満徳寺住職植岡祖暁師が児玉介石師(東京都大福寺)を伴って巡教の際、当地に布教所を創立した所に基団する。

7月25日 児玉介石師は単独でコナに渡り、同地有志者の尽力と苦労により現在の所有地から北寄り約200ヤードの山手に間口36フィート、奥行40フィートの平屋造りの寺院とこれにあわせて間口30フィート、奥行16フィートの庫裡を建設した。

### 1915年(大正4年)

1月2日 コナ佛教青年会を発足。  
 2月6日 婦人会を発足。  
 2月27日 上棟及び入仏式を厳修。当時の協力者は、柴山徳造、松崎百太郎、阿部朝信、池田篤寿、木村茂吉、長谷川房太郎、花渡吾市、佐々木炎太郎、因幡善太郎の各氏。児玉師は燃ゆるが如き信念を持ち、古靴をはき、コーモリ傘一本を持ち寺院建立が叶えられるまでは絶対に車に乗らず、周囲400マイルのハワイ島を2回も行脚勧進につとめたと伝えられている。  
 10月4日 大本山永平寺貫首福山黙堂禪師並びに大本山總持寺貫首石川素童禪師より白峰山大福寺の山号並び寺号が下付される。  
 児玉師は当寺の堅実な基礎を固め石ころ山、又溶岩の山のコーヒー山開拓に苦しむ人達への教化を深めた。

### 1918年(大正7年)

6月16日 垣浦明道師(静岡県光明寺)、駐在就任。  
 7月 児玉師帰国。垣浦明道師、第2代主任に就任。垣浦師は布教伝道に励み、特に青年教化に尽くし青年修養團を発足した。

### 1920年(大正9年)

垣浦師は、赴任二年後、早くも寺院敷地のリースが切れる寸前、新たに現大福寺の敷地を永代地として求め新寺院を建立した。

### 1921年(大正10年)

5月27日 新寺院の上棟入仏式を厳修。

### 1922年(大正11年)

5月7日 児童教育のため日曜学校を発足。  
 8月 垣浦明道師辞任、帰国。神原義孝師(広島県法常寺)、マウイ満徳寺より第3代主任に転任。  
 神原師は、大本山總持寺貫首新井石禪禪師御来錫を機とし、大福寺負債整理の重任を引き受け精進努力、更に大人の夜間学校を開校し教化の為に活躍した。  
 神原夫人は子女の教育に力を注ぎ礼儀作法、手芸、裁縫等を教えた。

### 1926年(大正15年)

9月 神原義孝師辞任、帰国。細川靠山師(福井県天龍寺)、第4代主任に就任。大福寺負債整理の力をつくし、ついに借財を一掃した。

師は特に教育に力を注ぎケアラケクア日本語学校の校長としても活躍した。細川夫人はナポボ日本語学校で青少年教育の力を注いだ。

#### 1928年(昭和3年)

9月 細川眞山師カワイロア布教所に転出。モロカイ弘誓寺より中山宝瑞師(新潟県潮山寺)、第5代主任に転任。ケアラケクア日本語学校校長として子弟の教育に尽力し、さらに教団を固め、青年会、婦人会の発展に力を注いだ。

#### 1936年(昭和11年)

4月 志田光隨尼(東京都勢至院)、駐在就任。  
中山宝瑞師は観音堂を建設し、同年ハワイ日本人在住50年記念として自ら発願主となり、斎藤実氏、同春子夫人、小笠原長生氏、ハワイ観音会員一同功德主となり日本彫刻界の権威三木宗策氏の力作、聖觀世音菩薩を建立した。

#### 1937年(昭和12年)

3月28日 入仏式を厳修。中山師はボーイ・スカウトを発団し、青年会の上部組織となるべきコナ向上会が組織発会し宗派を超えた禅的精神に力を注いだ。  
7月 志田光隨尼、別院へ転出。

#### 1939年(昭和14年)

年末 30フィート×60フィートの広さを持つ青年会館を建設。また永代地として裏山を購入、コーヒー園として開拓して大福寺発展を計り、現在の寺所有地6

エーカーになる。

#### 1941年(昭和16年)

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。

中山宝瑞師はその後アメリカ陸軍に敵国指導者と見なされ直ちに逮捕され同島のボルケーノ陸軍営舎に収容される。

#### 1942年(昭和17年)

2月 中山宝瑞師はホノルル・サンドアイランド収容所より米大陸へ護送抑留され、ついにニューメキシコ州サンタフェ捕虜収容所にて終戦を迎える。

#### 1945年(昭和20年)

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。  
11月 中山宝瑞師、釈放され大福寺に帰山。

#### 1946年(昭和21年)

2月1日 中山宝瑞師はヒロ大正寺駐在の開教師松浦玉英師(山形県宝林寺)を補佐として大福寺に招き、戦後の大福寺の経営のために更に努力を続け、日曜学校、青年会、向上会、婦人会の再組織につとめた。松浦師は戦前3ヶ月間ヒロ大正寺駐在開教師、オーラア日本語学校校長として赴任したが日米開戦と同時に中山師と同じように米大陸に家族とともに送られ、終戦後中山師とともに帰布していた。着任後は日曜学校、青年会の指導にあたり、中山師を補佐する傍ら寺所有のコーヒー園の管理につとめた。

**1947年(昭和22年)**

10月17日 中山宝瑞師辞任、帰国。松浦玉英師、第6代主任に就任。松浦師は同月ボーイ・スカウトを再組織し、キヨウブにも日本語学校を開いた。

面にさらに力を注ぐ。

7月30日 高橋千鶴師辞任、帰国。  
8月 第11回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第3回YBA大会開催。  
それを機にホール・キッチンを改装。

**1949年(昭和24年)**

6月 戦後初めての日本語学校を開校。

**1960年(昭和35年)**

5月 梅花講創立。  
5月22日 ハワイ観音勸請5周年記念大法要厳修。

**1950年(昭和25年)**

8月20日 大福寺創立35周年記念大法要並びに開山児玉介石師、第3代神原義孝師の七回忌厳修。第2回ハワイ曹洞宗協会代議員会及び第5回YBA大会を開催。この記念事業として本堂内部の拡張、納骨堂新設併せて庫裡の新築、堂宇内部の改装を行った。

7月16日 半年に渡る棧橋ストライキ、当地の生命なるコーヒーの不作等悪条件を松浦師の熱意と檀信徒の信念で乗り越え、本堂内部を拡張し庫裡を新築し、上棟式を挙行。

**1961年(昭和36年)**

本堂前庭に延命地蔵堂建立。

**1964年(昭和39年)**

2月29日 大八木春邦師(山形県福生庵)、駐在就任。  
7月19日 コナ共同火葬場を建設。  
8月20日～22日 大福寺創立50周年記念を機に第17回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第19回YBA大会を開催。

**1953年(昭和28年)**

大福寺墓地までの道路再工事並びに舗装し、ボーイスカウトの青年組織であるエクスプローラー隊を発足。

**1965年(昭和40年)**

6月5日 松浦玉英師、大八木春邦師、カワイロア龍潜寺に転任。  
7月13日 佐藤博道師(静岡県蓮乗院)、第7代主任に就任。佐藤師は一般及び青少年等の指導教化に専念する傍ら寺所有のコーヒー園、並びにマカデミアナッツ園の保護につとめ、特に梅花流詠讃歌を通しての教化、法要参加に力をそそぎ寺門の発展を計った。

**1957年(昭和32年)**

コナ柔道クラブ発足。

8月5日 高橋千鶴師(新潟県福勝寺)、駐在就任。

**1970年(昭和45年)**

8月30日 婦人会創立50周年記念法要

**1958年(昭和33年)**

6月 カブスカウト隊を発足し児童教化方

厳修。

#### 1972年(昭和47年)

6月16日～18日 第25回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第27回YBA大会を開催。  
12月 納骨堂を新築。それに加え道路の舗装、本堂内部の改装及び火葬場の増築、新たに駐車場の設置等の事業を行った。

#### 1975年(昭和50年)

4月 第10回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。  
8月30日、31日 佐藤博道師が当山における初めての結制を修め、大福寺開創60周年記念法要を厳修。

#### 1976年(昭和51年)

3月15日 佐藤博道師辞任、帰国。  
4月26日 駒形宗彦師(埼玉県真福寺)、別院より第8代主任に転任。直ちに教化活動に取り組む傍らフェイ夫人とともにコーヒー・マカデミアナッツの農園管理にも携わった。駒形師は大福寺では初めてとなる英語での教育を受けた開教師としてその手腕を發揮し、婦人会員の教団役員への積極的な起用等、フェイ夫人とともに寺院運営の活性化に大きく貢献した。また駒形師は在任中、日本文化を学ぶ夏季講習開催の他、マウナケア・ステートパークでのメンバーの研修合宿、アメリカの伝統行事である感謝祭に仏教的な意義付けを取り入れた儀式を行うなど新しい教化活動に取り組んだ。

#### 1978年(昭和53年)

6月9日～11日 第31回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第33回YBA大会開催。

#### 1981年(昭和56年)

11月3日 駒形宗彦師、ワヒアワ龍仙寺へ転出。  
11月6日 市村承秉師(新潟県大輪寺)、第9代主任に就任。

#### 1982年(昭和57年)

4月23日 市村承秉師は専門である仏教の研究を続けるため、アメリカ本土へ帰った。

#### 1983年(昭和58年)

10月3日 長田敬道師(静岡県洗耳寺)、第10代主任に就任。それまでの間、ヒロ大正寺の青木師が主な法要を務める傍ら、メンバーが積極的にお寺の維持運営に関わっていたが、長田師は着任後直ちに活動を開始し、日曜学校、日本語学校を含む教化活動にも積極的に取り組んだ。

#### 1985年(昭和60年)

コナ大福寺婦人会結成70周年記念法要厳修。

#### 1986年(昭和61年)

2月 メンバー18名を伴いホノルル別院正法寺にて、永平寺・丹羽禪師を戒師に行われた授戒会につく。  
4月18日～20日 第21回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。  
6月14日、15日 第39回ハワイ曹洞宗協

会代議員会開催。

**1988年(昭和63年)**

6月19日 長田敬道師辞任、帰国。  
9月14日 田宮隆児師(新潟県興源寺)、第11代主任に就任。敬子婦人とともに前例にならい、各種教化活動に取り組んだ。  
12月 大福寺YBAのメンバーを中心に和太鼓活動を取り入れた。

**1989年(平成元年)**

11月 チーム「コナ大福寺太鼓」を結成。また田宮師は坐禅活動にも取り組み、早朝坐禅を始め、月例の半日坐禅や他宗派の講師を招いての禪・仏教勉強会等を積極的に行なった。  
8月26日 大福寺開創75周年記念法要厳修。

**1993年(平成5年)**

4月23日～25日 第28回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

**1999年(平成11年)**

3月28日 町田時保総監のもと、中出慈光Mary Beth ミニスター養成プログラム・得度式。

**2000年(平成12年)**

10月7日、8日 第53回ハワイ曹洞宗協会代議員会開催。本堂・観音堂屋根大修理。

**2001年(平成13年)**

4月28日、29日 第36回ハワイ曹洞宗連

合婦人会大会開催。

**2002年(平成14年)**

ホール・キッチン改装大修理。

**2003年(平成15年)**

6月8日 田宮師結制修行、中出慈光師法戰式、伽藍大修理落慶法要厳修。

**2004年(平成16年)**

4月30日 田宮隆児師辞任。  
5月1日より、中出慈光師が大福寺の法務・実務に携わる。  
5月30日 田宮師帰国。田宮師任期途中より「開教師」が「国際布教師」に変更された。

**2005年(平成17年)**

9月17日 大福寺婦人会結成90周年アイランドツアーアイランダーツアーフラワー実施。  
12月10日 大福寺が「コナ地区歴史文化財」としてPulama la Kona により認定を受ける。

**2006年(平成18年)**

2月12日 改装された旧柔道場が多目的文化活動ホール「Hisashi Kimura Cultural Hall」と命名される。

10月 コナ地区が強い地震に遇い、石垣並びに墓地に被災する。

**2009年(平成21年)**

4月25日、26日 第44回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

**2010年(平成22年)**

4月 大福寺売店の開店、ボランティアによりお香、数珠、坐蒲等の販売を行う。

**2011年(平成23年)**

7月 マウカ駐車場が整備される。

なお、中出師は就任以来、積極的な教化活動を展開し、平成25年までの主な活動として従来の活動に加え寺報の月例発行、ウェブサイトの運営、坐禅会・勉強会の定期開催、ウクレレグループ「ハッピーストラマーズ」、女性による自助グループ「サンガ・シスターズ」の月例集会、高齢者メンバーの社交の場を提供する「プロジェクト・ダーナ」、他宗派・他宗教との交流活動などを展開している。



1919年のコナ大福寺本堂と庫裏



現在のコナ大福寺



現在のコナ大福寺本堂



Kauai Soto Zen Temple, Zenshuji

# カウアイ禪宗寺



Address : 1-3500 Kaumualii Highway,  
Hanapepe, HI 96716-0537  
U.S.A.

TEL : 1-808-335-3521  
FAX : 1-808-335-3521



#### ◆寺院の歴史

1903年創立

#### ◆御開山と歴代住職

開 山 菅 良雲 (Kan Ryoun)  
第2世 矢原豊州 (Yahara Hoshu)  
第3世 竹中修道 (Takenaka Shudo)  
第4世 村上顥宗 (Murakami Kenshu)  
第5世 豊田法順 (Toyota Hojun)  
第6世 小澤義淨 (Ozawa Gijo)  
第7世 西沢宏山 (Nishizawa Kozan)  
第8世 秋田新隆 (Akita Shinryu)  
第9世 松永然道 (Matsunaga Zendo)  
第10世 三好晃一 (Miyoshi Koichi)  
第11世 板垣光昭 (Itagaki Kosho)

#### ◆現住職

不在

#### ◆過去の所属僧侶

伊藤梅芳 (Ito Baiho)  
松浦玉英 (Matsuura Gyokuei)  
棟方宏源 (Munakata Kogen)

#### ◆所属僧侶

法務担当 駒形宗二 (Komagata Shuji)

#### ◆行事・活動

日曜供養、病院慰問、老人会、仏前結婚式、YBA

(青年会)、修証会、春秋彼岸会、盂蘭盆法要、戦没者供養、両祖忌、達磨忌、成道会、撰心、バザー、除夜会

## 沿革史

### 1903年(明治36年)

3月 菅良雲師(広島県耽源寺)、同胞慰問使としてオアフ島各地を巡回後、カウアイ島ワヒアワキャンプに布教所を設立。

### 1904年(明治37年)

2月11日 菅良雲師、カウアイ島ワヒアワに布教所開設。小規模な附属小学校を開設。

### 1905年(明治38年)

カウアイ島ワヒアワ耕地にて、旅順陥落祝捷会にあたり、戦死者追悼施餓鬼会を厳修。

### 1909年(明治42年)

5月 矢原豊洲師(広島県慶寿院)、駐在就任。

6月 管良雲師辞任、帰国。矢原豊洲師、第2代主任に就任。

11月 カウアイ島ワヒアワ曹洞宗付属小学校組織を変更し、ワヒアワ教育会経営とし、「樹徳小学校」と改称。

### 1911年(明治44年)

11月5日 樹徳小学校、新校舎落成。

### 1915年(大正4年)

7月 竹中修道師(広島県福寿院)、駐在就任。

9月 矢原豊洲師辞任、帰国。竹中修道師、第3代主任に就任。

### 1918年(大正7年)

7月 本堂・庫裡・裁縫教室を新築。

### 1920年(大正9年)

5月 竹中修道師辞任、帰国。ヒロ大正寺より村上顯宗師(山梨県宝林寺)が第4代主任として転任。

### 1921年(大正10年)

日本語学校取締法案の影響を受け、樹徳小学校閉鎖。取り壊され、後カウアイ禪宗寺のホールとして再建築される。

大本山總持寺貫首新井石禪禪師巡錫。

### 1922年(大正11年)

2月27日 伊藤梅芳師(新潟県大栄寺)、駐在就任。

### 1925年(大正14年)

2月6日 伊藤梅芳師辞任。

8月 村上顯宗師辞任。ホノルルへ転出。

### 1926年(大正15年)

4月26日 豊田法順師(青森県全龍寺)、第5代主任に就任。

### 1928年(昭和3年)

11月 樹徳小学校の新校舎落成。ワヒアワ日本語学校と改称。

<b>1929年(昭和4年)</b>	10月25日 開山菅良雲師の記念碑を13回忌に因んで建立。	ンタフェ収容所に逮捕抑留。)
<b>1931年(昭和6年)</b>	3月21日 小沢義淨師(山梨県大聖寺)、駐在就任。	<b>1945年(昭和20年)</b> 8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。
<b>1932年(昭和7年)</b>	6月30日 ワヒアワ日本語学校30周年記念誌発行。校友会設立。	<b>1951年(昭和26年)</b> 8月 小沢義淨師、ワイパフ大陽寺に転任。西沢宏山師(東京都宗參寺)、モロカイ弘誓寺より第7代主任に転任。
<b>1934年(昭和9年)</b>	11月 鐘楼を新築。撞き初め法要を厳修。	<b>1953年(昭和28年)</b> 5月17日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫のもと、開創50年法要厳修。 8月20日~22日 第6回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第8回YBA大会開催。
<b>1936年(昭和11年)</b>	7月10日 豊田法順師辞任、帰国。 9月12日 小沢義淨師、第6代主任に就任。 12月 棟方宏源師(秋田県大川寺)、駐在就任。	<b>1960年(昭和35年)</b> 12月18日 秋田新隆師(静岡県法幢寺)、第8代主任に就任。
<b>1938年(昭和13年)</b>	4月1日 松浦玉英師(山形県宝林寺)、別院より駐在に転任。 6月1日 棟方宏源師辞任、帰国。	<b>1961年(昭和36年)</b> 1月26日 西沢宏山師辞任、帰国。 6月 第14回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第16回YBA大会開催。
<b>1939年(昭和14年)</b>	6月 第3回曹洞宗青年大会開催。	<b>1963年(昭和38年)</b> 9月11日 秋田新隆師辞任、帰国。
<b>1941年(昭和16年)</b>	9月 松浦玉英師、ヒロ大正寺に転任。 12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。 (小沢義淨師、米本土ニューメキシコ州サ	<b>1964年(昭和39年)</b> 6月 松永然道師(静岡県宗徳院)、第9代主任に就任。 <b>1968年(昭和43年)</b> 6月 第21回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第23回YBA大会開催。創立65周年法要

厳修。

**1970年(昭和45年)**

12月25日 松永然道師辞任。ロサンゼルス禪宗寺へ転出。

**1971年(昭和46年)**

1月14日 三好晃一師(北海道高沢寺)、別院より第10代主任に転任。

**1976年(昭和51年)**

2月2日 社交ホール竣工。

**1978年(昭和53年)**

11月5日 曹洞宗管長乙川瑾映禪師により本堂・庫裡・会館移転落慶法要親修。

**1980年(昭和55年)**

6月13日、14日 第33回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第35回YBA大会開催。

**1982年(昭和57年)**

4月23日～25日 第17回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

11月23日 ハリケーン・IWA襲来。

**1986年(昭和61年)**

2月6日～9日 別院で修行の授戒会(戒師:大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師)に、カウアイ禪宗寺戒弟3名参加。法要を英語で進行。

**1988年(昭和63年)**

6月10日～12日 第41回ハワイ曹洞宗協会代議員会年次大会開催。

**1990年(平成2年)**

6月25日～30日 宗務庁国際課企画海外開教師研修懇親会に三好晃一師出席。

**1991年(平成3年)**

4月19日～21日 第26回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、カウアイ禪宗寺、ココバームリゾートにて開催。

8月16日 世界平和観音開眼法要厳修。

**1992年(平成4年)**

1月18日 大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師、カウアイ禪宗寺世界平和観音供養親修。

9月11日 ハリケーン・イニキ襲来。

**1993年(平成5年)**

11月12日～14日 第46回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、カウアイ禪宗寺、カウアイシェラトンホテルにて開催。同時に禪宗寺創立90周年記念法要厳修。ハリケーン・イニキ復旧祝賀行事開催。

**1998年(平成10年)**

11月 三好晃一師辞任、帰国。

12月4日 町田時保総監來寺。信徒代表と後任開教師について協議。

**1999年(平成11年)**

4月2日 板垣光昭師(僧籍地不明)、第11代主任に就任。

**2003年(平成15年)**

4月26日、27日 第38回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

創立100周年記念慶讚法要厳修。

**2006年(平成18年)**

9月20日 板垣光昭師辞任。以降2008年まで、総監部書記吉田宏得師が法務担当となる。

**2008年(平成20年)**

7月31日 吉田宏得師辞任、帰国。  
駒形宗二師(新潟県大久寺)、法務担当となる。



カウアイ禪宗寺、ワヒアワキャンプ



1978年のカウアイ禪宗寺(Hanapepe)



Mantokuji, Mission of Paia, Maui

## マウイ満徳寺



Address : 253 Hana Highway, Paia,  
HI 96779 U.S.A.  
TEL : 1-808-579-8051  
FAX : 1-808-579-8120  
E-mail : mantokuji@hawaiianet.net  
URL : <http://mantokujimauitemple.org>



### ◆寺院の歴史

1906年創立

### ◆御開山と歴代住職

開 山 植岡祖曉 (Ueoka Sogyo)  
第2世 植岡祖幹 (Ueoka Sokan)  
第3世 植岡宗孝 (Ueoka Shuko)  
第4世 葉貫成悟 (Hanuki Seigo)  
第5世 大谷有為 (Otani Ui)  
第6世 大山健治 (Oyama Kenji)  
第7世 稲村秀樹 (Inamura Shuju)

### ◆現住職

稻村秀樹 (Inamura Shuju)

### ◆過去の所属僧侶

後藤古仙 (Goto Kosen)  
伊藤貫禪 (Ito Kanzen)  
神原義孝 (Kanbara Giko)  
児玉介石 (Kodama Kaiseki)  
志田光隨 (Shida Kozui)

### ◆行事・活動

婦人会、理事会、太鼓、梅花講、月例清掃、坐禪会、  
病院慰問、仏前結婚式、YBA (青年会)、新年祈祷、  
涅槃会、祈祷法要、春秋彼岸会、花祭り法要、盂蘭盆法要、棚経、成道会、バザー、除夜会

## 沿革史

**1906年(明治39年)**

11月7日 植岡祖暁師(広島県徳寿院)アイエアよりマウイ島パイアに移住。

**1907年(明治40年)**

3月 植岡祖暁師マウイ島パイアに布教所を設立。カウアイ島ワヒアワ布教所から菅良雲師を勧請開山に請し、入仏開堂式を厳修。本山より「馬頂山満徳寺」の寺号を下付される。

**1909年(明治42年)**

3月 日清日露戦争戦没者追弔のため、鐘楼建立。

**1910年(明治43年)**

児玉介石師(東京都大福寺)、駐在就任。

**1912年(大正元年)**

9月21日～23日 忠魂碑供養、大梵鐘の撞き初め式を厳修。梵鐘は練習艦隊によって搬送され、明治43年の鐘銘がある。  
7月 寺有地8エーカーを購入し、うち3エーカーを日本人墓地とする。

**1914年(大正3年)**

7月25日 児玉介石師、ハワイ島コナに布教所を開くため転出。

**1918年(大正7年)**

神原義孝師(広島県法常寺)、仮別院より駐在に転任。

**1921年(大正10年)**

7月21日 本堂上棟入仏式厳修。

**1922年(大正11年)**

神原義孝師、コナ大福寺へ転出。

8月24日 後藤古仙師(愛知県成道寺)、カワイロア布教所より駐在に転任。

**1923年(大正12年)**

2月17日 後藤古仙師、ヒロ大正寺へ転出。

**1930年(昭和5年)**

7月4日 植岡祖幹師(2世僧侶)布教師補に任命され駐在就任。

**1933年(昭和8年)**

忠魂碑移転再建除幕式厳修。

**1937年(昭和12年)**

8月 家政女学院開設。

**1938年(昭和13年)**

1月 マウイ満徳寺火葬場、政府より認可される。

12月 志田光隨尼(東京都勢至院)、別院より駐在に転任。

**1940年(昭和15年)**

7月 伊藤貫禪尼(僧籍地不明)、駐在就任。

**1941年(昭和16年)**

8月1日 植岡祖暁師辞任、引退。植岡祖幹師、第2代主任に就任。

志田光隨尼辞任、帰国。	3月5日 植岡宗孝師(山形県金宗寺)、第3代主任に就任。
12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。	
<b>1945年(昭和20年)</b>	<b>1965年(昭和40年)</b>
8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。	3月 マウイ満徳寺火葬場廃止。
<b>1946年(昭和21年)</b>	<b>1966年(昭和41年)</b>
4月1日 マウイ島に大津波襲来。墓地と庫裡に大被害。	8月20日、21日 第19回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第21回YBA大会開催。 12月11日 階下ホール改修完成。
<b>1951年(昭和26年)</b>	<b>1970年(昭和45年)</b>
7月9日 植岡祖幹師(当時日本在住)、マウイ満徳寺主任に再任。	6月20日 納骨堂竣工。
<b>1953年(昭和28年)</b>	<b>1972年(昭和47年)</b>
5月23日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。 随行長:新井石龍師、随行員:馬場文翁師。	第7回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。
<b>1954年(昭和29年)</b>	<b>1974年(昭和49年)</b>
4月 植岡祖幹師、1941年抑留以来13年目にして帰布。寺務に復帰。	6月 第29回YBA大会を開催。
<b>1955年(昭和30年)</b>	<b>1977年(昭和52年)</b>
3月11日 植岡祖曉師、満徳寺にて遷化。 8月 第8回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第10回YBA大会開催。	9月10日、11日 開創70周年慶讌法要厳修。
<b>1959年(昭和34年)</b>	<b>1978年(昭和53年)</b>
5月 植岡宗孝師(山形県金宗寺)、日本留学より帰布し、駐在就任。	5月5日 第13回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。
<b>1963年(昭和38年)</b>	<b>1979年(昭和54年)</b>
1月8日 植岡祖幹師遷化。	7月29日 庫裡竣工。
	<b>1982年(昭和57年)</b>
	6月11日~13日 第35回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第37回YBA大会開催。

**1987年(昭和62年)**

4月24日～26日 第22回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

**1990年(平成2年)**

9月2日 植岡宗孝師遷化。教団葬執行。

**1993年(平成5年)**

2月2日 葉貫成悟師(福島県石雲寺)、第4代主任に就任。

**1994年(平成6年)**

4月23日～25日 第29回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、マウイ満徳寺及びワイレアビーチホテルにて開催。  
11月19日 在家得度式厳修。  
12月 寺門改修工事を行う。

**1996年(平成8年)**

11月16日 第49回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会開催。  
11月17日 創立90周年記念法要厳修。  
導師：宗務総長大竹明彦師。特別講師：ベナージュ大圓師。

**1998年(平成10年)**

7月12日 葉貫成悟師辞任、帰国。  
8月11日 大谷有為師(東京都長泰寺)、第5代主任に就任。

**2002年(平成14年)**

4月27日、28日 第37回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、マウイ満徳寺及びマウイプリンスホテルにて開催。

**2003年(平成15年)**

3月12日 大山健治師(秋田県補陀寺)、第6代主任に就任。

3月27日 大谷有為師辞任、帰国。

**2006年(平成18年)**

11月11日、12日 創立100周年記念慶讃法要厳修。

**2011年(平成23年)**

4月16日、17日 第46回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、マウイ満徳寺及びマウイビーチホテルにて開催。

**2012年(平成24年)**

5月19日 入信式厳修。

**2013年(平成25年)**

9月 大山健治師辞任、帰国。  
9月21日 稲村秀樹師(宮城県活牛寺)、第7代主任に就任。



コーヒーの実



Taishoji, Soto Mission

# ヒロ大正寺



Address : 275 Kinoole Street, Hilo,  
HI 96720 U.S.A.

TEL : 1-808-935-8407

FAX : 1-808-935-8407

URL : <http://taishoji.org>



#### ◆寺院の歴史

1916年創立

#### ◆御開山と歴代住職

開 山 江沢白道 (Ezawa Hakudo)  
第2世 井上富山 (Inoue Fuzan)  
第3世 村尾実英 (Murao Jitsuei)  
第4世 後藤古仙 (Goto Kosen)  
第5世 渋川太嶺 (Shibukawa Tairei)  
第6世 木下靈牛 (Kinoshita Reigyu)  
第7世 穀藏禪戒 (Kokuzo Zenkai)  
第8世 上野暉讚 (Ueno Kisan)  
第9世 中島貫道 (Nakajima Kando)  
第10世 青木俊亨 (Aoki Syunkyo)  
第11世 加藤孝正 (Kato Kosei)  
第12世 吉田宏得 (Yoshida Kotoku)  
第13世 秋田新隆 (Akita Shinryu)  
第14世 ラング明心 (Lang Myoshin)

#### ◆現住職

ラング明心 (Lang Myoshin)

#### ◆過去の所属僧侶

松浦玉英 (Matsuura Gyokuei)  
森田宏悦 (Morita Koetsu)  
村上顕宗 (Murakami Kenshu)

### ◆行事・活動

日曜学校、病院慰問、梅花講、婦人会、理事会、大正寺太鼓、仏心会、仏前結婚式、YBA、フラワーアレンジ、坐禪会、盆栽クラブ、俳句

1月 修証会・地蔵祭り・道元禪師生誕法要・檀信徒総会／2月 役員就任式・涅槃会／3月 春彼岸会／4月 花まつり／5月 歴住忌・婦人会病院慰問／6月 開山忌／7月 お墓参り／8月 盆踊り・お盆法要／9月 秋彼岸会・両祖忌／10月 達磨忌・永代経／11月 退役軍人のための法要・掃除・婦人会病院慰問／12月 謾八摶心・成道会・除夜の鐘

## 沿革史

### 1916年(大正5年)

4月6日 江沢白道師(山口県洞玄寺)、仮別院よりハワイ島ヒロ市に転入。新町布教所を開設。ヒロ大正寺の草創となる。

### 1917年(大正6年)

6月24日 村上顯宗師(山梨県宝林寺)来任、布教所に駐在。

### 1918年(大正7年)

4月14日 「白峰山大正寺」の寺号下付される。入仏式厳修。村上顯宗師に駐在発令。

### 1919年(大正8年)

6月8日 井上富山師(新潟県光明寺)、駐在就任。  
9月15日 江沢白道師辞任、帰国。井上富山師、第2代主任に就任。

### 1920年(大正9年)

5月1日 ハワイ県政府より法人の認可を受ける。村上顯宗師、カウアイ禪宗寺に転出。

### 1922年(大正11年)

3月2日 村尾実英師(東京都月窓院)、駐在就任。

7月28日 井上富山師辞任、帰国。村尾実英師、第3代主任に就任。

### 1923年(大正12年)

2月17日 後藤古仙師(愛知県成道寺)、マウイ満徳寺より駐在に転任。

4月28日 村尾実英師辞任、帰国。後藤古仙師、第4代主任に就任。

### 1924年(大正13年)

5月 太祖瑩山禪師600回大遠忌予修法要厳修。

### 1927年(昭和2年)

1月8日 渋川太嶺師(新潟県東福寺)、別院より駐在に転任。

4月20日 後藤古仙師辞任、米本土へ転出。渋川太嶺師、第5代主任に就任。

### 1929年(昭和4年)

11月 西国33番観音像勧請入仏法要厳修。

### 1932年(昭和7年)

9月17日、18日 庫裡、青年会館竣工。落成式厳修。

**1936年(昭和11年)**

3月3日 裕蔵禪戒師(北海道清輪寺)、別院より駐在に転任。  
 4月12日 渋川太嶺師遷化。  
 4月15日 教団葬執行。

**1937年(昭和12年)**

3月3日 日本より再来布した木下靈牛師(大阪府梅林寺)、主任に就任。  
 4月 裕蔵禪戒師、オーラア日本語学校を創立し校長に就任。  
 8月 ハワイ布教師会議、及び第2回曹洞宗青年代表会議開催。

**1938年(昭和13年)**

5月 裕蔵禪戒師、日本軍慰問のため中国を訪問。

**1941年(昭和16年)**

1月 木下靈牛師辞任、帰国。裕蔵禪戒師、第7代主任に就任。  
 9月 松浦玉英師(山形県宝林寺)、カウアイ禪宗寺より駐在に転任。オーラア日本語学校校長就任。  
 11月 納骨堂新築。  
 12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。  
 (裕蔵禪戒師、松浦玉英師、米本土ニューメキシコ州サンタフェ収容所に逮捕抑留。)

**1945年(昭和20年)**

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

**1946年(昭和21年)**

2月 松浦玉英師辞任。コナ大福寺へ転出。  
 ハワイ島ヒロ市に大津波襲来。

**1947年(昭和22年)**

5月10日 創立30周年慶讃法要厳修(戦後、ハワイでの曹洞宗最初の合同行事であった)。  
 5月12日 開教師懇談会を開催。

**1949年(昭和24年)**

6月29日 日英両語の讃仏歌集 "The Buddhist Services and Gathas"をハワイ曹洞宗協会編で発行。ヒロで印刷、出版。  
 10月 曹洞宗留学生上野暉讃師(山形県泉藏寺)、裕蔵禪戒師の呼び寄せで来布。

**1950年(昭和25年)**

4月 ヒロ大正寺訪日参拝団(裕蔵禪戒団長)ハワイ出発。

**1952年(昭和27年)**

8月19日~23日 第5回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第7回YBA大会を開催。

**1953年(昭和28年)**

6月13日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。

**1955年(昭和30年)**

1月 ヒロ大正寺の英語名を Hilo Taishoji Soto Mission とする。  
 2月20日 上野暉讃師、ロサンゼルス加州大学を卒業し帰布。駐在となる。  
 12月 曹洞宗管長高階瓈仙禪師、隨行員

佐瀬淳光師と共に南米巡錫の帰途、ヒロ大正寺で親化。

#### 1956年(昭和31年)

1月 裕藏禪戒師、約1年の南米布教より帰任。教団総会の議決により、大正寺開教師月給制度始まる。

2月 上野暉讃師辞任、米本土へ転出。

#### 1957年(昭和32年)

6月29日 上野暉讃師、米本土より帰任。

7月9日 裕藏禪戒師辞任、帰国。上野暉讃師、第8代主任に就任。

#### 1962年(昭和37年)

6月22日～24日 第15回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第17回YBA大会を開催。

8月31日 上野暉讃師辞任、米本土に転出。

#### 1963年(昭和38年)

2月14日 中島貫道師(愛知県常福寺)、第9代主任に就任。

#### 1964年(昭和39年)

1月25日 本堂脇に観音堂を増築。

#### 1967年(昭和42年)

8月31日 中島貫道師辞任、米本土へ転出。

#### 1968年(昭和43年)

6月13日 青木俊亭師(群馬県岩松寺)、第10代主任に就任。

#### 1969年(昭和44年)

5月22日～24日 第4回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

10月 開創50周年慶讃法要厳修。

#### 1970年(昭和45年)

6月12日～14日 第23回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第25回YBA大会を開催。

同時に、開教師懇談会開催。

#### 1972年(昭和47年)

10月7日 青木俊亭師、結制修行。

#### 1976年(昭和51年)

6月11日～13日 第29回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第31回YBA大会を開催。

#### 1979年(昭和54年)

4月15日 大本山永平寺副貫首丹羽廉芳師を迎えて、創立60周年記念法要厳修。

#### 1980年(昭和55年)

3月23日 婦人会創立40周年記念法要厳修。

5月23日～25日 第15回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ヒロ大正寺とヒログランドホテルにて開催。

#### 1984年(昭和59年)

6月 第37回ハワイ曹洞宗協会代議員会開催。

#### 1986年(昭和61年)

2月6日～9日 別院で修行の授戒会(戒師:大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師)に、

ヒロから戒弟20名参加。法要を英語で進行。

#### 1987年(昭和62年)

3月29日 青木俊亨師辞任、帰国。森田宏悦師(群馬県宝珠寺)が代務者として大正寺に駐在。

#### 1988年(昭和63年)

6月 加藤孝正師(静岡県永明寺)、第11代主任に就任。

#### 1989年(平成元年)

4月21日～23日 第24回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ヒロ大正寺及びハワイナニコアホテルにて開催。

10月21日、22日 創立70周年記念法要厳修。

#### 1990年(平成2年)

3月18日 婦人会創立50周年記念法要厳修。

#### 1991年(平成3年)

10月21日～26日 宗務庁企画の海外開教師研修懇談会に、加藤孝正師が出席。

#### 1992年(平成4年)

1月19日 大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師巡錫、授戒会修行。

10月31日、11月1日 第45回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会を開催。

#### 1994年(平成6年)

3月15日 加藤孝正師辞任、帰国。

4月17日 吉田宏得師(静岡県萬松院)、第12代主任に就任。

9月 創立75周年記念法要厳修。

#### 1995年(平成7年)

3月19日 婦人会創立55周年記念法要厳修。

#### 1997年(平成9年)

4月12日、13日 第32回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を、ヒロ大正寺及びナニコアホテルにて開催。

#### 1998年(平成10年)

10月17日 第51回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、ヒロ大正寺及びヒロハワイアンホテルにて開催。

10月18日 創立80周年記念法要と祝賀行事挙行。

#### 1999年(平成11年)

6月15日 吉田宏得師辞任、ハワイ総監部に転出。

7月16日 秋田新隆師(静岡県法幢寺)、再来布。第13代主任に就任。

#### 2000年(平成12年)

3月19日 婦人会創立60周年記念法要厳修。町田総監が導師を勤める。

#### 2005年(平成17年)

4月23日、24日 第40回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

2006年(平成18年)

3月5日 創立90周年記念慶讚法要厳修。



2009年(平成21年)

2月28日 秋田新隆師辞任。

12月1日 ラング明心師(宮城県峰仙寺)、  
第14代主任に就任。

2013年(平成25年)

4月20日 第48回ハワイ曹洞宗連合婦人  
会大会開催。

1918年のヒロ大正寺本堂



日系寺院ならではの  
Bon Dance 風景



連合婦人会 Donation Drive  
の1コマ



各寺院の名産品が楽しみな  
Donation Drive



ハワイ開教100周年記念行事  
2003年(平成15年)10月



Guzeiji, Soto Mission

## モロカイ弘誓寺



Address : P.O. Box 366 Kaunakakai  
Molokai HI 96748 U.S.A.  
TEL : 1-808-553-5179  
FAX : 1-808-553-5179



### ◆寺院の歴史

1927年創立

### ◆御開山と歴代住職

開 山 中山宝瑞 (Nakayama Hozui)  
第2世 大内素俊 (Ouchi Soshun)  
第3世 西沢宏山 (Nishizawa Kozan)  
第4世 森田宏悦 (Morita Koetsu)  
第5世 萩久保正潤 (Ogikubo Shojun)  
第6世 駒形宗彦 (Komagata Shugen)

### ◆現住職

駒形宗彦 (Komagata Shugen)

### ◆法務担当者

不在

## 沿革史

**1926年(大正15年)**

10月20日 中山宝瑞師(新潟県潮山寺)、別院よりモロカイ島に派遣され、布教所設立の準備を開始。

**1927年(昭和2年)**

11月14日 中山宝瑞師、モロカイ島カウナカカイに布教所を起工。

**1928年(昭和3年)**

4月25日 本堂建立入仏式を厳修。「鹿苑山弘誓寺」の寺号下付される。

6月27日 ハワイ県政府より法人として認可される。

9月 中山宝瑞師がコナ大福寺主任へ転出。

9月6日 大内素俊師(新潟県香積寺)、第2代主任に就任。

**1930年(昭和5年)**

2月 大内素俊師、北米出張途次の河合真英師の各島視察に随行。

**1935年(昭和10年)**

6月21日 大内素俊師辞任。朝鮮禪宗寺へ転出。

11月1日 西沢宏山師(東京都宗參寺)、別院より第3代主任に転任。

**1941年(昭和16年)**

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。

(西沢宏山師、米本土ニューメキシコ州サ

ンタフェ收容所に逮捕抑留。)

**1945年(昭和20年)**

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

**1951年(昭和26年)**

8月 西沢宏山師、カウアイ禪宗寺主任に転任。

9月9日 森田宏悦師(群馬県宝珠寺)、ワイアホレ洞門寺より第4代主任に転任。

**1953年(昭和28年)**

5月28日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。

**1983年(昭和58年)**

5月29日 開創55年記念、本堂再建入仏法要厳修。

**1985年(昭和60年)**

8月 森田宏悦師辞任。ホノルル市内に居住。

**1986年(昭和61年)**

3月7日 萩久保正潤師(山梨県広禪院)、別院より第5代主任に転任。

**1988年(昭和63年)**

萩久保正潤師辞任、帰国。

**1989年(平成元年)**

1月15日 町田時保師(埼玉県広見寺)による第3日曜日出張始まる。

**1990年(平成2年)**

10月6日、7日 第43回ハワイ曹洞宗協

会秋季代議員会を、マウイに代わり別院ホストでモロカイ島、カルアコイリゾート、弘誓寺にて開催。

#### 1996年(平成8年)

3月30日、31日 開教師、寺族研修会開催。

3月30日 保管していた観音像(山本瑞雲作)を別院に保管。

#### 1997年(平成9年)

7月28日 森田宏悦師、ワイキキの自宅にて遷化。

8月16日 葬儀執行。

8月17日 追悼会厳修。

#### 1998年(平成10年)

1月1日 ワヒアワ龍仙寺主任・駒形宗彦師(埼玉県真福寺)、第6代主任に就任(ワヒアワ龍仙寺と兼任)。



1928年の弘誓寺本堂



第8回 曹洞宗ハワイ・北米信徒大会  
2012年(平成24年)3月10日、11日

#### 【ハワイ地区 参考文献】

『曹洞宗ハワイ開教七十五年史』1978年 曹洞宗ハワイ協会

『HISTORY OF THE SOTO SECT IN HAWAII』2002年 Hawaii Soto Mission Bishop's Office

『The Origin and Progress of the Soto Sect's Missionary Efforts』2002年 ハワイ開教総監部

『The Kona Coffee Story, Along the Hawaii Bel Road』1995年 Japanese American National Museum

『Daifukuji Fujinkai 75th Anniversary Booklet』1990年 Daifukuji Fujinkai



Doumonji, Soto Mission

# ワイアホレ洞門寺

## 沿革史

### 1928年(昭和3年)

8月 藤沢秀南師(宮城県陽山寺)、ワイパフ大陽寺辞任後、ワイアホレ布教所開設の準備を始める。

### 1930年(昭和5年)

9月 日本語学校開設とともに布教所を開き、「臨海山洞門寺」と称した。

### 1940年(昭和15年)

藤沢秀南師、別院に転出。  
8月 森田宏悦師(群馬県宝珠寺)、別院より第2代主任に就任。

### 1941年(昭和16年)

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。森田宏悦師は大陸に抑留。寺の建物は駐屯米軍に使用され、仏具什器は四散。

### 1945年(昭和20年)

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。  
12月 森田宏悦師帰任。

### 1951年(昭和26年)

9月9日 森田宏悦師、モロカイ弘誓寺へ転出。

### 1952年(昭和27年)

11月 町田時保師(埼玉県東昌院)、第3代主任に就任。

### 1953年(昭和28年)

5月21日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。

### 1955年(昭和30年)

6月 生徒数の減少により、日本語学校閉校。  
8月 町田時保師、別院へ転出。  
廃寺となる。



ワイアホレ洞門寺



Sotoji, Soto Mission

# エワ曹洞寺

## 沿革史

### 1949年(昭和24年)

10月23日 エワ観音講では、戦前より大陽寺の開教師らにより布教活動が成されていたが、当時のワイパフ大陽寺主任大川玄道師(東京都永心寺)と会員らの努力により、曹洞寺として本堂落慶法要が厳修された。

### 1951年(昭和26年)

第4回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第6回YBA大会開催。  
9月25日 大川玄道師辞任、帰国。小沢義淨師(山梨県大聖寺)、大陽寺と兼務の住職となる。

### 1953年(昭和28年)

7月4日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。

### 1957年(昭和32年)

観音像開眼式厳修。

### 1959年(昭和34年)

8月 第12回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第14回YBA大会開催。本堂建立10周年記念法要厳修。

### 1965年(昭和40年)

11月 会館落成祝賀式挙行。

### 1967年(昭和42年)

8月 第20回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第22回YBA大会開催。

### 1974年(昭和49年)

6月 小沢義淨師辞任。大山陽堂師(千葉県長安寺)、大陽寺と兼務の住職となる。

### 1989年(平成元年)

11月26日 大山陽堂師辞任、帰国。

### 1993年(平成5年)

9月12日 修理工事完了。祝賀法要厳修。

### 2001年(平成13年)

6月9日 廃寺となり、大陽寺と合併。



エワ曹洞寺

# 北アメリカ地区

North America



## 北米の布教 概説

北米管内には24(H25.12.31現在)カ寺が特別寺院として宗務庁に登録されているが、実際禪センターの数は数百に上る。大きく分類すると、日系寺院と禪センターとに分けられる。ここでは特に日系寺院についての概説とする。

1915年(大正4年)サンフランシスコで、パナマ大博覧会が開催された時の世界仏教徒大会に、曹洞宗管長日置黙仙禪師が臨席され、その大会の正使としてウイルソン大統領と会見された。帰国の際、ハワイに立ち寄り、既に1913年よりホノルルにてハワイ開教に専念していた磯部峰仙禪師に米本土への伝道を要請された。また、1921年にハワイ曹洞宗別院入仏慶讃法要、授戒会を親修された曹洞宗管長新井石禪禪師は、日本佛教各宗代表として米本土に渡り、ハービング大統領に会見し観音像一幅を贈呈された。帰途、ロサンゼルス市に立ち寄り、長崎豊吉氏に接待を受けられた。長崎八重夫人が広島県薬師寺住職の令妹であった縁もあり、これが磯部禪師の米本土開教の糸口となった。1922年、磯部峰仙禪師は後任に駒形善教師を推薦し、ロサンゼルス市に入り、7月15日に長崎豊吉氏宅の2階を借りて禪宗寺仮教会の標札を掲げた。これが米本土開教の第一歩である。そして、1926年には、現在の地にレンガ作り洋風の禪宗寺を竣工した。大導師に管長代理として松浦百英老師を拝請して盛大な慶讃法要が厳修された。1969年には、新本堂建築工事が竣工され、1972年には、創立50周年別院昇格35周年慶讃報恩大法要、そして、2012年には、創立90周年法要が厳修された。

1934年には、磯部峰仙禪師を初代主任に、サンフランシスコ市日本人街にあるユダヤ教教会を購入し、桑港寺開堂式が厳修された。1969年には、現在の禪センターの礎を作った第6世鈴木俊隆老師が、桑港寺を辞任し、サンフランシスコ禪センターを設立する。その後、本堂移転計画が上がり、1972年、ラグーナ街とサター街角地の買収契約がなされ、本格的に本堂移転計画が進められ、1984年には、大本山永平寺副貫首・丹羽廉芳老師導師のもと落慶法要が厳修された。

1955年、曹洞宗管長 高階瓈仙禪師がモントレーに立ち寄った事がきっかけで、1962年、モントレー禪宗寺が開創され、初代主任としてハワイ大正寺より上野暉讃師が着任した。また、ロサンゼルス禪宗寺の駐在開教師であった長田康哉師は、日曜学校の開設と超宗派の佛教寺院開設を目指し、1957年ロングビーチ市にロングビーチ仏教会として法人許可を取得し、教化活動を開始する。同じく倉井秀雄師は1971年に、法人許可を取得し、曹禪寺を設立。1977年にモンテベロ市に寺院を改築し、翌年、曹洞宗管長 乙川瑾映禪師を導師に落慶法要を厳修した。

日系寺院の果たす役割は、日本の寺院と似ており、葬儀、法事をはじめ日本文化を紹介する活動や同胞コミュニティの中心として宗教的価値観を長年の間守ってきた事と言つていいだろう。日系人がいる限り、日系寺院の存在価値があり、精神的バックボーンとしてこれからも機能を果たしていく事であろう。

埼玉県 長光寺住職

元両大本山北アメリカ別院禪宗寺駐在開教師

S Z I 相談役

福島 伸悦 記



Zenshuji Soto Mission

# 両大本山北米別院 禅宗寺



Address : 123 South Hewitt Street,  
Los Angeles, CA 90012 U.S.A.  
TEL : 1-213-624-8658  
FAX : 1-213-624-8650  
E-mail : info@zenshuji.org  
URL : <http://www.zenshuji.org>



## ◆寺院の歴史

1922年創立

## ◆御開山と歴代住職

勧請開山

大本山永平寺67世 北野元峰禪師 (Kitano Genpo)

大本山總持寺5世 新井石禪禪師 (Arai Sekizen)

第1世 磯部峰仙 (Isobe Hosen)

第2世 上島泰岳 (Ueshima Taigaku)

第3世 祥雲晚成 (Sagumo Banjo)

第4世 越智道順 (Ochi Dojun)

第5世 鈴木大等 (Suzuki Daito)

第6世 山田靈林 (Yamada Reirin)

第7世 驚見透玄 (Sumi Togen)

第8世 北村大榮 (Kitamura Daiei)

第9世 山下顯光 (Yamashita Kenko)

第10世 秋葉玄吾 (Akiba Gengo)

第11世 ルメー大岳 (Rumme Daigaku)

## ◆現住職

ルメー大岳 (Rumme Daigaku)

## ◆所属僧侶

加藤和光 (Kato Wako)

小島秀明 (Kojima Shumyo)

桑原弘之 (Kuwahara Koshi)

東方大樹 (Toho Daiki)

## ◆過去の所属僧侶

秋山洞禪 (Akiyama Tozen)  
 荒木哲宗 (Araki Tesshu)  
 福島伸悦 (Fukushima Shinetsu)  
 古溪理哉 (Furutani Risai)  
 後藤古仙 (Goto Kosen)  
 林 正徳 (Hayashi Shotoku)  
 林 哲雄 (Hayashi Tetsuyu)  
 池田文済 (Ikeda Bunen)  
 池谷秀光 (Iketani Shuko)  
 井上弘忍 (Inoue Konin)  
 城 敬宝 (Jo Keiho)  
 金井秀元 (Kanai Shugen)  
 片桐大忍 (Katagiri Dainin)  
 加藤禪柱 (Kato Zenchu)  
 小梶真栄 (Kokaji Shinei)  
 倉井秀雄 (Kurai Shuyu)  
 黒岩義孝 (Kuroiwa Giko)  
 黒柳博仁 (Kuroyanagi Hakujin)  
 桑原弘之 (Kuwahara Koshi)  
 ラング明心 (Lang Myoshin)

前角博雄 (Maezumi Hakuyu)  
 松永然道 (Matsunaga Zendo)  
 松岡季雄 (Matsuoka Kiyu)  
 松岡操雄 (Matsuoka Soyu)  
 南 篤州 (Minami Tokushu)  
 村野孝顕 (Murano Koken)  
 永井成典 (Nagai Joten)  
 内藤竹路 (Naito Chikui)  
 中村宗一 (Nakamura Shuichi)  
 大場満洋 (Oba Manyo)  
 沖 道淳 (Oki Dojun)  
 長田康哉 (Osada Kosai)  
 斎藤龍童 (Saito Ryudo)  
 佐藤博道 (Sato Hakudo)  
 佐藤憲一 (Sato Kenichi)  
 佐山光巍 (Sayama Kogi)  
 立花孝全 (Tachibana Kozen)  
 立花隆幸 (Tachibana Ryuko)  
 高橋直文 (Takahashi Jikibun)  
 上野暉讚 (Ueno Kisan)  
 横尾太寿 (Yokoo Taiju)

## ◆行事・活動

坐禪、写経、御詠歌、茶道、和太鼓、寺子屋、エアロビクス、日本語教室、民謡教室、仏教講座、日曜礼拝、祥月法要、摂心

## 沿革史

## 1922年(大正11年)

7月15日 磯部峰仙師(山口県華嚴寺)、長崎豊吉氏宅(334 E. 2nd St. Los Angeles)2階に禅宗寺仮教会の標札を掲げる。  
 11月 曹洞宗北米仏教会の名称で披露法要厳修。婦人会結成。

## 1923年(大正12年)

現在の禅宗寺敷地(123 S. Hewitt St. Los Angeles)を金6,500ドルで購入。

## 1925年(大正14年)

本堂建立資金勧募開始。

## 1926年(大正15年)

洋風建築の禅宗寺が竣工。入仏開堂式の大導師に管長代理として松浦百英師を拝請し、慶讃法要厳修。  
 2月9日 林哲雄師(山口県西宗寺)、駐在就任。

## 1927年(昭和2年)

8月 Zenshuji Soto Missionとして法人組織登録完了。  
 9月 林哲雄師辞任、帰国。  
 加藤禪柱師(新潟県淵龍寺)、後藤古仙師

(愛知県成道寺)、黒岩義孝師(千葉県宝昌院)、駐在就任。

#### 1929年(昭和4年)

佐藤憲一師(三重県極楽寺)、池田文測師(静岡県光泰寺)、村野孝顯師(秋田県常光院)、内藤竹路師(僧籍地不明)、鈴木大等師(長野県藏沢寺)駐在就任。

#### 1930年(昭和5年)

中村宗一師(愛知県昌光寺)、駐在就任。

#### 1931年(昭和6年)

サンペドロ布教場、リバーサイド日曜学校、ドミングスヒル日本語学園を開設。

#### 1932年(昭和7年)

井上弘忍師(広島県薬師寺)、林正徳師(僧籍地不明)、駐在就任。

#### 1933年(昭和8年)

磯部峰仙師辞任。

上島泰岳師(山形県禅会寺)、駐在就任。

#### 1934年(昭和9年)

10月 黒岩義孝師辞任。上島泰岳師、第2代主任に就任。

#### 1935年(昭和10年)

9月21日 高橋直文師(僧籍地不明)、駐在就任。

#### 1936年(昭和11年)

上島泰岳師、辞任。

金井秀元師(新潟県龍門寺)、駐在就任。

#### 1937年(昭和12年)

9月 祥雲晚成師(新潟県耕雲寺)、第3代主任に就任。

12月1日 曹洞宗両大本山羅府別院に昇格、併せて北米布教総監部が置かれ、祥雲晚成師、初代布教総監に就任。

#### 1938年(昭和13年)

5月15日 山下顯光師(岐阜県大竜寺)、駐在就任。

北サンペドロ街に禪宗寺剣道場を開設。

#### 1939年(昭和14年)

立花隆幸師(東京都松門寺)、ハワイ別院より転任。

#### 1940年(昭和15年)

2月9日 松岡操雄師(山口県天淨寺)、駐在就任。

10月9日 祥雲晚成総監、辞任。

11月1日 越智道順師(愛媛県龍隱寺)、駐在就任。

#### 1941年(昭和16年)

越智道順師、第4代主任並びに第2代布教総監に就任。

鈴木大等師、サンフランシスコ桑港寺との兼務となる。

12月7日(現地時間) 日米開戦。布教活動中止。

#### 1945年(昭和20年)

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

**1948年(昭和23年)**

越智道順総監、辞任。  
鈴木大等師(長野県藏沢寺)、駐在再任。

**1959年(昭和34年)**

7月24日 鈴木大等師遷化。  
11月4日 鳥羽瀬保道総監、辞任。

**1950年(昭和25年)**

長田康哉師(宮崎県台雲寺)、駐在就任。

**1960年(昭和35年)**

7月 山田靈林師(岐阜県保寿寺)、第6代主任並びに第5代開教総監に就任。

**1951年(昭和26年)**

10月18日 倉井秀雄師(三重県金剛寺)、  
加藤和光師(奈良県補巖寺)、駐在就任。

**1963年(昭和38年)**

曹洞宗管長高階瓊仙禪師、法脈会を修  
行。

**1953年(昭和28年)**

曹洞宗管長高階瓊仙禪師北米巡錫。鈴木  
大等師、第5代主任並びに第3代開教総  
監に就任。

7月 片桐大忍師(福井県泰藏院)、桑原  
弘之師(静岡県光泰寺)、沖道淳尼(京都府  
安泰寺)、南篤州師(茨城県大雄院)、駐在  
就任。

鷺見透玄師(愛知県泰増寺)、駐在就任。

**1954年(昭和29年)**

鈴木大等総監、辞任。  
桑港寺主任鳥羽瀬保道師(熊本県国照寺)、  
第4代開教総監に就任。

**1964年(昭和39年)**

新本堂建立資金勧募開始。第1回禪仏教  
徒大会をモントレー禪宗寺にて開催。

10月20日 山田靈林総監、辞任。

**1955年(昭和30年)**

曹洞宗管長高階瓊仙禪師、宗務総長佐々  
木泰翁師一行巡錫。  
松岡季雄師(山口県天淨寺)、駐在就任。

**1965年(昭和40年)**

曹洞宗管長高階瓊仙禪師、宗務総長金剛  
秀一師、南米巡錫の途次来羅。鷺見透玄  
師、第7代主任並びに第6代開教総監に  
就任。

**1956年(昭和31年)**

佐山光巍師(群馬県龍昌寺)、前角博雄師  
(東京都桐ヶ谷寺)、横尾太寿師(新潟県高  
安寺)、駐在就任。

**1966年(昭和41年)**

第2回禪仏教徒大会を禪宗寺にて開催。

**1957年(昭和32年)**

8月 山下顯光師、駐在再任。

**1969年(昭和44年)**

新本堂建築工事竣工。第5回禪仏教徒大  
会開催。

2月20日 鷺見透玄総監辞任、帰国。

**1970年(昭和45年)**

- 9月25日 沖道淳尼、倉井秀雄師、辞任帰国。
- 10月9日 斎藤龍童師(島根県竜昌寺)、駐在就任。
- 10月13日 小梶真栄師(福井県正明寺)、駐在就任。
- 12月 北村大栄師(山梨県善応寺)、第8代主任並びに第7代開教総監に就任。
- 12月25日 松永然道師(静岡県宗徳院)、カウアイ禅宗寺より転任。

**1971年(昭和46年)**

- 大本山永平寺東京別院監院丹羽廉芳師、梅花流詠讚歌布教師として来羅。
- 1月12日 荒木哲宗師(和歌山県全竜寺)、駐在就任。
- 12月3日 北村大栄総監辞任、帰国。

**1972年(昭和47年)**

- 1月8日 山下顯光師、第9代主任並びに第8代開教総監に就任。創立50周年別院昇格35周年慶讃報恩大法要を厳修。

**1973年(昭和48年)**

- 1月31日 小梶真栄師辞任、帰国。
- 4月 創立50周年記念誌上梓。
- 6月 禅宗寺開基長崎豊吉翁(91歳)逝去。
- 11月30日 永井成典師(愛知県宝珠寺)、駐在就任。

**1974年(昭和49年)**

- 8月 第16回カリフォルニアJr. YBA大会が禅宗寺Jr. YBAの主催でサンディエゴ・マスター・ホスト・インにて開催。

北米曹洞宗開教師会議開催。片桐大忍師、知野弘文師、前角博雄師の布教実態が報告される。

**1975年(昭和50年)**

- 4月 花祭り法要の際、藤井重利夫妻寄進の仏天蓋除幕式が行われる。
- 7月15日 立花孝全師(福島県昌源寺)、駐在就任。
- 9月 禅宗寺茶室完成。裏千家参事松本宗靜先生を講師に茶道教室開設。
- 10月 山下顯光総監、佐藤泰瞬禪師本葬、山田靈林禪師晋山式参列。

**1976年(昭和51年)**

- 5月 寺債完済祝賀会。
- 7月 ハワイ禅仏教婦人会一行135名来寺。
- 9月24日 永井成典師辞任、帰国。
- 10月 山下顯光総監、大本山永平寺新貫首秦慧玉禪師晋山式参列。

**1977年(昭和52年)**

- 3月 教団理事長に沢田九一氏、婦人会会長に山口明里氏就任。
- 3月3日 大場満洋師(山形県長雲寺)、駐在就任。

**1978年(昭和53年)**

- 4月 山下顯光総監、大本山總持寺貫首乙川瑾映禪師晋山式に参列。
- 10月25日 松永然道師辞任、帰国。
- 11月 柴綾子氏、本堂幢幡一对寄贈。両祖尊像金襯完成。

**1979年(昭和54年)**

11月 大本山永平寺貫首山田靈林禪師本葬に山下顯光総監参列。  
 2月5日 秋山洞禪師(新潟県興源寺)、駐在就任。  
 曹洞宗教化研修所より海外研修生福島伸悦師、半年間研修。

**1980年(昭和55年)**

1月 婦人会長に松本雪子氏就任。  
 7月1日 福島伸悦師(埼玉県興徳寺)、駐在就任。  
 3月31日 大場満洋師辞任。

**1981年(昭和56年)**

1月 教団理事長に氏家章氏、婦人会長に松本雪子氏就任。小山みつる氏靈牌堂額(秦禪師筆)寄贈。中広寿男氏天蓋寄贈。  
 5月 「禅と茶の湯」講座開催。講師: 山下顯光総監、松本宗静氏。

**1982年(昭和57年)**

2月 節分豆まき開催。高崎ダルマを入手し、禪宗寺ダルマ市を開催。  
 6月 Jr. YBA ハワイ親睦旅行実施(ホノルル別院、マウイ満徳寺Jr. YBAと交歓会)。  
 9月 氏家章氏本尊脇柱の金欄和幡一対、紺色のどんす本絹房の戸帖寄贈。  
 松本実氏絹糸編金欄御翠簾寄贈。  
 10月隣接駐車場購入。2ロット12,000平方、総額384,000ドル。西本願寺前の駐車場は193,600ドルで売却。

**1983年(昭和58年)**

8月 駒澤大学・愛知学院大学の、ロサンゼルス州立大学夏季英語研修生来寺。駒澤大学とロサンゼルス州立大学が姉妹校になる。  
 9月29日 城敬宝師(大分県仏光寺)、駐在就任。

**1984年(昭和59年)**

4月 桑港寺落慶法要参拝団出発。山下顯光総監、秋山洞禪師、福島伸悦師他30名余参列。  
 9月 禅アート展開催。

**1985年(昭和60年)**

1月 教団理事長に松本実氏、婦人会長に長谷川良子氏就任。  
 4月 山下顯光総監、大本山永平寺貫首秦慧玉禪師本葬儀、新貫首丹羽廉芳禪師晋山式に参列。  
 山下顯光総監、勲五等瑞宝章受章。  
 6月 ハワイ官約百年日米佛教徒大会、並びに曹洞宗海外開教総監会議に山下顯光総監、福島伸悦師参列。  
 11月 階下ホール拡張工事。  
 12月 本堂内陣大修理。

**1986年(昭和61年)**

2月 大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師を戒師として3日間にわたり授戒会修行。戒弟130名。戒師: 丹羽廉芳禪師、教授師: 山田康夫師、引請師: 山下顯光師、説戒師: 池田好雄師、直壇長: 武田秀嗣師。  
 6月 日曜佛教講座開講。講師: 山下顯光総監。

10月 梅花流講習会を特別梅花講師北野良昭師を迎えて3日間にわたり開催。

#### 1987年(昭和62年)

1月 禅仏教英語講座シリーズ始まる。講師：海野鉄雄師。

ブラジル・南米別院にて厳修の南米開教総監新宮良範師本葬に山下顕光総監、福島伸悦師出席。

3月 第2回禅仏教英語講座開催。講師：片桐大忍師。

5月 第3回禅仏教英語講座開催。講師：秋山洞禪師。

曹洞宗教化研修所海外研修生黒柳博仁師、半年間の研修。

6月 曹洞宗教化研修所主事中野東禪師「ホスピス」研究の為来寺。教養文化講座「観音経のこころ」「般若心経」を行う。

10月 第4回禅仏教英語講座開催。講師：ウイリアム・ラフルア師。

11月 梅花流講習会、講師：北野良昭師。禅宗寺創立65周年、別院昇格50周年法要厳修。大導師：楢山大典師。記念事業として坐禅堂、観音像、納骨堂建立。日本より100数名の参加。

#### 1988年(昭和63年)

3月5日 第5回禅仏教英語講座開催。講師：ブルーチョー教授。

5月9日 黒柳博仁師(長野県天周院)、北米開教総監部書記に就任。

秋山洞禪師、ミルウォーキー禅センターへ転出。

8月6日 Jr. YBA会議、禅宗寺ホストで開催。

10月1日 第6回禅仏教英語講座開催。講師：前角博雄師。

10月9日 第1回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会、ロサンゼルスにて開催。

10月14日～18日 山下顕光総監、ニューヨーク国連本部にて講演。

#### 1989年(平成元年)

1月28日 第7回禅仏教英語講座開催。講師：加藤和光師。

1月29日 仏教日本語講座開催。講師：加藤和光師。

2月26日、27日 北米開教師会議開催。

3月25日 第8回禅仏教英語講座開催。講師：ウェップ教授。

5月11日～17日 禅太鼓ワークショップ開催。

7月22日 第9回禅英語仏教講座開催。講師：秋山洞禪師。

8月5日 Jr. YBA 大会、ディズニーランドにて開催。

10月7日、8日 ハワイにて開催の、第2回曹洞宗ハワイ・北米信徒大会に参加。

11月20日～25日 北米開教師会議開催。

#### 1990年(平成2年)

1月28日 理事長氏家章氏、婦人会長田中敏子氏が就任。

3月27日、28日 曹洞宗北米・ハワイ開教師会議を開催。

4月30日 城敬宝師辞任、帰国。

5月13日 山下顕光総監の「般若心経」特別講話始まる。

6月30日 福島伸悦師辞任、帰国。

**1991年(平成3年)**

1月27日 定款改正案承認。理事数を80名から15名に改定。理事長職として副会長川名ハリー、松本ヘンリー、武良秀雄氏の3師就任。

3月 松本実氏「修証義」公布百周年記念行事実行委員長に選出。

3月6日 禅太鼓創立5周年記念パフォーマンスを日米劇場で行う。

6月10日 「六地蔵」購入。

10月20日 子どもの為の禅学校を開始。

11月21日、22日 山下顯光総監、国連に於いて「禅と平和」と題し講演。

**1992年(平成4年)**

1月26日 理事長川名ハリー氏、婦人会長氏家繁子氏が就任。

3月22日 特別功労者として、世木弘子、新井京子、田中敏子の3氏を表彰。

4月6日 山下静枝総監夫人、逝去。

4月 曹洞宗教化研修所より田中俊光師、半年間の研修。

7月5日 大本山永平寺より長谷川俊道師、半年間の研修。

9月27日 禅宗寺創立70周年記念行事開催。

駒澤大学教授田上太秀師の講演「神は無くとも救われる、仏教とは何か」、ホテルニューオータニにて開催。

10月9日 創立70周年記念祝賀晩餐会、ホテルニューオータニにて開催。

10月10日 創立70周年慶讃法要厳修。宗務総長大竹明彦師、ハワイ開教総監松浦玉英師など、30余名隨喜。また、開山歴住諷經、修証義百周年記念法要、おも

いやり地蔵尊の開眼法要も厳修。

10月11日 「禅を聞く会」(JACC劇場)、金沢市大乗寺住職板橋興宗師による講演開催。通訳：ベナージュ大圓師。

**1993年(平成5年)**

1月10日 曹洞宗教化研修所海外研修生小島秀明師、半年間の研修。

1月24日 理事長井上慎二氏、婦人会長氏家繁子氏が就任。

4月1日 黒柳博仁師、北米総監部より駐在に転任。

5月16日 思いやり地蔵尊縁日開催。

7月12日 曹洞宗教化研修所海外研修生新堂敏幸師、半年間の研修。

9月2日 写仏・写経の会発足。

9月10日～12日 第2回北米開教師協議会、並びに寺族会会議開催。

11月29日 大本山永平寺77世丹羽廉芳禪師本葬、並びに宮崎奕保禪師晋山式に山下顯光総監参列。

**1994年(平成6年)**

1月23日 理事長井上慎二氏、婦人会長長峰久子氏が就任。

2月26日、27日 北米開教師会議開催。

4月1日 古溪理哉師(群馬県雲門寺)、駐在就任。

9月9日～11日 第3回北米開教師協議会、並びに寺族会会議開催。

10月8日、9日 桑港寺創立60周年記念法要に禅宗寺御詠歌と禅太鼓が参加。

10月10日 「禅をきく会」開催。演題：「今ここを生きる」、講師：辻淳彦師。

10月15日、16日 在家得度式厳修。得度

者12名。

### 1995年(平成7年)

- 1月13日 小島秀明師(佐賀県本光寺)、駐在就任。
- 1月15日 婦人会総会、会長長峰久子氏留任。
- 1月19日 阪神大震災追悼法要厳修。当日の義援金1,868ドルを曹洞宗阪神大震災災害対策本部を通じて送る。
- 2月5日 教団総会開催。理事長に井上慎二氏を再任。本堂の屋根の修理を決定し、会員へ屋根瓦の志納を請う。
- 2月11日 第4回北米開教師協議会、並びに寺族会会議開催。
- 5月14日 禅センター オブ ロサンゼルス主任開教師前角博雄師遷化。8月27日本葬。秉炬師：鈴木格禪師、鎖龕師：秋葉玄吾師。
- 8月1日 黒柳博仁師辞任、帰国。
- 9月7日 南米別院佛心寺本堂落慶奉参団を結成し参加。
- 10月5日～9日 ハワイで開催の第4回曹洞宗ハワイ・北米信徒大会に参加。

### 1996年(平成8年)

- 1月 山下顯光総監日本での総監会議に出席。
- 2月4日 教団総会開催。理事長に武良勉氏就任。
- 2月18日 婦人会総会において、松本照子氏会長に就任。
- 3月17日 本堂屋根瓦志納目標を達成。
- 4月27日 禅太鼓創立10周年記念公演を日米劇場で開催。

9月22日 初のお焚き上げ供養をハンティントンステートビーチにて厳修。

11月17日 初の七五三法要厳修。禅宗寺創立75周年記念事業として、ハンディキャップランプの設置を予算5万ドルで決議。

### 1997年(平成9年)

- 1月23日 理事長武良勉氏、婦人会会長松本照子氏再任。
- 4月18日、19日 禅宗寺創立並びに北米開教75周年記念行事を開催。日本より大本山總持寺副貫首板橋興宗師、宗務總長大竹明彦師、大本山永平寺監院南澤道人師、大本山總持寺監院江川辰三師をはじめ北アメリカ開教師、伝道師など多数の隨喜を得て厳修。記念晩餐会をホテルニューオータニにて開催。
- 禅を聞く会を日米劇場にて開催。講師：大本山總持寺副貫首板橋興宗師、永六輔氏。
- 4月20日 北アメリカ開教センター開所式厳修。所長に奥村正博師(兵庫県安泰寺)就任。
- 両大本山北米別院禅宗寺開山歴住諷経厳修。北米開教75周年・両大本山北米別院禅宗寺創立75周年慶讃法要厳修。檀信徒総回向万灯供養厳修。「仏種・北アメリカの大地に根付く」記念誌を発刊。
- 秋葉玄吾師(宮城県峰仙寺)、総監部贊事就任。
- 4月 横山泰賢師(広島県禪昌寺)、曹洞宗北アメリカ開教センター書記に就任。
- 5月27日 山下顯光総監、辞任。
- 5月28日 オークランド禪堂・好人庵主

任の秋葉玄吾師、第9代開教総監に就任。  
11月23日 山下顯光師の米寿祝賀会をモントベロで開催。

#### 1998年(平成10年)

1月25日 教団理事長に藤井讓氏、婦人会長に松本照子氏就任。  
2月20日 山下顯光師遷化(世寿88歳)。  
3月1日 山下顯光師の本葬。秉炬師：洞外文隆師、奠茶師：武田秀嗣師、奠湯師：松永然道師。  
3月25日～30日 愛知県第一宗務所徒弟研修会をカリフォルニアにて開催。  
4月 大本山總持寺貫首成田芳髓禪師本葬並びに、板橋興宗禪師晋山式に秋葉総監、横山書記参列。  
5月29日 秋葉玄吾師、禪宗寺の第10代主任に就任。  
7月26日 駒澤大学講師山口晴道師を招き、漢詩についての講演会。  
7月 古溪理哉師辞任、帰国。  
10月 禪宗寺寺子屋発足。

#### 1999年(平成11年)

1月31日 教団理事長に藤井讓氏、婦人会長に武良美代子氏就任。  
3月3日～7日 山下顯光師の1周忌法要厳修。大本山永平寺監院南澤道人師、大本山總持寺監院江川辰三師はじめ、多くの隨喜により厳修。  
7月31日 曹洞宗開教センター、サンフランシスコ桑港寺へ移転。  
8月8日～27日 道元禪師ご生誕800年慶讃事業「典座教訓参究英訳プロジェクト」翻訳研究会を開催(インディアナ州ブルー

ミングトン開教センター主催)。

10月23日、24日 スタンフォード大学にて、高祖道元禪師生誕800年記念シンポジウム開催。

10月25日、26日 道元禪師学会開催。日米の学者・教授が参加。  
12月 桑原弘之師によるコンピュータークラス、日本語クラス発足。

#### 2000年(平成12年)

1月23日 高祖道元禪師ご生誕800年慶讃法会。  
ダルマ会(シニアの会)発足。会長に松本実氏就任。  
1月30日 教団理事長に藤井讓氏、婦人会長に武良美代子氏就任。  
2月 写経会再開。  
3月4日、5日 山下顯光師3回忌嚴修。  
7月21日～23日 総監部主催開教師・伝道教師会議開催(出席者40名)。  
8月13日 「仏教講座」シリーズ始まる。講師：加藤和光師。  
10月27日～29日 第5回曹洞宗北米・ハイウェイ信徒大会を、ラスベガスにて開催(禪宗寺メンバー28名参加)。

#### 2001年(平成13年)

1月28日 教団理事長に三沢拓訓氏、婦人会長に武良美代子氏が就任。  
2月9日～14日 梅花流特派師範講習会開催。講師：曹洞宗梅花流特派師範葛西修哉師。  
5月11日 高祖道元禪師750回大遠忌予修法要特為献湯嚴修。導師：南澤道人大遠忌総監。

歓迎会をホテルニューオータニで開催。

5月12日 インディアナ大学・ジョンマクレー教授の「アメリカにおける曹洞禅の発展」のテーマで講演を開催。高祖道元禅師750回大遠忌予修法要特為献供出班を厳修。導師：大竹明彦宗務総長。

写経会のメンバーによる写経50巻を境内観音像台下に納経。

6月 禅宗寺ホームページ開設。

7月9日～21日 多々良学園語学研修会一行来訪。会場：グリーンガルチファーム蒼龍寺、サンフランシスコ禪センター。

9月8日 禅太鼓15周年記念パフォーマンスをジャバニーズ・アメリカン・ミュージアムにて開催。

9月11日 同時多発テロ事件発生。

9月18日 同時多発テロ事件犠牲者の追悼式厳修。150余名の参拝者があり、そのお布施は「September 11th Fund」へ寄付。

#### 2002年(平成14年)

2月8日 婦人会長に武良美代子氏再任。

2月 禅宗寺茶道部、ソルトレーク冬季オリンピックにてお茶事のデモンストレーションを行う。

2月12日 三沢拓訓氏理事長に再選。

4月6日 写経会の納経法要厳修。

6月1日 「ワンス・アポン・ア・タイム」と題したコンサートを本堂にて開催。ピアノ：丸山ひろみ氏、バイオリン：山家典子氏。

8月25日 乙川弘文師葬儀。会場：慈光寺。秉炬師：秋葉玄吾総監。

9月13日～18日 高祖道元禅師750回大

遠忌国際デーに北アメリカ総監部団参ツアー、禪宗寺参拝団合わせて150名余りが大本山永平寺に拝登。

9月15日 曹洞宗国際交流会開催。会場：大本山永平寺。各国から約250名参加。秋葉総監、道元禅師について講話。

9月16日 高祖道元禅師750回大遠忌厳修。焼香師：秋葉玄吾総監。その他、奥村正博、ベナージュ大圓、アンダーソン全機、ローリー大道各師が北アメリカ代表として勤む。

9月29日 高祖道元禅師750回大遠忌御正當に秋葉玄吾総監出席。

10月15日～17日 秋葉玄吾総監、南原一貴師、大本山總持寺貫首板橋興宗禪師退董式、同大道見仙禪師晋山式に参列。

#### 2003年(平成15年)

10月15日～19日 北アメリカ開教(国際布教)80周年、禪宗寺創立80周年の記念行事が開催され、授戒会を修行。戒師：板橋興宗禪師(大道見仙禪師の御代理として)、教授師：南沢道人師、引請師：野田大燈師、隨行長兼室侍長：江川辰三師、説戒師：丸子孝法師。戒弟94名。

#### 2004年(平成16年)

2月10日 藤井譲氏が教団理事長に就任。

2月15日 涅槃会、山下顯光師の7回忌法要、並びに静枝夫人の13回忌法要を厳修。

#### 2005年(平成17年)

11月6日 茶筅供養に臨濟宗の僧侶で陶芸家の高林玄機師が来寺。

**2006年(平成18年)**

1月14日、15日 日系寺院連絡協議開催。  
 10月5日 南カリフォルニア大学・メディアリージョンクラス学生10人来寺。  
 11月19日 カリフォルニア・ラザランユニバーシティから学生15名来寺。

**2007年(平成19年)**

1月10日 カリフォルニア・スティート・ノースリッジ校宗教科学生13名来寺。  
 1月13日 禅宗寺シンポジウム開催。50名参加。  
 2月13日 カルフォルニア大学ロサンゼルス校宗教文化学教授ドクター・ジェク氏来寺。  
 3月2日 ラング明心師(宮城県峰仙寺)、駐在就任。  
 3月8日 バサデナアートセンター・オブ・カレッジの学生20名来寺。サイアーグの学生15名来寺。  
 5月19日 ピアーズカレッジ学生15人来寺。  
 6月6日～14日 ヨーロッパ国際布教40周年記念行事に32名参加。  
 8月19日 禅宗寺創立85周年慶讃法要厳修。  
 10月20日～22日 第7回曹洞宗北米・ハイウェイ信徒大会をラスベガス・プラザホテルにて開催。101名参加。  
 11月11日 ロングビーチ仏教会創立50周年慶讃法要へ秋葉玄吾総監、小島秀明師参列。

**2008年(平成20年)**

3月14日～16日 唐津焼・鏡山窯井上東也作陶展が南加佐賀県人会主催により禅宗寺日校ホールで開催される。

**2009年(平成21年)**

1月18日 世木弘子理事が禅太鼓の指導育成を認められ、南加日系商工会議所より日系スピリット賞を受賞。  
 4月25日 マンザナ巡礼40周年。小島師出席。ユナイティド・メソジスト教会のメンバー10名訪問。  
 8月11日～15日 禅太鼓ワークショップインストラクターとして元鬼太鼓座メンバー・立石鈴太郎氏が就任。  
 8月15日 本堂の北側と西側の屋根修理。  
 11月13日～22日 南アメリカ国際布教総監部50周年記念慶讃法要に参列。  
 11月30日 ラング明心師辞任。

**2010年(平成22年)**

1月24日 加藤和光師が南加商工会議所より、日系スピリット賞を受賞。  
 3月31日 秋葉玄吾国際布教総監辞任。  
 4月 ルメー大岳師(福井県発心寺)、第11代主任並びに第10代国際布教総監に就任。

**2011年(平成23年)**

4月10日 花祭り法要の代わりに東日本大震災物故者追悼会厳修。  
 9月4日 東方大樹師(愛知県開眼寺)、駐在就任。

2012年(平成24年)

5月27日 梅花流創立60周年記念奉讃大会に禪宗寺梅花講が参加。

9月8日 北アメリカ国際布教90周年並びに禪宗寺創立90周年記念行事開催。



1926年竣工 禪宗寺正面



現在の両大本山北米別院禪宗寺



1973年 両大本山北米別院禪宗寺 50周年・別院昇格35周年慶讃報恩大法要



北アメリカ国際布教並びに両大本山北米別院禪宗寺創立90周年記念慶讃法要

2012年(平成24年)9月9日



Soto Mission of San Francisco, Sokoji

# サンフランシスコ桑港寺



Address : 1691 Laguna Street,  
San Francisco,  
CA 94115 U.S.A.

TEL : 1-415-346-7540  
FAX : 1-415-346-0355  
E-mail : sokoji@sbcglobal.net



## ◆寺院の歴史

1934年創立

## ◆御開山と歴代住職

- 第1世 磯部峰仙 (Isobe Hosen)
- 第2世 佐藤憲一 (Sato Kenichi)
- 第3世 鈴木大等 (Suzuki Daito)
- 第4世 高橋理円 (Takahashi Rien)
- 第5世 烏羽瀬保道 (Tobase Hodo)
- 第6世 鈴木俊隆 (Suzuki Shunryu)
- 第7世 森山大行 (Moriyama Daigyo)
- 第8世 藤川享胤 (Fujikawa Kyoin)
- 第9世 細川正善 (Hosokawa Shozan)
- 第10世 南原一貴 (Nambara Ikki)
- 第11世 館寺規弘 (Tatedera Kiko)

## ◆現住職

不在

## ◆過去の所属僧侶

- 知野弘文 (Chino Kobun)
- 片桐大忍 (Katagiri Dainin)
- 加藤洪城 (Kato Kojo)
- 加藤和光 (Kato Wako)
- 大倉大雄 (Okura Daiyu)

## ◆行事・活動

坐禪、ワークショップ、写経会、祥月法要、涅槃会、花まつり、お彼岸、お盆、成道会、少林寺拳法、茶道、華道、詩吟



旧桑港寺 1881 Bush st. ユダヤ教教会跡



旧桑港寺本堂



旧桑港寺ホール

## 沿革史

### 1934年(昭和9年)

12月8日 磯部峰仙師(山口県華嚴寺)、北米別院より初代主任に就任。サンフランシスコの日本人街(1881 ブッシュ街)にユダヤ教教会跡を購入し日米山桑港寺とし開堂式を厳修。

### 1937年(昭和12年)

州当局より非営利事業団体の認可を受ける。

### 1939年(昭和14年)

10月 磯部峰仙師辞任、帰国。佐藤憲一師(三重県極楽寺)、北米別院より第2代主任に就任。

### 1941年(昭和16年)

8月 佐藤憲一師、辞任。鈴木大等師(長野県藏沢寺)、北米別院駐在と兼務して、第3代主任に就任。

12月7日(現地時間) 日米開戦。

### 1942年(昭和17年)

4月8日 鈴木大等師、釈尊降誕会を最後に立ち退き、日系同胞と共に強制収容所

へ収容され、主任を辞任(終戦後はロサンゼルス禪宗寺に転出)。以降桑港寺は、開教師不在で一時閉鎖されていた。

### 1945年(昭和20年)

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。  
10月 鈴木大等師、再開堂。

### 1948年(昭和23年)

高橋理円師(北海道法王寺)、第4代主任に就任。布教が再開される。

### 1950年(昭和25年)

高橋理円師、辞任。ハワイへ転出。

### 1951年(昭和26年)

5月14日 鳥羽瀬保道師(熊本県国照寺)、第5代主任に就任。

6月23日 加藤和光師(奈良県補巖寺)、駐在就任。

### 1954年(昭和29年)

鳥羽瀬保道師、第4代開教総監に就任。

### 1959年(昭和34年)

3月4日 鈴木俊隆師(静岡県林叟院)、駐在就任。

11月4日 烏羽瀬保道師、北米開教総監を辞任。

#### 1960年(昭和35年)

鈴木俊隆師、第6代主任に就任。

#### 1961年(昭和36年)

10月25日 鈴木俊隆師、サンフランシスコ禪センターを開設。

#### 1963年(昭和38年)

1月 桑港寺再建問題を審議。  
6月 本堂移転問題を審議。移転地調査実施。候補地は元加州ホテル跡地。  
9月 本堂移転決定。1ドル献金改め建築基金を開設。  
片桐大忍師(福井県泰藏院)、駐在就任。

#### 1964年(昭和39年)

8月30日 創立30周年式典厳修。

#### 1967年(昭和42年)

5月 本堂移転候補地選定(再建局より提示)。移転候補地:ブキヤナン街とサター街の角地。  
第3回禪仏教徒大会開催。  
7月3日 鈴木俊隆師、モントレータサハラに禪センター禪心寺を設立。  
知野弘文師(新潟県耕泰寺)、駐在就任の後、タサハラ禪センターに転任。

#### 1968年(昭和43年)

9月 桑港寺新本堂建立移転計画中止(候補地の選定の遅延がその理由)。

#### 1969年(昭和44年)

2月10日 現行の本堂改築工事を行う旨決議。予算25万ドル。  
2月 鈴木俊隆師、サンフランシスコ禪センターに転出。  
10月20日 加藤洪城師(北海道法竜寺)、駐在就任。

#### 1970年(昭和45年)

2月23日 森山大行師(静岡県官養庵)、第7代主任に就任。  
8月 改築事業は時と共に予算が増し、移転の再審議に入る。移転候補地:アグレオ街とクレメント街の角地。

#### 1971年(昭和46年)

3月16日 建築委員会招集。本堂移転地をラグーナ街とサター街の角地に決定。  
4月25日 特別集会を招集。本堂売却を決定。売却価格15万ドル。  
12月4日 鈴木俊隆師、サンフランシスコ禪センターにて遷化。

#### 1972年(昭和47年)

2月20日 本堂移転に伴い買収地交渉の為、日本人町市民協会に1,500ドルの寄付をし、移転運動にあてる。  
6月18日 本堂売却成立。市再建局に15万ドルで売却。  
11月 藤川享胤師(山形県般若寺)、駐在就任。  
12月29日 桑港寺移転地として、デンズ自動車修理工場跡地(ラグーナ街とサター街の角地)買収契約成立。

**1973年(昭和48年)**

4月26日 森山大行師辞任、帰国。  
11月4日 藤川享胤師、第8代主任に就任。

**1974年(昭和49年)**

7月 本堂の什物盗難。仏像その他仏具紛失。

**1978年(昭和53年)**

2月 藤川享胤師辞任、帰国。  
10月11日 細川正善師(福島県天徳寺)、第9代主任に就任。  
移転地買収決定。

**1979年(昭和54年)**

5月17日 新本堂設計図最終決定。  
6月14日 移転地譲渡手続き完了。  
8月9日 大倉大雄師(滋賀県法藏寺)、駐在就任。  
8月21日 移転地先デンズ自動車修理工場を解体整地。  
12月1日 大本山永平寺貫首秦慧玉禪師、高祖道元禪師700回大恩忌予修法要巡錫のおり、地鎮祭を厳修。

**1980年(昭和55年)**

1月29日 半田工務店と本契約。総工費50万ドル。  
3月3日 本堂工事着工。  
12月 基礎工事並びに支柱工事完了後、オイルショックの影響で資材高騰。基礎地下工事と上部支柱を残し工事を中断。

**1982年(昭和57年)**

前主任藤川享胤師の協力のもと、日本にて資金援助の勧募行脚開始。

**1983年(昭和58年)**

3月24日 テイン・カン工務店と第2期工事本契約完了。工事費約50万ドル追加。  
10月30日 上棟式厳修。

**1984年(昭和59年)**

4月21日 工事完了(一部未完工のまま落慶式に臨む)。  
4月22日 大本山永平寺副貫首丹羽廉芳師のもと、落慶法要を厳修。  
12月9日 50周年記念慶讚法要を厳修。

**1986年(昭和61年)**

2月11日 大本山永平寺副貫首丹羽廉芳師のもと、因脈会を修行。

**1987年(昭和62年)**

4月5日 本堂移転3周年記念式典、並びに位牌堂落慶法要を厳修。

**1988年(昭和63年)**

5月 駐車場付帯整備工事完了。  
R Ferrado Co.に17,123ドル支払い。

**1989年(平成元年)**

7月 駐車場出入り口にゲート設置。工事費4,814ドル。

**1992年(平成4年)**

11月14日、15日 第3回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会を桑港寺にて開催。

**1994年(平成6年)**

5月 創立60周年記念事業として、本堂内外の塗装・改修工事に着手。

10月8日 創立60周年記念式典開催。

「禅を聞く会」講師：辻淳彦師。会場：カブキ8シアター。

10月9日 創立60周年記念慶讚法要を厳修。

創立60周年記念碑除幕式（辻淳彦・細川一純両師寄進）。

**1997年(平成9年)**

3月31日 細川正善師辞任、帰国。

4月1日 南原一貴師（静岡県医王寺）、オークランド好人庵禪堂より第10代主任として転任。

**1999年(平成11年)**

7月31日 曹洞宗北アメリカ開教センターが両大本山北米別院禪宗寺より桑港寺に移転。

**2002年(平成14年)**

4月1日 南原一貴師辞任。館寺規弘師（宮城県津龍院）、オークランド好人庵禪堂より第11代主任に就任。

7月31日 「曹洞宗北アメリカ開教センター」が「曹洞宗国際センター」となる。

**2004年(平成16年)**

10月 桑港寺開創70周年記念慶讚法要厳修。

**2007年(平成19年)**

2月 北アメリカ日系寺院連絡協議会開催。

10月 第7回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会をラスベガスにて、桑港寺ホストで開催。

**2008年(平成20年)**

9月 北アメリカ日系寺院国際布教師連絡協議会、並びに研修会開催。

**2009年(平成21年)**

9月 北アメリカ日系寺院国際布教師連絡協議会、並びに研修会開催。

10月 桑港寺開創75周年記念慶讚法要・結制・首座法戰式厳修。

**2012年(平成24年)**

4月10日 館寺規弘師辞任、帰国。



旧桑港寺



Monterey Soto Zen Temple, Zenshuji

## モントレー禪宗寺



Address : 1159 Mono Court,  
Seaside, CA 93955 U.S.A.  
TEL : 1-831-899-2905



### ◆寺院の歴史

1962年創立

### ◆御開山と歴代住職

上野暉讚 (Ueno Kisan)

### ◆現住職

上野暉讚 (Ueno Kisan)

## 沿革史

### 1955年(昭和30年)

曹洞宗管長高階瓈仙禪師が、佐瀬淳光師とブラジルから日本に戻る途中にモントレーに立ち寄ったことがきっかけで設立された。寺院建設プロジェクトは当時口サンゼルスにいた山田靈林師の熱心なサポートによるものであった。明渡夫妻の所有の土地に建築も進められ、Casanova通り453番地に完成。住み込みの住職の人選が決定しない時期が続いたため、しばらくサンフランシスコの桑港寺の鳥羽瀬保道師や鈴木俊隆師らにより、ほぼ毎月、法要のたびに随喜をうけていた。

### 1962年(昭和37年)

10月 仏教東漸70周年記念日米文化会議に列席した日本佛教代表団の名誉団長である大本山總持寺副貫首岩本勝俊師の訪米を機に、モントレー禪宗寺が開創された。

### 1963年(昭和38年)

9月5日 上野暉讚師(ヒロ大正寺)が着任。

### 1964年(昭和39年)

3月1日 上野師に対し宗務庁より正式に開教師としての辞令交付。婦人会と役員護持会設立。参禪会や若者向けの日曜礼拝を開始。

### 1967年(昭和42年)

8月19日 モントレー禪宗寺の梅花講を設立。

### 1971年(昭和46年)

9月26日 明渡夫妻の土地に収容能力がなくなり、防災上にも危険になったため、現在の上野師自宅へ移転。



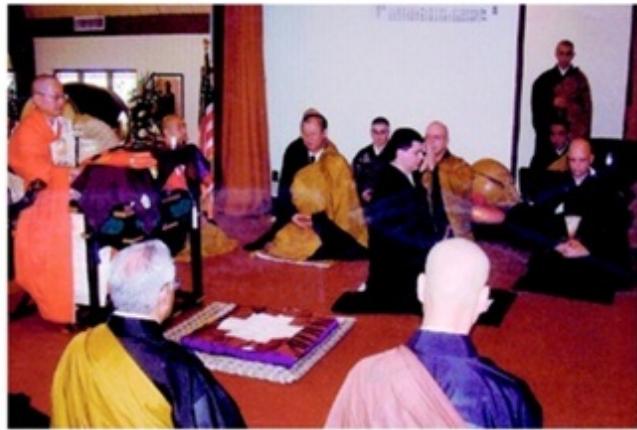
Montebello Sozenji Buddhist Temple

## モンテベロ曹禪寺



Address : 3020 West Beverly  
Boulevard, Montebello,  
CA 90640 U.S.A.

TEL : 1-323-724-6866  
FAX : 1-626-307-3839  
E-mail : stkurai@sbcglobal.net



### ◆寺院の歴史

1971年創立

### ◆御開山と歴代住職

開山 倉井秀雄 (Kurai Shuyu)  
第2代 倉井トーマス秀一 (Kurai Thomas Shuichi)

### ◆現住職

倉井トーマス秀一 (Kurai Thomas Shuichi)

### ◆行事・活動

坐禪、太鼓、そろばん、ヨガ、ろうけつ染め、詩吟  
新年、節分、春秋彼岸会法要、お盆、成道会、敬老  
の日、照り焼きチキンと揚げワンタン市、バザー、  
おまつり

## 沿革史

### 1971年(昭和46年)

倉井秀雄師(三重県金剛寺)によって設立。12月 米国のNPO(非営利宗教法人)となる。最初の2年は法要などをシーザーチャペス通り(前ブルックリン通り)にあるイーストロサンゼルスカレッジ宗教センターで行っていた。

### 1973年(昭和48年)

7月 定期的に法要が行える寺院をつくるため、ボイルハイツにある不動産2区画を取得。

### 1977年(昭和52年)

3月 モンテベロ市のビバリー通りにある教会を購入し、寺院として改築。

### 1978年(昭和53年)

11月2日 本堂の改修をはじめ正式に公開。これを記念して曹洞宗管長乙川瑾映禪師を導師に迎えて法要を行った。

### 1986年(昭和61年)

9月 倉井秀雄師遷化。弟子の倉井トマス秀一師、第2代主任に就任。

### 1970年代～現在

礼拝、坐禅、修行の場であるとともに、地域コミュニティや文化センターとしての役割を果たすようになる。現在日本の芸術(工芸や音楽)を学べる教室、ワークショップを備えている。



Long Beach Buddhist Church

# ロングビーチ仏教会



Address : 2360 Santa Fe Avenue,  
Long Beach, CA 90810  
U.S.A.

TEL : 1-562-426-4014  
FAX : 1-562-426-4014



#### ◆寺院の歴史

1957年創立

#### ◆御開山と歴代住職

- 第1世 長田康哉 (Osada Kosai)
- 第2世 松岡操雄 (Matsuoka Soyu)
- 第3世 加藤和光 (Kato Wako)
- 第4世 穀藏ロイ良尚 (Kokuzo Roy Ryosho)
- 第5世 杉山宗和 (Sugiyama Sowa)
- 第6世 栖川直道 (Sugawa Jikido)

#### ◆現住職

不在

#### ◆行事・活動

修正会、節分会、役員就任式、新年会、彼岸会、チャーメンセール、花まつり、ラメージセール、メモリアルデー、フードセール、施食会、創立記念法要、永代経法要、成道会、年末大掃除、除夜会、日曜礼拝、毎月最終日曜日の祥月法要、詩吟教室、墨絵教室、木目込み人形教室、カラオケ教室、サンデースクール

## 沿革史

### 1950年(昭和25年)

5月 カリフォルニア州ロングビーチ市に仏教寺院を発願し、後にロングビーチ仏教会初代主管になる長田康哉師(宮崎県台雲寺)が再渡米し、はじめは特派布教師として、ロサンゼルス市の禪宗寺に駐在していた。またその間、仏教徒ならば宗派の如何に関わらず参拝が出来る超宗派仏教寺院を新教田で開教するという抱負を持っていた。まずははじめに、仏教日曜学校の開設を目指し、場所の調査を開始。すると、日本から移民した日系人の多くいる、ロングビーチ市ハーバー地区に仏教的施設がない事を知る。そして、ハーバー地区に在住する人たちの集会の場所として、日系人会会長の大倉百太氏を中心として建立された日系人会館のあることを知った。

### 1951年(昭和26年)

10月4日 長田師は、大倉会長宅を訪れ仏教日曜学校の使用を申し入れた。しかし、大倉会長より、会館を宗教的行事に使用するのは不可能との回答であった。長田師は青少年少女に対する宗教的道徳教化の重要性を説き、地区在住の子どもたちの為に奉仕するとの固い熱意を持って披露した。これには大倉会長も理解をなし、会館使用の件は、大倉会長の全責任を持って引き受けるにつき、仏教日曜学校を開校する承諾を得た。

10月14日 午前10時より、ハーバー地区日系人会館にて、超宗派、通仏教による

日曜学校を32名の生徒と共に開校。

### 1952年(昭和27年)

7月 開教師と父母の連絡を図る為、日曜学校父母会を結成。

### 1955年(昭和30年)

仏教日曜学校教師である青木作夫氏、竹内貞夫氏等の指導により、準仏教青年会が組織された。この頃、仏教日曜学校の生徒及び父母会員の増加に伴い、次第に礼拝専用施設の必要性を痛感していた長田師の熱望と父母会の意見が一致し、父母会を発起人として、ハーバー地区並びに近郊在住の仏教徒と共に、超宗派仏教施設を建立することを決議した。

2月27日 河内幸次郎氏を委員長として、父母会員と有志により仏教会建設委員会が組織され、直ちに基金募集運動を開始し、連日連夜、各戸を訪問して浄財の寄進を願った。

### 1956年(昭和31年)

3月 集められた浄財をもって、委員会より、現ロングビーチ仏教会のある敷地を購入。

7月11日 ロングビーチ仏教会としてカリフォルニア州政府より法人認可を取得。

### 1957年(昭和32年)

4月1日 仏教会礼拝堂建立の鍵入式を厳修。約7ヵ月に及ぶ工事が開始された。

11月17日 有縁信徒参列のもとで、ロングビーチ市では初めての仏教会の開堂式が行われ、アメリカに於いて、初の超宗

派仏教会として仏教伝道教化活動を開始。  
12月 本堂完成と共に、長田師がロングビーチ仏教会初代主任に就任。

#### 1958年(昭和33年)

8月 羅府仏教連盟に加盟。しかしこの時点で、信仰の中心となるべき御本尊が未だ安置されていなかった為、日本美術展覧会彫刻部審査員であった瀬戸団治氏に教会御本尊として「出山釈迦像」の制作を依頼し、総丈四尺の木造釈迦尊立像完成の後、長田師が訪日、奉持して帰寺した。またこの頃、長田師の徒弟である新田庄二師を、勉学と補佐の為呼び寄せた。

#### 1960年(昭和35年)

3月3日 羅府仏教連盟各開教師の隨喜を得て、仏教徒及び在住者参加のもとに、入仏式大法要を厳修。

#### 1962年(昭和37年)

12月 信徒の増加と発展に伴い、教会隣接地を青少年の運動場兼駐車場として購入。その後、教会後部には日曜学校の教室や社交室を増築。

#### 1970年(昭和45年)

9月 長田康哉師辞任、帰国。  
10月 シカゴ禪センターより転出の松岡操雄師(山口県天淨寺)が第2代主任に就任。

#### 1971年(昭和46年)

6月 松岡師辞任。後任の主任が見つかるまでの主任として、加藤和光師(奈良県

補巖寺)が第3代主任に就任。

#### 1972年(昭和47年)

3月20日 裕蔵ロイ良尚師(北海道清輪寺)、第4代主任に就任。  
11月 創立15周年記念法要を厳修。

#### 2000年(平成12年)

4月 裕蔵ロイ良尚師、ワイバフ太陽寺へ転出。次期主任が見つかるまでの間、禪宗寺別院の各開教師が日曜礼拝等の法要を行った。

#### 2001年(平成13年)

7月 杉山宗和師(秋田県龍門寺)、第5代主任に就任。

#### 2005年(平成17年)

杉山宗和師、辞任。  
10月27日 栖川直道師(大阪府妙寿寺)、第6代主任に就任。

#### 2007年(平成19年)

11月11日 仏教会にて、創立50周年記念祝賀慶讚法要を、歴代主任をはじめ羅府仏教連合会の各寺院の開教師、また日本より僧侶、関係者の参列のもと厳修。法要後は、ロングビーチ市のハイアットリージェンシーホテルにて、記念昼餐会が行われた。

#### 2010年(平成22年)

4月20日 栖川直道師辞任、帰国。  
現在、仏教会主催の行事として、毎週日

曜日の日曜礼拝や月1回の祥月法要などの月間行事に加え、修正会・節分会・涅槃会・彼岸会・花まつり法要・盂蘭盆施食会・成道会などの特別法要を行っている。また、年2回チャーメンセールやチキンセールなどのフードセールを行い、仏教会を維持運営するための基金に充てている。その他に、ロングビーチ日系人会館主催のサマーカーニバルなどに参加している。



現日系人会館 サマーカーニバル

## 【北アメリカ地区 参考文献】

- 『佛教海外傳道史』1933年 北米山禪宗寺編
- 『曹洞宗ハワイ開教七十五年史』1978年 曹洞宗ハワイ協会
- 『Zenshuji Soto Mission 70th Anniversary』1992年 両大本山北米別院禪宗寺
- 『Zenshuji Soto Mission 75th Anniversary』1997年 両大本山北米別院禪宗寺
- 『佛心』両大本山北米別院禪宗寺会報
- 『Soto Mission of San Francisco 日米山桑港寺60周年記念』日米山桑港寺編
- 『Soto Mission of San Francisco 日米山桑港寺70周年記念』日米山桑港寺編
- 『日米時事』『北米毎日』（サンフランシスコ日系人新聞）
- 『Zen Center of Los Angeles 15th Anniversary』

# 南アメリカ地区

South America



## 南米の布教 概説

2013年に布教110周年を迎えた南アメリカ国際布教総監部の管轄エリアは、海外への曹洞宗の伝播がみられる最も古い地域であり、日系人社会の中で、心の拠り所として、また日本文化の発信拠点としての役割を果たしてきた。

曹洞宗の国際布教は、1899年、日本からサトウキビ栽培を目的とした第1回移民約790人がペルーに到着したことにより、その下地が作られた。

1903年、上野泰庵師が曹洞宗から南アメリカ国際布教のためにペルーに派遣され、これにより曹洞宗の国際布教の歴史が始まる。1907年には移民の喜捨により南アメリカ最古の寺院として慈恩寺が設立された。

1908年、日本政府とアメリカ合衆国政府の間で紳士協定が結ばれ、日本からの移民制限、ハワイから米国本土への移民禁止措置が行われ、事实上既に移民した者の親族以外の渡航が不可能となった。

さらに1924年、排日移民法が施行され、米国本土へのいかなる形の新規移民も認められなくなつて以降、第二次世界大戦前には、その代わりにブラジル、ペルー、アルゼンチン、ボリビア、巴拉グアイやチリへの移民が盛んに行われた。

南アメリカ最大の国であるブラジルでは、奴隸制の廃止に伴い、プランテーションでの労働力として移民を多く受け入れたが、労働環境の悪さのためヨーロッパからの移民が減少した。

労働力不足を補うため1908年に日本のブラジル移民政策が始まり、1993年に移民制度が廃止されるまでの間、約30万入もの日本人がブラジルに移民として渡った。

ブラジルにおいては、日系人社会が広がったにも関わらず、カトリックの国であったため、他宗教が制限され、曹洞宗の正式な寺院は第二次世界大戦後まで設立されなかった。

苛酷であった日本人移民の生活環境は、時代が下るにつれて土地の所有や農業組合の結成などにより少しずつ豊かになったため、寺院設立の要望が出始めた。

1952年には当時世界佛教徒会議総裁であった曹洞宗管長高階瓈仙禪師の招聘要望書を提出、1955年、高階禪師の3ヶ月の滞在と巡錫が実現した。このことがきっかけとなりブラジルに初の禪寺としてモジ禪源寺が創立された。

さらに1956年、宗務庁の新宮良範秘書課長が南アメリカ総監として単身ブラジルに渡り、1959年サンパウロ市に南アメリカ総監部および両大本山南米別院佛心寺を設立した。

1965年、南アメリカ総監部が現在の場所に移転。

1995年、本堂落慶。

2009年、総監部、南米別院創立50周年記念事業として禪堂、開山堂などが落慶し現在に至っている。現在、南アメリカ総監部で僧籍を持つものは、約50名。

国際総監部管内には、南米別院 佛心寺、ローランジャ佛心寺、禪光寺(旧イビラス佛心寺)、禪源寺、天隨禪堂、慈恩寺がある。

神奈川県 貞昌院副住職

S Z I 事務局長

亀野 哲也 記



Comunidade Budista Soto Zenshu da America do Sul, Bushinji

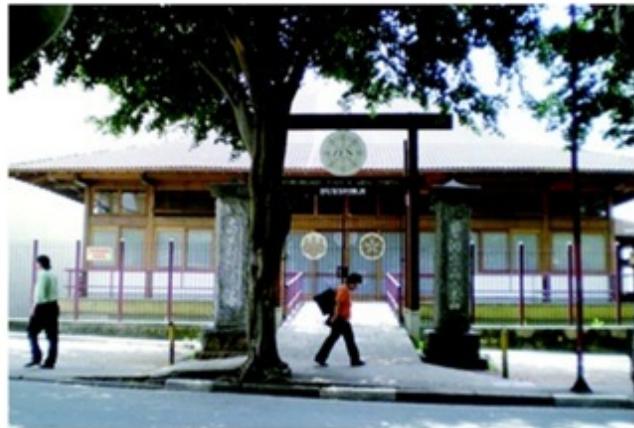
# 両大本山南米別院 佛心寺



Address : Rua São Joaquim 285, Bairro da Liberdade, São Paulo-SP,  
CEP: 01508-001 BRASIL

TEL : 55-11-3208-4515  
: 55-11-3208-4345

FAX : 55-11-3208-0418



## ◆寺院の歴史

1959年創立

## ◆御開山と歴代住職

開 山 高階瓏仙禪師 (Takashina Rosen Zenji)  
第2世 新宮良範 (Shingu Ryohan)  
第3世 青木俊亨 (Aoki Shunkyo)  
第4世 森山大行 (Moriyama Daigyo)  
第5世 三好晃一 (Miyoshi Koichi)  
第6世 采川道昭 (Saikawa Dosho)

## ◆現住職

采川道昭 (Saikawa Dosho)

## ◆過去の所属僧侶

大洞即心 (Daido Sokushin)  
ゴベイア高元 (Gouveia Kogen)  
平子興世 (Hirako Kosei)  
五十嵐良探 (Igarashi Ryotan)  
猪俣正孝 (Inomata Shoko)  
児島真竜 (Kojima Shinryu)  
黒澤慈典 (Kurosawa Jiten)  
桑原弘之 (Kuwahara Koshi)  
松永然道 (Matsunaga Zendo)  
水谷幸靖 (Mizutani Kosei)  
村山省三 (Murayama Shozan)  
中村良忍 (Nakamura Ryonin)  
浪花益造 (Naniwa Ekizo)

直一泰徹 (Naokazu Taitetsu)  
 大畠天昇 (Ohata Tensho)  
 佐藤鴻舟 (Sato Koshu)  
 ソーザ孤圓 (Souza Coen)  
 立花勇禪 (Tachibana Yuzen)

次山昌安 (Tsugiyama Shoan)  
 渡辺孝彦 (Watanabe Kogen)  
 八杉智鑑 (Yasugi Chikan)  
 吉田道彦 (Yoshida Dogen)

#### ◆所属僧侶

越賀道秀 (Koshika Doshu)

#### ◆行事・活動

梅花講、生け花、書道、坐禪、儀式（お葬式・結婚式など）、お盆、お彼岸、法事、得度式

## 沿革史

### 1938年(昭和13年)

大日本青年会主事秋山照禪師（岡山県上合寺）が世界一周の途中ブラジルを訪れ、2カ月にわたって滞在。その期間「修証義」を中心とする講演を行い、多くの人に感銘を与えた。

### 1956年(昭和31年)

高階瓈仙禪師は、南米全体の開教総監として新宮良範師（鳥取県補岩寺）を任命し、サンパウロに両大本山別院建立を決定した。10月に、初代開教総監として新宮良範師が就任。この後新宮総監による毎年4万キロにも及ぶ巡教の末、檀信徒は3千人ものぼった。

### 1952年(昭和27年)

八杉智鑑師が移民とともにブラジルへやってきて、他の仏教徒とともに暮らしはじめる。当時世界仏教徒会議の総裁に就任されていた曹洞宗管長高階瓈仙禪師を招き、正式開教を願うべく要望書を提出した。

### 1957年(昭和32年)

浪花益道師（鳥取県補岩寺）、駐在就任。

### 1955年(昭和30年)

八杉師の依頼をうけて高階瓈仙禪師のブラジル巡錫が実現する。高階禪師は3カ月かけて南米80会場を巡教され、多くの人々に感銘を与えた。このことがきっかけとなりブラジルに初の禪寺としてモジ禪源寺が創立されている。

### 1958年(昭和33年)

1月13日 吉田道彦師（宮城県洞林寺）、駐在就任。  
 4月 平子興世師（群馬県桂昌寺）、駐在就任。

### 1959年(昭和34年)

サンパウロ市トマス・デ・リマ205番地に南米別院・総監部を設置。  
 7月10日 桑原弘之師（静岡県光泰寺）、駐在就任。  
 8月 猪俣正孝師（静岡県浄土寺）、駐在就任。

浪花益道師辞任。

吉田道彦師、ローランジャへ転出。

**1960年(昭和35年)**

サンパウロ市リベルダーデ地区のサンジョアキン285番地に土地購入の計画成る(現在地の半分)。

**1962年(昭和37年)**

1月15日 桑原弘之師辞任。米本土へ転出。

**1964年(昭和39年)**

4月 平子興世師、(ルッセイア佛心寺より)辞任、帰国。

10月 児島真竜師(奈良県林泉寺)、駐在就任。

10月15日 渡辺孝彦師(神奈川県長光院)、水谷幸靖師(静岡県隨松寺)、駐在就任。

12月4日 猪俣正彦師辞任、帰国。

**1965年(昭和40年)**

サンジョアキン285番地に総監部並びに別院を移転。

3月30日 渡辺孝彦師辞任、帰国。

6月 児島真竜師辞任、帰国。

9月 曹洞宗管長高階瓈仙禪師が再伯。開教10周年記念法要を厳修。

**1967年(昭和42年)**

水谷幸靖師辞任、帰国。

**1968年(昭和43年)**

10月 宗務庁より釈迦牟尼仏像寄贈。大

本山永平寺より高祖像寄贈。大本山總持寺より太祖像寄贈。

**1977年(昭和52年)**

2月5日 中村良忍師(鳥取県補岩寺)、駐在就任。

**1978年(昭和53年)**

4月 中村良忍師、ローランジャ佛心寺へ転任。

**1979年(昭和54年)**

残り半分の土地購入。現在の敷地成る。

**1982年(昭和57年)**

5月10日～18日 駒澤大学教授小笠原隆元師、巡回布教のため来伯。

**1986年(昭和61年)**

11月18日 新宮良範総監遷化。

**1987年(昭和62年)**

青木俊亨師(群馬県岩松寺)、第3代主任並びに第2代開教総監に就任。

**1989年(平成元年)**

青木俊亨総監辞任、帰国。

植崎一光師、伝道訪問。

**1992年(平成4年)**

森山大行師(静岡県官養庵)、第4代主任並びに第3代開教総監に就任。

**1995年(平成7年)**

9月7日 本堂落慶並びに開教40周年記

念法要厳修。この後森山大行総監辞任、帰国。

**1997年(平成9年)**

南米梅花講員、梅花流創立45周年記念奉詠大会に参加。

**1998年(平成10年)**

新宮良範初代総監13回忌法要厳修。

**2000年(平成12年)**

1月21日 三好晃一師（北海道高沢寺）、第5代主任並びに第4代開教総監に就任。

**2001年(平成13年)**

高祖道元禪師750回大遠忌厳修。

**2005年(平成17年)**

4月30日 三好晃一総監辞任、帰国。

5月1日 采川道昭師（山形県宝泉寺）、第6代主任並びに第5代國際布教総監に就任。

**2009年(平成21年)**

11月13日～15日 南アメリカ國際布教総監部・両大本山南米別院佛心寺創立50周年慶讚法要を厳修し、坐禪堂を備えた大鑑閣を落成。境内北西部に開山塔・歴住塔・亡僧塔が、中庭に永代供養塔を建立。



両大本山南米別院佛心寺創立50周年記念慶讚法会（写真3枚すべて）

2009年（平成21年）11月13日～15日



Sociedade de Comunidade Budista Zenguenji do Brasil

## 禅源寺



Address : Rua Padre Eustáquio  
109 Vila Lavinia  
Mogi das Cruzes  
SP CEP: 08737-020  
BRASIL  
TEL : 55-11-4727-4579



### ◆寺院の歴史

1955年創立

### ◆御開山と歴代住職

開山 高階瓏仙 (Takashina Rosen)  
第1世 八杉智鑑 (Yasugi Chikan)  
第2世 新宮良範 (Singu Ryohan)  
第3世 彦坂信能 (Hikosaka Shinno)  
第4世 大洞即心 (Daido Sokushin)  
第5世 直一泰徹 (Naokazu Taitetsu)  
第6世 佐藤鴻舟 (Sato Koshu)

### ◆現住職

佐藤鴻舟 (Sato Koshu)

## 沿革史

### 1955年(昭和30年)

9月11日 永昌山禪源寺入仏式厳修。  
八杉智鑑師は初代主任として、ハワイ・  
ヒロ大正寺より来伯した特派開教師・穀  
藏禪戒師と共に、曹洞宗初開道場禪源寺  
の建立に貢献した。

### 1956年(昭和31年)

10月 南アメリカ総監部新宮良範開教総  
監(鳥取県補岩寺)、第2代主任に就任。

### 1957年(昭和32年)

10月 新宮良範師辞任。  
11月24日 彦坂信能師(愛知県東泉院)、  
第3代主任に就任。

### 1958年(昭和33年)

4月18日 彦坂信能師辞任、帰国。

### 1959年(昭和34年)

6月 曹洞宗の僧籍を持ちながら家族と共  
に渡伯し、モジ・ダス・クルーゼス市リ  
オ・アシーマ植民地に住んで農作業をし  
ていた大洞即心師(福井県洞雲寺)が、第  
4代主任に就任。

### 1969年(昭和44年)

2月2日 現在のビラ・ラビリア区にて鎮  
守祭を行い移転。

### 1972年(昭和47年)

庫裏完成(一時仮本堂とする)。  
8月17日 禪源寺守護神として三吉神社

がおかれる。現在この三吉神社はコクエ  
イラ地区に移されている。

### 1973年(昭和48年)

4月15日 鐘樓堂完成。

### 1974年(昭和49年)

1月20日 大洞即心師が高齢のため、直  
一泰徹師が副住職に就任。直一師は、豊  
和工業に勤めていたが臨濟宗の僧籍を  
持っていることから、大洞師の御付きを  
しており、大洞師が法務を出来なくなっ  
たため、後任となった。

### 1975年(昭和50年)

後藤静一氏(岐阜市)より梵鐘が寄進され  
る。

9月14日 彦坂昌美師(彦坂信能師の息  
子)、禪源寺20周年慶讃法要を厳修。

### 1977年(昭和52年)

10月12日 直一泰徹師、二等教師に補  
任。

### 1978年(昭和53年)

4月 境内に大平山社殿(三好神社)完成。

### 1979年(昭和54年)

1月 宗務庁より三尊仏が寄贈される。  
8月31日 本堂完成。

### 1980年(昭和55年)

9月21日 開山25周年記念法要厳修。

<b>1981年(昭和56年)</b>	10月17日 第1回御靈祭り開催。
7月 直一泰徹師、第5代主任に就任。	
10月 護持堂完成。	
<b>1982年(昭和57年)</b>	<b>1995年(平成7年)</b>
2月 護持堂落慶法要厳修。	9月2日 開山40周年記念法要厳修。山門及び觀音堂落慶法要厳修。
4月 護持堂延命地蔵が寄進される。	
<b>1983年(昭和58年)</b>	<b>1998年(平成10年)</b>
5月 隣接地を購入。	6月 曹洞宗永昌山禪源寺聖典(日本語・ローマ字・ポルトガル語)250冊制作。
	11月3日 旧事務所の改築工事開始。
<b>1984年(昭和59年)</b>	<b>1999年(平成11年)</b>
2月 調理室完成。	3月末 事務所完成。
	4月 カラオケ部発足。
<b>1985年(昭和60年)</b>	<b>2000年(平成12年)</b>
2月 大平山社殿(三好神社)が秋田県人会より寄贈される。	7月2日 第1回慈善カラオケ大会開催(福祉団体へ寄付の為)。
9月14日 開山30周年記念法要厳修。	9月7日 コクエーラ地区モジ箱根の觀音祭がモジ市の行事に認定される。
<b>1987年(昭和62年)</b>	<b>2003年(平成15年)</b>
4月 大平山社殿(三好神社)がサレゾボリスへ移管される。	6月23日 本堂の床・調理室の改修工事、ガス貯蔵庫・ガス配管工事開始。
6月1日 禪源寺会館建設起工式厳修。	8月25日 工事完了。
<b>1990年(平成2年)</b>	<b>2004年(平成16年)</b>
3月 禪源寺会館完成。	3月15日 直一泰徹師、護持会が用意した借家へ移転。
9月9日 開山35周年記念法要厳修。禪源寺会館落慶記念式開催。	3月17日 事務所設置。佐藤イレー氏勤務。
<b>1992年(平成4年)</b>	7月1日 佐藤鴻舟師(富山県明禪寺)、南米別院より転任。
7月 山門工事開始。	
<b>1993年(平成5年)</b>	
2月 山門完成。	
3月 山門仮落慶法要厳修。	

**2005年(平成17年)**

9月11日 開山50周年記念法要厳修。

**2008年(平成20年)**

6月4日 佐藤鴻舟師、第6代主任に就任。

**2009年(平成21年)**

11月19日 直一泰徹師遷化。

**2012年(平成24年)**

11月18日 佐藤鴻舟師、晋山結制修行。



2012年 佐藤鴻舟師の晋山式



現在の法要の様子



Templo Budista Dokozan Busshinji (Rolandia)

## ローランジャ佛心寺



Address : Rua Paranaguá 325,  
Rolandia, Estado do Paraná,  
PR CEP: 86600-000  
BRASIL

TEL : 55-43-3256-2191



### ◆寺院の歴史

1958年創立

### ◆御開山と歴代住職

開 山 八杉智鑑 (Yasugi Chikan)  
第2世 吉田道彦 (Yoshida Dogen)  
第3世 藤井寿源 (Fujii Jugen)  
第4世 佐藤鴻舟 (Sato Koshu)  
第5世 黒澤慈典 (Kurosawa Jiten)

### ◆現住職

黒澤慈典 (Kurosawa Jiten)



## 沿革史

### 1955年(昭和30年)

曹洞宗管長高階瓈仙禪師、佐瀬淳光師、特派開教師穀藏禪戒師が布教と宗門寺院建立の為北パラナ地方巡錫の折、マリンガ市に至る各コロニア中ローランジャが一番適当であると見なされ、寺院建立の地として選ばれた。

### 1958年(昭和33年)

11月 ローランジャにおいての最初の僧侶、八杉智鑑師着任。  
飯塚彌十氏宅にて開創上堂の法要を厳修。  
飯塚氏宅を布教の基地として42日間にわたって宿食を共にする。伯国開教第3の道場となる。  
11月末 八杉智鑑師、別院に転任。

### 1959年(昭和34年)

1月13日 吉田道彦師(宮城県洞林寺)、南米別院より転任し、第2代主任に就任。吉田師は当日から本堂落成まで利光実氏宅に礼拝所を設け、寝食を共にし布教活動に従事。

### 1960年(昭和35年)

2月 利光実氏を委員長に、寺院建立のための建設委員会が結成され、浅田卯一郎、高松良一、利光実の3氏が土地代金を寄付することになり、信徒一丸となって準備が進められた。  
10月9日、10日 本堂、庫裡落成。落慶入仏法要厳修。ローランジャ佛心寺の寺号が下付される。祝賀仮装行列が行われ

る。本堂内後方に位牌堂設置。繰出し位牌75体安置。

### 1965年(昭和40年)

10月25日 曹洞宗管長大本山永平寺貫首高階瓈仙禪師、宗務総長金剛秀一師と共に2回目の拝登。

### 1970年(昭和45年)

12月 吉田道彦師辞任、帰国。

### 1971年(昭和46年)

藤井寿源師(僧籍地不明)、第3代主任に就任。

### 1973年(昭和48年)

11月 会館建設。

### 1976年(昭和51年)

9月3日 福島県円通寺住職吉岡棟一師拝登。

### 1978年(昭和53年)

4月 中村良忍師(鳥取県補岩寺)、南米別院より転任。

### 1983年(昭和58年)

5月21日 ロンドリーナ在住西田茂夫氏による本尊並びに両祖像制作。ご本尊は西田氏による寄贈、両祖は護持会奉納。

### 1988年(昭和63年)

3月23日 青木俊亨開教総監、大畠天昇師による彼岸会厳修。  
青木総監、ローランジャ佛心寺の沿革史

を調書として本山へ提出するように佐々木庄七夫妻に依頼。

6月21日 日本より吉岡棟一、善波俊典、服部栄隆の3師が拝登。大畠天昇師が随行。午後15時より座談会を開き、新しい僧侶の派遣を要請。

12月6日 青木総監、大畠天昇師、来寺。翌年6月頃より、日本から新任住職を迎えるとの報告あり。佐藤鴻舟師(富山県明禪寺)が就任予定。利光実氏、五十嵐正雄氏、佐々木庄七氏への記念品、感謝状贈呈式を執行。

#### 1990年(平成2年)

4月8日 佐藤鴻舟師、第4代主任に就任。

#### 1993年(平成5年)

9月22日 観音祭、彼岸供養と共に佐藤鴻舟師の送別会。この時に当時の森山大行開教総監が、佐々木栄子氏、五十嵐美佐氏に佐藤師の帰国後の寺院の管理を依頼。1997年まで、佐々木栄子氏による住職代理。

12月14日 佐藤鴻舟師辞任。

#### 1997年(平成9年)

2月23日 吉田道彦師の実弟である吉田暉彦氏が、佐々木栄子氏に替って寺院の管理にあたる。

#### 2000年(平成12年)

9月9日 吉田暉彦氏、実弟である愛媛県高昌寺住職高嶋武彦師について得度。この時にローランジャ佛心寺40周年記念法

要厳修。サンパウロをはじめ、開創吉田道彦師の自坊、宮城県洞林寺、またモジ禪源寺からも参拝団が訪れる。

#### 2003年(平成15年)

7月21日 吉田暉彦師遷化。以後ロンドリーナ森岡春子氏(春圓)による住職代務。護持会長片木馨氏より、サンパウロ総監部宛に新住職派遣依頼の文書届く。

#### 2004年(平成16年)

4月1日 黒澤慈典師(静岡県増善寺)、第5代主任に就任。

#### 2005年(平成17年)

9月4日 ローランジャ佛心寺45周年記念法要厳修。宮城県洞林寺参拝団一行拝登。

#### 2006年(平成18年)

5月28日 ローランジャ佛心寺梅花講45周年記念式典厳修。

#### 2008年(平成20年)

日本人ブラジル移民100周年記念式典をローランジャ農業センターにて開催。

#### 2010年(平成22年)

10月9日、10日 ローランジャ佛心寺開創50周年記念式典厳修。

#### 2011年(平成23年)

6月12日 ローランジャ佛心寺観音講発足50周年記念式典厳修。



Templo Japonaes, Jionji

## 慈恩寺



Address : Calle Almirante Grau 618,  
San Vicente, de Cañete,  
Prov. Cañete, Dpt. Lima,  
PERU



### ◆寺院の歴史

1907年創立

### ◆御開山と歴代住職

開山 上野泰庵 (Ueno Taian)  
第2世 斎藤仙峰 (Saito Senpo)  
第3世 押尾道雄 (Oshio Doyu)  
第4世 佐藤賢隆 (Sato Kenryu)  
第5世 中尾證道 (Nakao Shodo)  
第6世 清広亮光 (Kiyohiro Ryoko)  
第7世 大城慈仙 (Oshiro Jisen)

### ◆現住職

大城慈仙 (Oshiro Jisen)

### ◆過去の所属僧侶

後藤古仙 (Goto Kosen)



## 沿革史

### 1899年(明治32年)

790人が佐倉丸にてペルーへ集団移民(第1回航海)。うち785人が耕地での就労者(全員男性)であった。苛酷な環境の下、初年度に98人が死亡。

### 1903年(明治36年)

両大本山布教師・軍営布教師であった上野泰庵師(兵庫県宝樹寺)が管長辞令で移民1,178人(第2回航海)と共に渡航。これにより南米に仏教がもたらされた。

ペルーに渡った上野師は、ペルー北部のトゥマン耕地のプランテーションに赴き、移民監督をしながら生活費を稼ぎ、布教に取り組んだ。同時期に、浄土宗の樹下潜龍師はリマ郊外のサンタ・クララ耕地に、同じく浄土宗松本赫然師はカニエテ郡カサ・プランカ耕地に赴任しているが、翌年までに移民たちとの折り合いがつかず辞職、数年のうちに帰国している。

### 1905年(明治38年)

移民の中で殺傷事件が発生、1,134人の日本人全員解雇となり、上野師は移民たちを引き連れてリマ南150kmのカニエテ郡サンタ・バルバラ耕地に再雇用されていった。

### 1907年(明治40年)

移民たちの喜捨によりカニエテ郡サンタ・バルバラのブリティッシュシュガー社敷地の借地に慈恩寺創建。佛徳山(一説に太平山)南漸寺と称す。

小規模であるが、日本の寺院の建築様式であった。上野師の活動は死者供養とともに、各宗が当時世界各地で展開していた布教、伝道活動に向けられていた。

### 1908年(明治41年)

4月 大本山永平寺貫首森田悟由禪師および大本山總持寺貫首石川素童禪師より山号寺号下附。「泰平山慈恩寺」  
南米最古の日本人小学校サンタ・バルバラ日本人小学校が慈恩寺隣接地に開校。押尾師は日本人小学校の教鞭もとっていた。

### 1917年(大正6年)

2月 斎藤仙峰師(山形県積雲寺)がペルーへ渡る。  
8月 斎藤仙峰師、第2代主任に就任。上野泰庵師辞任、帰国。

### 1919年(大正8年)

4月5日 斎藤仙峰師遷化。  
7月 押尾道雄師(広島県龍雲寺)布教師補に就任。押尾師は広大な土地を法要、布教のために移動するため常に馬に乗っていたという。この頃から、移民たちは耕地から都市へ移住するものが多くなった。

### 1922年(大正11年)

斎藤師の墓地が慈恩寺境内に建立される。(2004年にカサ・プランカの日本人墓地に移設)。リマ日本人学校開校。

### 1923年(大正12年)

日本からペルーへの移民契約が廃止。こ

の年までに17,764名もの日本人がペルーへ移住した。

#### 1925年(大正14年)

ブリティッシュ・シュガー社倒産により、慈恩寺の立退きを求められ、カニエテ郡サン・ルイス町の民家を購入し移転。

#### 1926年(昭和元年)

佐藤賢隆師(山梨県慈眼寺)に駐在布教師の辞令公布。

#### 1927年(昭和2年)

4月 押尾道雄師辞任、帰国。押尾師は後に朝鮮半島で布教に従事、終戦後日本に引き上げた後、数年後に遷化された。  
同年、佐藤賢隆師着任。リマ市サムジオ街に布教所「慈光会」を開設。  
この時期には日系人は都市部に移住するものが増え、最盛期には各耕地500人を超えていた日系人は総数で100家族程度になっていた。

#### 1932年(昭和7年)

初期の移民たちを祀るための施設としてカニエテ郡カサ・プランカ郊外に日本人無縁塔(納骨堂)建立。カサ・プランカ郊外には日本人墓地が既にあり、墓標は木の杭で作られたり墓石や棺無しで埋葬されていることが多かった。1932年に墓地が改修整備された。この頃から各地に日本人墓地が作られ整備されていった。

#### 1935年(昭和10年)

7月 佐藤賢隆師遷化。慈光会閉鎖。

同年、中尾證道師(茨城県正福寺)布教師補に就任。

しかし、中尾師はカニエテ住民と仲違いをし、慈恩寺には晋住せずリマへ移住。

#### 1938年(昭和13年)

リマ市サン・クリスター・バル街に南米山中央寺を建立。中尾證道師、第5代主任に就任。  
サンタ・バルバラ小学校閉校。  
戦況は悪化の方向に向かう。在留民精神総動員運動始まる。

#### 1940年(昭和15年)

秋山照禪師(岡山県上合寺)がペルーに渡り長期滞在。各地で大政翼賛の立場から仏教講話、坐禅などの指導を行った。このころの各宗仏宗教団は国民精神総運動を推進する役割を担っていた。リマ市で排日大暴動発生。

#### 1941年(昭和16年)

日米開戦、ペルーの対日抗戦により慈恩寺は荒廃し、無縁塔は倒壊した。中央寺閉鎖。ペルー各地に設置されていた学校も日米開戦により強制的に閉鎖。日本人自治村も消滅。耕地時代の終焉を迎える。

#### 1942年(昭和17年)

ペルーと日本の国交断絶。アメリカの収容所への強制連行が始まる。日系人及び日本人移民はラテンアメリカ諸国の警察によって逮捕され、アメリカ海軍の艦艇でアメリカに連行された。第二次世界大戦中、延べ13カ国2264人の日系人及び

日本人移民がアメリカ国内の強制収容所に強制連行されたが、そのうちの8割、1,771人(80%)はペルー移民及びその日系子孫のペルー人であった。中尾證道師は、南洋テニアン島詰布教師となるが、戦時の混乱の中消息が不明となった。

#### 1945年(昭和20年)

終戦に伴い、アメリカの収容所から80名がペルーに戻る。数百人はアメリカに残留。

#### 1951年(昭和26年)

在留邦人の要請により新開至蹟師ペルーに渡り、慈恩寺に入る。但し新開師は真宗系の僧侶で、曹洞宗の僧籍は持たない。ペルーでは読経業者による読経師による時代となる。読経師として新開師が活躍。

#### 1952年(昭和27年)

新開至蹟師により倒壊した無縁塔が再建され、各地に日本人慰靈塔が開設された。

#### 1953年(昭和28年)

新開至蹟師遷化。慈恩寺は無住となり、数人の読経師が盆と彼岸法要を勤める状態が続く。

#### 1961年(昭和36年)

11月 曹洞宗管長辞令により清広亮光師(佐賀県妙音寺)、第6代主任に就任。立身未了のため宗制上は住職ではないが、寺門護持に尽力した。

#### 1962年(昭和37年)

カニエテ郡サン・ビセンテ公営墓地に日本人慰靈碑建立。

#### 1974年(昭和49年)

リマ一帯が大地震に見舞われ、慈恩寺が損壊した。

#### 1977年(昭和52年)

曹洞宗宗務庁、福島県円通寺、日系人、日系企業等からの寄進によりカニエテ郡サン・ヴィセンテ・デ・カニエテ町に慈恩寺が再興される(2度目の移転)。

#### 1990年(平成2年)

フジモリ大統領就任。大規模な経済改革を実行しペルーのマクロ経済は安定を取り戻し、ガルシア政権下で落ち込んでいた外国との貿易額も劇的に改善した。

#### 1992年(平成4年)

清広亮光師遷化。葬儀はカトリック形式で行われた。これ以降、曹洞宗僧侶不在の時期がしばらく続く。

#### 1995年(平成7年)

浄土真宗本願寺派など他宗僧侶たちがペルー日系人協会公認のもと、慈恩寺を管理するようになった。

#### 2000年(平成12年)

宗務総長大竹明彦師が慈恩寺を訪問、他宗僧侶が常住する問題の解決を図った。

**2001年(平成13年)**

元日本語ペルー新報記者太田宏人氏より慈恩寺の位牌リスト「IHAI」贈呈される(太田宏人編・曹洞宗宗務庁発行)。慈恩寺に祀られている2,000名を超える位牌のデータを纏めた資料。

**2004年(平成16年)**

8月 宗務庁主催「南アメリカ開教100周年行事」開催。慈恩寺、リマ市北部郊外に散在する日本人墓地や日本人慰靈塔を巡回。

**2005年(平成17年)**

日系アルゼンチン人の大城慈仙師(山口県弥勒寺)がペルーへ渡る。

**2007年(平成19年)**

11月3日 慈恩寺開山100周年記念法要を厳修。その際、麻生太郎外務大臣(当時)より寺誌プレートが送られた。

**2008年(平成20年)**

南アメリカ国際布教師として大城慈仙師任命。リマ市を拠点としながら、慈恩寺に月一回程通い法務等を行う。

**2009年(平成21年)**

4月1日 大城慈仙師、国際布教師に任命。

**2010年(平成22年)**

ペルー移民の日に伊豆大島・富士見観音で日系先没者追悼会厳修。

**2013年(平成25年)**

8月24日、25日 南アメリカ国際布教110周年記念行事開催。

## 【南アメリカ地区 参考文献】

- 『Soto Zen Buddhism International Symposium』2012年 Soto Zen Buddhism International Center
- 『南アメリカ国際布教総監部同大本山南米別院佛心寺創立50周年慶讃法会』2009年 曹洞宗南アメリカ国際布教総監部
- 『足立小平治叙伝』
- 『鞍藏禪戒老師略年譜』
- 『オブリガード佛心』2000年 錦柳山洞林寺編
- 『宗報』明治35年 第142号 論説「海外布教」
- 『宗報』平成15年8~10月号 国際インフォメーション 太田宏人
- 『宗報』平成21年9月号 国際インフォメーション 大城慈仙
- 『110年のアルバム』日本人ペルー移住110周年記念誌 現代史料出版・2009年・太田宏人
- 『SOTO禪インターナショナル会報』26号(SZI・2004年)ペルーにおける曹洞禪開教100年の軌跡・太田宏人
- 『慈恩寺考』曹洞宗総合研究センター学術大会紀要・2011年・太田宏人



# アジア地区

Asia



## アジアの布教 概説

現在、曹洞宗の国際布教総監部が置かれている地域を見てみると、ハワイ・北米・南米・欧州となっていて、アジア圏への国際布教は、少なくとも教団の公式なレベルでは行われていないといえる。

それには、鎖国による日本人の出国を制限していた江戸時代が終わり、明治時代になってから、第二次世界大戦敗戦に至る過程と密接に関係がある。

曹洞宗は、大日本帝国時代の日本が、その帝国主義のままに世界各地に植民地を広げていくのに呼応しながら、アジア圏における開教を行った。だが、第二次世界大戦の敗戦により、それらの行動は直ちに全て断ち切られ、むしろ、現代ではその時代は反省すべき歴史のひと幕になっている。

よって、本論もその時代を反省する立場に立ちつつ、後は機械的に、アジア開教について述べていきたい。

曹洞宗のアジア開教は、樺太（かつては北海道も含まれた）・朝鮮半島・満州・中国・台湾と行われた。開教方法は、一般的に先達となる僧侶が現地に入り、そして寺院を建立（この寺院の規模については、移民者コミュニティとの関わり方などで多種多様であったらしい）することを最初とする。そして、その事実を追うように、宗務局（現在の宗務庁）の側で関連の宗制を作り、その最中で、各開教地を両大本山貫首猊下が御親化されたり、特派された布教師が巡錫したりした。組織的にも、最初は小規模の開教所・寺院の建立に続いて、総監が置かれるようになるという段階を踏んだ場合が多い。

また、関連する当時の宗制（開教地布教関連）を見てみると、まずは「本邦より移住せる者」を優先し、その他の者へも布教伝道するとある。更には、寺院近くに教育機関などを作り、そこで、移住者への教育を行うことを目的にしていた。また、聞いた限りでは簡単な工場などの労働場所を提供した場合もあったという。よって、結局、曹洞宗関係者によって開かれた海外開教寺院の多くは、ほとんどが移民者を相手にした、ある意味旧来型の寺院であって、部分的には各地に日本文化を広めていったといえる。後者については、いわゆる同化政策加担ということだが、その一端に明らかに関わった事実は反省されるべきものと思う。

それでは、どのような状況でアジア開教が進められたのか、関連する事項を探り上げながら、以下には略年表の形で申し上げたい。

1890年(明治23)	武田範之が朝鮮半島に進出。
1893年(明治26)	長崎皓台寺に安居していた僧侶3名がシンガポールに渡る。
1895年(明治28)	両大本山によって命じられて従軍していた佐々木珍龍が、台湾全島を調査し、台湾曹洞宗大本山別院を建立。
1896年(明治29)	「台湾島布教規程」制定、台北に曹洞宗務支局設置。
1903年(明治36)	この頃、フィリピンのマニラに徳光山南天寺を建立。
1905年(明治38)	従来現地に入っていたながら死去した村松良寛の代わりに入った長田觀禪が、朝鮮半島の釜山に總泉寺を建立。
同年	年末に樺太を織田活道・有田法宗が視察。
1906年(明治39)	樺太大泊に梅溪寺を建立。
同年	「台湾布教規程」制定。
1907年(明治40)	正月に日置黙仙が満州・朝鮮を巡錫し、日露戦争戦没者慰靈のための護国塔を満州に設置。

同年	「曹洞宗朝鮮開教規定」公布。
1908年(明治41)	「曹洞宗樺太開教規程」制定。
同年	「曹洞宗韓國開教規定」制定。
同年	「曹洞宗満州開教規定」制定。
1911年(明治44)	台湾布教総監を置く。
同年	シンガポールに仏教山西有寺を建立。
明治時代末期、アジア各地で宗門に寺号公称を認められていたのは、朝鮮14カ寺、台湾7カ寺、満州5カ寺、樺太4カ寺。	
1914年(大正3)	第一次世界大戦に従軍した青木禪戒が、青島に曹溪寺を建立。
1920年(大正9)	「曹洞宗樺太布教規程」制定。
1927年(昭和2)	朝鮮半島の京城の曹溪寺に両大本山別院を設置。
1929年(昭和4)	「朝鮮布教法」を制定・施行。

このように、日本が帝国主義的膨張を行い、それに伴って移民活動が活発化するのに合わせて曹洞宗の開教も広がり、寺院も増えていった様子が分かる。全ては挙げなかったが宗制も、その都度状況に合わせて制定・改正がされている。

特に台湾は、1895年に日清戦争に伴って締結された「下関条約」で日本へ割譲されたため、同地への開教は早かった。また、朝鮮半島へはむしろ、1910年(明治43)の併合を前に武田範之が進出するなど、場合によっては僧侶が先に入していく状況もあったようである。

そして、上記の内容については、前項で述べた通り、1945年(昭和20)8月・9月に及んだ太平洋戦争敗戦にともなって状況が一変し、ほぼ完全に断ち切られた格好である。また、その後の伽藍や法物等の扱いについては、遺った物は現地に置いてきたり、朝鮮半島では曹溪宗へ委譲としたとも聞いているが、詳細については『曹洞宗海外開教伝道史』(1980年、曹洞宗宗務庁)が回収図書の現状、これ以上を述べる状況に無い。

アジア開教については、現状でも東アジア各国と日本との関係が決して良好とはいえない状況、これらの事項をどのように総括するかは、極めて難しい問題であると考えられる。宗制を確認する限り、移民者相手という基本線があったように思われる。移民自体がそうだと言われればそれまでだが、果たして、これらの活動が本当に、「日本帝国主義の尖兵」といえるほどの状況であったかどうかは、今後の客観的研究に委ねるべきであると思う。よって、本論では、部分的にそのような状況があった可能性が指摘できることを遺憾に思い、真摯に反省されるべきだという指摘に留めておく。

なお、東アジアへの布教を目指して、当時の曹洞宗では『修証義』に漢訳・鮮訳が作られ、また一部の宗侶有志によって、『正法眼藏』『伝光録』などの漢訳が作られた。これらも、実際の開教にどう利用されたのかは不明であるが、そのような事実があったことは付記しておきたい。

参考資料／『曹洞宗全書』「年表」卷

宮城県 城国寺副住職  
曹洞宗総合研究センター 専任研究員  
曹洞宗 広報委員  
菅原 研州 記

Nihonji

## シンガポール日本寺



Address : 134 Chuan Hoe Avenue,  
SINGAPORE, 0923



### ◆寺院の歴史

1911年創立

### ◆御開山と歴代住職

- 第1世 积種模仙 (Shakushu Baisen)
- 第2世 大塚智船 (Otsuka Chisen)
- 第3世 北川單傳 (Kitagawa Tanden)
- 第4世 堀江大給 (Horie Daikyu)
- 第5世 堀江晴行 (Horie Seiko)

### ◆管理担当

横山敏明 (Yokoyama Binmyo)



## 沿革史

### 1888年(明治21年)

日本寺のある日本人共有墓地は、事業主として成功した二木多賀治郎氏が自己所有のゴム林の一部を提供したことに始まる。それまでは、当地で死去した日本人の遺骨は牛馬の棄骨場などに埋められており、そのことを悲しんだ二木氏は、渋谷吟治氏、中川菊三氏と連名でチュアン・ホー・アベニューの土地8エーカーを日本人共有墓地として使用する申請を英國植民地政府に提出した。

同年、二木氏により「共済会」発足。

### 1891年(明治21年)

英國植民地政府から日本人共有墓地としての使用許可を取得。

### 1896年(明治26年)

兵庫県出身の釈種模仙師がシンガポールに渡り、日本人共有墓地に草庵を営む。

### 1911年(明治44年)

釈種模仙師、墓地内に曹洞宗釈教山西有寺を建立。

寺号の命名は釈種模仙師の旧師、日置默仙師によりなされた。

### 1912年(明治45年)

2月 釈種模仙師遷化。

### 1915年(大正4年)

日本人会が設立され、共済会と協同で墓地管理を行う。

### 1916年(大正5年)

大塚智船師、第2代住職に就任。

### 1920年(大正9年)

北川單傳師、第3代住職に就任。

### 1924年(大正13年)

堀江大給師、第4代住職に就任。

### 1926年(昭和元年)

堀江晴行師、第5代住職に就任。

### 1942年(昭和17年)

昭南島市政庁と在留邦人による「昭南奉公会」に墓地管理が委ねられる。

### 1949年(昭和24年)

敵産処分法により日本人共有墓地が接收される。

### 1953年(昭和28年)

敵産処分下に置かれたままで、日本総領事館に墓地管理が移される。維持管理されることの無かった旧西有寺は、白蟻により朽ち果ててしまった。

### 1957年(昭和32年)

戦後の日本人会が発足し、墓地管理にあたる。

### 1960年(昭和35年)

日本総領事館により、墓地内に御堂が建立され、市内の妙法寺と西本願寺にあった遺留品を御堂に保管。

**1969年(昭和44年)**

福田庫八郎氏他3名がシンガポール高等裁判所に日本人共有墓地の土地の返還を申請し、許可を得る。

**1973年(昭和48年)**

シンガポール政府が日本人墓地を含む市内42カ所の墓地の埋葬禁止令を発令。

**1978年(昭和53年)**

日本人学校の追加用地確保のため、日本人共有墓地8エーカーの土地をシンガポール政府に返還。

**1985年(昭和60年)**

曹洞宗により御堂が再建され、日本人会に寄贈される。「曹洞宗日本寺」。シンガポールでの正式名称は、「シンガポール日本人墓地御堂」。

**1987年(昭和62年)**

シンガポール政府より、日本人共有墓接収の告知がある。  
当時の橋本恕大使がダナバラン外相に陳情し、リースによる墓地存続が許可される。許可期間は1989年1月5日から30年間と更に20年間のオプション。

戦後の日本人会発足30周年記念事業として、シンガポールの公園法に基づき、日本人共有墓地の公園化工事を挙行。

これにより名称を日本人共有墓地から日本人墓地公園に改める。

**1991年(平成3年)**

日本人墓地開基100周年記念植樹式が行われる。

**1999年(平成11年)**

6月現在 墓地面積 29,359平米、墓標数910基。神奈川県西有寺および関係有志により、毎年6月4日に開山忌および施食会法要が営まれている。



日本寺

## 【アジア地区 参考文献】

日本人墓地公園掲示『日本人墓地公園の沿革』  
西海裕貴 2009、「シンガポール日本寺 開山忌法要に隨喜して」『会報』第41号。  
SOTO ZEN INTERNATIONAL.

## 「伝道史年表 曹洞宗国際布教及び関係事項(各宗海外伝道含)」

### 【凡例】

- ① 敬称を略しました。
- ② ハワイ布教総監部・ハワイ開教総監部、北アメリカ開教総監部、南アメリカ開教総監部は、現在それぞれハワイ国際布教総監部、北アメリカ国際布教総監部、南アメリカ国際布教総監部となっていますが、本書では当時の名称で表記しました。
- ③ 曹洞宗両大本山ハワイ別院正法寺、曹洞宗両大本山北米別院禪宗寺、曹洞宗両大本山南米別院佛心寺については、それぞれハワイ別院、北米別院、南米別院と略して表記しました。
- ④ 国際布教師とは宗制では「本宗の2等教師以上の教師のうちで、管長の任命を受け当該国際布教総監の指示を受けて布教教化に従事する者」をいいます。しかしこれらの定義に当てはまらないが実際現地で布教にあたった者もおり、本書では明確な区別を行っていません。
- ⑤ ( )内は、各々の当時の僧籍地を表しています。
- ⑥ 各項目中、年月日の不明なものは、その年の下部に・より始めて記載しました。
- ⑦ ハワイにおける「法務担当」とは、宗制に則した名称ではなく、ハワイ布教の独自性による名称です。
- ⑧ ハワイの洞門寺、曹洞寺に関しては現在廃寺となっていますが、ハワイの国際布教の歴史を伝える上で欠かせないものとして記載しました。
- ⑨ 本書のすべてにつきましては、平成25年12月現在SOTO禪インターナショナルが入手出来得た資料に基づいてまとめられたものです。訂正すべき情報がありましたら、SOTO禪インターナショナル事務局までお知らせください。
- ⑩ 本宗では僧侶の敬称は「師」で統一されていますが、本書では国際布教の歴史的背景を明確にするために、あえて「尼」という敬称を用いました。

# 伝道史年表

## 曹洞宗国際布教及び関係事項(各宗海外伝道含)

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師 (開教師) 動静	仏教界一般	社会一般
万延元年 (1860)				3月17日 日米修好通商条約の批准書を交換するため、遣米使節団一行がアメリカ軍艦ポーハタン号にて太平洋を横断。咸臨丸は別船としてサンフランシスコに入港。 ・桜田門外の変。
慶応2年 (1866)				5月21日 德川幕府、留学生・貿易商人の海外渡航を許可。
慶応4年 (1868) 明治元年				5月 ハワイに農業労働者渡航(150名)。グアムに農業労働者渡航(40名、3年後に連れ戻される)。 10月 明治に改元。
明治2年 (1869)	12月 政府は永平寺、總持寺の本山たることを確認する。		6月 真言宗大谷派、北海道開教を政府に出願する。	6月 北米大陸横断鉄道完成。 ・オランダ商人エドワード・スネール、日本を遙れるため、会津藩士等を伴い渡米する。北米移民第一団となる(カリフォルニア州サクラメント若松植民地)。 ・スエズ運河開通。

明治3年 (1870)	7月 大本山總持寺、五院輪番制を 廢す。 7月25日 大本山總持寺第1世に梅 崖美堂禪師就任。		・サンフランシスコ大地震。 ・駐米公使館開設。
明治4年 (1871)	10月9日 大本山永平寺第61世に久 我環溪禪師就任。		
明治5年 (1872)	2月 曹洞宗单独宗名を称す。 5月 曹洞宗、宗衛(ギヨ・ガ=役所 の意)東京芝青松寺内に設置。	・西本願寺歐米視察 団5名派遣(仏教渡米 史)。	
明治9年 (1876)	「曹洞宗教会条例」公布。		
明治13年 (1880)	2月16日 大本山總持寺第2世に峰 上権仙禪師就任。		
明治14年 (1881)			
明治15年 (1882)			
明治16年 (1883)	1月 麻布に曹洞宗大學林建つ。 10月24日 大本山永平寺第62世に 青藤雪鴻禪師就任。 11月21日 謂谷琢宗、宗務局總監に 就任。	・ハワイ公使J.M.カベナ来日。 ・日本移民の誘致申し入れ。日 本の人口3670万人。	

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
明治17年 (1884)				4月23日 ハワイ政府の移民誘致に対し、日本政府承諾。
明治18年 (1885)	11月6日 大本山永平寺第63世に瀧谷琢宗禅師就任。 ・「曹洞宗宗制」公布。			・ハワイ移民再開。第1回官約移民945名ホノルルに入港。
明治20年 (1887)			8月 西本願寺学徒は「歐州仏教通信会」を創立し、「反省会雑誌」創刊号を発刊し、英訳仏典の刊行に着手する(渡米史22)。ハワイ各島を巡り日本人に布教。	4月 北米在留邦人2,000人に達す。
明治21年 (1888)				7月15日 磐梯山噴火(福島県)。
明治22年 (1889)				・ハワイの真宗本願寺派日蒼龍とヒロ市移民監督官木村齊治、ヒロ市に教会堂を建設、本願寺ヒロ別院の前身となる(渡米史232)。
明治23年 (1890)				・「曹洞宗教会修証義」公布。

明治24年 (1891)			3月 アメリカは移民条例を改訂、貧困移民の入国禁止。
明治25年 (1892)	1月 大本山永平寺第64世に森田悟山禪師就任。		1月 米国軍はハワイ島ヒロに上陸し、王制の廢止と米国への合併を宣言し、臨時政府を樹立。市民軍は王宮を占領したが、リオカラニ女王は流血をさけてこれに服従する。
明治26年 (1893)	3月 長崎県皓台寺安吾の糀種櫻仙、好城道法、北野精珠の3人は海外布教を発起し、同寺住職森玉仙の賛成を得てシンガポールに渡る。		9月 米国シカゴに於いて万国宗教大会開催。新宗演、士宣法龍、八洞蟠等6名の日本人宗教者が出席する(明教新誌、渡米史)。臨濟禪の渡米はこの時をもつて始まる。E.C.ヘーデラー、ポール・ケラースは後に「佛陀の福音」を著し、新宗演はこれを鈴木大拙に翻訳させる。
明治27年 (1894)			・日清戦争勃発。
明治28年 (1895)			・日清講和条約調印。
明治29年 (1896)			・ハワイのハマクツに浄土宗初めての仏教にて開催される。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
明治29年 (1896)			会堂を落成。	
明治30年 (1897)		6月 千崎如幻渡米し、のち臨濟禪の伝道を志し、西海岸中心に英語伝道に一生をささげる。 ・西本願寺、宮本惠順をハワイに特派し、その報告により各布教所を公認し、開教使を派遣する。	・在米同胞1万3,000人に達す。	
明治31年 (1898)	4月 能登總持寺焼失。		2月 本派本願寺・里見法爾、ハワイ布教のため渡航、開教監督となる。 7月 西本願寺の本多恵隆、宮本惠順らが海外布教事情視察のため渡米し、サンフランシスコに仏教青年会を発足。	7月7日 米国ハワイ合併宣言。 ・米国に日本人敗訴運動起る。 7月 ハワイ国日本移民事件解決(ハワイ政府、日本政府に7万5,000ドル支払い)。 ・米国、フィリピンを領有。
明治32年 (1899)			9月14日 西本願寺の開教使はサンフランシスコに出張所を開所。	4月 南米ペルーへ第1回契約移民790名渡航する。風土病のため死亡者15%にのぼり、移民中の仏具師が葬儀執行する。 12月 ハワイにおいてベスト

		予防の名目で、官憲による中国人、日本人商店街の焼き打ちあり。 これを機に、ホノルル日本人会発足する。
明治34年 (1901)	3月19日 大本山總持寺第3世に西有穆山禪師就任。	
明治36年 (1903)	3月 河原仙英、菅良雲を同胞懇問使としてハイワイへ派遣す(渡米史)。 3月18日 河原仙英、オアフ島ワイパフに仮布教所を開設。 3月 菅良雲、カウアイ島ワイアワに仮布教所を開設。 3月 菅良雲、カウアイ島ワイアワに布教所を開設。曹洞宗ハワイ布教のはじまり。 ・上野泰庵、管長辞令で移民(1,178名)と共にペルーへ渡航。南米布教のはじまり。	3月18日 河原仙英(広島県龍雲寺)、オアフ島ワイパフに仮布教所を開設。 3月 菅良雲(広島県龍雲寺)、カウアイ島ワイアワに仮布教所を開設。 ・上野泰庵、ペルーへ渡航。
明治37年 (1904)	・「海外布教者補助資金支出規定」制定。 ・平井隆機、オアフ島カワイロアに仮布教所を開設。 ・植岡祖暉(広島県徳寿院)、オアフ島アイエアに仮布教所を開設。	2月 日露戦争勃発。
明治38年 (1905)	1月 曹洞宗大学林を曹洞宗大学と改称。 4月16日 大本山總持寺第4世に石川素堂禪師就任。	9月5日 日露戦争講和条約調印。 11月 アメリカで黄禪説さかん、排日運動激しくなる。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
明治39年 (1906)	・「曹洞宗宗制」改定。「曹洞宗布教規定」成立。	11月7日 植岡祖暉、オアフ島アイエアよりマウイ島バイアに移住。		・南滿州鉄道株式会社(満鉄)設立。
明治40年 (1907)	・植岡祖暉、マウイ島に満徳寺建立。本山より「馬頭山満徳寺」の寺号下付。 ・上野泰庵、ペルーのカニエテに南漸寺建立。	3月 植岡祖暉、マウイ島にマウイ満徳寺建立。 ・上野泰庵、ペルーのカニエテに南漸寺建立。		・アメリカで、日本移民制限法成立。
明治41年 (1908)	4月 ペルーの南漸寺へ、「泰平山慈恩寺」の寺号下付。	6月5日 河原仙英、ワイバフ布教所にて遷化。 11月 岡田大豊(広島県金蓮寺)、ワイバフ布教所に就任。		・日本からブラジルへの第1回移民。
明治42年 (1909)		5月 矢原豊洲(広島県慶寿院)、カウアイ島ワヒアワ布教所に就任。 6月 菅良雲、カウアイ島ワヒアワ布教所より辞任帰国。		
明治43年 (1910)		・児玉介石(東京都大福寺)、マウイ満徳寺に就任。	1月 淨土宗經營布哇女学校開校。	・ハワイにおける日本人人口は、45%の7万9,000人となる。
明治44年 (1911)	7月 大森禪戒、歐米の視察より帰る。 ・般種堪仙、シンガポールに「般教山西有寺」を開設。 ・大本山總持寺、鶴見遷祖式及び放光堂上棟(宗報)。			3月20日 米国カリフォルニア州で、日本人の土地所有禁止案可決。 ・辛亥革命。
明治45年 (1912) 大正元年		2月 般種堪仙、シンガポール西有寺にて遷化。		2月25日 三教会同。内相原敬は宗教を国家目的に沿わせるため神道、仏教、キリスト教、キリスト教・ロシアに社会民主労働党(ボルシェヴィキ)成立。

		教の代表を招き懇談会を開く。 ・高野山真言宗の青山秀泰、ロサンゼルスに米国大師教会を開設する。 ・ドイツ、ハレー市に仏教生活聯盟生まれる(佛教雑誌)。	7月30日 大正に改元。
大正2年 (1913)	2月 磐部峰仙、本重和助の招きにより、オアフ島ホノルルの薬師堂(光永良悟建立)にて布教開始。 4月 薬師堂を曹洞宗ハワイ仮別院とする。 ・曹洞宗大学、駒沢に移転。	2月24日 磐部峰仙(山口県華嚴寺)、オアフ島にて布教開始。 3月5日 佐藤昇雲(岐阜県千手院)、ワイバフ布教所に就任。	5月2日 カリフォルニア州議会上院で排日土地法案可決(8月11日より実施)。 ・在米日本人95,483人に達する。 ・ブラジル移民地入植始まる(定着移住の始まり)。
大正3年 (1914)	7月 児玉介石、ハワイ島コナに布教所開設。	3月 花井嵩松(三重県万寿寺)、ワイバフ布教所に就任。 5月 岡田大豊、ワイバフ布教所を辞任。米本土に転出。 7月25日 児玉介石、マイ満徳寺より、ハワイ島コナへ転出、布教所を開設。	7月28日 第1次世界大戦勃発。 8月23日 日本がドイツに戦布告。
大正4年 (1915)	3月28日 大本山永平寺第65世に福山黙童禅師就任。 10月4日 ハワイ島コナ布教所に「白峰山大福寺」の寺号下付。	6月 荒原見山(岐阜県大隆寺)、カワイロア布教所に就任。 7月 竹中修道(広島県福寿院)、カウアイ島ワヒアワ布教所に就任。 9月 矢原豊洲、カウアイ島ワヒアワ布教所より辞任帰國。 10月 江沢白道(山口県洞玄寺)、ハワイ仮別院に就任。	・在米仏教界はハバマ運河開通を記念して、サンフランシスコに「万国仏教大会」を開催し(7月)、日本各宗代表日置黙仙、日本仏教會代表山上曹源等6名が参加(渡米史51)。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
大正4年 (1915)		12月 平井隆機、カワイロア布教所より辞任帰国。	日置黙仙はホノルル別院に1ヵ月滞在し布教に勤む。 7月10日 日置黙仙、山上曹源等米国大統領ヴィルソンに会見。	
大正5年 (1916)	4月 江沢白道、ハワイ島ヒロに新町布教所を開設。 5月26日 大本山永平寺第66世に日置黙仙禅師就任。 12月27日 「ハワイ布教規定」・「朝鮮布教規定」制定。	4月6日 江沢白道、ハワイ仮別院よりハワイ島ヒロ市に転出。新町布教所を開設。 6月20日 佐藤昇雲、ワイバフ布教所を辞任。米本土に留学。 10月18日 津田黙龍(山口県淨光寺)、ハワイ仮別院に就任。 12月15日 井上道雄(岐阜県雲龍寺)、ワイバフ布教所に就任。 ・大塚智船(僧籍地不明)、シンガポール西有寺に就任。	12月 大谷派ハワイ別院(ホノルル)、真言宗別院(ホノルル)開設。	
大正6年 (1917)		2月 斎藤仙峰(山形県積雲寺)、ペルー慈恩寺に就任。 6月 神原義孝(広島県法常寺)、ハワイ仮別院に就任。 6月24日 村上彌宗(山梨県宝林寺)、ハイ島ヒロ市の新町布教所に就任。 8月 上野泰庵、ペルー慈恩寺より辞任帰国。 9月 花井嶺松、ワイバフ布教所より辞任帰国。 10月15日 中山宝瑞(新潟県潮山寺)、ワイバフ布教所に就任。	3月12日 ロシア2月革命。同月15日、ロシア皇帝退位。 10月 ハワイ・ホノルル日蓮宗布教所が落慶(連報)。	

大正7年 (1918)	4月14日 ヒロ新町布教所に「白峰山大正寺」の寺号下付。 7月17日 谷田黙龍、オアフ島アイエアに布教所開設。	3月25日 磬部峰仙、ハワイ布教管理に就任。 6月16日 墓浦明道(静岡県光明寺)、コナ大福寺に就任。 7月17日 谷田黙龍、オアフ島にアイエア布教所を開設。 7月 児玉介石、コナ大福寺より辞任帰国。 ・神原義孝、ハワイ仮別院よりマウイ満徳寺に転任。	11月11日 第1次世界大戦終結。 ・ペルサイユ条約。 ・中国国民党発足。
大正8年 (1919)	11月9日 「ハワイ曹洞宗婦人会」発足。	4月5日 斎藤仙峰、ペルー慈恩寺にて遷化。 6月8日 井上富山(新潟県光明寺)、ヒロ大正寺に就任。 7月17日 駒形善教(新潟県龍谷寺)、ハワイ仮別院に就任。 7月26日 小畠大拙(愛媛県実法寺)、カワイロア布教所に就任。 7月 柳尾道雄(広島県龍雲寺)、ペルー慈恩寺に就任。 9月15日 江沢白道、ヒロ大正寺より辞任帰国。	11月2日 米国カリフォルニア州議会、排日土地法案を可決。 ・アメリカ行写真結婚の花嫁に対する旅券発給停止。 ・国際連盟成立。
大正9年 (1920)	10月23日 大本山永平寺第67世に北野元蜂禅師就任。 12月23日 大本山總持寺第5世に新井石禅禅師就任。	2月29日 荒原見山、カワイロア布教所より辞任帰国。 5月 木下鑑牛(大阪府梅林寺)、カワイロア布教所に就任。 5月 竹中修道、カウアイ島ワヒアワ布教所より辞任帰国。 5月 村上顕宗、ヒロ大正寺よりカウアイ島ワヒアワ布教所に転任。 8月 井上道雄、ワイバフ布教所より辞任帰国。	

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
大正9年 (1920)	・北川翠傳(僧籍地不明)、シンガボール西 有寺に就任。			
大正10年 (1921)	5月 曹洞宗宗務院、芝新堀町の新 館に移転。 6月 新井石禅禪師、ハワイ別院入 仏開堂式並びに米国巡錫のため渡米。 7月3日 ハワイ仮別院をハワイ曹洞 宗別院として認可。 9月 新井石禅禪師、米国大統領ハーヴ ィングに会見。	8月10日 石黒法龍(東京都大光寺)、カワ イロア布教所に就任。 9月 木下鑑牛、カワイロア布教所を辞任。 米本土に留学。	2月12日 大本教不 敬事件。 8月 ハワイの大谷派 別院落成。	7月 ハワイ、外国语学校取 締法施行される。 ・中国共産党成立。
大正11年 (1922)	11月 磯部峰仙、ロサンゼルスに「曹 洞宗北米仏教会」開設。	2月27日 伊藤梅芳(新潟県大榮寺)、カウ アイ島ワヒアワ布教所に就任。 3月2日 村尾実英(東京都月懸院)、ヒロ大 正寺に就任。 4月28日 磯部峰仙、ハワイ別院布教管理 を辞任。ロサンゼルスへ転出。 4月28日 駒形善教、ハワイ別院第2代主 任に就任。 6月 中山宝瑞、ワイバフ布教所を辞任。米 本土に転出。 7月 石黒法龍、カワイロア布教所より辞任 帰国。 7月2日 後藤古仙(愛知県成道寺)、カワイ ロア布教所に就任。 7月15日 磯部峰仙、ロサンゼルスに曹洞 宗北米仏教会を開設。 7月28日 井上富山、ヒロ大正寺より辞任 帰国。	11月14日 木村泰賢、 英國に於いて「阿尾達 磨論の研究」を著す。 12月30日 ソビエト社会主义 共和国連邦成立。	1月23日 横太町村制公布。 9月25日 日ソ長春会談、尼港・ 北横太撤兵問題で決裂。 10月28日 イタリアのファシ スト党、ローマに進軍。ムッ ソリーニ内閣成立。 11月14日 米最高法院、日本 人の帰化禁止を宣言。 12月30日 ソビエト社会主义 共和国連邦成立。

	<p>8月24日 後藤古仙、カワイロア布教所を辞任。ホノルルへ転出後マウイ満徳寺に転任。</p> <p>8月 上島泰岳(山形県禪会寺)、ワイパフ布教所に就任。</p> <p>8月 墓浦明道、コナ大福寺より辞任帰国。</p> <p>8月 木下豊牛、米本土より帰布しカワイロア布教所に再任。</p> <p>9月 渋川太嶺(新潟県東福寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>・神原義孝、マウイ満徳寺よりコナ大福寺に転任。</p>	<p>8月24日 後藤古仙、カワイ満徳寺よりヒロ大正寺に転任。</p> <p>2月17日 後藤古仙、マウイ満徳寺よりヒロ大正寺に転任。</p> <p>4月28日 村尾実英、ヒロ大正寺より辞任帰国。</p>	<p>9月11日 関東大震災。</p> <p>9月 政府、ブラジル向渡航費貸付開始。この頃より政府の移民奨励本格化。</p> <p>・ペルーへの移民契約禁止。</p>
大正12年 (1923)	<p>1月20日 若本徳温、宗教哲学研究のため北米へ留学を命ぜられる(宗報630、第1義27)。</p> <p>4月8日 「ハワイ仏教青年会」(YBA)発足。</p>	<p>5月22日 林哲雄、宗教事情視察のため、米出張命ぜられる(宗報660)。</p> <p>7月4日 オアフ島アイエア布教所に「真珠山太平寺」の寺号下付。</p> <p>・曹洞宗磯部峰仙、日蓮宗池田順教、浄土宗佐山學順らが主唱し、親睦会「大乗会」を作る。のち1933年ロサンゼルス市仏教各宗連合会に発展する。</p>	<p>2月20日 清浦首相、シガポール西有寺に就任。</p> <p>4月12日 米国下院、排日移民法案可決、7月1日実施。</p> <p>9月 ブラジル向け震災援護金給付。移民に対し渡航補助金給付。</p> <p>・キリスト教各代表と国民精神作興と思想指導で懇談。</p>
大正14年 (1925)	<p>3月18日 佐々木珍龍、ハワイ及び北米在留同胞慰問両大本山特派布教師を命ぜられる(宗法681)。</p>	<p>2月6日 伊藤梅芳、カウアイ禪宗寺を辞任。</p> <p>8月 村上顯宗、カウアイ禪宗寺を辞任。ホノルルに転出。</p>	<p>1月 伊ムツソリ一二、ファシスト党独裁を宣言。</p> <p>3月12日 孫文死去。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
大正14年 (1925)	4月1日 「太祖大師600回大恩忌法会」修行。 9月 南米ペルー慈恩寺、サンルイスに移転。	9月 中山宝璫、再来布し、ハワイ別院に就任。		5月15日 日本軍北樺太より撤兵完了。 5月30日 5・30事件、上海の法人紡績工場で大ゼネストが暴動化し各地で反帝運動。
大正15年 (1926) 昭和元年	3月26日 ワイバフ布教所に「松嶽山大陽寺」の寺号下付。 9月9日 後藤古仙、教育制度研究のため米国视察を命ぜられる(宗報703)。 10月 中山宝璫、モロカイ島に布教所設立の為に派遣される。 10月 口サンゼルス禅宗寺本堂落慶。 管長代理松浦百英。 11月 管長代理松浦百英、米本土よりの帰途ハワイ巡錫。	2月9日 林哲雄(山口県西宗寺)、ロサンゼルス禅宗寺に就任。 4月26日 豊田法順(青森県全龍寺)、カウアイ禅宗寺に就任。 9月 神原義孝、コナ大福寺より辞任帰國。 9月 細川靠山(福井県天龍寺)、コナ大福寺に就任。 10月 中山宝璫、ハワイ別院よりモロカイ島に布教所開設の為、派遣される。 10月 鈴木光輪(愛知県西明寺)、ハワイ別院に就任。 ・堀江晴行(僧籍地不明)、シンガポール西有寺に就任。	10月 朝鮮僧の妻帯が認められる(李教)。 10月 還羅(シャラ・今)のタイ国)皇族ダニー親王、日本仏教教育视察のため来日(中止)。 12月23日 西本願寺の岡田英定はアラジルに渡り開教する(渡米史319)。	3月20日 萩介石の左派弾压クーデター。 7月7日 萩介石、中華民国々民革命軍總司令に就任、北伐開始。 12月25日 大正天皇崩御。 12月25日 摄政宮裕仁に親王践祚(センゾ=天子の位につく)。昭和と改元。
昭和2年 (1927)	2月 ロサンゼルス禅宗寺護持会を創立。 6月 ホノルル市仏教青年会館にてハワイ仏教青年連合大会開催。 8月 佐藤賢隆、南米ペルーのリマに布教所「慈光会」を開設。 11月14日 中山宝璫、モロカイ島カラカナイに布教所起工。	1月8日 渋川太嶺、ハワイ別院より、ヒロ大正寺に転任。 4月20日 後藤古仙、ヒロ大正寺よりロサンゼルス禅宗寺に転任。 4月 柳毛道雄、ペルー慈恩寺より辞任帰國。 9月 林哲雄、ロサンゼルス禅宗寺より辞任帰國。 10月 藤沢秀南(宮城県陽山寺)、ワイバフ大陽寺に就任。 11月 津田黙龍、アイエア太平寺よりロサンゼルス禅宗寺に転任。	12月 ハワイに於いて1920年以来提訴抗争中の「外国语学校取締法」違憲訴訟は日本語学校側勝訴する。これを機に教育会誕生す。	1月 中国革命軍、漢口租界を占領。 3月 金融恐慌、ヨーロッパ諸国との経済復興。中國民族革命の進展により対支貿易不振となり恐慌起ころる。 4月12日 上海で萩介石の反共クーデター。 9月 满州の排日運動激化。 9月 海外移住組合法公布。

		ンゼルス禅宗寺に転任。 ・吉住浩巖（山形県法眼寺）、アイエア大平寺に就任。 ・加藤禪柱（新潟県圓龍寺）、黒岩義孝（千葉県宝昌院）、ロサンゼルス禅宗寺に就任。 ・佐藤賢隆（山梨県慈眼寺）、ペルー慈恩寺に就任。	
昭和3年 (1928)	2月20日 大本山總持寺第6世に杉本道山禪師就任。 ・モロカイ島カウナカカイ布教所に「施苑山弘誓寺」の寺号下付。	8月 藤沢秀南、ワイバフ大陽寺を辞任。ワイヤホレ布教所開設の準備を始める。 8月28日 鈴木光輪、ハワイ別院を辞任。 米本土に転出。 9月 中山室端、モロカイ弘誓寺より、コナ大福寺に転任。 9月 木下豊牛、小畑大拙、カワイロア布教所より辞任帰国。 9月 細川葦山、コナ大福寺よりカワイロア布教所に転任。 9月6日 大内素俊（新潟県香積寺）、モロカリ弘誓寺に就任。 11月1日 駒形善教、ハワイ布教管理に就任。 12月 高橋理円（北海道法王寺）、ハワイ別院に就任。 12月 遠藤數元（僧籍地不明）、ハワイ別院布教補佐に就任。	5月 浄土宗の野崎靈海が米国に派遣され、浄土宗の米国布教が始まる。 7月 シンガホール西本願寺別院を中心とした南洋仏教会を設立（中南洋の東本願寺会堂で白人得度入門式修行） 11月10日 天皇裕仁、即位大礼を挙行。 11月11日 外移住組合法制定（いわゆる企業移民推進）。
昭和4年 (1929)	12月4日 大本山總持寺第7世に秋野孝道禪師就任。	10月 上島泰岳、ワイバフ大陽寺より辞任帰国。アイエア太平寺の吉住浩巖、ワイバフ大陽寺との兼務となる。 ・村野孝顯（秋田県常光院）、佐藤慧一（三重県極楽寺）、池田文潤（静岡県光泰寺）、鈴木大等（長野県藏沢寺）、内藤竹路（僧籍地	3月 カリフォルニアで北米仏教青年会連盟大会開かれ、渡米中の常光浩然が出席、汎太平洋仏教青年会大会を提案する（渡米史65）。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
昭和4年 (1929)		不明)、ロサンゼルス禅宗寺に就任。 ・鈴木大等、モンテベロ日本語学園に転任。	10月31日 西本願寺派北米開教財團が設立され、英文伝道書籍、サンデースクール教材などの開運事業基金とする(渡米史274)。	
昭和5年 (1930)	9月 藤沢秀南、オアフ島ワイアホレに布教所を開設。「臨海山洞門寺」となる。	5月2日 中村宗一(愛知県昌光寺)、ロサンゼルス禅宗寺に就任。 5月28日 光英勇猛(兵庫県大龍寺)、ワイバフ大陽寺に就任。 7月4日 横岡祖幹、マウイ満應寺に布教師補として就任。 7月8日 与野蒼玄(僧籍地不明)、ハワイ別院に就任。 8月 戸田泰雄(愛知県西光寺)、ハワイ別院に就任。		
昭和6年 (1931)		3月21日 小沢義淨(山梨県大聖寺)、カウアイ禅宗寺に駐在就任。 8月19日 西沢宏山(東京都宗參寺)、ハワイ別院に就任。	11月 日蓮宗石田日天、サンフランシスコに米国日蓮教会本部設立する。	9月18日 満州事変勃発。
昭和7年 (1932)				6月 高橋理円、ハワイ別院を辞任。同年「Zen Mission Hawaii」を設立。 ・井上弘忍(佐島県薬師寺)、林正徳(僧籍地不明)、ロサンゼルス禅宗寺に就任。

昭和8年 (1933)	5月20日 カワイロア布教所に「海雲山龍潛寺」の寺号下付。 12月6日 大本山永平寺第68世に秦慧昭禪師就任。 ・ロサンゼルス禪宗寺の磯部峰仙が「仏教海外伝道史」を発行。	5月10日 細川治学（福井県天龍寺）、カワイロア布教所に就任。 ・磯部峰仙、ロサンゼルス禪宗寺を辞任。 ・上島泰岳（山形県禪会寺）、ロサンゼルス禪宗寺に就任。	5月10日 ドイツにヒットラー内閣成立。国際連盟を脱退。 ・日本、国際連盟を脱退。
昭和9年 (1934)	4月2日 大本山總持寺第8世に栗山泰音禪師就任。 12月8日 磯部峰仙、サンフランシスコに「日米山桑港寺」を創設。	10月 黒岩義孝、ロサンゼルス禪宗寺を辞任。 12月8日 磯部峰仙、ロサンゼルス禪宗寺より初代サンフランシスコ桑港寺主任に就任。 ・上島泰岳（山形県禪会寺）、第2代ロサンゼルス禪宗寺主任に就任。	8月19日 ヒットラー、ドイツ総裁に就任。
昭和10年 (1935)	5月28日 大本山總持寺第9世に伊藤道海禪師就任。 9月3日 三尾透闇、北米及びハワイに於ける布教状態の調査並びに布教を命ぜられる。	6月 細川竜山、カワイロア龍潛寺より辞任帰國。 6月21日 大内素俊、モロカイ弘誓寺を辞任（朝鮮禪宗寺に転任）。 7月 佐藤賢隆、ペルー慈恩寺にて遷化。 8月 立花隆幸（東京都松門寺）、ハワイ別院に就任。 9月12日 穀藏禪戒（北海道清輪寺）、ハワイ別院に就任。 9月21日 高橋直文（僧籍地不明）、ロサンゼルス禪宗寺に就任。 11月1日 西沢玄山、ハワイ別院よりモロカイ弘誓寺に転任。 ・中尾證道（茨城県正福寺）、ペルー慈恩寺に就任。	
昭和11年 (1936)		3月3日 穀藏禪戒、ハワイ別院よりヒロカ正寺に転任。	2月26日 2.26事件。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和11年 (1936)	<p>4月 志田光隨尼(東京都勢至院)、コナ大福寺に就任。</p> <p>4月12日 渋川太嶺、ハワイ島ヒロ大正寺にて遷化。</p> <p>7月10日 豊田法順、カウアイ禪宗寺より辞任帰国。</p> <p>8月 光英勇猛、ワイバフ大陽寺を辞任(朝鮮布教総監部主任に転出)。</p> <p>8月 永井智峯尼(新潟県龍谷院)、ハワイ別院に就任。</p> <p>8月6日 松浦玉美(山形県宝林寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>10月15日 大川玄道(東京都永心寺)、ワイバフ大陽寺に就任。</p> <p>12月 棚方宏源(秋田県大川寺)、カウアイ禪宗寺に就任。</p> <p>・上島泰岳、ロサンゼルス禪宗寺を辞任。</p> <p>・金井秀元(新潟県龍門寺)、ロサンゼルス禪宗寺に就任。</p>			<p>5月28日 サンフランシスコ・ゴールデンゲートブリッジ開通。</p> <p>7月7日 虐溝橋事件「日華事変」。</p>
昭和12年 (1937)	<p>1月1日 「曹洞宗ハワイ布教法」を廃止し、「海外布教法」制定。</p> <p>12月1日 ロサンゼルス禪宗寺を両大本山別院として認可。あわせて北米総監部設置。</p>	<p>3月3日 木下豊牛、ヒロ大正寺に再任。</p> <p>4月 細川靠山、カワイア龍潛寺に再任。</p> <p>4月 細川治学、カワイア龍潛寺より辞任帰国。</p> <p>7月 志田光隨尼、コナ大福寺よりハワイ別院に転任。</p> <p>9月 祥雲曉成(新潟県耕雲寺)、第3代口サンゼルス禪宗寺主任に就任。同年12月初代北米布教総監に就任。</p>		

	12月 鈴木大等、北米布教総監部主事に就任。	3月 佐藤憲一、北米別院よりサンフランシスコ桑港寺に転任。 4月1日 松浦玉英、ハワイ別院よりカウアイ禪宗寺に転任。 4月30日 小島賢道尼（富山県万泉寺）、ハイ別院に就任。 5月15日 山下顯光（岐阜県大龍寺）、ロサンゼルス別院に就任。 6月1日 棟方宏源、カウアイ禪宗寺より辞任帰国。 6月 駒形善教、ハワイ布教総監となる。 8月 立花隆幸、ハワイ別院を辞任。米本土に転出。 10月 田中哲翁（広島県聖光寺）、カワイロア龍潛寺に就任。 12月 志田光隨尼、ハワイ別院より、マイ満徳寺に転任。	3月28日 中華民国維新政府（カライ）を南京に成立。 4月1日 国家総動員法制定。	
昭和13年 (1938)	2月 池田文庵、北米に於ける本宗の教線調査と在留邦人の慰問布教を命ぜられる。 6月1日 ハワイ布教管理が布教総監と改正。 ・秋山証道、razilに滞在し「修証義」を講ず。 ・中尾証道、ペルー・リマに「南米山中央寺(後の慈恩寺)」を建立。	1月22日 「曹洞宗米布教会」を設立し、宗務院に於いて発会式を行う。 理事長中根環道、理事三尾透闇、竹内道説、小坂明詮等就任。	1月14日 立花隆幸（東京都松門寺）、ハイ別院より北米別院に転任。 4月30日 山崎自性（長野県金鳳寺）、ワイバフ大陽寺に就任。 8月3日 森田宏悦（群馬県宝珠寺）、ハイ別院に就任。 10月 磯部峰仙、サンフランシスコ桑港寺より辞任帰国。 11月 永井智孝尼、ハワイ別院より辞任帰国。	5月11日 ノモンハン事件。 9月1日 ドイツ軍ボーランド進駐。 9月3日 ドイツ軍、英・仏に宣戰布告。第二次世界大戰勃発。
昭和14年 (1939)				

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和15年 (1940)	7月16日 大本山總持寺第10世に鈴木天山禪師就任。  2月9日 松岡操雄（山口県天淨寺）、北米別院に就任。 2月 細川幕山、カワイロア龍潛寺より辞任帰国。 3月 室賀龍海尼（新潟県妙喜寺）、ハワイ別院に就任。 7月 伊藤貫禪尼、マイ満徳寺に就任。 8月 藤沢秀南、ワイアホレ洞門寺よりハワイ別院に転任。 8月 森田宏悦、ハワイ別院よりワイアホレ洞門寺に転任。 8月 戸田泰雄、ハワイ別院より辞任帰国。 10月9日 祥雲晩成、北米布教總監を辞任。 11月1日 越智道順（愛媛県龍隱寺）、北米別院に就任。		9月27日 日独伊三国軍事同盟条約調印。 ・東京オリンピックが、日中戦争の拡大やソ連のフィンランド侵攻により中止される。	
昭和16年 (1941)	4月1日 大本山總持寺第11世に大森柳戒禪師就任。 5月1日 大本山永平寺第69世に鈴木天山禪師就任。 6月28日 大本山永平寺第70世に大森柳戒禪師就任。 6月28日 大本山總持寺第12世に高階瓈仙禪師就任。 7月17日 大本山永平寺第71世に高階瓈仙禪師就任。 7月17日 大本山總持寺第13世に福山界珠禪師就任。 12月8日 太平洋戦争が始まり、在米邦人や開教使(師)の大部分は強制	1月 木下豊牛、ヒロ大正寺より辞任帰国。 5月 小島賢道尼、ハワイ別院より辞任帰国。 8月1日 植岡祖曉、マイ満徳寺を辞任引退。 8月 越智道順、第4代北米別院主任並びに第2代北米布教總監に就任。 8月 佐藤憲一、サンフランシスコ桑港寺より辞任帰国。 9月 松浦玉英、カワイアイ禪宗寺よりヒロ大正寺に転任。 ・志田光隨尼、マイ満徳寺より辞任帰国。 ・鈴木大等、北米別院駐在とサンフランシスコ桑港寺主任を兼務。	12月8日 真珠湾攻撃。太平洋戦争始まる。ハワイにおいても日本人は抑留され、ハイイ日系二世による442部隊が編成され、翌年第100大隊と共にヨーロッパ戦線に加わる。戦死者506名、戦傷者2,000名。	

<p>収容所に抑留される。各仏教団は収容所内でのみ活動。聖職者が最も多く取容されていたのは、ニューメキシコ州サンタフェ取容所であった。カナダ政府は仏教関係の活動を一切禁止する。また終戦後、カナダ政府は仏教会堂を売却し開教使(師)を強制送還する。</p> <p>*開教使の名称は北米仏教団(浄土真宗系)が使用。曹洞宗では開教師と称する。</p>	<p>昭和17年 (1942)</p> <p>4月8日 サンフランシスコ桑港寺、この日を最後に「积敷降誕会」を終修し閉鎖する。</p> <p>*禪宗寺・桑港寺は、日系人の強制収容に伴い、日系人の家財保管所として提供。</p>	<p>6月 ミッドウェー海戦敗戦。</p>	<p>11月27日 カイロ宣言(米英・華三国巨頭日本反撃統一宣言)。</p>
	<p>昭和18年 (1943)</p> <p>3月15日 大本山總持寺第14世に久我篤立禪師就任。 3月19日 大本山總持寺第15世に佐川玄輝禪師就任。</p>		
	<p>昭和19年 (1944)</p> <p>2月4日 大本山永平寺第72世に佐川玄輝禪師就任。 2月7日 大本山總持寺第16世に熊澤泰禪禪師就任。 2月8日 大本山總持寺第17世に渡辺玄宗禪師就任。 2月18日 大本山永平寺第73世に熊沢泰禪禪師就任。</p>		<p>・ロンドンオリンピック、第二世界大戦のため中止。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
昭和19年 (1944)	11月 河合真英、宗務総長に就任。			
昭和20年 (1945)	8月 終戦により、米国に於ける日本人開教師は各寺院に復帰、復興に尽力する。 12月 森田宏悦、ワイアホレ洞門寺に帰任。	10月 鈴木大等、サンフランシスコ桑港寺を再開堂。 12月 森田宏悦、ワイアホレ洞門寺に帰任。		5月 ドイツ降伏。 5月 東京大空襲。 8月6日 広島に原子爆弾投下。 8月9日 長崎に原子爆弾投下。 8月15日 日本降伏。太平洋戦争終結。 ・国際連合成立。
昭和21年 (1946)	11月 以降、ハワイ開教師は米本土より復員し寺院学校など復興する。	2月 松浦玉英、ヒロ大正寺よりコナ大福寺に転任。		2月20日 ソ連、千島・樺太の正式領有を宣言。 4月1日 マウイ島、ハワイ島に大洋渡襲来。
昭和22年 (1947)	5月 ハワイ島ヒロ大正寺開創30周年慶讃法要を歎修。戦後ハイ曹洞宗最初の行事となる。同時に開教師懇談会開催。 6月3日 宗務庁、この日より2日間、外地帰還開教師大会を大本山總持寺において開催。引き受け開教師187名、未帰還開教師138名を記録す(宗報、続年表)。 8月3日 小坂準爾、宗務総長に就任。 12月 北米別院禪宗寺機関誌「仏心」を創刊。	10月17日 中山宝瑞、コナ大福寺より辞任帰国。		5月3日 日本国憲法施行。 10月 海外移住協会発足。

昭和23年 (1948)	1月29日 錦島宗純、宗務総長に就任。 10月28日 中根環堂、宗務総長に就任。 ・「代議員制ハワイ曹洞宗協会」設立。	・越智道順、北米布教総監を辞任。 ・鈴木大等、北米別院に再任。 ・高橋理円(北海道法王寺・前ハワイ別院駐在)、サンフランシスコ桑港寺に就任。	1月30日 ガンジー暗殺される。 ・朝鮮が南北に分裂。
	3月10日 本多喜禪、宗務総長に就任。 10月23日 オアフ島[エワ曹洞寺]本堂落慶法要を厳修。	10月23日 大川玄道、ワイバク太陽寺とエワ曹洞寺の兼務となる。 10月 上野輝讚(山形県泉藏寺)、留学生として来布。 ・山崎自性、ワイバフ大陽寺より辞任帰国。	5月3日 蔣介石、台湾に入る。 10月1日 中華人民共和国成立。主席に毛沢東。 ・北大西洋条約機構(NATO)が結成される。 ・東西ドイツ分裂。
昭和24年 (1949)	3月17日 小松原國乗、宗務総長に就任。 ・松岡操雄、シカゴ禪センターを開設。	1月4日 金井秀元(新潟県竜門寺)、ハワイ別院に就任。 ・長田康哉(宮崎県台雲寺)、北米別院に就任。 ・高橋理円、サンフランシスコ桑港寺を辞任。ハワイに転出。	5月 第1回世界仏教徒会議がセイロノン・コロンボで開催される。 日本代表高階龍仙禪師(中外、潮音)。
昭和25年 (1950)	2月25日 佐々木泰翁、宗務総長に就任。	5月14日 島羽瀬保道(熊本県国照寺)、サンフランシスコ桑港寺に就任。 6月23日 加藤和光(奈良県補巖寺)、サンフランシスコ桑港寺に就任。 8月 西沢宏山、モロカイ弘誓寺よりカウアイ禪宗寺に転任。 8月 小沢義淨、カウアイ禪宗寺よりワイバフ大陽寺に転任。同年9月エワ曹洞寺を兼務。	9月4日 サンフランシスコ講和会議。 9月8日 講和条約、日米安保条約調印。
昭和26年 (1951)		9月25日 大川玄道、ワイバフ大陽寺、エワ曹洞寺より辞任帰国。	
昭和26年 (1951)			

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和26年 (1951)	10月18日 倉井秀雄(三重県金剛寺)、北美別院に就任。 11月9日 森田宏悦、ワイアホレ洞門寺よりモロカイ弘誓寺に転任。 ・加藤和光、サンフランシスコ桑港寺より北美別院に転任。			
昭和27年 (1952)	・八杉智鑑、移民と共にブラジルに移住。当時世界仏教徒会議總裁、曹洞宗管長高階龍仙禅師を招聘する。 3月3日 「曹洞宗宗憲・曹洞宗規則」等制定施行。「布教文化規程・第4章 海外布教」に基づき、「ハイ布教監部」が「ハイ開教總監部」と改称。	3月1日 ハント真覚アーネスト、曹洞宗伝道師としてハイ別院に就任。 3月3日 駒形善教、初代ハイ開教總監に就任。 10月 田中哲翁、カワイロア龍潛寺より辞任帰国。 11月 町田時保(埼玉県東昌院)、ワイアホレ洞門寺に就任。 12月 駒形善秀(新潟県龍谷寺)、ハワイ別院に就任。	9月 第2回世界仏教徒会議が日本で開催される。	・米国で移民国籍法成立、日本移民の割り当ては1ヵ年185人、在住者には帰化権が与えられる。
昭和28年 (1953)	5月9日 両大本山ハイ別院、本堂入仏落慶法要を斎修。曹洞宗管長高階龍仙禅師親修。ハイ開教50周年に際し、ロサンゼルス、サンフランシスコ、シカゴ、ワシントン、ニューヨーク等巡錶。	6月13日 善波卓道(神奈川県勝興寺)、カワイロア龍潛寺に就任。 ・駒形善秀、ハイ別院より辞任帰国。 ・鈴木大等、第5代北美別院主任並びに第3代北米開教總監に就任。	5月 ブッダガヤの管理がヒンズー教から仏教徒に移された。 8月 第1回日本仏教徒会議を高野山にて開催。	9月 外務省歐米局に移民課設置。 12月1日 在ソ同胞第一次帰還船興安丸舞鶴港に帰着。
昭和29年 (1954)		3月11日 植岡祖幹、マウイ満徳寺に帰山。 ・鈴木大等、北米開教總監を辞任。 ・鳥羽瀬保道(サンフランシスコ桑港寺主任)、第4代北米開教總監に就任。	12月 第3回世界仏教徒会議がビルマ・ラグーンで開催される。	3月6日 バラグアイ国計画移住者第一陣出発。

		・市村承秉(新潟県大輪寺)、ハワイ別院の留学生として来布。	
昭和30年 (1955)	8月 オアフ島「ワイアホレ洞門寺」 9月11日 八杉智鑑、「ブラジル禪源寺」開創。 ・曹洞宗管長高階龍仙禪師、ブラジル並びに北米巡錫。	2月20日 上野暉讃、ロサンゼルス・カリフォルニア州立大学を卒業しヒロ大正寺に就任。 3月11日 植岡祖暎、マウイ満徳寺にて遷化。 9月11日 町田時保、ワイアホレ洞門寺魔寺となり、ハワイ別院に転任。 9月11日 八杉智鑑(静岡県可睡齋)、ブラジルのモジ・ダス・クルーゼス市に禪源寺開創。 12月5日 岩井恵澄尼(富山県吉祥寺)、ハワイ別院に就任。 ・松岡季雄(山口県天淨寺)、北米別院に就任。	・ワルシャワ条約機構結成。 ・東西対立深刻化。
昭和31年 (1956)	5月 南米別院、州政府に登録。 10月 新宮良範、南米初代開教総監として渡伯。	1月 穂藏禪戒、約1年の南米布教よりヒロ大正寺に帰任。 2月 上野暉讃、ヒロ大正寺を辞任。米本土へ転出。 10月 新宮良範(鳥取県補岩寺)、南米初代開教総監に就任。南米禪源寺の主任に就任。 ・前角博雄(東京都桐ヶ谷寺)、横尾太寿(新潟県高安寺)、佐山光嶺(群馬県龍昌寺)、北米別院に就任。 ・市村承秉、ハワイ別院より米本土へ転出。 ・ガーリック禪巖(新潟県龍谷寺)、ハワイ別院に就任。	11月 第4回世界仏教徒会議がカトマンズで開催される。 12月18日 国連総会、日本の国連加盟を全会一致で可決。
昭和32年 (1957)	4月4日 西沢浩仙、宗務總長に就任。 11月17日 「ロンクヒーチ教会」建立。	6月29日 上野暉讃、米本土よりヒロ大正寺に帰任。	5月 タイ国佛紀2500年記念式典に日本から4名の代表者出席。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和32年 (1957)		<p>7月9日 穀藏禅戒、ヒロ大正寺より辞任帰国。</p> <p>8月5日 高橋千鶴(新潟県福勝寺)、コナ大福寺に就任。</p> <p>8月 山下翼光(岐阜県大龍寺)、南米別院に再任。</p> <p>10月 新宮良範、南米禪源寺の主任を辞任。</p> <p>11月24日 彦坂信能(愛知県東泉院)、南米禪源寺に就任。</p> <p>・長田康哉(宮崎県台雲寺)、ロングビーチ仏教会を建立。</p> <p>・浪花益道(鳥取県補岩寺)、南米別院に就任。</p>	<p>・「全日本佛教会」発足。</p>	
昭和33年 (1958)		<p>1月 ハワイ・ホノルル市にて「曹洞宗アワー」の放送開始。</p> <p>11月 八杉智鑑、ブラジル・ローランジャに布教所開設。</p>	<p>1月13日 吉田道修(宮城県洞林寺)、南米別院に就任。</p> <p>4月18日 彦坂信能、南米禪源寺より辞任帰国。</p> <p>4月 平子興世(群馬県桂昌寺)、南米別院に就任。</p> <p>5月15日 八杉智鑑(静岡県可睡齋)、ブラジル・ローランジャに着任。</p> <p>7月30日 高橋千鶴、コナ大福寺より辞任帰国。</p> <p>9月28日 ガーリック禅巖、ハワイ別院より辞任。日本へ転出。</p> <p>11月 八杉智鑑、ブラジルの禪源寺よりローランジャ市に移り、布教所開設の後、南米別院に転任。</p>	<p>・第5回世界仏教徒会議がパンコクで開催される。</p> <p>・「ブラジル移民50周年記念式典、サンパウロで開催。</p>

昭和34年 (1959)	<p>4月9日 佐々木泰翁、宗務総長に就任。</p> <p>9月 南米別院兼総監部、アラジルサンパウロ市トーマス・デ・リマ205番地に設置。</p> <p>1月28日 中島貫道(愛知県常福寺)、ニューヨーク禪センターに就任。</p> <p>3月4日 鈴木俊隆(静岡県林叟院)、サンフランシスコ桑港寺に就任。</p> <p>5月 植闘宗孝、日本留学より帰布しマウイ満徳寺に就任。</p> <p>6月 大洞卯心(福井県洞雲寺)、南米別院に就任。</p> <p>7月10日 桑原弘之(静岡県光泰寺)、南米別院に就任。</p> <p>7月24日 鈴木大等、北米別院にて遷化。</p> <p>8月10日 福谷静岳尼(愛知県)ハワイ別院に就任。</p> <p>8月 猪俣正孝(静岡県淨土寺)、南米別院に就任。</p> <p>8月 松永然道(静岡県宗徳院)、南米別院に就任後、ポンペイア開教所に転任。</p> <p>11月4日 鳥羽瀬保道、北米開教総監を辞任。</p> <p>・浪花益道、南米別院を辞任。</p> <p>・吉田道彦、南米別院よりブラジル・ローランジヤの布教所へ転任。</p>	<p>・ハワイが米国第50番目の州となる。</p> <p>・ハワイ官約移民75周年。</p> <p>・ライ・ラマ、インドへ亡命。</p> <p>・キューバ革命。</p> <p>・ハワイビニ園美化運動行われ、誕生仏と資金贈呈。</p> <p>8月 ハワイ官約移民75周年記念式典をホノルルで開催。</p> <p>11月 アラジル国と移住協定調印。</p>
昭和35年 (1960)	<p>3月8日 米馬道断、宗務総長に就任。</p> <p>10月 ブラジル・ローランジヤの布教所に「ローランジヤ佛心寺」の寺号下付。</p> <p>10月 大本山總持寺貫首孤峰智樂禪師、ハワイ、米国、欧洲を巡錫。</p> <p>・ハワイ別院開創50周年記念法要】斎修。</p>	<p>7月 山田謹林(駒沢大学教授・岐阜県保寿寺)、北米別院第6代主任並びに第5代北米開教総監に就任。</p> <p>12月18日 秋田新隆(静岡県法幢寺)、カウアイ禪宗寺に就任。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和36年 (1961)	11月 鈴木俊隆、「サンフランシスコ禪センター」を開設。 ・北米別院内に「禅仏教昂揚研修所」を設立。	1月26日 西沢宏山、カウアイ禪宗寺より 辞任帰国。 11月 清広亮光(佐賀県妙音寺)、ペルー慈 恩寺に就任。		1月20日 ケネディー、第35代アメリカ大統領に就任。
昭和37年 (1962)	2月10日 金剛秀一、宗務總長に就任。 10月 北米カリフォルニアに「モントレー禪宗寺」を開創。	1月15日 桑原弘之、南米別院を辞任。米 本土へ転出。 6月 梅本為隣(山梨県大聖寺)、ワイバフ 大陽寺に就任。 8月31日 上野暉讚、ヒロ大正寺を辞任。 米本土に転出。 12月12日 竹之内栄禪(新潟県正応寺)、 ハワイ別院に就任。	9月 仏教東漸70年 記念式典並びに中央 仏教文化会議が開催 される。同会出席のた め、副貫首岩本勝俊、 宗務総長金剛秀一等、 ニューヨークに赴く途 次、各地の教会を視察。	2月20日 アメリカ、有人宇 宙飛行に成功。 ・キューバ危機
昭和38年 (1963)	10月 曹洞宗管長高階龍仙禪師、北 米別院にて法脈会を修行。	1月8日 楠岡祖幹、マウイ満徳寺にて遷化。 2月14日 中島貫道(愛知県常福寺)、ニューヨーク禪センターよりヒロ大正寺に就任。 7月 南萬州(茨城県大雄院)、片桐大忍(福 井県泰藏院)、沖道淳尼(京都府安泰寺)、桑 原弘之(静岡県光泰寺)、北米別院に就任 (北米禪宗寺仏教昂揚研修所第一期生とし て入所)。 9月5日 上野暉讚、ヒロ大正寺よりカリフオ ルニア州・モントレーリー禪宗寺に転任。 9月11日 秋田新隆、カウアイ禪宗寺より 辞任帰国。 10月18日 善波卓道、カワイロア龍潛寺よ り辞任帰国。 ・片桐大忍、北米別院よりサンフランシスコ 桑港寺に転任。		11月23日 J.F.ケネディー米 大統領暗殺。

		・鷺見透玄(愛知県泰増寺)、北米別院に就任。	
昭和39年 (1964)		<p>2月29日 大八木春邦(山形県福生庵)、コナ大福寺に就任。</p> <p>3月 松永然道、南米ポンペイア開教所を辞任。</p> <p>4月 平子興世、南米ルッセイア佛心寺より辞任帰国。</p> <p>6月 松永然道、カウアイ桺宗寺に就任。</p> <p>8月 福谷静岳尼(愛知県)、ハワイ別院を辞任。米本土に転出。</p> <p>10月15日 渡辺孝彦(神奈川県長光寺)、水谷幸精(静岡県隨松寺)、南米別院に就任。</p> <p>10月20日 山田豊林、北米開教総監を辞任帰国。</p> <p>10月 児島真竜(奈良県林泉寺)、南米別院に就任。</p> <p>12月4日 猪俣正彥、南米別院より辞任帰国。</p>	<p>10月24日 净土宗はハワイ開教70周年記念法要を、ホノルル別院で厳修。</p>
昭和40年 (1965)		<p>4月1日 「大本山總持寺、二祖峨山禪師600回大遠忌」。</p> <p>4月24日 「ハワイ曹洞宗連合婦人会」結成。</p> <p>9月 南米別院にて「南米開教10周年記念法要」厳修。曹洞宗管長高階瑞仙禪師、宗務總長金剛秀一、南米巡錫。</p> <p>・南米別院兼南米開教総監部、アラジル・サンバウロ市、サンジョヨアキン285番地に移転。</p>	<p>3月30日 渡辺孝彦、南米別院より辞任帰国。</p> <p>3月 穀藏口イ良尚(北海道清輪寺)、ハワイ曹洞宗協会(ハワイ別院)に就任。</p> <p>6月5日 松浦玉英、大八木春邦、コナ大福寺よりカワイロア龍潛寺に転任。</p> <p>6月 児島真竜、南米別院より辞任帰国。</p> <p>7月13日 佐藤博道(静岡県運乗院)コナ大福寺に就任。</p> <p>7月 大八木春邦、カワイロア龍潛寺より辞任帰国。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
昭和40年 (1965)	・鷺見透玄、北米別院第7代主任並びに第6代北米開教総監に就任。 ・松岡操雄、北米別院よりシカゴ禪宗寺に転任。			
昭和41年 (1966)	5月7日 中村貞元、宗務總長に就任。 8月21日 北米別院に於いて「第2回 憨仏教徒大会」開催。 9月18日 アイエア太平寺移転。本堂落慶法要厳修。	2月 吉住浩哉、アイエア太平寺を辞任。 2月 田宮繁友(新潟県興源寺)、アイエア太平寺に就任。	11月 第8回世界仏教徒会議がタイで開催される。	3月 學園紛争。 ・ソ連の無人月面探査機ルナ9号が月面に軟着陸。 ・中国で文化大革命。
昭和42年 (1967)	7月3日 鈴木俊隆、カリフォルニア・モントレー・タサハラに禪センター「禪心寺」を創建、入佛開單式を厳修(中外、金松、続年表)。 ・大本山總持寺第19世に岩本勝俊禪師就任。	2月7日 ハント真覚アーネスト、ハワイ別院にて遷化。 5月 知野弘文(新潟県耕泰寺)、サンフランシスコ桑港寺に就任後、タサハラ禪センターに転任。 8月3日 三好見一(北海道高沢寺)、ハワイ別院に就任。 8月31日 中島貫道、ヒロ大正寺を辞任。 ・米本土に転出。 ・水谷幸靖、南米別院より辞任帰国。		
昭和43年 (1968)	1月7日 大本山永平寺第74世に佐藤泰舜禪師就任。 2月 ブラジル南米別院に「禪文化研究所」を設立。所長に新宮良範開教総監が就任。 4月30日 前角博雄、ロサンゼルス「ヴィルシャー禪センター佛真寺」開設。 5月6日 山田義道、宗務總長に就任。	6月13日 青木俊亨(群馬県岩松寺)、ヒロ大正寺に就任。 8月22日 金井秀元、ハワイ別院にて遷化。 10月10日 駒形善秀(新潟県龍谷寺)、再来布しハワイ別院に就任。	・ハワイ・オアフ盆ダンス選盟発足。 ・アメリカ黒人運動指導者ルーサー・キング牧師がメンフィスで暗殺される。 6月5日 ロバート・ケネディ暗殺される。 8月20日 ソ連とワルシャワ条約機構軍、チエコ全土を制圧(プラハの春)。	4月4日 アメリカ黒人運動指導者ルーサー・キング牧師がメンフィスで暗殺される。 6月5日 ロバート・ケネディ暗殺される。 8月20日 ソ連とワルシャワ条約機構軍、チエコ全土を制圧(プラハの春)。

	10月 「ロサンゼルス禅センター」、 曹洞宗北米開教所に認可(中外、続年 表)。	12月10日 川端康成がノーベ ル文学賞を受賞。	
昭和44年 (1969)	1月7日 口サンゼルス禅センターに、 「大龍山佛真寺」の寺号下付。 2月2日 南米禪源寺、ブラジル・モ ジ・ダス・クルーゼス市のビラ・ラ ビリア区に移転。 10月5日 両大本山北米別院禪宗寺、 本堂落慶法要を厳修。 12月23日 北米禪センター主管鈴木 俊隆、師家に任命される。	2月20日 驚見透玄、北米開教總監を辞任 帰国。 2月 鈴木俊隆、サンフランシスコ桑港寺 より、サンフランシスコ禪センターに転任。 10月20日 芳村良元(北海道興禪寺)、バー クレー禪センターに就任。 10月20日 加藤洪城(北海道法竜寺)、サ ンフランシスコ桑港寺に就任。 ・荒木哲宗(和歌山県全竜寺)、開教師見習 いとして渡米。	・アボロ11号月面到達。
昭和45年 (1970)	1月 大本山永平寺東京別院監院丹羽 廉芳が梅花流特派布教師として渡米。 4月 桑港寺より新寺4カ寺独立、宗 務庁より仏具等寄付。 4月 大本山總持寺、「国際禪セン ター」を開設する。 9月 カリフォルニア州モントレー・ タサハラ禪堂に「蓮華婆羅山禪心寺」 の寺号下付。同年10名の得度者つく る。	2月23日 森山大行(静岡県官養庵)、サン フランシスコ桑港寺に就任。 5月31日 駒形善教、ハワイ別院の第3代 主任を辞任。 6月1日 駒形善秀、ハワイ別院の第3代主 任に就任。 6月30日 岩井恵澄尼、ハワイ別院より辭 任帰国。 6月30日 緋藏口良尚、曹洞宗協会(ハ ワイ別院)を辞任。日本へ転出。 8月 弟子丸泰仙、ヨーロッパ開教主管に 任せられる(宗報)。 9月1日 藤木道明(滋賀県東円寺)、ハワ イ別院に就任。 9月1日 山田隆邦(大分県長松寺)、サン フランシスコ禪センターに就任。	3月31日 日航よど号ハイ ジャック事件。 ・日本万国博覧会開催。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和45年 (1970)		<p>9月25日 沖道淳尼、倉井秀雄、北美別院より辞任帰國。</p> <p>9月 長田康哉、ロングビーチ仏教会より辞任帰國。</p> <p>10月13日 小梶真榮(福井県正明寺)、北美別院に就任。</p> <p>10月 松岡操雄、シカゴ禅センターよりロングビーチ仏教会に転任(ロングビーチ禅センター開設)。</p> <p>12月25日 松永然道、カウアイ禪宗寺より北美別院に転任。</p> <p>12月 北村大栄(山梨県善応寺)、第8代北美別院主任並びに第7代開教総監に就任。</p> <p>12月 吉田道彦、南米ローランシャ佛心寺より辞任帰國。</p>		
昭和46年 (1971)		<p>11月21日 リチャード・ベーカー(サンフランシスコ禅センター)、タサハラ禪心寺主任として晋山式修行する。</p> <p>・倉井秀雄、「モンテペロ曹禪寺」を設立。</p> <p>1月12日 荒木哲宗(和歌山県金龍寺)、北美別院に就任。</p> <p>1月14日 三好見一、ハワイ別院よりカウアイ禅宗寺に転任。</p> <p>3月16日 駒形宗彥(埼玉県真福寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>4月6日 一ノ瀬妙真尼(新潟県龍谷寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>6月16日 田中哲彥(広島県聖光寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>6月 松岡操雄、ロングビーチ仏教会を辞任。</p> <p>6月 加藤和光、北美別院よりロングビーチ仏教会に転任。</p> <p>8月2日 竹之内榮輔、ハワイ別院より辞任</p>	<p>・ニクソンショック。</p>	

		帰国。 8月19日 中小路国道（京都府祥雲寺）、ハイ別院に就任。 12月3日 北村大榮、四大不調のため北米開教總監を辞任帰国。 12月4日 鈴木俊隆、サンフランシスコ禪センターにて遷化。 ・藤井寿源（僧籍地不明）、南米ローランジヤ佛心寺に就任。	
昭和47年 (1972)	・「北美別院 創立50周年・別院昇格35周年慶讃報恩大法要」を厳修。	1月8日 山下顯光（岐阜県大竜寺）、第9代北美別院主任並びに第8代北美開教總監に就任。 2月7日 駒形善教、ハワイ開教總監遷化。 3月20日 穀藏口イ良尚、ロングビーチム教会に就任。 4月1日 駒形善秀、第2代ハワイ開教總監に就任。 8月12日 長棟梅峰（新潟県新光寺）、アイエア太平寺に就任。 8月15日 田宮繁友、アイエア太平寺より辭任帰国。 11月 藤川亨胤（山形県般若寺）、サンフランシスコ桑港寺に就任。	・ウォーターゲート事件発覚。 ・田中角栄首相訪中、共同声明發表。 ・冬季札幌オリンピック開催。
昭和48年 (1973)	・ワイバフ大陽寺、移転。	1月31日 小鶴真榮、北美別院より辭任帰国。 3月31日 梅本為隣、ワイバフ大陽寺を辞任。 4月26日 森山大行、サンフランシスコ桑港寺より辭任帰国。 10月31日 池谷秀光尼（静岡県龍泉寺）、ニューヨーク禪センターに就任。	・円の変動相場制移行。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和48年 (1973)	11月30日 永井成典(愛知県宝珠寺)、北米別院に就任。			
昭和49年 (1974)	3月 室賀竜海尼、ハワイ別院を辞任。 5月29日 大山陽堂(千葉県長安寺)、ワイバフ大陽寺に就任。エワ曹洞寺を兼務。 6月19日 小沢義淨、ワイバフ大陽寺、エワ曹洞寺を辞任引退(12月7日遷化)。 7月 藤木道明、ハワイ別院より辞任帰国。 12月 渋谷行雲(僧籍地不明)、インド日本寺へ赴任。		10月 ベルーに大地震発生。	
昭和50年 (1975)	2月8日 田辺哲崖、宗務監長に就任。 2月28日 大本山永平寺第75世に山田靈林禅師、就任。 10月9日 大本山永平寺前貫首佐藤泰舜禪師荼毘式並びに新貫首山田靈林禪師晋山式を機に「開教総監会議」を開催。 10月 フランス・パリ市の「巴里山仏国禅寺」に寺号下付。 10月15日 ハワイ別院に「布畦山正法寺」の寺号下付。 10月15日 オアフ島カワイロア龍潛寺に「龍仙寺」の寺号変更認可。	2月28日 駒形善秀、ハワイ開教總監を辞任帰国。 3月15日 中小路阿道、ハワイ別院より辞任帰国。 4月13日 大山興隆(千葉県長安寺)、第4代ハワイ別院主任に就任。 6月15日 大山興隆、第3代ハワイ開教總監に就任。 7月15日 立花孝全(福島県昌源寺)、北米別院に就任。 8月30日 藤本ウォーレン宗道(伝道師)、ハワイ別院に就任。 11月20日 工藤正典(群馬県天宗寺)、ハワイ別院に就任。	4月 ブノンベン陥落。南ベトナム民族解放戦線が全土解放。 7月 沖縄海洋博開催。 7月7日 日本共産党と創価学会が協定発表。	
昭和51年 (1976)	4月 大本山永平寺第76世に秦慧玉禪師就任。 5月11日 フランス・パリ市の「仏国	3月15日 佐藤博道、コナ大福寺より辞任帰国。 4月26日 駒形宗彦、ハワイ別院よりコナ	・第11回世界仏教徒会議がタイで開催される。	2月4日 米上院でロッキード事件発覚。 7月14日 日本の賠償金支払

	<p>「神寺」内にヨーロッパ開教総監部を設置する。</p> <p>10月20日 秦慧玉禅師晋山式を機に「海外開教総監会議」を開催。</p>	<p>大福寺に転任。</p> <p>9月24日 水井成典、北米別院より辞任帰国。 ・弟子丸泰仙、ヨーロッパ開教総監に任命される。</p> <p>・福田靖宏、ロンドン日本人学校教諭赴任にともない、ヨーロッパ開教総監部配属、イギリス駐在開教師として任命される。</p>	<p>い完了。</p> <p>7月27日 田中角栄前首相ロックード事件で逮捕。</p> <p>12月24日 三木内閣退陣。福田赳夫内閣成立。</p>
昭和52年 (1977)	<p>10月15日 大本山總持寺第20世に乙川璽映禪師就任。</p> <p>・南米ペルー慈恩寺、カニエテに2度目の移転。</p>	<p>2月5日 中村良忍(鳥取県補岩寺)、南米別院に就任。</p> <p>2月7日 柴山輝行(群馬県宗泉寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>3月3日 大場満洋(山形県長義寺)、北米別院に就任。</p> <p>8月30日 藤本ウォーレン宗道(伝道師)、ハワイ別院を辞任。</p> <p>10月12日 直一泰徹(南米禪源寺)、二等教師に補任。</p>	
昭和53年 (1978)	<p>3月2日 町田宗夫、宗務總長に就任。</p> <p>4月 「海外開教総監会議」開催。</p> <p>10月29日 「ハワイ開教75周年記念式典」挙行。曹洞宗管長乙川璽映禪師親修。</p>	<p>2月 藤川亨麗、桑港寺より辞任帰国。</p> <p>4月 中村良忍、南米別院よりローランジャヤ佛心寺へ転任。</p> <p>6月12日 三浦清光(愛知県広目寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>10月11日 繩川正善(福島県天徳寺)、サンフランシスコ桑港寺に就任。</p> <p>10月25日 松永然道、北米別院より辞任帰国。</p> <p>11月30日 田中哲彦、ハワイ別院より辞任帰国。</p>	<p>10月1日～6日 第12回世界仏教徒会議が日本で開催される。</p> <p>6月18日 ブラジル日本人移住70周年記念式典サンパウロで開催。</p> <p>8月12日 日中平和友好条約調印。</p>
昭和54年 (1979)	11月 「大本山永平寺二祖国師700回大遠忌ハワイ予修法要」斎修。秦慧玉	2月5日 秋山洞禪(新潟県興源寺)、北米別院に就任。	・ソ連がアフガニスタンに侵攻。 ・米中国交樹立。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和54年 (1979)	僧師親修の予修法要と因縁会修行。 12月18日 岡田已成、宗務総長に就任。	8月9日 大倉大雄(滋賀県法藏寺)、サン フランシスコ桑港寺に就任。		
昭和55年 (1980)	4月20日 「大本山永平寺二相国師 700回大遠忌」歎修。	3月31日 大場満洋、北米別院を辞任。 6月8日 長棟梅峰、アイエア太平寺より辞 任帰国。 6月10日 三浦清光、ハワイ別院を辞任後、 ホノルル市内に居住。 7月1日 福島伸悦(埼玉県興徳寺)、北米別 院に就任。 7月5日 萩久保正潤(山梨県広福院)、ハワ イ別院に就任。 12月20日 浅山賢榮(青森県儒童寺)、アイ エア太平寺に就任。		・イラン・イラク戦争 ・モスクワリンビック、ソ連 のアフガニスタン侵攻に抗議 し、日本を含め西側諸国不参加。
昭和56年 (1981)	6月1日 田中亮三、宗務総長に就任。 10月 「海外開教総監会議」開催。	4月3日 大山興隆、ハワイ開教総監を辞 任帰国。工藤正典、ハワイ別院より辞任帰 国。町田時保、ハワイ別院主任代行に就任。 5月15日 西澤聰人(東京都詳雲寺)、ハワ イ別院に就任。 9月27日 松浦玉英、ワヒアワ龍仙寺在任 中、第4代ハワイ開教総監に就任。 11月1日 松浦玉英、ワヒアワ龍仙寺より ハワイ別院に転任。第5代ハワイ別院主任 に就任。 11月3日 駒形宗彥、コナ大福寺よりワヒ アワ龍仙寺に転任。 11月6日 市村承秉、再来布し、コナ大福 寺に就任。		

昭和57年 (1982)	3月5日 伊藤治雄、宗務総長に就任。 10月16日 大本山總持寺第21世に 梅田信隆禪師就任。	4月23日 市村承秉、コナ大福寺より米本 土へ転出。 11月12日 飯島尚之（東京都宗清寺）、ハ ワイ別院に就任。
昭和58年 (1983)	9月6日 水井孝道、宗務総長に就任。 10月 「ハワイ開教80周年記念法要」 厳修。	7月20日 柴山輝行、ハワイ別院より辞任 帰国。 9月29日 城敬宝（大分県仏光寺）、北米別 院に就任。 10月3日 長田敬道（静岡県洗耳寺）、コナ 大福寺に就任。
昭和59年 (1984)	・「海外開教シンポジウム」開催。	8月2日 第14回世界 仏教徒会議がスリラ ンカ・コロンボで開催 される。
昭和60年 (1985)	1月 大本山永平寺第77世に丹羽廉 芳禪師就任。 7月3日 桑原眉尊、宗務総長に就任。 ・シンガポールに「曹洞宗日本寺」建 立。	8月13日 浅山賛榮、アイエア太平寺より 辞任帰国。 8月24日 工藤正典（群馬県天宗寺）、再来 布し、アイエア太平寺に就任。 8月 森田宏悦、モロカイ弘誓寺を辞任後、 ホノルル市に居住。
昭和61年 (1986)	2月 ハワイ別院、北米別院にて授 戒式修行。サンフランシスコ桑港寺 にて因縁会修行。大本山永平寺賛首 丹羽廉芳禪師観修。	2月11日 小野月舟（岩手県報恩寺）、ハワ イ別院に就任。 3月7日 萩久保正潤、ハワイ別院よりモロ カイ弘誓寺に転任。 9月 倉井秀雄、モンテベロ曹洞寺にて遷 化。倉井トーマス秀一、後任となる。 11月 新宮良範南米開教総監化。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
昭和62年 (1987)	6月29日 横山大典、宗務総長に就任。  3月29日 背木俊亨、ヒロ大正寺より辞任後(以降森田宏悦、代務者として駐在)、第3代南米別院主任並びに第2代南米開教総監に就任。 10月30日 秋葉玄吾(宮城県峰仙寺)、オークランド好人庵禅堂に就任。 12月11日 酒井俊晃尼(長野県無量寺)、ハワイ別院に就任。	3月29日 背木俊亨、ヒロ大正寺より辞任後(以降森田宏悦、代務者として駐在)、第3代南米別院主任並びに第2代南米開教総監に就任。 10月30日 秋葉玄吾(宮城県峰仙寺)、オークランド好人庵禅堂に就任。 12月11日 酒井俊晃尼(長野県無量寺)、ハワイ別院に就任。	・大韓航空機爆破事件。 ・ニューヨークの株暴落(ブラックマンデー)。	・大韓航空機爆破事件。 ・ニューヨークの株暴落(ブラックマンデー)。
昭和63年 (1988)	10月7日～9日 「第1回曹洞宗北米・ハワイ檀信徒大会」を北米別院にて開催。	5月9日 黒柳博仁(長野県天閑院)、北米開教総監部に就任。 5月 秋山洞禪、北米別院よりミルウォーキー禅センターへ転任。 6月19日 長田敬道、コナ大福寺より辞任帰国。 6月 加藤孝正(静岡県永明寺)、ヒロ大正寺に就任。 9月14日 田宮隆児(新潟県興源寺)、コナ大福寺に就任。 ・萩久保正潤、モロカイ弘誓寺より辞任帰国。	・第16回世界仏教徒会議が米・ロサンゼルスで開催される。 ・リクルート事件発生。	10月17日 サンフランシスコ大地震(M6.9)死者63名。 ・イラン・イラク戦争停戦。
平成元年 (1989)	6月30日 嶽山光堂、宗務総長に就任。 10月7・8日 「第2回曹洞宗ハワイ・北米檀信徒大会」をハワイ別院にて開催。	11月26日 大山陽堂、ワイパフ大陽寺並びにエワ曹洞寺より辞任帰国。 ・背木俊亨、南米開教総監を辞任帰国。	・天安門事件 ・マルタ会談。米ソ冷戦の終結。	・ペルーにて、日系移民初のフジモリ大統領誕生、大規模な経済改革で劇的な経済成長をとげる。
平成2年 (1990)		1月24日 佐藤博隆(東京都慈光院)、ワイパフ大陽寺に就任。 3月1日 片桐大忍、ミネソタ禪センター主任遷化(63歳)。		

	<p>4月8日 佐藤鴻舟（宮城県明禪寺）、ローランジヤ佛心寺に就任。</p> <p>4月30日 城敬宝、辞任帰国。</p> <p>6月30日 福島伸悦、北米別院より辞任帰国。</p> <p>8月20日 工藤正典、アイエア太平寺より辞任帰国。</p> <p>8月27日 篠田一法（愛知県長松院）、アイエア太平寺に就任。</p> <p>9月2日 植岡宗孝、マイ満徳寺にて遷化（59歳）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西ドイツ統合。</li> <li>・バブル経済崩壊。</li> </ul>
平成3年 (1991)	<p>4月1日 宗務庁教化部に国際課が設置される。</p> <p>6月29日 大竹明彦、宗務総長に就任。</p> <p>10月 宗務庁主催による「伝道教師研修所」を、サンフランシスコ禅センター・タサハラに於いて開催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湾岸戦争勃発。</li> <li>・ソビエト連邦解体。</li> <li>・アバルトヘイトの撤廃。</li> </ul>
平成4年 (1992)	<p>10月10日 「北米別院禅宗寺創立70周年慶讃法要」歎修。</p> <p>11月14日・15日 「第3回曹洞宗北米・ハイ檀信徒大会」をサンフランシスコ桑港寺にて開催。</p>	<p>8月 佐藤博隆、ワイバフ大陽寺を辞任。市内に居住。</p> <p>・清広亮光、ペルー慈恩寺にて遷化。</p> <p>・森山大行、第4代南米別院並びに第3代南米開教監督に就任。</p>
平成5年 (1993)	<p>2月8日 「SOTO禅インター・ショナル」創立。松永然道（静岡県宗德院）、初代会長に就任。</p> <p>6月28日 伊東盛熙、宗務総長に就任。</p> <p>7月9日 「曹洞宗海外開教伝道史」回収通達教部国際課）。</p> <p>9月 大本山永平寺第78世に宮崎突保禪師就任。</p>	<p>2月2日 葉貴成悟（福島県石雲寺）、マウイ満徳寺に就任。</p> <p>4月1日 黒柳博仁、北米開教監部より北米別院に転任。</p> <p>6月10日 小野月舟、ハワイ別院にて遷化。</p> <p>12月14日 佐藤鴻舟、ローランジヤ佛心寺を辞任。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
平成6年 (1994)		<p>3月15日 加藤孝正、ヒロ大正寺より辞任帰国。</p> <p>4月1日 古渕理哉(群馬県雲門寺)、北米別院に就任。</p> <p>4月15日 梅沢原憲(岐阜県西光寺)、ワイバフ大陽寺に就任。</p> <p>4月17日 吉田宏得(静岡県萬松院)、ヒロ大正寺に就任。</p> <p>5月31日 飯島尚之、ハワイ別院より辞任帰国。</p> <p>6月20日 水野克彦(静岡県積雲院)、ハイ別院に就任。</p> <p>8月1日 篠田一法、アイエア太平寺より辞任帰国。</p>		
平成7年 (1995)		<p>1月 宗務庁主催による「伝道教師研修所」をサンフランシスコ禅センター・グリーンガルチにて開催。</p> <p>6月27日 大竹明彦、宗務総長に就任。</p> <p>8月25日 「北米開教・寺庭婦人会」(北米開教総監部主催)をネバダ・ラスベガスにて開催。</p> <p>10月7・8日 第4回「曹洞宗ハワイ・北米檀信徒大会」をオアフ島で開催。 ・南米別院、「開堂式並びに開教40周年記念法要」厳修。</p>	<p>1月13日 小島秀明(佐賀県本光寺)、北米別院に就任。</p> <p>5月14日 前角博雄、ロサンゼルス禪センター主任遷化(65歳)。</p> <p>6月30日 梅沢原憲、ワイバフ大陽寺より辞任帰国。</p> <p>7月20日 長谷川俊道(群馬県瑞岩寺)、ハイエア太平寺に就任。</p> <p>7月 町田勝保、ワイバフ大陽寺臨時主任に就任。</p> <p>8月1日 黒柳博仁、北米別院より辞任帰国。 ・水野克彦(静岡県積雲院)、ハイ別院よりワイバフ大陽寺の在住となる。 ・森山大行、南米開教総監を辞任帰国。</p>	<p>1月17日 版神・淡路大震災(M7.3)。</p> <p>3月20日 地下鉄サリン事件発生。</p>

平成8年 (1996)	1月24日 「開教総会議」を宗務庁にて開催。	・香港が中国に返還される。
	4月17日 大本山總持寺第22世に成田芳徳禪師就任。	
平成9年 (1997)	4月18日 「北米開教75周年・両大本山北米別院神宗寺創立75周年記念式典」を挙行。 4月20日 「曹洞宗北アメリカ開教センター」開所式を挙行。 6月28日 乙川良英、宗務総長に就任。	3月31日 細川正善、サンフランシスコ桑港寺より辞任帰国。 4月1日 南原一貴（静岡県医王寺）、オークランド好人庭禪堂よりサンフランシスコ桑港寺に転任。 4月20日 奥村正博（兵庫県安泰寺）、パイオニアバレー禪堂より、曹洞宗北アメリカ開教センターに転任。 4月 横山泰賀（広島県極昌寺）、曹洞宗北美リカ開教センター書記に就任。 5月27日 山下顕光、北米国際布教総監を辞任。 5月28日 秋葉玄吾（宮城県峰仙寺）、第9代北米国際布教総監に就任。 12月31日 松浦玉英、ハワイ国際布教総監を辞任。ハワイ市内に居住。
平成10年 (1998)	4月9日 大本山總持寺第23世に板橋興宗禪師就任。 4月30日 「海外開教関係者会議」開催。	1月1日 町田時保、第6代ハワイ別院主任並びに第5代ハワイ国際布教総監に就任。 1月1日 駒形宗彦、ワヒアワ龍仙寺とモロカイ弘誓寺の兼務となる。 2月20日 山下顕光、元北米国際布教総監遷化（世寿88歳）。 5月29日 秋葉玄吾、第10代北米別院主任に就任。 7月12日 葉賀成悟、マウイ満徳寺より辞任帰国。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
平成10年 (1998)		7月 古溪理哉、辞任帰国。 8月11日 大谷有為(東京都長泰寺)、マウイ満徳寺に就任。 11月30日 水野克彦、ワイバフ大陽寺より辞任帰国。 11月 三好見一、カウアイ禪宗寺より辞任帰国。		
平成11年 (1999)	2月17日 藤川亨胤(山形県般若寺)、第2代S Z I会長に就任。 6月18日 大竹明彦、宗務総長に就任。 7月31日 「曹洞宗北アメリカ開教センター」が北米別院よりサンフランシスコ桑港寺に移転。 10月23日・24日 スタンフォード大学にて「高祖道元禅師生誕800年記念シンポジウム」開催。	4月2日 板垣光昭(僧籍地不明)、カウアイ禪宗寺に就任。 6月15日 吉田宏得、ヒロ大正寺よりハワイ総監部に転任。 7月16日 秋田新隆(静岡県法輪寺)、再来布し、ヒロ大正寺に就任。		
平成12年 (2000)	2月20日 「ハワイ曹洞宗協会」を「ハワイ曹洞宗寺院連盟」と改称。 10月27日～29日 「第5回曹洞宗北米・ハワイ檀信徒大会」をラスベガスにて開催。	1月21日 三好見一(北海道高沢寺)、第5代南米別院主任並びに第4代南米国際布教総監に就任。 5月1日 飯藏ロイ良尚、ロングビーチ仏教会より、ワイバフ大陽寺に転任。		
平成13年 (2001)	6月9日 「エワ曹洞寺」、魔寺となり、ワイバフ大陽寺と合併。	7月 杉山宗和(秋田県龍門寺)、ロングビーチ仏教会に就任。	12月5日～11日 第21回世界仏教徒会議がタイ・バンコクで開催される。	9月11日 同時多発テロ事件発生、ニューヨーク貿易センタービル崩壊。

平成14年 (2002)	<p>7月31日 「曹洞宗北アメリカ開教センター」が、「曹洞宗国際センター」となる。</p> <p>10月17日 大本山總持寺第24世に大道晃仙禅師就任。</p> <p>10月18日 有田惠宗、宗務総長に就任。 ・「高祖道元禪師750回大遠忌」歿修。</p>	<p>4月1日 南原一貴、サンフランシスコ桑港寺より、曹洞宗北アメリカ開教センターに転任。</p> <p>4月1日 館寺規弘(宮城県津龍院)、オーランド好人庵禪堂よりサンフランシスコ桑港寺に転任。</p> <p>7月 長谷川俊道、アイエア太平寺より辞任帰国。</p>	<p>12月10日～13日 第22回世界仏教徒会議がマレーシア・クアラルンプールで開催される。</p>
平成15年 (2003)	<p>2月 SZI創立10周年記念シンポジウム「ハワイ開教 現代と未来」開催。</p> <p>10月25日・26日 「ハワイ開教100年記念式典」挙行。</p>	<p>3月12日 大山健治(秋田県補陀寺)、マウイ満徳寺に就任。</p> <p>3月27日 大谷有為、マウイ満徳寺より辞任帰国。</p>	<p>・イラク戦争勃発。</p>
平成16年 (2004)			
平成17年 (2005)			

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
平成18年 (2006)	10月17日 潮英徳、宗務総長に就任。 6月 「ヨーロッパ国際布教40周年記念行事」開催。	9月20日 板垣光略、カウアイ禪宗寺を辞任。以降、ハワイ総監部書記吉田宏得、法務を担当。 3月2日 ラング明心（宮城県峰仙寺）、北米別院に就任。	4月19日～23日 第23回世界仏教徒会議が台湾・高雄で開催される。	
平成19年 (2007)	8月19日 「北米別院禪宗寺創立85周年慶讃法要」を般修。 10月20日 「第7回曹洞宗北米・ハワイ檀信徒大会」をラスベガスにて開催。			
平成20年 (2008)	1月 大本山永平寺第79世に福山謙法禅師、就任。 2月20日 SZ1創立15周年記念シンポジュームを開催。記念誌として「海外寺院ガイドブック」発刊。	7月31日 吉田宏得、ハワイ総監部より辞任帰国。以降、カウアイ禪宗寺は駒形宗二が法務を担当。 8月30日 町田時保、ハワイ国際布教総監を辞任。 9月1日 駒形宗彦、第7代ハワイ別院主任並びに第6代ハワイ国際布教総監に就任。 11月1日 酒井俊見尼、ハワイ別院より辞任帰国。 12月20日 石井愷慧、（埼玉県正覚寺）、ハワイ別院に就任。 ・大城慈山（山口県弥勒寺）、ペルー慈恩寺に就任。	11月14日～17日 第24回世界仏教徒会議が日本・東京で開催される。	
平成21年 (2009)	3月2日 細川正善（福島県天徳寺）、SZ1第4代会長に就任。 5月1日 「北米日系寺院連絡協議会」をサンフランシスコ桑港寺に於いて	2月28日 秋田新隆、ヒロ大正寺より辞任帰国。 11月19日 直一泰徹、南米禪源寺にて遷化。 12月1日 ラング明心、北米別院よりヒロ		

	開催。 10月 「桑港寺開創75周年記念慶讌法要」を斎修。 11月 「南北米国際布教監督部・両大本山南北別院創立50周年記念慶讌法要」斎修。	大正寺に転任。
平成22年 (2010)	1月24日 加藤和光、南カリファオルニア商工会議所より、日系スピリット賞を受賞。 10月18日 佐々木孝一、宗務総長に就任。	3月31日 秋葉玄吾、北米国際布教總監を辞任。 4月20日 棚川直道、ロングビーチ仏教会より辞任帰国。 4月 ルメー大岳(福井県発心寺)、第11代北米別院主任並びに第10代國際布教總監に就任。
平成23年 (2011)	9月6日 「北アメリカ国際布教師会議」開催。 4月17日 大本山總持寺第25世に江川辰三禪師就任。 10月4日 「国際シンポジウム」開催。	9月4日 東方大樹(愛知県開眼寺)、北米別院に就任。 12月14日 駒形宗彥、ワヒアワ龍仙寺を辞任。 10月4日 「国際シンポジウム」開催。
平成24年 (2012)	3月10・11日 「第8回曹洞宗ハワイ・北米檀信徒大会」をオアフ島にて開催。 9月8日 「北米別院禅宗寺創立90周年記念行事」開催。	1月20日 駒形宗二、国際布教師に就任。 4月10日 築寺規弘、サンフランシスコ桑港寺より辞任帰国。
平成25年 (2013)	6月18日 「SZI創立20周年記念オープントーク」開催。 8月24・25日 ベルーニにて「南アメリカ国際布教110周年記念行事」開催。 11月9・10日 「ハワイ国際布教110周年・両大本山ハワイ別院正法寺	6月11日～16日 第26回世界仏教徒会議が韓国で開催される。 9月 大山健治、マイ満徳寺より辞任帰国。 9月21日 稲村秀樹(宮城県活牛寺)、マイ満徳寺に就任。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
平成25年 (2013)	100周年記念行事」開催。 ・天平山禪堂起工式挙行。			
平成26年 (2014)	2月 SZI 創立20周年記念事業と して、「曹洞宗海外日系寺院史」を発 刊。			

### 【伝道史年表 参考文献】

- 「曹洞宗ハイクワイ教七十五年史」1978年 曹洞宗ハイクワイ協会  
「HISTORY OF THE SOTO SECT IN HAWAII」2002年 Hawaii Soto Mission Bishop's Office  
「佛教海外傳道史」1933年 北米山極宗寺編  
「Zenshūji Soto Mission 70th Anniversary」1992年 両大本山北米別院禪宗寺  
「Zenshūji Soto Mission 75th Anniversary」1997年 両大本山北米別院禪宗寺  
「佛心」両大本山北米別院禪宗寺会報  
「Soto Mission of San Francisco 日米山桑港寺60周年記念」日米山桑港寺編  
「Soto Mission of San Francisco 日米山桑港寺70周年記念」日米山桑港寺編  
「日米時事」「北米毎日」(サンフランシスコ日本人新聞)  
「Zen Center of Los Angeles 15th Anniversary」  
「Soto Zen Buddhism International Symposium」2012年 Soto Zen Buddhism International Center  
「南アメリカ国際布教総監部両大本山南米別院佛心寺創立50周年慶讃法会」2009年 曹洞宗南アメリカ国際布教總監部  
「足立小平治叙伝」  
「寂藏禪戒老師略年譜」  
「オブリガード佛心」2000年 錦柳山洞林寺編  
「宗報」明治35年第142号 論説「海外布教」  
「宗報」平成15年8~10月号 国際インフォメーション太田宏人  
「宗報」平成21年9月号 国際インフォメーション 大城慈仙  
「110年のアルバム」日本人ペルー移住110周年記念誌 現代史料出版・2009年・太田宏人  
「SOTO禪インターナショナル会報」26号(SZI・2004)ペルーにおける曹洞禪開教100年の軌跡・太田宏人  
「慈恩寺考」曹洞宗総合研究センター学術大会紀要・2011年・太田宏人  
日本人墓地公園掲示「日本人墓地公園の沿革」  
西海裕貴・2009、「シンガポール日本寺 開山忌法要に隨喜して」『会報』第41号, SOTO ZEN INTERNATIONAL.  
「宗報」630号、660号、681号、703号

**【編纂委員】(敬称略)**

監修／小笠原隆元

編纂委員長／細川正善

編纂委員／福島伸悦、龟野督也、菅原研州、佐藤慧真、内山温子

**【協力者】(敬称略)**

淺井宣亮、太田賢孝、太田宏人、大山健治、加藤孝正、黒澤慈典、小島秀明、佐藤鴻舟、館寺規弘、田宮隆児、古溪理哉、吉田宏得、吉田俊英

曹洞宗宗務局、曹洞宗国際センター、ハワイ国際布教総監部、北アメリカ国際布教総監部、南アメリカ国際布教総監部

# 曹洞宗海外日系寺院史

2014年(平成26年)2月13日 発行

発行者 細川 正善

発 行 SOTO禪インターナショナル事務局

〒233-0012 神奈川県横浜市港南区上永谷5-1-3 貞昌院内

Tel. 045-843-8852 Fax. 045-843-8864

URL. <http://www.soto-zen.net/>

© 2014 SOTO禪インターナショナル

SOTO ZEN INTERNATIONAL 2014



# 曹洞宗海外日系寺院史

S O T O

イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル

創立 20 周年記念



# 目 次

まえがき 「曹洞宗海外日系寺院史」発刊に寄せて .....	
SOTO禅インターナショナル 会長／福島県天徳寺住職 細川 正善	2
監 修 言 ..... 駒澤大学名誉教授・大本山總持寺顧問／長野県廣澤寺住職 小笠原 隆元	3
本文 凡例 .....	4
 ● ハワイ地区	
両大本山布哇別院 正法寺 .....	8
アイエア太平寺 .....	24
ワイパフ大陽寺 .....	29
ワヒアワ龍仙寺 .....	34
コナ大福寺 .....	38
カウアイ禪宗寺 .....	45
マウイ満徳寺 .....	50
ヒロ大正寺 .....	54
モロカイ弘誓寺 .....	60
ワイアホレ洞門寺 .....	63
エワ曹洞寺 .....	64
 ● 北アメリカ地区	
両大本山北米別院 禅宗寺 .....	67
サンフランシスコ桑港寺 .....	80
モントレー禪宗寺 .....	85
モンテベロ曹禪寺 .....	87
ロングビーチ仏教会 .....	89
 ● 南アメリカ地区	
両大本山南米別院 佛心寺 .....	95
禪源寺 .....	99
ローランジャ佛心寺 .....	103
慈恩寺 .....	106
 ● アジア地区	
シンガポール日本寺 .....	114
伝道史年表 凡例 .....	117
伝道史年表 曹洞宗国際布教及び関係事項(各宗海外伝道含) .....	118

## —まえがき—

**『曹洞宗海外日系寺院史』発刊に寄せて**

SOTO禪インターナショナル会長  
福島県天徳寺住職 **細川 正善**

1993年（平成5年）2月、当時曹洞宗海外開教師支援と国際布教の現状を広く宗門は元より国内外に周知すべく、海外開教師（当時の名称）経験者・現国際布教師・関係者の有志により発足したのが、SOTO禪インターナショナルです。

さて、曹洞宗の国際布教の取り組みはここ十数年目覚ましく、国際課の設立に加え国際センターの開設、各布教区の機構の充実、僧侶分限の見直しと画期的な飛躍を遂げました。このことは本会の真摯な啓蒙支援活動が機構改革の一翼を担ってきたと自負しております。しかし、その取り組みは、未だ関係者ののみの事で終わっており、広く認識されているわけではありません。更に、過去に歴史的誤認による『曹洞宗海外開教伝道史』の回収・総括があり、宗門には国際布教に関する資料となるべき物がないという現状もあります。

そこで、本会では今年、創立20周年を迎える記念事業として、国際布教110年の歴史を支えてきた歴代開教師（現国際布教師）の並々ならぬ道念と偉業をたたえて、『曹洞宗海外日系寺院史』を発刊する運びとなりました。本誌の意図するところは、第一に5年前に発刊された『海外寺院ガイドブック』を基本に先ず日系寺院史を中心とした各寺院の沿革を補足し、近代布教史としての国際布教の現状と正しい歴史的認識をすることにあります。

尚、日系寺院史を振り返るにあたり、アジア諸国に於ける布教について補足していくことは重要でありますが、本誌では十分な掲載には至りませんでした。本誌を元に、このアジアの布教史も含め、新たな『(仮称)曹洞宗国際布教史』の編纂事業が進められんことを切望するものであります。

終わりに、この日系寺院史の編纂にあたり、小島泰道教化部長の御配慮を賜り、宗務庁国際課、国際センター、各総監部をはじめとする皆様にご協力を頂いたことに対しまして、心より感謝申し上げます。

また、この編纂事業に惜しみない協力をしてくれたスタッフ、福島伸悦師、亀野哲也師、菅原研州師、佐藤慧真師、内山温子さんにお礼申し上げ、歴代開教師、国際布教師の各位に報恩の真を献げるものです。

合掌

## 監修言

駒澤大学名誉教授・大本山總持寺顧問  
長野県廣澤寺住職

小笠原 隆元

230年間余に及ぶ日本国策としての鎖国状態から、幕末と明治維新の開国により、日本人の関心は広く国外に向けられた。以後周辺近隣諸国・諸島へ雄飛した人々・移民に追従あるいは呼び寄せられる形で日本佛教各宗が国外に開教師を派遣した。そして開教師が日系邦人を教化し、子弟の教育に従事し、さらに滞在地の人々へ日本佛教文化活動の紹介などを行い、試行錯誤した期間が130年間程経過した。

わが曹洞宗がこれまでに国外各地で開創した数百にも及ぶ布教所・寺院は、歴史上の有為転変、諸行無常の大風に翻弄されて雲散霧消した。しかし、先の大戦の前、中、後の艱難辛苦を乗り越えて、これまで110年前から戦後60年以上にわたり厳然として存在感を示している洞門寺院が、ハワイ諸島・北アメリカ・南アメリカ・アジアの各地で19ヶ寺を数えている。

今般SOTO禪インターナショナル創立20周年記念事業として『曹洞宗海外日系寺院史』を刊行し、その沿革・寺院史・歴代開教師・国際布教師について明記する事は、今後の曹洞禪の展開に対して裨益する所、大なるものと確信する。更には、温故知新の心意気で次世代へと継承されてほしいものである。

昔、子どもの頃、信州の山寺で耳にした常套句「佛教はインドで起り、中国で発展し、日本で花咲いた」が、鮮明な記憶として想起されるが、咲いた後はしおれて散るしかないと問われれば、その種子はどこかに飛来して芽生えているものと思いたい。ハワイ・北米・南米での長年にわたる歴代開教師・布教師各位の地ならし・種まき作務により、1960年代頃から欧米各地に「禪センター」「禪道場」が雨後の筍の如くに出現した。この50年近く、特に最近20~30年の間に、坐禅中心とする「禪センター」は当初「根無し草」と危惧されたものの、2代目から3代目に相承されて、大樹に発展する可能性を示している。

この日系寺院史が、現状の再認識と今後の相関相対的立場からの視点、また能動的立場である国際布教師と一面受動的立場でもある信徒・メンバー側からの反応等をも含めた、より詳細なる海外各地の曹洞宗伝道・開教・布教史としてまとめられる事は大変有意義なことであった。

過去110年余の間に日本から国外に出向された曹洞宗侶で、只管に精進された開教師・国際布教師は数百人から千人余に及ぶが、SOTO禪インターナショナル20周年にあたり、諸師方に深甚なる感謝を申し上げ、宗門史上で永く顕彰すべきと思う次第である。

合掌

## 「曹洞宗海外日系寺院史」

### 【凡例】

- ① 寺院ガイド中の所属僧侶、過去の所属僧侶については、敬称を略し、アルファベット順に表記しております。
- ② 寺院ガイド中の住職という呼び方は、宗制上の概念とは異なりますが、歴史的な実績を尊重して使用しました。
- ③ ハワイ布教総監部・ハワイ開教総監部、北アメリカ開教総監部、南アメリカ開教総監部は、現在それぞれハワイ国際布教総監部、北アメリカ国際布教総監部、南アメリカ国際布教総監部となっていますが、本書では当時の名称で表記しました。
- ④ 総監部の職務は「当該地域における宗務を処理すること」であり、各別院の布教活動とは多少内容が異なりますが、本書では明確に区別せずまとめて記載しました。
- ⑤ 曹洞宗両大本山ハワイ別院正法寺、曹洞宗両大本山北米別院禪宗寺、曹洞宗両大本山南米別院佛心寺については、それぞれハワイ別院、北米別院、南米別院と略して表記しました。
- ⑥ 国際布教師とは宗制において「本宗の2等教師以上の教師のうちで、管長の任命を受け当該国際布教総監の指示を受けて布教教化に従事する者」をいいます。しかしこれらの定義に当てはまらないが実際現地で布教にあたった者もあり、本書では明確な区別を行っていません。
- ⑦ ( )内は、各々の当時の僧籍地を表しています。
- ⑧ ハワイにおける「法務担当」とは、宗制に則した名称ではなく、ハワイ布教の独自性による名称です。
- ⑨ ハワイの洞門寺、曹洞寺に関しては現在廃寺となっていますが、ハワイの国際布教の歴史を伝える上で欠かせないものとして別にページを設けました。
- ⑩ 本書のすべてにつきましては、平成25年12月現在SOTO禪インターナショナルが入手出来得た資料に基づいてまとめられたものです。訂正すべき情報がありましたら、SOTO禪インターナショナル事務局までお知らせください。
- ⑪ 本宗では僧侶の敬称は「師」で統一されていますが、本書では国際布教の歴史的背景を明確にするために、あえて「尼」という敬称を用いました。



# ハワイ地区

Hawaii

## ハワイの布教 概説

今から遡る事110年の1903年（明治36年）、ハワイの国際布教は広島県出身の道心に満ち溢れた2人の宗侶・河原仙英師・菅良雲師によって幕開けとなった。それは、1868年（明治元年）よりハワイの砂糖産業を支える大きな労力として移住した初期の移民が、広島・山口出身者が主軸であり、その出身地の僧侶を迎えていたとの願いに縁るものであった。両師は、オアフ島ワイパフ耕地とカウアイ島ワヒアワ耕地に布教所を開き、曹洞宗のハワイ布教の第一歩を印した。これに前後して浄土真宗・真言宗・日蓮宗・浄土宗の各宗派も、同様に移住者の地元の僧侶を迎えて布教が開始された。次第に福島・新潟・和歌山・静岡そして九州からの移民も増え、移住者の支えとなって布教路線を展開し定着していく。

その後曹洞宗の教線は、オアフ島はじめマウイ島・ハワイ島・モロカイ島に伸びて、移住者の要望に応える布教活動がなされ、四攝法の教えを主軸に観音信仰に支えられて、各寺院・布教所が発展し信徒数が伸びて行った。移住者の要望は、曹洞宗に限らず各宗派に於いても大事な宗教者の使命に付加して、子女の教育の一端を担う事であった。特に、2・3世に日本語教育を施すために、寺院や耕地内に日本語学校を開き、僧侶がその教師を勤める事は大きな布教への一助となり信頼へ繋がった。そして、信仰の拠点となるお寺は、誕生から教育、命の終焉とその後の菩提供養は基より、ありとあらゆる場面での宗教的関わりを大切にし、老若男女に日本の伝統や文化、さらに誇りを自覚する場へとも発展した。

日米が敵対する戦争により、敵国民族として日本語を制せられる悲惨な環境に置かれるなどして、日常言語が英語になり慣習もアメリカ化して久しいハワイだが、一世紀を超える布教の歴史では、日本より布教に渡った大勢の先哲宗侶達・そのご縁でハワイに生まれ育った2世宗侶達・特に宗侶達を支え陰で涙を流す事も多かった寺族達が、言語や文化がアメリカ化する中で世代を経ぐ信徒達に、曹洞宗の教義を身近に解りやすく親しみやすく伝道する努力を重ねた。また信徒達は、彼らの努力に感謝し共にお寺を守っていこうと心を一つに、財と智と労の布施を惜しまなかった。

時が流れ、日系人がアメリカ自国民として自立して行く過程で、寺院と縁をつなぐ日本語学校の存在価値も退化し、生活全面に英語化が進む事で、寺院への要望も変化していった。寺院でも英語が主流となり、僧侶もそれに対応すべく努力を重ねてきた。これは、家庭の宗教から個人の宗教への価値観の変化にも結び付き、現在では日系人=仏教と言い切れず、信徒の減少も顕著な問題となってきている。反面、アメリカ人も英語化される仏教によって、信徒となる事例も多くある。特に曹洞宗は、坐禅という他宗派には得られない本義があることで、信仰に精神的向上を願うアメリカ人が、近年は信徒としてお寺を支援する現状もある。

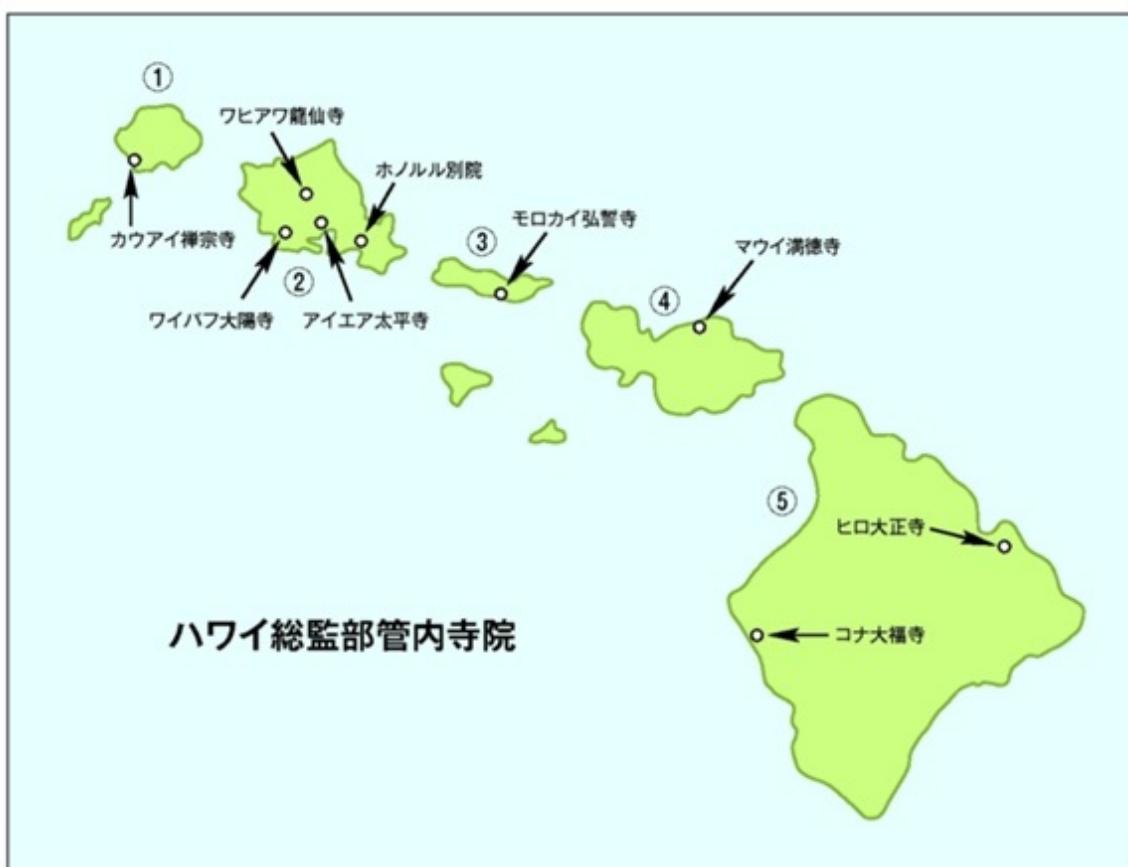
南国のリゾート地として知られるハワイには、大勢の宗侶・寺族と献身的な布施を惜しまない信徒の弛まない精進の歴史が存在するのである。

静岡県 萬松院住職  
元ハワイ国際布教総監部讀事  
吉田 宏得 記

ハワイ総監部管内寺院の表記は、以下を参考にしてください。

本誌で使用している名称	所在地	過去の名称
・(両大本山)ハワイ別院	②オアフ島	薬師堂、ハワイ仮別院
・アイエア太平寺	②オアフ島	アイエア布教所
・ワイバフ大陽寺	②オアフ島	ワイバフ布教所
(・ワイヤホレ洞門寺	②オアフ島	ワイヤホレ布教所 )
(・エワ曹洞寺	②オアフ島	エワ布教所 )
・ワヒアワ龍仙寺	②オアフ島	カワイロア布教所、カワイロア龍潜寺
・コナ大福寺	⑤ハワイ島	コナ布教所
・ヒロ大正寺	⑤ハワイ島	新町布教所
・カウアイ禪宗寺	①カウアイ島	ワヒアワ布教所
・マウイ満徳寺	④マウイ島	バイア布教所
・モロカイ弘誓寺	③モロカイ島	カウナカカイ布教所

①カウアイ島 ②オアフ島 ③モロカイ島 ④マウイ島 ⑤ハワイ島





Soto Mission of Hawaii, Shoboji

# 両大本山布哇別院 正法寺



Address : 1708 Nuuanu Avenue,  
Honolulu, HI 96817 U.S.A.  
TEL : 1-808-537-9409  
FAX : 1-808-537-6320  
E-mail : sotomission.hawaii@gmail.com



#### ◆寺院の歴史

1913年創立

#### ◆御開山と歴代住職

- 第1世 磯部峰仙 (Isobe Hosen)
- 第2世 駒形善教 (Komagata Zenkyo)
- 第3世 駒形善秀 (Komagata Zenshu)
- 第4世 大山興隆 (Oyama Koryu)
- 第5世 松浦玉英 (Matsuura Gyokuei)
- 第6世 町田時保 (Machida Jiho)
- 第7世 駒形宗彦 (Komagata Shugen)

#### ◆現住職

駒形宗彦 (Komagata Shugen)

#### ◆過去の所属僧侶

- 遠藤教元 (Endo Kyogen)
- 江沢白道 (Ezawa Hakudo)
- 藤木道明 (Fujiki Domyo)
- 藤本宗道 (Fujimoto Shudo)
- 藤沢秀南 (Fujisawa Shunan)
- 福谷静岳 (Fukutani Jogaku)
- ガリック禪巖 (Garlick Zengan)
- ハント真覚アーネスト (Hunt Shinkaku Ernest)
- 一ノ瀬妙真 (Ichinose Myosin)
- 飯島尚之 (Iijima Shoshi)
- 岩井恵澄 (Iwai Echo)
- 金井秀元 (Kanai Shugen)

神原義孝 (Kanbara Giko)  
 小島賢道 (Kojima Kendo)  
 穀藏ロイ良尚 (Kokuzo Roy Ryosho)  
 穀藏禪戒 (Kokuzo Zenkai)  
 工藤正典 (Kudo Shoten)  
 三浦清光 (Miura Seiko)  
 三好晃一 (Miyoshi Koichi)  
 水野克彦 (Mizuno Kokugen)  
 森田宏悦 (Morita Koetsu)  
 室賀龍海 (Muroga Ryukai)  
 永井智孝 (Nagai Chiko)  
 中小路問道 (Nakakoji Keido)  
 中山宝瑞 (Nakayama Hozui)  
 西沢宏山 (Nishizawa Kozan)  
 西澤応人 (Nishizawa Ojin)  
 萩久保正潤 (Ogikubo Shojun)

小野月舟 (Ono Gesshu)  
 酒井俊晃 (Sakai Shunko)  
 柴山輝行 (Shibayama Kigyo)  
 渋川太嶺 (Shibukawa Tairei)  
 志田光隨 (Shida Kozui)  
 鈴木光輪 (Suzuki Korin)  
 立花隆幸 (Tachibana Ryuko)  
 高橋理円 (Takahashi Rien)  
 竹之内榮禪 (Takenouchi Eizen)  
 田中哲彦 (Tanaka Tetsugen)  
 戸田泰雄 (Toda Taiyu)  
 津田默竜 (Tsuda Mokuryu)  
 山本道勲 (Yamamoto Dokun)  
 吉田宏得 (Yoshida Kotoku)  
 与野蒼玄 (Yono Sogen)

#### ◆所属僧侶

石井怜慧 (Ishii Ryokei)

#### ◆行事・活動

日曜法要、梅花講、婦人会、観音講、理事会、仏前結婚式、修証会、大般若会、春秋彼岸会、盂蘭盆法要、両祖忌、永代經、バザー、除夜会

## 沿革史

### 1912年(明治45年)

7月25日 ホノルル市薬師堂創立者光永良悟師(菅良雲師に就いて得度)遷化。遺言により同寺を日本の宗務院に寄進する旨、ワイパフ布教所岡田大豊師(広島県金蓮寺)が宗門に仲介。

### 1913年(大正2年)

2月24日 磯部峰仙師(山口県華嚴寺)、両大本山より特派され、薬師堂を仮別院とし布教開始。磯部師は、来布に先立ち、同郷の貿易商本重和助氏を東京芝の事務所に訪ね、ハワイでの援助を懇請(曹洞宗宗務院総務弘津説三師も同氏事務所を訪

問、同様に援助を懇請)。来布後は、尾道屋小出寅吉氏、本重商店代行山本清三氏、山中甚蔵氏の援助を受ける。

### 1915年(大正4年)

10月 江沢白道師(山口県洞玄寺)、仮別院駐在就任。

### 1916年(大正5年)

4月6日 江沢白道師、ハワイ島ヒロ市に転出。  
 10月18日 津田黙龍師(山口県淨光寺)、仮別院駐在就任。  
 12月27日 宗務院で、ハワイ布教規定・朝鮮布教規定を制定公布。

**1917年(大正6年)**

6月 神原義孝師(広島県法常寺)、仮別院駐在就任。

**1918年(大正7年)**

3月25日 磯部峰仙師、ハワイ「布教管理」に任命される。磯部師、東京本重和助商店の銀行保証により、仮別院の敷地をスクール街とヌアヌ街角に購入。  
神原義孝師、マウイ満徳寺へ転出。

**1919年(大正8年)**

4月 仮別院を新敷地に移転。既存の住宅を庫裡に改築利用。  
5月 本堂の新築に着手する。  
7月17日 駒形善教師(新潟県龍谷寺)、仮別院駐在就任。  
10月 本堂、新敷地に完成。  
11月9日 曹洞宗婦人会発足。

**1921年(大正10年)**

1月24日 曹洞宗ハワイ仮別院、ハワイ県政府より法人として認可される。  
7月3日 大本山總持寺貫首新井石禪禪師を特請して、本堂落慶入仏式を厳修(オアフ島砂糖産業ストライキのため延期されていたもの)。隨行員:祥雲晚成、新井石龍、来馬琢道の各師。この日より、ハワイ曹洞宗別院の称が認証される。  
新井禪師一行は94日にわたり巡錫。各地で授戒会を修行。別院での戒弟60人。  
9月 新井禪師の米本土渡航に駒形善教師隨行。

**1922年(大正11年)**

3月 仏心会(新井禪師得度者の会)発足。  
4月28日 磯部峰仙師辞任、ロサンゼルスへ転出。駒形善教師、第2代主任に就任。  
9月 渋川太嶺師(新潟県東福寺)、駐在就任。

**1923年(大正12年)**

4月8日 仏教青年会発足。  
心華会結成。

**1924年(大正13年)**

5月 太祖瑩山禪師600回大遠忌予修法要嚴修。  
YBAホール建設。

**1925年(大正14年)**

7月 佐々木珍龍師、ハワイ北米在留同胞慰問。両大本山特派布教師として來訪。各島巡回。  
9月14日 佐々木珍龍師、戒会修行。  
9月 中山宝瑞師(新潟県潮山寺)、再来布し駐在就任。

**1926年(大正15年)**

7月3日 西国33番観音像勧請入仏式厳修。  
10月 鈴木光輪師(愛知県西明寺)、駐在就任。  
10月20日 中山宝瑞師、モロカイ島へ布教所開設の為派遣される。

**1927年(昭和2年)**

1月8日 渋川太嶺師、ヒロ大正寺へ転出。

**1928年(昭和3年)**

8月28日 鈴木光輪師辞任。米本土へ転出。  
 11月1日 駒形善教師、ハワイ布教管理に任命される。  
 12月 高橋理円師(北海道法王寺)、駐在就任。遠藤教元師(僧籍地不明)、布教補佐となる。

**1929年(昭和4年)**

9月 永平寺二租国師650回大遠忌予修法要のため、曹洞宗管長北野元峰禪師代理として、大森禪戒師が各島巡錫。石原憲光師、欧米社会教化事業視察のため同行来布。  
 11月 石田義道師、欧米社会教化事業視察の途次来布。各島視察。

**1930年(昭和5年)**

2月 河合真英師、宗教事情視察の途次来布。各島視察。  
 7月8日 与野蒼玄師(僧籍地不明)、駐在就任。  
 8月 戸田泰雄師(愛知県西光寺)、駐在就任。

**1931年(昭和6年)**

8月19日 西沢宏山師(東京都宗參寺)、駐在就任。  
 9月 実科女学校を創設。校舎増築。駒形よう氏校長となる。

**1932年(昭和7年)**

6月 高橋理円師辞任。市内カリヒに「Zen Mission Hawaii」を設立。

9月 付属ヌアヌ和敬学園、日本語学校小学部、中等部を創設。同時に付属女子寄宿舎も設営、各島及びオアフ郡部よりホノルルに勉学に出る学生のための便宜を提供。

**1933年(昭和8年)**

6月 四方清氏の勧進により小野寺宗雲作十一面観音像(総丈2丈)を安置、入仏供養を厳修。

**1934年(昭和9年)**

6月 市内ヌアヌ街1708番地に敷地2エーカーを購入。  
 8月 新敷地に和敬学園校舎(6教室)を新築。

**1935年(昭和10年)**

8月19日 ハワイ布教師会議及び第1回曹洞宗佛教青年代表者会議開催。  
 8月 立花隆幸師(東京都松門寺)、駐在就任。  
 9月12日 穀藏禪戒師(北海道清輪寺)、駐在就任。  
 11月1日 西沢宏山師、モロカイ弘誓寺に主任として転任。

**1936年(昭和11年)**

3月3日 穀藏禪戒師、ヒロ大正寺へ転出。  
 3月 宗務院教化主事三尾透閑師布教視察のため来布。各島巡回。  
 8月6日 松浦玉英師(山形県宝林寺)、駐在就任。  
 8月 永井智孝尼(新潟県龍谷院)、駐在就任。

**1937年(昭和12年)**

7月 志田光隨尼(東京都勢至院)、コナ大福寺より駐在に転任。

フ島ホノウリウリ収容所に逮捕抑留。

**1938年(昭和13年)**

4月1日 松浦玉英師、カウアイ禪宗寺へ転出。

**1945年(昭和20年)**

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

4月30日 小島賢道尼(富山県万泉寺)、駐在就任(マウイ満徳寺へ一時出張)。

**1946年(昭和21年)**

6月1日 駒形善教布教管理、ハワイ布教総監に就任。

**1948年(昭和23年)**

2月10日 総会で、別院移転再建を議決。アイエア太平寺において「ハワイ曹洞宗協会、Hawaii Soto Mission Association」の設立が議決されたが、別院代表は欠席。

8月 立花隆幸師辞任。米本土へ転出。

**1949年(昭和24年)**

12月 志田光隨尼、マウイ満徳寺へ転任。

8月 新敷地、市内ヌアヌ街1708番地に、第1期工事として庫裡を起工。同所の和敬学園校舎を女子寄宿舎に改築。

**1939年(昭和14年)**

8月3日 森田宏悦師(群馬県宝珠寺)、駐在就任。

12月23日 ハワイ曹洞宗協会、法人として県政府より認可される。

11月 永井智孝尼辞任、帰国。

**1950年(昭和25年)**

1月3日 室賀龍海尼(新潟県妙喜寺)、駐在就任。

1月4日 金井秀元師(新潟県竜門寺)、駐在就任。

8月 藤沢秀南師(宮城県陽山寺)、オアフ島ワイヤホレ洞門寺主任より、駐在に転任。

3月6日 金山活牛師、特派布教師として来布。

森田宏悦師、ワイヤホレ洞門寺へ転出。戸田泰雄師辞任、帰国。

5月 鉄筋二階建ての庫裡竣工。

**1941年(昭和16年)**

山本道勲氏、別院法務員に委嘱。

7月 ハワイ曹洞宗協会に参加。

5月 小島賢道尼辞任、帰国。

9月 和敬学園日本語学校再開。竹井時次氏主事就任。

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。布教活動中止。

女子寄宿舎新敷地にて運営始まる。

藤沢秀南師、戸田泰雄師はテキサス州クリストル収容所に、駒形善教総監はオア

**1951年(昭和26年)**

1月21日 新敷地にて本堂起工式厳修。

**1952年(昭和27年)**

2月23日 新本堂にて、大觀音像の遷座入仏式厳修。

3月1日 英国人のハント真覚アーネスト師、曹洞宗伝道師となり、別院内一室を貸与される。

3月3日 曹洞宗宗憲(曹洞宗規則)が制定され、ハワイ布教総監部が、ハワイ開教総監部となつたため、駒形善教ハワイ布教総監は、初代ハワイ開教総監となつた。

4月 高祖道元禪師700回大遠忌本山参拝団(ハワイ曹洞宗協会主催)、50名訪日。

5月4日 鉄筋コンクリート造りの新本堂竣工。

12月 駒形善秀師(新潟県龍谷寺)、駐在就任。

**1953年(昭和28年)**

5月5日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師、新本堂落慶法要の為に来布。隨行長:新井石龍師、隨行員:馬場文翁師。

5月9日、10日 巡錫。本堂入仏式、落慶法要厳修。

6月25日~30日 授戒会修行。

駒形善秀師辞任、帰国。

**1954年(昭和29年)**

8月18日~20日 第7回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第9回YBA大会開催。

12月 駒形善教総監、ビルマ(ラグーン)で開催の第3回世界佛教徒会議に出席。市村承秉師(新潟県大輪寺)、別院の留学生として来布。

**1955年(昭和30年)**

9月1日 町田時保師(埼玉県東昌院)、洞門寺主任より別院駐在に転任。

12月5日 岩井惠澄尼(富山県吉祥寺)、駐在就任。

12月 曹洞宗管長高階瓈仙禪師、南米巡錫の帰途来布、親化。

**1956年(昭和31年)**

6月 和敬学園、主事竹井時次氏辞任。町田時保師、後任主事となる。市村承秉師、米本土へ。ガーリック禪巖師(新潟県龍谷寺・ニュージーランド国籍)、駐在就任。

**1958年(昭和33年)**

1月 ホノルル市ラジオKOHO日本語放送局より、「曹洞宗アワー」の放送開始。毎週日曜日午前8時より15分間。別院担当する。

9月28日 ガーリック禪巖師辞任。日本へ転出。

11月 ハワイ曹洞宗協会主催全島サンデースクール教師講習会を開催。

**1959年(昭和34年)**

2月 第1回梅花特派師範として権藤円立師来任。各島巡回指導。

5月31日 第1回梅花流詠讚歌奉詠大会開催。

7月9日 茶道裏千家14代家元来寺。許状授与式挙行。

8月10日 福谷静岳尼(僧籍不明・愛知県)、駐在就任。和敬学園教師。

9月 和敬学園、スクールバス運行によ

り、生徒増加。新校舎建設募金活動開始。

#### 1960年(昭和35年)

4月9日、10日 曹洞宗サンデースクール教師講習会を開催。

5月 第13回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第15回YBA大会を開催。

8月14日 別院書院(坐禪室、日本座敷、会議室)竣工。

開創50周年記念法要厳修のため、總持寺貫首孤峰智燦禪師来布。隨行長：乙川瑾暎師、隨行員：孤峰文雄師。

10月2日 駒形善教総監、禪師一行の米本土渡航に同行後南米訪問。

#### 1961年(昭和36年)

3月 曹洞宗サンデースクール教師講習会開催。担当：町田時保師、補佐：岩井惠澄尼、福谷静岳尼。全参加者別院に宿泊。3日間の研修プログラムに全島より50名参加。

9月 和敬学園、登録生徒数350人を超える。

11月10日 全島開教師会議を開催。

#### 1962年(昭和37年)

9月14日 大本山總持寺副貫首岩本勝俊師、宗務総長金剛秀一師、シカゴで開催された仏教東漸70周年記念行事に出席の途次来布。隨行員：山口秀孝師。全島にて法要厳修。

12月12日 竹之内栄禪師(新潟県正応寺)、開教師補として、駐在就任。

#### 1963年(昭和38年)

ボーイスカウトTROOP41を編成。スカウトマスター：山下ジョージ英雄氏。

#### 1964年(昭和39年)

8月 福谷静岳尼辞任。米本土へ転出。

#### 1965年(昭和40年)

3月 裕蔵ロイ良尚師(北海道清輪寺)、日本留学を終え帰布。ハワイ曹洞宗協会開教師として、駐在。

4月24日 ハワイ曹洞宗連合婦人会結成。駒形よう氏先導で、開教師4名、各寺より20名の婦人代表集う。

4月 大本山總持寺二祖峨山禪師600回大遠忌に当たり、別院主催両大本山参拝団54名、駒形善教団長で訪日。

#### 1966年(昭和41年)

2月5日 梅花流特派師範久我尚寛師、安田博道師、来任。各島を巡回指導。

4月 全島梅花大会開催。400名参加。

5月 第1回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。初代会長：ナンシーニシムラ氏、担当開教師：岩井惠澄尼で発足。

#### 1967年(昭和42年)

2月7日 ハント真覚アーネスト師遷化。

2月16日 「友の会」発足。

5月 第2回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

三好晃一師(北海道高沢寺)、駐在就任。

#### 1968年(昭和43年)

3月10日 オアフ盆ダンス連盟発足。

4月 曹洞宗管長高階瓈仙禪師茶毘式に、駒形善教総監上山拝登。

5月 第3回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

6月 第21回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第23回YBA大会がカウアイ禪宗寺を会場にして開催されたが、日系社会の世代交替が進み、英語を母語とする代議員が増加したことにより、会議の効果的進行のため二世信徒代議員の理事長就任が小沢義淨前理事長より発議された。別院代表、柳川明新理事長就任となり、以降、会議の英語化が急速に進む。ハワイ曹洞宗協会の歴史的転機となった。

8月22日 金井秀元師遷化。

10月10日 駒形善秀師（新潟県龍谷寺）、再来布し駐在就任。

#### 1969年(昭和44年)

5月 梅花特派師範天野賢定師来任。7月まで各島巡回指導。

8月22日～24日 第22回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第24回YBA大会開催。

#### 1970年(昭和45年)

2月22日、23日 全島開教師会議開催。

5月31日 駒形善教総監、別院正法寺主任を辞任。

6月1日 駒形善秀師、第3代主任に就任。

6月30日 岩井恵澄尼辞任、帰国。

穀藏ロイ良尚師辞任。日本へ転出。

9月1日 藤木道明師（滋賀県東円寺）、駐在就任。柔道師範。

#### 1971年(昭和46年)

1月14日 三好晃一師、カウアイ禪宗寺主任に転出。

3月16日 駒形宗彦師（埼玉県真福寺）、駐在就任。

4月6日 一ノ瀬妙真尼（新潟県龍谷寺）、駐在就任。

4月20日 駒形よう氏（和敬学園園長）逝去。

5月21日～23日 第6回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。

6月16日 田中哲彦師（広島県聖光寺）、駐在就任。

8月2日 竹之内栄禪師辞任、帰国。

8月19日 中小路問道師（京都府祥雲寺）、駐在就任。

9月1日 町田時保師、和敬学園園長就任。

10月15日 別院文化教育会館（和敬学園校舎）竣工。総工費24万ドル。鉄筋コンクリート2階建て（一部3階）、8教室、多目的ホールを持つ。後日、この建物は駒形ホールと命名される。

#### 1972年(昭和47年)

2月7日 駒形善教総監遷化。

別院で本葬。大導師：大本山總持寺貫首岩本勝俊禪師、奠茶師：山下顯光師、奠湯師：吉住浩巖師、大本山永平寺専師：丹羽廉芳師、大本山總持寺専師：余語翠巖師。

4月1日 駒形善秀師、第2代開教総監に就任。

9月8日～11月22日 梅花特派師範逸見智成師来任。各島巡回指導。

**1973年(昭和48年)**

1月21日 太祖豎山禪師650回大遠忌予修法要厳修。大本山總持寺より、大遠忌局長渡部秀雄師、僧俗70名と共にこの予修法要のために来布。

2月17日 全島開教師会議開催。

5月18日～20日 第8回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

8月1日、2日 タンダバハ佛教舞踊団、賀来良江団長、来訪。発表会開催。

9月2日 第1回曹洞宗柔道連盟大会開催。ワイパフ、アイエア、コナ、別院柔道部が参加。

**1974年(昭和49年)**

1月27日 駒形善教別院2世の胸像除幕式厳修。

3月 室賀竜海尼辞任。

4月17日 太祖豎山禪師650回大遠忌参拝団(駒形善秀団長)147名が大本山總持寺参拝。

6月 第27回ハワイ曹洞宗協会代議員会開催。

7月 藤木道明師辞任、帰国。

**1975年(昭和50年)**

2月28日 駒形善秀師、開教総監を辞任、帰国。

3月15日 中小路問道師辞任、帰国。

4月13日 大山興隆師(千葉県長安寺)、第4代主任に就任。

6月13日 第28回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第30回YBA大会開催。

6月15日 大山興隆師、第3代開教総監に就任。

8月20日 梅花特派師範忠内孝寛師来任。

10月末日まで各島巡回指導。

8月30日 藤本ウォーレン宗道師、伝道師として駐在就任。

10月15日 「布哇山正法寺」寺号下付される。

11月2日 ハワイ梅花流20周年奉詠大会開催。

11月20日 工藤正典師(群馬県天宗寺)、駐在就任。

**1976年(昭和51年)**

4月8日 大本山總持寺貫首岩本勝俊禪師により「正法寺」の寺額を寄進される。

4月26日 駒形宗彦師、コナ大福寺主任に転出。

5月21日～23日 第11回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

7月30日～8月3日 鶴見女子高校一行22名(生徒10名)来布。別院に宿泊、英語研修実施。

10月22日 宗務庁主催の開教総監会議に大山興隆総監出席。

**1977年(昭和52年)**

2月7日 柴山輝行師(群馬県宗泉寺)、駐在就任。

2月26日、27日 全島開教師会議開催。

3月19日 総監部編『SOTOSHU SUTRA』2,000部、日本より到着。

4月22日～24日 サンデースクール教師講習会開催。

5月20日～22日 第12回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

8月30日 藤本ウォーレン宗道師辞任。

11月26日 全島開教師、教団理事長、協会役員合同会議開催。開教75周年祝賀行事に就いて協議。

#### 1978年(昭和53年)

2月25日、26日 定例開教師会議開催。  
 3月9日 高橋理円師 (Zen Mission of Hawaii)、元別院開教師より、奨学金1万9千ドル寄進の申し出があり、ハワイ曹洞宗協会がこれを受領、Rien Takahashi Scholorship Fundとなる。  
 3月27日～4月1日 駒沢大学岩見沢校より、研修生と教師61名來訪。ホームステイし、別院関係者とのキャンプ交歓会開催。  
 4月11日 宗務庁で開催の海外開教総監会議に大山興隆総監出席。  
 6月12日 三浦清光師 (愛知県広目寺)、駐在就任。  
 9月1日～10月29日 梅花特派師範児玉建司師來任。全島巡回指導。  
 9月21日 町田時保師、東京で開催の第12回世界佛教徒会議出席。  
 10月29日 ハワイ開教75周年記念法要と式典が厳修され、曹洞宗管長乙川瑾映禪師親修。大本山永平寺副貫首丹羽廉芳師、隨行長：余語翠巖師、布教部長樋山大典師、北米開教総監山下顯光師來布、隨喜。  
 11月30日 田中哲彦師辞任、帰国。

#### 1979年(昭和54年)

2月24日、25日 定例開教師会議開催。  
 5月23日 海外布教研修生山本健善師(長野県桃源院)、半年間の研修。

9月1日 駒沢大学職員同友会(堀口英一團長、菅原光信会長)一行65名來布。

9月 和敬学園新学年生徒数359名。ハワイ州最大の日本語学校となる。

9月30日～10月9日 梅花特派師範飛田正道師來布。各島巡回指導。

11月 大本山永平寺二祖国師700回大遠忌ハワイ予修法要のため、大本山永平寺貫首秦慧玉禪師と共に88名の参拝団來布。禪師親修の予修法要と因脈会修行。

#### 1980年(昭和55年)

2月23日、24日 定例開教師会議開催。  
 3月1日、2日 信徒研修会開催。参加80名。  
 4月20日 大本山永平寺二祖国師700回大遠忌参拝団80名出発。  
 6月10日 三浦清光師辞任。ホノルル市内に居住。  
 7月5日 萩久保正潤師(山梨県広禅院)、駐在就任。  
 8月20日～30日 梅花特派師範大島賢龍師來任。各島巡回指導。

#### 1981年(昭和56年)

2月21日、22日 定例開教師会議開催。  
 4月3日 大山興隆師、開教総監を辞任、帰国。工藤正典師辞任、帰国。  
 4月 町田時保師、別院主任代行就任。  
 5月15日 西澤応人師 (東京都祥雲寺)、駐在就任。  
 9月27日 ワヒアワ龍仙寺主任松浦玉英師 (山形県宝林寺)、第4代開教総監に就任。  
 11月1日 松浦玉英総監、第5代主任に

就任。

### 1982年(昭和57年)

2月20日、21日 定例開教師会議開催。  
10月21日～11月1日 梅花特派師範早瀬妙順師来任。各島巡回指導。  
11月12日 飯島尚之師(東京都宗清寺)、駐在就任。

### 1983年(昭和58年)

2月19日、20日 定例開教師会議開催。  
3月21日～23日 第1回開教師子弟研修会開催。  
4月9日 大本山總持寺慶弔会に松浦玉英総監出席。  
6月10日、11日 第36回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第38回YBA大会開催。  
7月20日 柴山輝行師辞任、帰国。  
10月 大本山總持寺副貫首成田芳隨師來布。ハワイ開教80周年記念法要、梅花詠讚大会を厳修。  
11月1日 曹洞宗海外開教総監会議をホノルルで開催。

### 1984年(昭和59年)

1月 本堂、大塔修理始まる。  
2月25日、26日 定例開教師会議開催。  
4月15日 海外布教研修生富井清光師(僧籍不明)、半年間の研修。  
4月20日～22日 第19回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。  
8月 梅花特派師範木村照嗣師来任。各島巡回指導。  
11月5日、6日 宗務庁主催の海外開教シンポジュームに松浦玉英総監、町田時保

師訪日、出席。

### 1985年(昭和60年)

2月23日 定例開教師会議開催。  
4月19日～21日 第20回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。  
7月17日 曹洞宗海外開教総監会議及び役員会議開催。宗務総長永井孝道師、教化部長小田原利仁師来布。  
9月 梅花特派師範新井一路師来任。各島巡回指導。

### 1986年(昭和61年)

2月6日～9日 曹洞宗授戒運動の一環として、海外に於ける授戒会を企画、別院で修行。戒師：永平寺貫首丹羽廉芳禪師、戒弟は別院から44名。法要を英語で進行。  
2月11日 小野月舟師(岩手県報恩寺)、駐在就任。  
2月22日 定例開教師会議開催。  
2月23日 臨時ハワイ曹洞宗協会代議員会開催。  
3月7日 萩久保正潤師、モロカイ弘誓寺主任に転出。  
6月 本堂内陣仏具修理。  
9月24日～10月8日 梅花特派師範北野良昭師来任。各島巡回指導。

### 1987年(昭和62年)

2月21日 定例開教師会議開催。  
2月22日 ハワイ曹洞宗協会春季特別代議員会開催。  
12月11日 酒井俊見尼(長野県無量寺)、駐在就任。

**1988年(昭和63年)**

2月20日 定例開教師会議開催。

2月21日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

8月27日、28日 創立75周年記念法要厳修。宗務総長橋山大典師来布。

10月7日～9日 ロサンゼルス禪宗寺で開催の第1回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会に参加。

海外布教研修生篠田一法師(愛知県長松院)来布。半年間の研修。

11月 梅花特派師範野倉鉄雄師来任。各島巡回指導。

**1989年(平成元年)**

2月25日 定例開教師会議開催。

2月26日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

5月10日～15日 宗務庁主催の海外開教師研修懇談会に、町田時保師出席。

10月7日、8日 第2回曹洞宗ハワイ・北米信徒大会を別院及びハワイアンリージェントホテルにて開催。日本より教化部長石塚良光師、ハワイ大学教学部ジョン・タナベ氏を特別講師にパネルディスカッション「アメリカの仏教」を開催。

11月 梅花特派師範谷曉雲師来任。各島巡回指導。

**1990年(平成2年)**

2月22日 定例開教師会議開催。

2月23日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

9月9日 別院婦人会、創立70周年記念式典、アラモアナホテルで開催。

10月10日～23日 梅花特派師範松浦泰俊師来任。各島巡回指導。

**1991年(平成3年)**

2月16日 定例開教師会議開催。

2月17日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

6月8日、9日 YBA大会を、別院ホストでパゴダホテルを会場にして開催。

8月 和敬学園の大規模なスクールバス運行は、ハワイ州の交通規制の強化により継続が不可能になる。

10月 梅花特派師範鈴木文夫師来任。各島巡回指導。

10月21日～26日 宗務庁企画海外開教師研修懇談会に、飯島尚之師出席。

11月2日、3日 第44回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会を別院ホストで、アラモアナホテルにて開催。

**1992年(平成4年)**

2月24日 定例開教師会議開催。

2月25日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

3月7日 全島教団理事長会議開催。各教団の法的地位、運営の実態について協議。

8月30日 ハワイ梅花35周年祝賀大会開催。

10月13日 町田時保師、ハワイ開教総監部贊事に就任。

11月14日、15日 サンフランシスコ桑港寺にて開催の第3回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会に参加。

**1993年(平成5年)**

2月25日 定例開教師会議開催。

2月26日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

3月10日 ハワイ総監部、初めて宗務庁より補助金として11,440.50ドルを受領。

4月27日 駒形宗二師にハワイ曹洞宗協会開教師養成基金より、修学補助を決定。

6月10日 小野月舟師遷化。

10月 梅花特派師範堀内正樹師来任。各島巡回指導。

11月1日～7日 宗務庁国際課企画海外開教師研修懇談会に町田時保師出席。

11月21日、22日 ハワイ開教師研修会開催。講師：奈良康明駒澤大学教授。

**1994年(平成6年)**

2月26日 定例開教師会議開催。

2月27日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

5月31日 飯島尚之師辞任、帰国。

6月20日 水野克彦師(静岡県積雲院)、駐在就任。

10月11日～24日 梅花特派師範柴田弘一師来任。各島巡回指導。

**1995年(平成7年)**

1月18日 松浦玉英総監、曹洞宗海外開教総監会議出席。

2月25日 定例開教師会議開催。

2月26日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

4月29日、30日 第30回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、別院及びアラモアナホテルにて開催。

7月 町田時保師、ワイパフ大陽寺臨時主任に就任。水野克彦師、ワイパフ大陽寺在住となる。

8月 松浦玉英総監、南米別院開堂式に出席。

10月6日 第48回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、タータルベイヒルトンリゾートにて開催。

10月7日、8日 第4回曹洞宗ハワイ・北米檀信徒大会をタータルベイヒルトンリゾートにて開催。

11月10日 開教師、寺族研修会を、ハレクラニホテルにて開催。講師：ニシモト・ウォーレン、ニシモト・コダマ・ミチコ夫妻。

11月16日～29日 梅花特派師範安田光彰師来任。各島巡回指導。

**1996年(平成8年)**

1月15日 曹洞宗開教総監会議に松浦玉英総監、町田時保賛事出席。

2月24日 定例開教師会議開催。

2月25日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

3月30日 モロカイ弘誓寺保管の観音像(山本瑞雲作)を別院に保管。

8月 別院女子寄宿舎、約60年の歴史を閉じ廃止となる。

9月27日 開教師、寺族研修会をパゴダホテルにて開催。

10月4日、6日 連合婦人会主催合宿研修をハワイ島キラウエアミリタリーキャンプで開催。

10月30日～11月12日 梅花特派師範久我経二師来任。各島巡回指導。

**1997年(平成9年)**

2月23日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会開催。

4月19日、20日 北米別院禪宗寺創立75周年慶讃法要に、7名の開教師と27名の信徒参加。

5月24日 開教師研修会「仏壇と位牌に就いて」開催。

9月26日 臨時開教師会議開催。松浦総監引退を表明、後任問題を討議。

町田時保師の総監推薦を承認。

10月9日～22日 梅花特派師範大徳道賢師来任。オアフ、ハワイ両島で指導。

11月15日 ハワイ曹洞宗教会、ハワイ総監部及び別院共催で、松浦玉英師の開教総監引退の顕彰夕食会をアラモアナホテルにて開催。

12月31日 松浦玉英総監辞任、ホノルル市内に居住。

**1998年(平成10年)**

1月1日 町田時保師、第5代開教総監に就任。

2月1日 町田時保総監、和敬学園園長を辞任。教師、校長職併せて43年間在任。駒形宗彦師、和敬学園園長に就任。

2月21日 定例開教師会議開催。

2月22日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会、町田総監の就任祝賀昼食会をパゴダホテルにて開催。

3月1日 山下顯光前北米総監葬儀に町田総監参列。

4月30日 宗務庁国際課主催海外開教関係者会議に、町田時保総監出席。

10月27日～11月9日 梅花特派師範阿部

伸世師来任。各島巡回指導。

**1999年(平成11年)**

2月4日 開教師、教団理事長、協会役員合同会議をパゴダホテルにて開催。日系社会の世代交代、社会変化と寺院運営の問題を討議。

3月13日 定例開教師会議をハレクラニホテルにて開催。宗務庁より教化部長洞外文隆師、国際課係長善波俊典師参加。

3月14日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会をアラモアナホテルにて開催。洞外師、善波師参加。

4月17日、18日 第34回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、別院婦人会ホストでパゴダホテルにて開催。

6月15日 吉田宏得師(静岡県萬松院)、ヒロ大正寺より駐在に転任。

9月23日 秋季開教師連絡会議開催。

10月7日～20日 梅花特派師範安藤英明師来任。各島巡回指導。

10月30日 第52回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、ワイキキリージェントホテルにて開催。

11月17日 開教師研修会開催。

**2000年(平成12年)**

2月4日、5日 ハワイ曹洞宗連合婦人会、理事会と研修会を別院とクインカビオラニホテルにて開催。

2月15日 吉田宏得師、開教総監部書記を委嘱される。

2月19日 定例開教師会議開催。

2月20日 ハワイ曹洞宗協会春季代議員会、ハワイアンリージェントホテルにて開

催。ハワイ曹洞宗協会を今後「ハワイ曹洞宗寺院連盟」と呼称することに決定。

3月3日～5日 町田時保総監、駒形宗彦贊事、北米開教師会議、山下顯光前北米総監の3周忌に出席。

3月24日 開教師研修会開催。

9月29日 秋季開教師連絡会議開催。

10月11日 梅花特派師範横山義弘師来任。各島巡回指導。

10月27日～29日 ラスベガスで開催の第5回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会(ロサンゼルス禪宗寺主催)に参加。

11月10日 特派布教師峯岸正典師、別院法要に隨喜。オアフ寺院訪問。開教師との懇談会開催。

### 2001年(平成13年)

2月17日 定例開教師会議開催。

2月18日 ハワイ曹洞宗寺院連盟春季代議員会、ワイキキマリオットホテルにて開催。

4月26日 高祖道元禪師750回大遠忌海外予修法要実務者会議に総監部書記吉田宏得師を派遣。

5月19日 高祖道元禪師750回大遠忌予修法要のため、宗務総長大竹明彦師、教化部長吉田公雄師、永平寺大遠忌局長山田康夫師、永平寺副監院久我尚寛師他來布。

5月20日 高祖道元禪師750回大遠忌予修法要厳修。

11月2日 開教師研修会「カウンセリングについて」開催。講師：ハヤセ・メルビン。

12月14日 開教師特別研修会「米本土の日系仏教の変遷と現状」をワイキキシェラ

トンホテルにて開催。講師：加藤和光師。

12月18日 2003年に開催のハワイ開教百年記念行事について、宗門と連絡のため、理事長ヤマシタ・ジョージ師、駒形宗彦贊事、吉田宏得書記を日本に派遣。

### 2002年(平成14年)

2月16日 定例開教師会議開催。

2月17日 ハワイ曹洞宗寺院連盟春季代議員会、シェラトンワイキキホテルにて開催。

3月24日 駒形善秀前ハワイ開教総監の追悼法要、別院彼岸会に因み町田時保総監導師により厳修。

9月28日 第55回ハワイ曹洞宗寺院連盟秋季年次代議員会をシェラトンワイキキホテルにて開催。

10月15日 高祖道元禪師750回大遠忌ハワイ団参50名出発。

11月14日 梅花特派師範三浦信孝師来任。各島巡回指導。

### 2003年(平成15年)

2月20日 S Z I 創立10周年記念「ハワイ開教100年 現状と未来」と題するシンポジウムに、総監部書記吉田宏得師を派遣。

10月25日 S Z I 引率の下、日本各地からの法要参加者のハワイ別院正法寺拝登誦経。

S Z I の協力を得て日本より600余名の檀信徒をお迎えし、シェラトンワイキキホテルにて、地元ハワイの檀信徒合わせて2,000余名による歓迎交流晩餐会を開催。宗務庁教化部長宮川敬學師が祝辞を述べる。

10月26日 開教100年祝賀法要。  
シェラトンワイキキホテルにおいて、宗務  
総長有田惠宗師の導師の下に先亡開教師  
諷經嚴修。  
大本山總持寺副貫首齊藤信義師を大導師  
に、ハワイ開教100年祝賀報恩法要嚴修。

#### 2004年(平成16年)

11月22日 吉田宏得師、総監部贊事に就  
任。  
町田時保総監、結制修行。

#### 2005年(平成17年)

10月16日 第58回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パゴダホテルにて開催。

#### 2007年(平成19年)

10月20日～22日 ラスベガスで開催の第  
7回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会(サンフ  
ランシスコ桑港寺主催)に参加。  
11月4日 第59回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パシフィックビーチホテルに  
て開催。

#### 2008年(平成20年)

7月23日 松浦玉英元国際布教総監の本  
葬執行。  
7月31日 吉田宏得師辞任、帰国。  
8月30日 町田時保総監、辞任。  
9月1日 駒形宗彦師、第7代主任並びに  
第6代国際布教総監に就任。  
11月1日 酒井俊晃尼辞任、帰国。  
12月20日 石井怜慧師(埼玉県正覚寺)、  
駐在就任。

#### 2009年(平成21年)

10月11日 第60回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パゴダホテルにて開催。

#### 2010年(平成22年)

2月21日 第61回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パゴダホテルにて開催。  
4月24日、25日 第45回ハワイ曹洞宗連  
合婦人会大会開催。

#### 2011年(平成23年)

2月20日 第62回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パゴダホテルにて開催。

#### 2012年(平成24年)

3月10日、11日 第8回曹洞宗ハワイ・北  
米檀信徒大会をアラモアナホテルにて開  
催。

#### 2013年(平成25年)

2月17日 第64回ハワイ曹洞宗寺院連盟  
代議員会、パゴダホテルにて開催。  
11月9日、10日 大本山總持寺貫首江川  
辰三禪師ご親修の下、曹洞宗ハワイ国際  
布教110周年、両大本山ハワイ別院正法  
寺創立100周年記念慶讚法要嚴修。



1920年の両大本山ハワイ別院正法寺本堂



Soto Mission of Aiea, Taiheiji

# アイエア太平寺



Address : 99-045 Kauhale Street,  
Aiea, HI 96701 U.S.A.

TEL : 1-808-488-6794  
FAX : 1-808-488-6794  
E-mail : taiheiji@hawaii.rr.com



#### ◆寺院の歴史

1904年創立

#### ◆御開山と歴代住職

開山 津田默龍 (Tsuda Mokuryu)  
第2世 吉住浩巖 (Yoshizumi Kogen)  
第3世 田宮黎友 (Tamiya Reiyu)  
第4世 長棟梅峯 (Nagamine Baiho)  
第5世 浅山賢栄 (Asayama Kenei)  
第6世 工藤正典 (Kudo Shoten)  
第7世 篠田一法 (Shinoda Ippo)  
第8世 長谷川俊道 (Hasegawa Shundo)

#### ◆過去の所属僧侶

金井秀元 (Kanai Shugen)

#### ◆所属僧侶

駒形宗二 (Komagata Shuji)

#### ◆行事・活動

婦人会、観音講、梅花講、仏前結婚式、YBA (青年会)、春秋彼岸会、三仏忌、盂蘭盆法要、両祖忌、摂心、バザー、除夜会

## 沿革史

**1904年(明治37年)**

7月 植岡祖暁師(広島県徳寿院)来布。オアフ島アイエアキャンプに仮布教所を開設。

**1906年(明治39年)**

11月7日 植岡祖暁師、マウイ島バイアに移住。

**1918年(大正7年)**

7月17日 仮別院駐在の津田黙龍師(山口県淨光寺)、アイエア布教所を開設。

**1919年(大正8年)**

津田黙龍師、シープルーアー経営のホノルル精糖会社より借地の許可を得て、アイエア布教所の本堂建立に着手。

**1921年(大正10年)**

7月8日 大本山總持寺貫首新井石禪禪師、ホノルル別院の法要後、アイエアで前年2月のストライキにより中断していた本堂建立の再開始を信徒に説く。建設中の本堂とそのリース地は、ホノルル砂糖会社により押収の状況にあり、ストライキ解決後、再度の願い出により押収を解除され本堂建設を再開しこれを成就。

**1924年(大正13年)**

7月4日 アイエア布教所に「真珠山太平寺」の寺号下付。

**1926年(大正15年)**

11月16日 県政府より法人認可をうける。  
Soto Mission of Aiea。

**1927年(昭和2年)**

11月 津田黙龍師が辞任、米本土ロサンゼルス禪宗寺へ転出。吉住浩巖師(山形県法眼寺)、第2代主任に就任。

**1928年(昭和3年)**

4月1日 アイエア太平日本語学校創立。

**1929年(昭和4年)**

10月 吉住浩巖師、ワイパフ大陽寺兼務となる。

**1930年(昭和5年)**

ボイスカウト TROOP157 を編成。  
5月28日 吉住浩巖師、ワイパフ大陽寺との兼務を解かれる。

**1937年(昭和12年)**

9月 アイエア太平日本語学校校舎新築落成。

**1941年(昭和16年)**

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。  
(吉住浩巖師、米本土ニューメキシコ州サンタフェ収容所に逮捕抑留。)

**1945年(昭和20年)**

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

**1948年(昭和23年)**

大戦後のハワイ曹洞宗の組織的活動について討議するため、アイエア太平寺にて開教師、信徒有志の懇談会が開かれ、各教団の代表者による「代議員制ハワイ曹洞宗協会 Hawaii Soto Mission Association」の設立が議決される(別院代表欠席)。

**1953年(昭和28年)**

6月21日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。

**1955年(昭和30年)**

寺院敷地をオアフ砂糖会社より買収。

**1956年(昭和31年)**

8月17日～19日 第9回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第11回YBA大会開催。

**1965年(昭和40年)**

3月1日 鉄筋二階建ての本堂竣工。  
3月23日 吉住浩巖師病気入院。別院駐在の金井秀元師(新潟県竜門寺)、寺務を助ける。

**1966年(昭和41年)**

2月 吉住浩巖師辞任。  
2月 田宮黎友師(新潟県興源寺)、第3代主任に就任。  
9月18日 新本堂落慶法要厳修。

**1970年(昭和45年)**

5月22日～24日 第5回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

**1971年(昭和46年)**

6月11日～13日 第24回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第26回YBA大会開催。  
6月11日 開創50周年記念法要厳修。

**1972年(昭和47年)**

8月12日 長棟梅峰師(新潟県新光寺)、第4代主任に就任。  
8月15日 田宮黎友師辞任、帰国。

**1974年(昭和49年)**

9月 第2回ハワイ曹洞宗柔道大会開催。

**1975年(昭和50年)**

3月29日 吉住浩巖師遷化。  
4月1日 教団葬執行。

**1977年(昭和52年)**

6月 第30回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第32回YBA大会開催。

**1978年(昭和53年)**

6月26日 開創60周年記念法要厳修。  
長棟梅峰師、結制修行。

**1979年(昭和54年)**

婦人会創立50周年記念法要厳修。

**1980年(昭和55年)**

6月8日 長棟梅峰師辞任、帰国。  
12月20日 浅山賢栄師(青森県儒童寺)、第5代主任に就任。

**1981年(昭和56年)**

4月24日、25日 第16回ハワイ曹洞宗連

合婦人会大会開催。

**1985年(昭和60年)**

6月8日、9日 第38回ハワイ曹洞宗協会代議員会開催。

8月13日 浅山賢栄師辞任、帰国。

8月24日 前別院駐在、工藤正典師(群馬県天宗寺)が再来布、第6代主任に就任。

**1986年(昭和61年)**

2月6日～9日 別院で修行された授戒会(戒師:大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師)に、アイエアから11名の戒弟が参加。法要を英語で進行。

**1988年(昭和63年)**

4月10日 納骨堂を設営、献堂式厳修。

**1990年(平成2年)**

4月20日～22日 第25回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、アイエア太平寺、アラモアナホテルを会場に開催。アイエア太平寺婦人会創立25周年記念祝賀行事同時開催。

8月20日 工藤正典師辞任、帰国。

8月27日 篠田一法師(愛知県長松院)、第7代主任に就任。

**1992年(平成4年)**

6月22日 屋上の鉄塔を除去。

**1993年(平成5年)**

10月23日、24日 創立75周年記念法要と祝賀行事をアイエア太平寺とシェラトンワイキキホテルにて開催。

11月1日～7日 宗務庁企画海外開教師研修懇談会に篠田一法師出席。

**1994年(平成6年)**

8月1日 篠田一法師辞任、帰国。

**1995年(平成7年)**

7月20日 長谷川俊道師(群馬県瑞岩寺)、第8代主任に就任。

**1997年(平成9年)**

11月15日 第50回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、アイエア太平寺ホストでアラモアナホテルにて開催。

**1998年(平成10年)**

4月18日、19日 第33回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ワイキキバシフィックビーチホテルを会場にアイエア太平寺婦人会ホストにて開催。

**2002年(平成14年)**

3月 長谷川俊道師辞任。

7月 帰国。

**2005年(平成17年)**

駒形宗二師(新潟県大久寺)、法務担当に就任。

**2006年(平成18年)**

4月22日、23日 第41回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

**2008年(平成20年)**

10月12日 創立90周年記念慶讃法要厳

修。

2012年(平成24年)

1月20日 駒形宗二師、国際布教師に就任。

---



アイエア太平寺旧本堂



アイエア太平寺 日本人学校



ブッダガヤ大塔のような  
現在の両大本山ハワイ別院正法寺



Waipahu Soto Zen Temple, Taiyoji

# ワイパフ大陽寺



Address : 94-413, Waipahu Street,  
Waipahu, HI 96797 U.S.A.

TEL : 1-808-671-3103

FAX : 1-808-671-6803



#### ◆寺院の歴史

1903年創立

#### ◆御開山と歴代住職

- 開 山 河原仙英 (Kawahara Sen-ei)
- 第2世 関田大豊 (Okada Daiho)
- 第3世 佐脇昇雲 (Sawaki Shoun)
- 第4世 花井嶺松 (Hanai Reisho)
- 第5世 井上道雄 (Inoue Doyu)
- 第6世 中山宝瑞 (Nakayama Hozui)
- 第7世 上島泰岳 (Ueshima Taigaku)
- 第8世 光英勇猛 (Mitsufusa Yumyo)
- 第9世 大川玄道 (Okawa Gendo)
- 第10世 小沢義淨 (Ozawa Gijo)
- 第11世 大山陽堂 (Oyama Yodo)
- 第12世 佐藤博隆 (Sato Hakuryu)
- 第13世 梅沢原憲 (Umezawa Genken)
- 第14世 水野克彦 (Mizuno Kokugen)
- 第15世 穀藏ロイ良尚 (Kokuzo Ryosho)

#### ◆現住職

穀藏ロイ良尚 (Kokuzo Ryosho)

#### ◆過去の所属僧侶

- 藤沢秀南 (Fujisawa Shunan)
- 梅本為隣 (Umemoto Irin)
- 山崎自性 (Yamazaki Jisho)
- 吉住浩巖 (Yoshizumi Kogen)

## ◆行事・活動

観音講、理事会、仏前結婚式、YBA（青年会）、修証会、春秋彼岸会、涅槃会、盂蘭盆法要、両祖忌、達磨忌、摶心、成道会、除夜会

## 沿革史

## 1903年(明治36年)

3月18日 河原仙英師(広島県龍雲寺)同胞慰問使として来任。オアフ島ワイパフキャンプに入り仮布教所を設立。

## 1905年(明治38年)

4月 河原仙英師、ワイパフ砂糖会社支配人ハンス氏の好意により布教所を設営。  
10月 入仏式を厳修。菅良雲師、平井隆機師、植岡祖暉師、これに参列。

## 1908年(明治41年)

6月5日 河原仙英師、オアフ島ワイパフ布教所にて遷化。  
11月 岡田大豊師(広島県金蓮寺)、第2代主任に就任。

## 1910年(明治43年)

8月31日 裁縫学校開設。  
12月8日 婦人会結成。

## 1912年(明治45年)

6月1日 ワイパフ裁縫学校を「ワイパフ日本語学校」と改称。

## 1913年(大正2年)

3月5日 佐脇昇雲師(岐阜県千手院)、駐在就任。

## 1914年(大正3年)

3月 花井嶺松師(三重県万寿寺)、駐在就任。  
5月 岡田大豊師辞任。米本土へ転出。佐脇昇雲師、第3代主任に就任。

## 1916年(大正5年)

4月2日 佐脇昇雲師、ワイパフ布教所隣接地に日本人小学校校舎を新築。  
6月20日 佐脇昇雲師辞任、米国留学。花井嶺松師、第4代主任に就任。  
12月15日 井上道雄師(岐阜県雲龍寺)、駐在就任。

## 1917年(大正6年)

9月 花井嶺松師辞任、帰国。井上道雄師、第5代主任に就任。  
10月15日 中山宝瑞師(新潟県潮山寺)、駐在就任。

## 1920年(大正9年)

8月 井上道雄師辞任、帰国。中山宝瑞師、第6代主任に就任。

## 1922年(大正11年)

6月 中山宝瑞師辞任、米本土へ転出。  
8月 上島泰岳師(山形県禪会寺)、第7代主任に就任。

## 1924年(大正13年)

5月 ワイパフ日本語学校の校舎落成。

生徒400名を数え、オアフ島随一と称される。

#### 1926年(大正15年)

3月26日 「松嶽山大陽寺」の寺号下付される。

#### 1927年(昭和2年)

10月 藤沢秀南師(宮城県陽山寺)、駐在就任。

#### 1929年(昭和4年)

10月 上島泰岳師辞任、帰国。アイエア太平寺の吉住浩巖師、大陽寺との兼務となる。

#### 1930年(昭和5年)

5月28日 光英勇猛師(兵庫県大竜寺)、第8代主任に就任。吉住浩巖師、兼務を解かれる。

#### 1936年(昭和11年)

8月 光英勇猛師辞任、帰国。朝鮮布教総監部主任に就任。

10月15日 大川玄道師(東京都永心寺)、第9代主任に就任。

#### 1939年(昭和14年)

4月30日 山崎自性師(長野県金鳳寺)、駐在就任。

#### 1941年(昭和16年)

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。  
(大川玄道師、米本土ニューメキシコ州サ

ンタフェ収容所に逮捕抑留。山崎自性師オアフ島ホノウリウリ収容所に逮捕抑留。)

#### 1945年(昭和20年)

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

#### 1948年(昭和23年)

大川玄道師「代議員制ハワイ曹洞宗協会」の初代理事長に就任。

#### 1949年(昭和24年)

8月17日 本堂、庫裡を信徒の奉仕活動により建設完成。落慶入仏法要を厳修。  
第2回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第4回YBA大会開催。  
山崎自性師辞任、帰国。

#### 1950年(昭和25年)

5月 ワイパフ出身者の第2次世界大戦戦死者慰靈碑を建立。

#### 1951年(昭和26年)

8月 小沢義淨師(山梨県大聖寺)カウアイ禪宗寺より、第10代主任に転任。  
9月25日 大川玄道師辞任、帰国。

#### 1953年(昭和28年)

7月5日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師、別院新本堂落慶法要の為に来布のおり、巡錫。隨行長:新井石龍師、隨行員:馬場文翁師。

#### 1957年(昭和32年)

8月 第10回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第12回YBA大会開催。

**1962年(昭和37年)**

6月 梅本為隣師(山梨県大聖寺)、サンディアゴ大学を卒業し、駐在就任(開教師任命は、1957年5月29日)。

**1963年(昭和38年)**

8月20日～22日 第16回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第18回YBA大会を開催。

**1964年(昭和39年)**

9月15日 ワイパフ大陽寺移転の新敷地を購入。

**1971年(昭和46年)**

8月15日 小沢義淨師、大陽寺主任としてハワイ最初の初会結制修行。

**1973年(昭和48年)**

3月31日 梅本為隣師辞任。  
 5月5日、6日 移転事業(本堂、庫裏、会館)の落慶法要を曹洞宗管長佐藤泰舜禅師を請して厳修。隨行長:丹羽廉芳師。法要親修後、オアフ島内巡錫。  
 6月 第26回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第28回YBA大会を開催。  
 9月2日 別院で開催の第1回曹洞宗柔道連盟大会にワイパフ柔道部参加。

**1974年(昭和49年)**

5月26日～28日 第9回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。  
 5月29日 大山陽堂師(千葉県長安寺)、駐在就任。  
 6月19日 小沢義淨師辞任、引退。大山陽堂師、第11代主任に就任。

12月7日 小沢義淨師遷化。

12月12日 教団葬執行。

**1979年(昭和54年)**

6月8日～10日 第32回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第34回YBA大会を開催。

**1983年(昭和58年)**

4月22日～24日 第18回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。  
 8月27日、28日 開創80周年記念法要厳修。

**1986年(昭和61年)**

2月6日～9日 別院で修行された授戒会に(戒師:大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師)、ワイパフから41名の戒弟が参加。法要を英語で進行。

**1987年(昭和62年)**

6月12日～14日 第40回ハワイ曹洞宗協会代議員会年次大会を開催。

**1989年(平成元年)**

11月26日 大山陽堂師辞任、帰国。

**1990年(平成2年)**

1月24日 佐藤博隆師(東京都慈光院)、第12代主任に就任。

**1992年(平成4年)**

4月17日～19日 第27回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。  
 8月 佐藤博隆師辞任、市内に居住。

**1994年(平成6年)**

4月15日 梅沢原憲師(岐阜県西光寺)、第13代主任に就任。

主任に転任。

**1995年(平成7年)**

6月30日 梅沢原憲師辞任、帰国。  
7月 町田時保師(埼玉県広見寺)臨時主任に就任。水野克彦師(静岡県積雲院)を在住とする。

**2001年(平成13年)**

10月6日 第54回ハワイ曹洞宗寺院連盟秋季年次大会、ワイパフ大陽寺ホストによりパゴダホテルにて開催。

**1996年(平成8年)**

12月 水野克彦師、常在開教師に任命され、第14代主任に就任。

**2003年(平成15年)**

3月30日 創立100周年記念慶讃法要厳修。

**1998年(平成10年)**

11月30日 水野克彦師辞任、帰国。

**2008年(平成20年)**

4月19日、20日 第43回ハワイ連合婦人会大会開催。

**2000年(平成12年)**

4月22日、23日 第35回ハワイ連合婦人会大会、ワイパフ大陽寺とアラモアナホテルにて開催。

**2010年(平成22年)**

12月11日 婦人会創立100周年記念法要厳修。

**2012年(平成24年)**

10月13日 第63回ハワイ曹洞宗寺院連盟秋季年次大会開催。



ワイパフ大陽寺 初期の本堂



1949年のワイパフ大陽寺本堂



Wahiawa Ryusenji Soto Mission

# ワヒアワ龍仙寺



Address : 162 California Avenue,  
Wahiawa, HI 96786 U.S.A.

TEL : 1-808-622-1429

FAX : 1-808-622-1430



#### ◆寺院の歴史

1904年創立

#### ◆御開山と歴代住職

- 開 山 平井隆機 (Hirai Ryuki)
- 第2世 荒原見山 (Arahara Kenzan)
- 第3世 木下靈牛 (Kinoshita Reigyu)
- 第4世 石黒法龍 (Ishiguro Horyu)
- 第5世 後藤古仙 (Goto Kosen)
- 第6世 細川靠山 (Hosokawa Kozan)
- 第7世 田中哲翁 (Tanaka Tetsuou)
- 第8世 善波卓道 (Yoshinami Takudo)
- 第9世 松浦玉英 (Matsuura Gyokuei)
- 第10世 駒形宗彦 (Komagata Shugen)

#### ◆現住職

不在

#### ◆過去の所属僧侶

- 細川治学 (Hosokawa Jigaku)
- 石黒法龍 (Ishiguro Horyu)
- 小畠大拙 (Obata Daisetsu)
- 大八木春邦 (Oyagi Shunpo)

#### ◆行事・活動

日曜礼拝、婦人会、観音講、病院慰問、梅花講、理事会、仏前結婚式、YBA (青年会)、修証会、大般若会、春秋彼岸会、降誕会、涅槃会、盂蘭盆法要、地蔵供養、両祖忌、達磨忌、成道会、摂心、バザー、除夜会

## 沿革史

### 1904年(明治37年)

平井隆機師(広島県米山寺)が、オアフ島カワイロアキャンプに仮布教所を開設。

### 1906年(明治39年)

7月25日 平井隆機師、ワイルア砂糖会社社長グデール氏の好意を受け、カワイロアキャンプに布教所及び日本人小学校を設立。開校式挙行。

### 1914年(大正3年)

9月15日 耕地会社より貸与されたカワイロアキャンプ中央部に移転。本堂落成入仏式厳修。日本人小学校建築落成。

### 1915年(大正4年)

6月 荒原見山師(岐阜県大隆寺)、駐在就任。  
12月 平井隆機師辞任、帰国。荒原見山師、第2代主任に就任。

### 1919年(大正8年)

7月26日 小畠大拙師(愛媛県実法寺)、駐在就任。

### 1920年(大正9年)

2月29日 荒原見山師辞任、帰国。  
5月 木下靈牛師(大阪府梅林寺)、第3代主任に就任。

### 1921年(大正10年)

8月10日 石黒法龍師(東京都大光寺)、駐在就任。

9月 木下靈牛師辞任。米本土へ留学。

石黒法龍師、第4代主任に就任。

### 1922年(大正11年)

7月 石黒法龍師辞任、帰国。  
7月2日 後藤古仙師(愛知県成道寺)、第5代主任に就任。  
8月24日 後藤師、日本語学校教師英語検定取得のため辞任。ホノルルへ転出。  
8月 木下靈牛師米本土より帰布。主任として再任される。

### 1928年(昭和3年)

9月30日 木下靈牛師辞任、帰国。小畠大拙師辞任。細川靠山師(福井県天竜寺)、コナ大福寺より第6代主任に転任。

### 1933年(昭和8年)

5月10日 細川靠山師の実弟、細川治学師(福井県天竜寺)、駐在就任。  
5月20日 海雲山龍潛寺の寺号が下付される。

### 1935年(昭和10年)

6月 細川靠山師辞任、帰国。細川治学師暫定補席。

### 1937年(昭和12年)

4月 細川靠山師再来布。主任として再任。細川治学師辞任、帰国。

### 1938年(昭和13年)

10月 田中哲翁師(広島県聖光寺)、駐在就任。

**1940年(昭和15年)**

2月 細川靠山師辞任、帰国。  
3月 田中哲翁師、第7代主任に就任。

**1941年(昭和16年)**

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。  
(田中哲翁師、米本土ニューメキシコ州サンタフェ収容所に逮捕抑留。)

**1945年(昭和20年)**

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

**1952年(昭和27年)**

10月 田中哲翁師辞任、帰国。

**1953年(昭和28年)**

6月13日 善波卓道師(神奈川県勝興寺)、第8代主任に就任。  
6月20日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。隨行長:新井石龍師、隨行員:馬場文翁師。

**1957年(昭和32年)**

8月 県政府より法人として認可される。  
オアフ島ワヒアワに移転再建を企画。期成会を組織する。

**1958年(昭和33年)**

11月28日 カワイロア龍潜寺教団、ワヒアワ・カリフォルニア街164に6ロットの土地を購入することを契約。

**1963年(昭和38年)**

10月18日 善波卓道師辞任、帰国。

**1965年(昭和40年)**

6月5日 松浦玉英師(山形県宝林寺)、コナ大福寺より第9代主任に転任。大八木春邦師(山形県福生庵)、コナ大福寺より転任。  
7月 大八木春邦師辞任、帰国。  
9月27日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師、ブラジル開教10周年記念法要出席の途次、ワヒアワ龍潜寺庫裏・日本学校校舎新築落成式に出席。

**1975年(昭和50年)**

10月15日 寺号を「龍潜寺」より「龍仙寺」に変更認可される。

**1976年(昭和51年)**

8月21日、22日 ワヒアワ龍仙寺移転再建記念及び開創70周年慶讚法要を、管長代理松浦英文師を請して厳修。隨行員:布教部長栗田伸美師。

**1979年(昭和54年)**

4月27日~29日 第14回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ワヒアワ龍仙寺とタートルベイヒルトンホテルにて開催。

**1981年(昭和56年)**

6月 第34回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第36回YBA大会を開催。  
9月27日 松浦玉英師、第4代開教総監に就任。  
11月1日 松浦玉英師、別院主任として転出。  
11月3日 駒形宗彦師(埼玉県真福寺)、コナ大福寺より第10代主任に転任。

**1984年(昭和59年)**

11月11日 創立80周年記念法要厳修。  
社交ホール完成祝賀会開催。

当開教師との兼務に着任。

**1986年(昭和61年)**

2月6日～9日 別院で修行の授戒会(戒師:大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師)に、ワヒアワ龍仙寺より戒弟40名参加。法要を英語で進行。

**1999年(平成11年)**

10月30日 第52回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会を、ワヒアワ龍仙寺ホストで、ワイキキリージェントホテルにて開催。  
10月31日 創立95周年記念法要を同ホテルにて厳修。

**1988年(昭和63年)**

4月22日～24日 第23回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ワヒアワ龍仙寺及びワイキキビーチ・ホリデーインにて開催。

**2001年(平成13年)**

2月25日 移転25周年記念法要と祝賀会をパゴダホテルにて開催。

**1989年(平成元年)**

10月6日～8日 第42回ハワイ曹洞宗協会秋季代議員会、ワヒアワ龍仙寺ホストでワイキキビーチ・ホリデーインにて開催。

**2004年(平成16年)**

10月31日 100周年記念慶讃法要厳修。  
4月24日、25日 第39回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。  
12月12日 地蔵堂改築落慶入仏式厳修。

**1994年(平成6年)**

10月29日 第47回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、ワヒアワ龍仙寺ホストで、ワイキキビーチ・ホリデーインにて開催。  
10月30日 創立90周年記念法要と祝賀行事をハワイアンリージェントホテルにて開催。

**2011年(平成23年)**

5月29日 入信式厳修。  
12月14日 駒形宗彦師、辞任。

**1996年(平成8年)**

4月20日、21日 第31回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ワヒアワ龍仙寺とハワイアンリージェントホテルにて開催。

**2012年(平成24年)**

4月21日、22日 第47回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。



1914年のカワイロア龍潜寺本堂

**1998年(平成10年)**

1月1日 駒形宗彦師、モロカイ弘誓寺担



Daifukuji, Soto Mission

# コナ大福寺



Address : 79-7241 Mamalahoa Hwy  
Kealakekua HI 96750 U.S.A.  
TEL : 808-322-3524  
FAX : 808-322-2129  
E-mail : [rev.jiko@daifukuji.org](mailto:rev.jiko@daifukuji.org)  
URL : <http://daifukuji.org/>



#### ◆寺院の歴史

1914年創立

#### ◆御開山と歴代住職

開 山 児玉介石 (Kodama Kaiseki)  
第2世 垣浦明道 (Kakiura Myodo)  
第3世 神原義孝 (Kanbara Giko)  
第4世 細川靠山 (Hosokawa Kozan)  
第5世 中山宝瑞 (Nakayama Hozui)  
第6世 松浦玉英 (Matsuura Gyokuei)  
第7世 佐藤博道 (Sato Hakudo)  
第8世 駒形宗彦 (Komagata Shugen)  
第9世 市村承秉 (Ichimura Shohei)  
第10世 長田敬道 (Osada Keido)  
第11世 田宮隆兒 (Tamiya Ryuji)

#### ◆過去の所属僧侶

大八木春邦 (Oyagi Shunpo)  
高橋千鶴 (Takahashi Chikaku)

#### ◆所属僧侶

法務担当者：中出慈光 (Nakade Jiko)

#### ◆行事・活動

坐禅会、観音講、理事会、婦人会、日曜礼拝、梅花講、太鼓俱楽部、仏前結婚式、YBA (青年会)、修証会、涅槃会、春秋彼岸会、降誕会、盂蘭盆法要、地蔵祭り、達磨忌、永代経、接心、除夜会

## 沿革史

### 1914年(大正3年)

コナ白峰山大福寺はハワイ島西部の北コナのホナロにあり、この年の晩春マウイ島バイヤの満徳寺住職植岡祖暁師が児玉介石師(東京都大福寺)を伴って巡教の際、当地に布教所を創立した所に基団する。

7月25日 児玉介石師は単独でコナに渡り、同地有志者の尽力と苦労により現在の所有地から北寄り約200ヤードの山手に間口36フィート、奥行40フィートの平屋造りの寺院とこれにあわせて間口30フィート、奥行16フィートの庫裡を建設した。

### 1915年(大正4年)

1月2日 コナ佛教青年会を発足。  
 2月6日 婦人会を発足。  
 2月27日 上棟及び入仏式を厳修。当時の協力者は、柴山徳造、松崎百太郎、阿部朝信、池田篤寿、木村茂吉、長谷川房太郎、花渡吾市、佐々木炎太郎、因幡善太郎の各氏。児玉師は燃ゆるが如き信念を持ち、古靴をはき、コーモリ傘一本を持ち寺院建立が叶えられるまでは絶対に車に乗らず、周囲400マイルのハワイ島を2回も行脚勧進につとめたと伝えられている。  
 10月4日 大本山永平寺貫首福山黙堂禪師並びに大本山總持寺貫首石川素童禪師より白峰山大福寺の山号並び寺号が下付される。  
 児玉師は当寺の堅実な基礎を固め石ころ山、又溶岩の山のコーヒー山開拓に苦しむ人達への教化を深めた。

### 1918年(大正7年)

6月16日 垣浦明道師(静岡県光明寺)、駐在就任。  
 7月 児玉師帰国。垣浦明道師、第2代主任に就任。垣浦師は布教伝道に励み、特に青年教化に尽くし青年修養團を発足した。

### 1920年(大正9年)

垣浦師は、赴任二年後、早くも寺院敷地のリースが切れる寸前、新たに現大福寺の敷地を永代地として求め新寺院を建立した。

### 1921年(大正10年)

5月27日 新寺院の上棟入仏式を厳修。

### 1922年(大正11年)

5月7日 児童教育のため日曜学校を発足。  
 8月 垣浦明道師辞任、帰国。神原義孝師(広島県法常寺)、マウイ満徳寺より第3代主任に転任。  
 神原師は、大本山總持寺貫首新井石禪禪師御来錫を機とし、大福寺負債整理の重任を引き受け精進努力、更に大人の夜間学校を開校し教化の為に活躍した。  
 神原夫人は子女の教育に力を注ぎ礼儀作法、手芸、裁縫等を教えた。

### 1926年(大正15年)

9月 神原義孝師辞任、帰国。細川靠山師(福井県天龍寺)、第4代主任に就任。大福寺負債整理の力をつくし、ついに借財を一掃した。

師は特に教育に力を注ぎケアラケクア日本語学校の校長としても活躍した。細川夫人はナポボ日本語学校で青少年教育の力を注いだ。

#### 1928年(昭和3年)

9月 細川眞山師カワイロア布教所に転出。モロカイ弘誓寺より中山宝瑞師(新潟県潮山寺)、第5代主任に転任。ケアラケクア日本語学校校長として子弟の教育に尽力し、さらに教団を固め、青年会、婦人会の発展に力を注いだ。

#### 1936年(昭和11年)

4月 志田光隨尼(東京都勢至院)、駐在就任。  
中山宝瑞師は観音堂を建設し、同年ハワイ日本人在住50年記念として自ら発願主となり、斎藤実氏、同春子夫人、小笠原長生氏、ハワイ観音会員一同功德主となり日本彫刻界の権威三木宗策氏の力作、聖觀世音菩薩を建立した。

#### 1937年(昭和12年)

3月28日 入仏式を厳修。中山師はボーイ・スカウトを発団し、青年会の上部組織となるべきコナ向上会が組織発会し宗派を超えた禅的精神に力を注いだ。  
7月 志田光隨尼、別院へ転出。

#### 1939年(昭和14年)

年末 30フィート×60フィートの広さを持つ青年会館を建設。また永代地として裏山を購入、コーヒー園として開拓して大福寺発展を計り、現在の寺所有地6

エーカーになる。

#### 1941年(昭和16年)

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。

中山宝瑞師はその後アメリカ陸軍に敵国指導者と見なされ直ちに逮捕され同島のボルケーノ陸軍営舎に収容される。

#### 1942年(昭和17年)

2月 中山宝瑞師はホノルル・サンドアイランド収容所より米大陸へ護送抑留され、ついにニューメキシコ州サンタフェ捕虜収容所にて終戦を迎える。

#### 1945年(昭和20年)

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。  
11月 中山宝瑞師、釈放され大福寺に帰山。

#### 1946年(昭和21年)

2月1日 中山宝瑞師はヒロ大正寺駐在の開教師松浦玉英師(山形県宝林寺)を補佐として大福寺に招き、戦後の大福寺の経営のために更に努力を続け、日曜学校、青年会、向上会、婦人会の再組織につとめた。松浦師は戦前3ヶ月間ヒロ大正寺駐在開教師、オーラア日本語学校校長として赴任したが日米開戦と同時に中山師と同じように米大陸に家族とともに送られ、終戦後中山師とともに帰布していた。着任後は日曜学校、青年会の指導にあたり、中山師を補佐する傍ら寺所有のコーヒー園の管理につとめた。

**1947年(昭和22年)**

10月17日 中山宝瑞師辞任、帰国。松浦玉英師、第6代主任に就任。松浦師は同月ボーイ・スカウトを再組織し、キヨウブにも日本語学校を開いた。

面にさらに力を注ぐ。

7月30日 高橋千鶴師辞任、帰国。  
8月 第11回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第3回YBA大会開催。  
それを機にホール・キッチンを改装。

**1949年(昭和24年)**

6月 戦後初めての日本語学校を開校。

**1960年(昭和35年)**

5月 梅花講創立。  
5月22日 ハワイ観音勸請5周年記念大法要厳修。

**1950年(昭和25年)**

8月20日 大福寺創立35周年記念大法要並びに開山児玉介石師、第3代神原義孝師の七回忌厳修。第2回ハワイ曹洞宗協会代議員会及び第5回YBA大会を開催。この記念事業として本堂内部の拡張、納骨堂新設併せて庫裡の新築、堂宇内部の改装を行った。

7月16日 半年に渡る棧橋ストライキ、当地の生命なるコーヒーの不作等悪条件を松浦師の熱意と檀信徒の信念で乗り越え、本堂内部を拡張し庫裡を新築し、上棟式を挙行。

**1961年(昭和36年)**

本堂前庭に延命地蔵堂建立。

**1964年(昭和39年)**

2月29日 大八木春邦師(山形県福生庵)、駐在就任。  
7月19日 コナ共同火葬場を建設。  
8月20日～22日 大福寺創立50周年記念を機に第17回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第19回YBA大会を開催。

**1953年(昭和28年)**

大福寺墓地までの道路再工事並びに舗装し、ボーイスカウトの青年組織であるエクスプローラー隊を発足。

**1965年(昭和40年)**

6月5日 松浦玉英師、大八木春邦師、カワイロア龍潜寺に転任。  
7月13日 佐藤博道師(静岡県蓮乗院)、第7代主任に就任。佐藤師は一般及び青少年等の指導教化に専念する傍ら寺所有のコーヒー園、並びにマカデミアナッツ園の保護につとめ、特に梅花流詠讃歌を通しての教化、法要参加に力をそそぎ寺門の発展を計った。

**1957年(昭和32年)**

コナ柔道クラブ発足。

8月5日 高橋千鶴師(新潟県福勝寺)、駐在就任。

**1970年(昭和45年)**

8月30日 婦人会創立50周年記念法要

**1958年(昭和33年)**

6月 カブスカウト隊を発足し児童教化方

厳修。

#### 1972年(昭和47年)

6月16日～18日 第25回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第27回YBA大会を開催。

12月 納骨堂を新築。それに加え道路の舗装、本堂内部の改装及び火葬場の増築、新たに駐車場の設置等の事業を行った。

#### 1975年(昭和50年)

4月 第10回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。

8月30日、31日 佐藤博道師が当山における初めての結制を修め、大福寺開創60周年記念法要を厳修。

#### 1976年(昭和51年)

3月15日 佐藤博道師辞任、帰国。

4月26日 駒形宗彦師(埼玉県真福寺)、別院より第8代主任に転任。直ちに教化活動に取り組む傍らフェイ夫人とともにコーヒー・マカデミアナッツの農園管理にも携わった。駒形師は大福寺では初めてとなる英語での教育を受けた開教師としてその手腕を発揮し、婦人会員の教団役員への積極的な起用等、フェイ夫人とともに寺院運営の活性化に大きく貢献した。また駒形師は在任中、日本文化を学ぶ夏季講習開催の他、マウナケア・ステートパークでのメンバーの研修合宿、アメリカの伝統行事である感謝祭に仏教的な意義付けを取り入れた儀式を行うなど新しい教化活動に取り組んだ。

#### 1978年(昭和53年)

6月9日～11日 第31回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第33回YBA大会開催。

#### 1981年(昭和56年)

11月3日 駒形宗彦師、ワヒアワ龍仙寺へ転出。

11月6日 市村承秉師(新潟県大輪寺)、第9代主任に就任。

#### 1982年(昭和57年)

4月23日 市村承秉師は専門である仏教の研究を続けるため、アメリカ本土へ帰った。

#### 1983年(昭和58年)

10月3日 長田敬道師(静岡県洗耳寺)、第10代主任に就任。それまでの間、ヒロ大正寺の青木師が主な法要を務める傍ら、メンバーが積極的にお寺の維持運営に関わっていたが、長田師は着任後直ちに活動を開始し、日曜学校、日本語学校を含む教化活動にも積極的に取り組んだ。

#### 1985年(昭和60年)

コナ大福寺婦人会結成70周年記念法要厳修。

#### 1986年(昭和61年)

2月 メンバー18名を伴いホノルル別院正法寺にて、永平寺・丹羽禪師を戒師に行われた授戒会につく。

4月18日～20日 第21回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

6月14日、15日 第39回ハワイ曹洞宗協

会代議員会開催。

**1988年(昭和63年)**

6月19日 長田敬道師辞任、帰国。  
9月14日 田宮隆児師(新潟県興源寺)、第11代主任に就任。敬子婦人とともに前例にならい、各種教化活動に取り組んだ。  
12月 大福寺YBAのメンバーを中心に和太鼓活動を取り入れた。

**1989年(平成元年)**

11月 チーム「コナ大福寺太鼓」を結成。また田宮師は坐禅活動にも取り組み、早朝坐禅を始め、月例の半日坐禅や他宗派の講師を招いての禪・仏教勉強会等を積極的に行なった。  
8月26日 大福寺開創75周年記念法要厳修。

**1993年(平成5年)**

4月23日～25日 第28回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

**1999年(平成11年)**

3月28日 町田時保総監のもと、中出慈光Mary Beth ミニスター養成プログラム・得度式。

**2000年(平成12年)**

10月7日、8日 第53回ハワイ曹洞宗協会代議員会開催。本堂・観音堂屋根大修理。

**2001年(平成13年)**

4月28日、29日 第36回ハワイ曹洞宗連

合婦人会大会開催。

**2002年(平成14年)**

ホール・キッチン改装大修理。

**2003年(平成15年)**

6月8日 田宮師結制修行、中出慈光師法戰式、伽藍大修理落慶法要厳修。

**2004年(平成16年)**

4月30日 田宮隆児師辞任。  
5月1日より、中出慈光師が大福寺の法務・実務に携わる。  
5月30日 田宮師帰国。田宮師任期途中より「開教師」が「国際布教師」に変更された。

**2005年(平成17年)**

9月17日 大福寺婦人会結成90周年アイランドツアーアイランダーツアーフラワー実施。  
12月10日 大福寺が「コナ地区歴史文化財」としてPulama la Kona により認定を受ける。

**2006年(平成18年)**

2月12日 改装された旧柔道場が多目的文化活動ホール「Hisashi Kimura Cultural Hall」と命名される。

10月 コナ地区が強い地震に遇い、石垣並びに墓地に被災する。

**2009年(平成21年)**

4月25日、26日 第44回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

**2010年(平成22年)**

4月 大福寺売店の開店、ボランティアによりお香、数珠、坐蒲等の販売を行う。

**2011年(平成23年)**

7月 マウカ駐車場が整備される。

なお、中出師は就任以来、積極的な教化活動を展開し、平成25年までの主な活動として従来の活動に加え寺報の月例発行、ウェブサイトの運営、坐禅会・勉強会の定期開催、ウクレレグループ「ハッピーストラマーズ」、女性による自助グループ「サンガ・シスターズ」の月例集会、高齢者メンバーの社交の場を提供する「プロジェクト・ダーナ」、他宗派・他宗教との交流活動などを展開している。



1919年のコナ大福寺本堂と庫裏



現在のコナ大福寺



現在のコナ大福寺本堂



Kauai Soto Zen Temple, Zenshuji

# カウアイ禪宗寺



Address : 1-3500 Kaumualii Highway,  
Hanapepe, HI 96716-0537  
U.S.A.

TEL : 1-808-335-3521  
FAX : 1-808-335-3521



#### ◆寺院の歴史

1903年創立

#### ◆御開山と歴代住職

開 山 菅 良雲 (Kan Ryoun)  
第2世 矢原豊州 (Yahara Hoshu)  
第3世 竹中修道 (Takenaka Shudo)  
第4世 村上顥宗 (Murakami Kenshu)  
第5世 豊田法順 (Toyota Hojun)  
第6世 小澤義淨 (Ozawa Gijo)  
第7世 西沢宏山 (Nishizawa Kozan)  
第8世 秋田新隆 (Akita Shinryu)  
第9世 松永然道 (Matsunaga Zendo)  
第10世 三好晃一 (Miyoshi Koichi)  
第11世 板垣光昭 (Itagaki Kosho)

#### ◆現住職

不在

#### ◆過去の所属僧侶

伊藤梅芳 (Ito Baiho)  
松浦玉英 (Matsuura Gyokuei)  
棟方宏源 (Munakata Kogen)

#### ◆所属僧侶

法務担当 駒形宗二 (Komagata Shuji)

#### ◆行事・活動

日曜供養、病院慰問、老人会、仏前結婚式、YBA

(青年会)、修証会、春秋彼岸会、盂蘭盆法要、戦没者供養、両祖忌、達磨忌、成道会、撰心、バザー、除夜会

## 沿革史

### 1903年(明治36年)

3月 菅良雲師(広島県耽源寺)、同胞慰問使としてオアフ島各地を巡回後、カウアイ島ワヒアワキャンプに布教所を設立。

### 1904年(明治37年)

2月11日 菅良雲師、カウアイ島ワヒアワに布教所開設。小規模な附属小学校を開設。

### 1905年(明治38年)

カウアイ島ワヒアワ耕地にて、旅順陥落祝捷会にあたり、戦死者追悼施餓鬼会を厳修。

### 1909年(明治42年)

5月 矢原豊洲師(広島県慶寿院)、駐在就任。

6月 管良雲師辞任、帰国。矢原豊洲師、第2代主任に就任。

11月 カウアイ島ワヒアワ曹洞宗付属小学校組織を変更し、ワヒアワ教育会経営とし、「樹徳小学校」と改称。

### 1911年(明治44年)

11月5日 樹徳小学校、新校舎落成。

### 1915年(大正4年)

7月 竹中修道師(広島県福寿院)、駐在就任。

9月 矢原豊洲師辞任、帰国。竹中修道師、第3代主任に就任。

### 1918年(大正7年)

7月 本堂・庫裡・裁縫教室を新築。

### 1920年(大正9年)

5月 竹中修道師辞任、帰国。ヒロ大正寺より村上顯宗師(山梨県宝林寺)が第4代主任として転任。

### 1921年(大正10年)

日本語学校取締法案の影響を受け、樹徳小学校閉鎖。取り壊され、後カウアイ禪宗寺のホールとして再建築される。

大本山總持寺貫首新井石禪禪師巡錫。

### 1922年(大正11年)

2月27日 伊藤梅芳師(新潟県大栄寺)、駐在就任。

### 1925年(大正14年)

2月6日 伊藤梅芳師辞任。

8月 村上顯宗師辞任。ホノルルへ転出。

### 1926年(大正15年)

4月26日 豊田法順師(青森県全龍寺)、第5代主任に就任。

### 1928年(昭和3年)

11月 樹徳小学校の新校舎落成。ワヒアワ日本語学校と改称。

<b>1929年(昭和4年)</b>	10月25日 開山菅良雲師の記念碑を13回忌に因んで建立。	ンタフェ収容所に逮捕抑留。)
<b>1931年(昭和6年)</b>	3月21日 小沢義淨師(山梨県大聖寺)、駐在就任。	<b>1945年(昭和20年)</b> 8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。
<b>1932年(昭和7年)</b>	6月30日 ワヒアワ日本語学校30周年記念誌発行。校友会設立。	<b>1951年(昭和26年)</b> 8月 小沢義淨師、ワイパフ大陽寺に転任。西沢宏山師(東京都宗參寺)、モロカイ弘誓寺より第7代主任に転任。
<b>1934年(昭和9年)</b>	11月 鐘楼を新築。撞き初め法要を厳修。	<b>1953年(昭和28年)</b> 5月17日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫のもと、開創50年法要厳修。 8月20日~22日 第6回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第8回YBA大会開催。
<b>1936年(昭和11年)</b>	7月10日 豊田法順師辞任、帰国。 9月12日 小沢義淨師、第6代主任に就任。 12月 棟方宏源師(秋田県大川寺)、駐在就任。	<b>1960年(昭和35年)</b> 12月18日 秋田新隆師(静岡県法幢寺)、第8代主任に就任。
<b>1938年(昭和13年)</b>	4月1日 松浦玉英師(山形県宝林寺)、別院より駐在に転任。 6月1日 棟方宏源師辞任、帰国。	<b>1961年(昭和36年)</b> 1月26日 西沢宏山師辞任、帰国。 6月 第14回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第16回YBA大会開催。
<b>1939年(昭和14年)</b>	6月 第3回曹洞宗青年大会開催。	<b>1963年(昭和38年)</b> 9月11日 秋田新隆師辞任、帰国。
<b>1941年(昭和16年)</b>	9月 松浦玉英師、ヒロ大正寺に転任。 12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。 (小沢義淨師、米本土ニューメキシコ州サ	<b>1964年(昭和39年)</b> 6月 松永然道師(静岡県宗徳院)、第9代主任に就任。 <b>1968年(昭和43年)</b> 6月 第21回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第23回YBA大会開催。創立65周年法要

厳修。

**1970年(昭和45年)**

12月25日 松永然道師辞任。ロサンゼルス禪宗寺へ転出。

**1971年(昭和46年)**

1月14日 三好晃一師(北海道高沢寺)、別院より第10代主任に転任。

**1976年(昭和51年)**

2月2日 社交ホール竣工。

**1978年(昭和53年)**

11月5日 曹洞宗管長乙川瑾映禪師により本堂・庫裡・会館移転落慶法要親修。

**1980年(昭和55年)**

6月13日、14日 第33回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第35回YBA大会開催。

**1982年(昭和57年)**

4月23日～25日 第17回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

11月23日 ハリケーン・IWA襲来。

**1986年(昭和61年)**

2月6日～9日 別院で修行の授戒会(戒師:大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師)に、カウアイ禪宗寺戒弟3名参加。法要を英語で進行。

**1988年(昭和63年)**

6月10日～12日 第41回ハワイ曹洞宗協会代議員会年次大会開催。

**1990年(平成2年)**

6月25日～30日 宗務庁国際課企画海外開教師研修懇親会に三好晃一師出席。

**1991年(平成3年)**

4月19日～21日 第26回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、カウアイ禪宗寺、ココバームリゾートにて開催。

8月16日 世界平和観音開眼法要厳修。

**1992年(平成4年)**

1月18日 大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師、カウアイ禪宗寺世界平和観音供養親修。

9月11日 ハリケーン・イニキ襲来。

**1993年(平成5年)**

11月12日～14日 第46回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、カウアイ禪宗寺、カウアイシェラトンホテルにて開催。同時に禪宗寺創立90周年記念法要厳修。ハリケーン・イニキ復旧祝賀行事開催。

**1998年(平成10年)**

11月 三好晃一師辞任、帰国。

12月4日 町田時保総監來寺。信徒代表と後任開教師について協議。

**1999年(平成11年)**

4月2日 板垣光昭師(僧籍地不明)、第11代主任に就任。

**2003年(平成15年)**

4月26日、27日 第38回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

創立100周年記念慶讚法要厳修。

**2006年(平成18年)**

9月20日 板垣光昭師辞任。以降2008年まで、総監部書記吉田宏得師が法務担当となる。

**2008年(平成20年)**

7月31日 吉田宏得師辞任、帰国。  
駒形宗二師(新潟県大久寺)、法務担当となる。



カウアイ禪宗寺、ワヒアワキャンプ



1978年のカウアイ禪宗寺 (Hanapepe)



Mantokuji, Mission of Paia, Maui

## マウイ満徳寺



Address : 253 Hana Highway, Paia,  
HI 96779 U.S.A.  
TEL : 1-808-579-8051  
FAX : 1-808-579-8120  
E-mail : mantokuji@hawaiianet.net  
URL : <http://mantokujimauitemple.org>



### ◆寺院の歴史

1906年創立

### ◆御開山と歴代住職

開 山 植岡祖曉 (Ueoka Sogyo)  
第2世 植岡祖幹 (Ueoka Sokan)  
第3世 植岡宗孝 (Ueoka Shuko)  
第4世 葉貫成悟 (Hanuki Seigo)  
第5世 大谷有為 (Otani Ui)  
第6世 大山健治 (Oyama Kenji)  
第7世 稲村秀樹 (Inamura Shuju)

### ◆現住職

稻村秀樹 (Inamura Shuju)

### ◆過去の所属僧侶

後藤古仙 (Goto Kosen)  
伊藤貫禪 (Ito Kanzen)  
神原義孝 (Kanbara Giko)  
児玉介石 (Kodama Kaiseki)  
志田光隨 (Shida Kozui)

### ◆行事・活動

婦人会、理事会、太鼓、梅花講、月例清掃、坐禪会、  
病院慰問、仏前結婚式、YBA (青年会)、新年祈祷、  
涅槃会、祈祷法要、春秋彼岸会、花祭り法要、盂蘭盆法要、棚経、成道会、バザー、除夜会

## 沿革史

**1906年(明治39年)**

11月7日 植岡祖暁師(広島県徳寿院)アイエアよりマウイ島パイアに移住。

**1907年(明治40年)**

3月 植岡祖暁師マウイ島パイアに布教所を設立。カウアイ島ワヒアワ布教所から菅良雲師を勧請開山に請し、入仏開堂式を厳修。本山より「馬頂山満徳寺」の寺号を下付される。

**1909年(明治42年)**

3月 日清日露戦争戦没者追弔のため、鐘楼建立。

**1910年(明治43年)**

児玉介石師(東京都大福寺)、駐在就任。

**1912年(大正元年)**

9月21日～23日 忠魂碑供養、大梵鐘の撞き初め式を厳修。梵鐘は練習艦隊によって搬送され、明治43年の鐘銘がある。  
7月 寺有地8エーカーを購入し、うち3エーカーを日本人墓地とする。

**1914年(大正3年)**

7月25日 児玉介石師、ハワイ島コナに布教所を開くため転出。

**1918年(大正7年)**

神原義孝師(広島県法常寺)、仮別院より駐在に転任。

**1921年(大正10年)**

7月21日 本堂上棟入仏式厳修。

**1922年(大正11年)**

神原義孝師、コナ大福寺へ転出。

8月24日 後藤古仙師(愛知県成道寺)、カワイロア布教所より駐在に転任。

**1923年(大正12年)**

2月17日 後藤古仙師、ヒロ大正寺へ転出。

**1930年(昭和5年)**

7月4日 植岡祖幹師(2世僧侶)布教師補に任命され駐在就任。

**1933年(昭和8年)**

忠魂碑移転再建除幕式厳修。

**1937年(昭和12年)**

8月 家政女学院開設。

**1938年(昭和13年)**

1月 マウイ満徳寺火葬場、政府より認可される。

12月 志田光隨尼(東京都勢至院)、別院より駐在に転任。

**1940年(昭和15年)**

7月 伊藤貫禪尼(僧籍地不明)、駐在就任。

**1941年(昭和16年)**

8月1日 植岡祖暁師辞任、引退。植岡祖幹師、第2代主任に就任。

志田光隨尼辞任、帰国。	3月5日 植岡宗孝師(山形県金宗寺)、第3代主任に就任。
12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。	
<b>1945年(昭和20年)</b>	<b>1965年(昭和40年)</b>
8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。	3月 マウイ満徳寺火葬場廃止。
<b>1946年(昭和21年)</b>	<b>1966年(昭和41年)</b>
4月1日 マウイ島に大津波襲来。墓地と庫裡に大被害。	8月20日、21日 第19回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第21回YBA大会開催。 12月11日 階下ホール改修完成。
<b>1951年(昭和26年)</b>	<b>1970年(昭和45年)</b>
7月9日 植岡祖幹師(当時日本在住)、マウイ満徳寺主任に再任。	6月20日 納骨堂竣工。
<b>1953年(昭和28年)</b>	<b>1972年(昭和47年)</b>
5月23日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。 随行長:新井石龍師、随行員:馬場文翁師。	第7回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。
<b>1954年(昭和29年)</b>	<b>1974年(昭和49年)</b>
4月 植岡祖幹師、1941年抑留以来13年目にして帰布。寺務に復帰。	6月 第29回YBA大会を開催。
<b>1955年(昭和30年)</b>	<b>1977年(昭和52年)</b>
3月11日 植岡祖曉師、満徳寺にて遷化。 8月 第8回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第10回YBA大会開催。	9月10日、11日 開創70周年慶讌法要厳修。
<b>1959年(昭和34年)</b>	<b>1978年(昭和53年)</b>
5月 植岡宗孝師(山形県金宗寺)、日本留学より帰布し、駐在就任。	5月5日 第13回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を開催。
<b>1963年(昭和38年)</b>	<b>1979年(昭和54年)</b>
1月8日 植岡祖幹師遷化。	7月29日 庫裡竣工。
	<b>1982年(昭和57年)</b>
	6月11日~13日 第35回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第37回YBA大会開催。

**1987年(昭和62年)**

4月24日～26日 第22回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

**1990年(平成2年)**

9月2日 植岡宗孝師遷化。教団葬執行。

**1993年(平成5年)**

2月2日 葉貫成悟師(福島県石雲寺)、第4代主任に就任。

**1994年(平成6年)**

4月23日～25日 第29回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、マウイ満徳寺及びワイレアビーチホテルにて開催。  
11月19日 在家得度式厳修。  
12月 寺門改修工事を行う。

**1996年(平成8年)**

11月16日 第49回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会開催。  
11月17日 創立90周年記念法要厳修。  
導師：宗務総長大竹明彦師。特別講師：ベナージュ大圓師。

**1998年(平成10年)**

7月12日 葉貫成悟師辞任、帰国。  
8月11日 大谷有為師(東京都長泰寺)、第5代主任に就任。

**2002年(平成14年)**

4月27日、28日 第37回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、マウイ満徳寺及びマウイプリンスホテルにて開催。

**2003年(平成15年)**

3月12日 大山健治師(秋田県補陀寺)、第6代主任に就任。

3月27日 大谷有為師辞任、帰国。

**2006年(平成18年)**

11月11日、12日 創立100周年記念慶讃法要厳修。

**2011年(平成23年)**

4月16日、17日 第46回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、マウイ満徳寺及びマウイビーチホテルにて開催。

**2012年(平成24年)**

5月19日 入信式厳修。

**2013年(平成25年)**

9月 大山健治師辞任、帰国。  
9月21日 稲村秀樹師(宮城県活牛寺)、第7代主任に就任。



コーヒーの実



Taishoji, Soto Mission

# ヒロ大正寺



Address : 275 Kinoole Street, Hilo,  
HI 96720 U.S.A.

TEL : 1-808-935-8407

FAX : 1-808-935-8407

URL : <http://taishoji.org>



#### ◆寺院の歴史

1916年創立

#### ◆御開山と歴代住職

開 山 江沢白道 (Ezawa Hakudo)  
第2世 井上富山 (Inoue Fuzan)  
第3世 村尾実英 (Murao Jitsuei)  
第4世 後藤古仙 (Goto Kosen)  
第5世 渋川太嶺 (Shibukawa Tairei)  
第6世 木下靈牛 (Kinoshita Reigyu)  
第7世 穀藏禪戒 (Kokuzo Zenkai)  
第8世 上野暉讚 (Ueno Kisan)  
第9世 中島貫道 (Nakajima Kando)  
第10世 青木俊亨 (Aoki Syunkyo)  
第11世 加藤孝正 (Kato Kosei)  
第12世 吉田宏得 (Yoshida Kotoku)  
第13世 秋田新隆 (Akita Shinryu)  
第14世 ラング明心 (Lang Myoshin)

#### ◆現住職

ラング明心 (Lang Myoshin)

#### ◆過去の所属僧侶

松浦玉英 (Matsuura Gyokuei)  
森田宏悦 (Morita Koetsu)  
村上顕宗 (Murakami Kenshu)

### ◆行事・活動

日曜学校、病院慰問、梅花講、婦人会、理事会、大正寺太鼓、仏心会、仏前結婚式、YBA、フラワーアレンジ、坐禪会、盆栽クラブ、俳句

1月 修証会・地蔵祭り・道元禪師生誕法要・檀信徒総会／2月 役員就任式・涅槃会／3月 春彼岸会／4月 花まつり／5月 歴住忌・婦人会病院慰問／6月 開山忌／7月 お墓参り／8月 盆踊り・お盆法要／9月 秋彼岸会・両祖忌／10月 達磨忌・永代経／11月 退役軍人のための法要・掃除・婦人会病院慰問／12月 謾八摶心・成道会・除夜の鐘

## 沿革史

### 1916年(大正5年)

4月6日 江沢白道師(山口県洞玄寺)、仮別院よりハワイ島ヒロ市に転入。新町布教所を開設。ヒロ大正寺の草創となる。

### 1917年(大正6年)

6月24日 村上顯宗師(山梨県宝林寺)来任、布教所に駐在。

### 1918年(大正7年)

4月14日 「白峰山大正寺」の寺号下付される。入仏式厳修。村上顯宗師に駐在発令。

### 1919年(大正8年)

6月8日 井上富山師(新潟県光明寺)、駐在就任。  
9月15日 江沢白道師辞任、帰国。井上富山師、第2代主任に就任。

### 1920年(大正9年)

5月1日 ハワイ県政府より法人の認可を受ける。村上顯宗師、カウアイ禪宗寺に転出。

### 1922年(大正11年)

3月2日 村尾実英師(東京都月窓院)、駐在就任。

7月28日 井上富山師辞任、帰国。村尾実英師、第3代主任に就任。

### 1923年(大正12年)

2月17日 後藤古仙師(愛知県成道寺)、マウイ満徳寺より駐在に転任。

4月28日 村尾実英師辞任、帰国。後藤古仙師、第4代主任に就任。

### 1924年(大正13年)

5月 太祖瑩山禪師600回大遠忌予修法要厳修。

### 1927年(昭和2年)

1月8日 渋川太嶺師(新潟県東福寺)、別院より駐在に転任。

4月20日 後藤古仙師辞任、米本土へ転出。渋川太嶺師、第5代主任に就任。

### 1929年(昭和4年)

11月 西国33番観音像勧請入仏法要厳修。

### 1932年(昭和7年)

9月17日、18日 庫裡、青年会館竣工。落成式厳修。

**1936年(昭和11年)**

3月3日 裕蔵禪戒師(北海道清輪寺)、別院より駐在に転任。  
 4月12日 渋川太嶺師遷化。  
 4月15日 教団葬執行。

**1937年(昭和12年)**

3月3日 日本より再来布した木下靈牛師(大阪府梅林寺)、主任に就任。  
 4月 裕蔵禪戒師、オーラア日本語学校を創立し校長に就任。  
 8月 ハワイ布教師会議、及び第2回曹洞宗青年代表会議開催。

**1938年(昭和13年)**

5月 裕蔵禪戒師、日本軍慰問のため中国を訪問。

**1941年(昭和16年)**

1月 木下靈牛師辞任、帰国。裕蔵禪戒師、第7代主任に就任。  
 9月 松浦玉英師(山形県宝林寺)、カウアイ禪宗寺より駐在に転任。オーラア日本語学校校長就任。  
 11月 納骨堂新築。  
 12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。  
 (裕蔵禪戒師、松浦玉英師、米本土ニューメキシコ州サンタフェ収容所に逮捕抑留。)

**1945年(昭和20年)**

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

**1946年(昭和21年)**

2月 松浦玉英師辞任。コナ大福寺へ転出。  
 ハワイ島ヒロ市に大津波襲来。

**1947年(昭和22年)**

5月10日 創立30周年慶讃法要厳修(戦後、ハワイでの曹洞宗最初の合同行事であった)。  
 5月12日 開教師懇談会を開催。

**1949年(昭和24年)**

6月29日 日英両語の讃仏歌集 "The Buddhist Services and Gathas"をハワイ曹洞宗協会編で発行。ヒロで印刷、出版。  
 10月 曹洞宗留学生上野暉讃師(山形県泉藏寺)、裕蔵禪戒師の呼び寄せで来布。

**1950年(昭和25年)**

4月 ヒロ大正寺訪日参拝団(裕蔵禪戒団長)ハワイ出発。

**1952年(昭和27年)**

8月19日~23日 第5回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第7回YBA大会を開催。

**1953年(昭和28年)**

6月13日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。

**1955年(昭和30年)**

1月 ヒロ大正寺の英語名を Hilo Taishoji Soto Mission とする。  
 2月20日 上野暉讃師、ロサンゼルス加州大学を卒業し帰布。駐在となる。  
 12月 曹洞宗管長高階瓈仙禪師、隨行員

佐瀬淳光師と共に南米巡錫の帰途、ヒロ大正寺で親化。

#### 1956年(昭和31年)

1月 裕藏禪戒師、約1年の南米布教より帰任。教団総会の議決により、大正寺開教師月給制度始まる。

2月 上野暉讃師辞任、米本土へ転出。

#### 1957年(昭和32年)

6月29日 上野暉讃師、米本土より帰任。

7月9日 裕藏禪戒師辞任、帰国。上野暉讃師、第8代主任に就任。

#### 1962年(昭和37年)

6月22日～24日 第15回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第17回YBA大会を開催。

8月31日 上野暉讃師辞任、米本土に転出。

#### 1963年(昭和38年)

2月14日 中島貫道師(愛知県常福寺)、第9代主任に就任。

#### 1964年(昭和39年)

1月25日 本堂脇に観音堂を増築。

#### 1967年(昭和42年)

8月31日 中島貫道師辞任、米本土へ転出。

#### 1968年(昭和43年)

6月13日 青木俊亭師(群馬県岩松寺)、第10代主任に就任。

#### 1969年(昭和44年)

5月22日～24日 第4回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

10月 開創50周年慶讃法要厳修。

#### 1970年(昭和45年)

6月12日～14日 第23回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第25回YBA大会を開催。

同時に、開教師懇談会開催。

#### 1972年(昭和47年)

10月7日 青木俊亭師、結制修行。

#### 1976年(昭和51年)

6月11日～13日 第29回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第31回YBA大会を開催。

#### 1979年(昭和54年)

4月15日 大本山永平寺副貫首丹羽廉芳師を迎えて、創立60周年記念法要厳修。

#### 1980年(昭和55年)

3月23日 婦人会創立40周年記念法要厳修。

5月23日～25日 第15回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ヒロ大正寺とヒログランドホテルにて開催。

#### 1984年(昭和59年)

6月 第37回ハワイ曹洞宗協会代議員会開催。

#### 1986年(昭和61年)

2月6日～9日 別院で修行の授戒会(戒師:大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師)に、

ヒロから戒弟20名参加。法要を英語で進行。

#### 1987年(昭和62年)

3月29日 青木俊亨師辞任、帰国。森田宏悦師(群馬県宝珠寺)が代務者として大正寺に駐在。

#### 1988年(昭和63年)

6月 加藤孝正師(静岡県永明寺)、第11代主任に就任。

#### 1989年(平成元年)

4月21日～23日 第24回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会、ヒロ大正寺及びハワイナニコアホテルにて開催。

10月21日、22日 創立70周年記念法要厳修。

#### 1990年(平成2年)

3月18日 婦人会創立50周年記念法要厳修。

#### 1991年(平成3年)

10月21日～26日 宗務庁企画の海外開教師研修懇談会に、加藤孝正師が出席。

#### 1992年(平成4年)

1月19日 大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師巡錫、授戒会修行。

10月31日、11月1日 第45回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会を開催。

#### 1994年(平成6年)

3月15日 加藤孝正師辞任、帰国。

4月17日 吉田宏得師(静岡県萬松院)、第12代主任に就任。

9月 創立75周年記念法要厳修。

#### 1995年(平成7年)

3月19日 婦人会創立55周年記念法要厳修。

#### 1997年(平成9年)

4月12日、13日 第32回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会を、ヒロ大正寺及びナニコアホテルにて開催。

#### 1998年(平成10年)

10月17日 第51回ハワイ曹洞宗協会秋季年次代議員会、ヒロ大正寺及びヒロハワイアンホテルにて開催。

10月18日 創立80周年記念法要と祝賀行事挙行。

#### 1999年(平成11年)

6月15日 吉田宏得師辞任、ハワイ総監部に転出。

7月16日 秋田新隆師(静岡県法幢寺)、再来布。第13代主任に就任。

#### 2000年(平成12年)

3月19日 婦人会創立60周年記念法要厳修。町田総監が導師を勤める。

#### 2005年(平成17年)

4月23日、24日 第40回ハワイ曹洞宗連合婦人会大会開催。

2006年(平成18年)

3月5日 創立90周年記念慶讚法要厳修。



2009年(平成21年)

2月28日 秋田新隆師辞任。

12月1日 ラング明心師(宮城県峰仙寺)、  
第14代主任に就任。

2013年(平成25年)

4月20日 第48回ハワイ曹洞宗連合婦人  
会大会開催。

1918年のヒロ大正寺本堂



日系寺院ならではの  
Bon Dance 風景



連合婦人会 Donation Drive  
の1コマ



各寺院の名産品が楽しみな  
Donation Drive



ハワイ開教100周年記念行事  
2003年(平成15年)10月



Guzeiji, Soto Mission

## モロカイ弘誓寺



Address : P.O. Box 366 Kaunakakai  
Molokai HI 96748 U.S.A.  
TEL : 1-808-553-5179  
FAX : 1-808-553-5179



### ◆寺院の歴史

1927年創立

### ◆御開山と歴代住職

開 山 中山宝瑞 (Nakayama Hozui)  
第2世 大内素俊 (Ouchi Soshun)  
第3世 西沢宏山 (Nishizawa Kozan)  
第4世 森田宏悦 (Morita Koetsu)  
第5世 萩久保正潤 (Ogikubo Shojun)  
第6世 駒形宗彦 (Komagata Shugen)

### ◆現住職

駒形宗彦 (Komagata Shugen)

### ◆法務担当者

不在

## 沿革史

**1926年(大正15年)**

10月20日 中山宝瑞師(新潟県潮山寺)、別院よりモロカイ島に派遣され、布教所設立の準備を開始。

**1927年(昭和2年)**

11月14日 中山宝瑞師、モロカイ島カウナカカイに布教所を起工。

**1928年(昭和3年)**

4月25日 本堂建立入仏式を厳修。「鹿苑山弘誓寺」の寺号下付される。

6月27日 ハワイ県政府より法人として認可される。

9月 中山宝瑞師がコナ大福寺主任へ転出。

9月6日 大内素俊師(新潟県香積寺)、第2代主任に就任。

**1930年(昭和5年)**

2月 大内素俊師、北米出張途次の河合真英師の各島視察に随行。

**1935年(昭和10年)**

6月21日 大内素俊師辞任。朝鮮禪宗寺へ転出。

11月1日 西沢宏山師(東京都宗參寺)、別院より第3代主任に転任。

**1941年(昭和16年)**

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。

(西沢宏山師、米本土ニューメキシコ州サ

ンタフェ収容所に逮捕抑留。)

**1945年(昭和20年)**

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

**1951年(昭和26年)**

8月 西沢宏山師、カウアイ禪宗寺主任に転任。

9月9日 森田宏悦師(群馬県宝珠寺)、ワイアホレ洞門寺より第4代主任に転任。

**1953年(昭和28年)**

5月28日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。

**1983年(昭和58年)**

5月29日 開創55年記念、本堂再建入仏法要厳修。

**1985年(昭和60年)**

8月 森田宏悦師辞任。ホノルル市内に居住。

**1986年(昭和61年)**

3月7日 萩久保正潤師(山梨県広禪院)、別院より第5代主任に転任。

**1988年(昭和63年)**

萩久保正潤師辞任、帰国。

**1989年(平成元年)**

1月15日 町田時保師(埼玉県広見寺)による第3日曜日出張始まる。

**1990年(平成2年)**

10月6日、7日 第43回ハワイ曹洞宗協

会秋季代議員会を、マウイに代わり別院ホストでモロカイ島、カルアコイリゾート、弘誓寺にて開催。

**1996年(平成8年)**

3月30日、31日 開教師、寺族研修会開催。

3月30日 保管していた観音像(山本瑞雲作)を別院に保管。

**1997年(平成9年)**

7月28日 森田宏悦師、ワイキキの自宅にて遷化。

8月16日 葬儀執行。

8月17日 追悼会厳修。

**1998年(平成10年)**

1月1日 ワヒアワ龍仙寺主任・駒形宗彦師(埼玉県真福寺)、第6代主任に就任(ワヒアワ龍仙寺と兼任)。



1928年の弘誓寺本堂



第8回 曹洞宗ハワイ・北米信徒大会  
2012年(平成24年)3月10日、11日

**【ハワイ地区 参考文献】**

『曹洞宗ハワイ開教七十五年史』1978年 曹洞宗ハワイ協会

『HISTORY OF THE SOTO SECT IN HAWAII』2002年 Hawaii Soto Mission Bishop's Office

『The Origin and Progress of the Soto Sect's Missionary Efforts』2002年 ハワイ開教総監部

『The Kona Coffee Story, Along the Hawaii Bel Road』1995年 Japanese American National Museum

『Daifukuji Fujinkai 75th Anniversary Booklet』1990年 Daifukuji Fujinkai



Doumonji, Soto Mission

# ワイアホレ洞門寺

## 沿革史

### 1928年(昭和3年)

8月 藤沢秀南師(宮城県陽山寺)、ワイパフ大陽寺辞任後、ワイアホレ布教所開設の準備を始める。

### 1930年(昭和5年)

9月 日本語学校開設とともに布教所を開き、「臨海山洞門寺」と称した。

### 1940年(昭和15年)

藤沢秀南師、別院に転出。  
8月 森田宏悦師(群馬県宝珠寺)、別院より第2代主任に就任。

### 1941年(昭和16年)

12月7日(現地時間) 日本軍による真珠湾攻撃。日米開戦。森田宏悦師は大陸に抑留。寺の建物は駐屯米軍に使用され、仏具什器は四散。

### 1945年(昭和20年)

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。  
12月 森田宏悦師帰任。

### 1951年(昭和26年)

9月9日 森田宏悦師、モロカイ弘誓寺へ転出。

### 1952年(昭和27年)

11月 町田時保師(埼玉県東昌院)、第3代主任に就任。

### 1953年(昭和28年)

5月21日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。

### 1955年(昭和30年)

6月 生徒数の減少により、日本語学校閉校。  
8月 町田時保師、別院へ転出。  
廃寺となる。



ワイアホレ洞門寺



Sotoji, Soto Mission

# エワ曹洞寺

## 沿革史

### 1949年(昭和24年)

10月23日 エワ観音講では、戦前より大陽寺の開教師らにより布教活動が成されていたが、当時のワイパフ大陽寺主任大川玄道師(東京都永心寺)と会員らの努力により、曹洞寺として本堂落慶法要が厳修された。

### 1951年(昭和26年)

第4回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第6回YBA大会開催。  
9月25日 大川玄道師辞任、帰国。小沢義淨師(山梨県大聖寺)、大陽寺と兼務の住職となる。

### 1953年(昭和28年)

7月4日 曹洞宗管長高階瓈仙禪師巡錫。

### 1957年(昭和32年)

観音像開眼式厳修。

### 1959年(昭和34年)

8月 第12回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第14回YBA大会開催。本堂建立10周年記念法要厳修。

### 1965年(昭和40年)

11月 会館落成祝賀式挙行。

### 1967年(昭和42年)

8月 第20回ハワイ曹洞宗協会代議員会、第22回YBA大会開催。

### 1974年(昭和49年)

6月 小沢義淨師辞任。大山陽堂師(千葉県長安寺)、大陽寺と兼務の住職となる。

### 1989年(平成元年)

11月26日 大山陽堂師辞任、帰国。

### 1993年(平成5年)

9月12日 修理工事完了。祝賀法要厳修。

### 2001年(平成13年)

6月9日 廃寺となり、大陽寺と合併。



エワ曹洞寺

# 北アメリカ地区

North America



## 北米の布教 概説

北米管内には24(H25.12.31現在)カ寺が特別寺院として宗務庁に登録されているが、実際禪センターの数は数百に上る。大きく分類すると、日系寺院と禪センターとに分けられる。ここでは特に日系寺院についての概説とする。

1915年(大正4年)サンフランシスコで、パナマ大博覧会が開催された時の世界仏教徒大会に、曹洞宗管長日置黙仙禪師が臨席され、その大会の正使としてウイルソン大統領と会見された。帰国の際、ハワイに立ち寄り、既に1913年よりホノルルにてハワイ開教に専念していた磯部峰仙禪師に米本土への伝道を要請された。また、1921年にハワイ曹洞宗別院入仏慶讃法要、授戒会を親修された曹洞宗管長新井石禪禪師は、日本佛教各宗代表として米本土に渡り、ハービング大統領に会見し観音像一幅を贈呈された。帰途、ロサンゼルス市に立ち寄り、長崎豊吉氏に接待を受けられた。長崎八重夫人が広島県薬師寺住職の令妹であった縁もあり、これが磯部禪師の米本土開教の糸口となった。1922年、磯部峰仙禪師は後任に駒形善教師を推薦し、ロサンゼルス市に入り、7月15日に長崎豊吉氏宅の2階を借りて禪宗寺仮教会の標札を掲げた。これが米本土開教の第一歩である。そして、1926年には、現在の地にレンガ作り洋風の禪宗寺を竣工した。大導師に管長代理として松浦百英老師を拝請して盛大な慶讃法要が厳修された。1969年には、新本堂建築工事が竣工され、1972年には、創立50周年別院昇格35周年慶讃報恩大法要、そして、2012年には、創立90周年法要が厳修された。

1934年には、磯部峰仙禪師を初代主任に、サンフランシスコ市日本人街にあるユダヤ教教会を購入し、桑港寺開堂式が厳修された。1969年には、現在の禪センターの礎を作った第6世鈴木俊隆老師が、桑港寺を辞任し、サンフランシスコ禪センターを設立する。その後、本堂移転計画が上がり、1972年、ラグーナ街とサター街角地の買収契約がなされ、本格的に本堂移転計画が進められ、1984年には、大本山永平寺副貫首・丹羽廉芳老師導師のもと落慶法要が厳修された。

1955年、曹洞宗管長 高階瓈仙禪師がモントレーに立ち寄った事がきっかけで、1962年、モントレー禪宗寺が開創され、初代主任としてハワイ大正寺より上野暉讃師が着任した。また、ロサンゼルス禪宗寺の駐在開教師であった長田康哉師は、日曜学校の開設と超宗派の佛教寺院開設を目指し、1957年ロングビーチ市にロングビーチ仏教会として法人許可を取得し、教化活動を開始する。同じく倉井秀雄師は1971年に、法人許可を取得し、曹禪寺を設立。1977年にモンテベロ市に寺院を改築し、翌年、曹洞宗管長 乙川瑾映禪師を導師に落慶法要を厳修した。

日系寺院の果たす役割は、日本の寺院と似ており、葬儀、法事をはじめ日本文化を紹介する活動や同胞コミュニティの中心として宗教的価値観を長年の間守ってきた事と言つていいだろう。日系人がいる限り、日系寺院の存在価値があり、精神的バックボーンとしてこれからも機能を果たしていく事であろう。

埼玉県 長光寺住職

元両大本山北アメリカ別院禪宗寺駐在開教師

S Z I 相談役

福島 伸悦 記



Zenshuji Soto Mission

# 両大本山北米別院 禅宗寺



Address : 123 South Hewitt Street,  
Los Angeles, CA 90012 U.S.A.  
TEL : 1-213-624-8658  
FAX : 1-213-624-8650  
E-mail : info@zenshuji.org  
URL : <http://www.zenshuji.org>



## ◆寺院の歴史

1922年創立

## ◆御開山と歴代住職

勧請開山

大本山永平寺67世 北野元峰禪師 (Kitano Genpo)

大本山總持寺5世 新井石禪禪師 (Arai Sekizen)

第1世 磯部峰仙 (Isobe Hosen)

第2世 上島泰岳 (Ueshima Taigaku)

第3世 祥雲晚成 (Sagumo Banjo)

第4世 越智道順 (Ochi Dojun)

第5世 鈴木大等 (Suzuki Daito)

第6世 山田靈林 (Yamada Reirin)

第7世 驚見透玄 (Sumi Togen)

第8世 北村大榮 (Kitamura Daiei)

第9世 山下顯光 (Yamashita Kenko)

第10世 秋葉玄吾 (Akiba Gengo)

第11世 ルメー大岳 (Rumme Daigaku)

## ◆現住職

ルメー大岳 (Rumme Daigaku)

## ◆所属僧侶

加藤和光 (Kato Wako)

小島秀明 (Kojima Shumyo)

桑原弘之 (Kuwahara Koshi)

東方大樹 (Toho Daiki)

## ◆過去の所属僧侶

秋山洞禪 (Akiyama Tozen)  
 荒木哲宗 (Araki Tesshu)  
 福島伸悦 (Fukushima Shinetsu)  
 古溪理哉 (Furutani Risai)  
 後藤古仙 (Goto Kosen)  
 林 正徳 (Hayashi Shotoku)  
 林 哲雄 (Hayashi Tetsuyu)  
 池田文済 (Ikeda Bunen)  
 池谷秀光 (Iketani Shuko)  
 井上弘忍 (Inoue Konin)  
 城 敬宝 (Jo Keiho)  
 金井秀元 (Kanai Shugen)  
 片桐大忍 (Katagiri Dainin)  
 加藤禪柱 (Kato Zenchu)  
 小梶真栄 (Kokaji Shinei)  
 倉井秀雄 (Kurai Shuyu)  
 黒岩義孝 (Kuroiwa Giko)  
 黒柳博仁 (Kuroyanagi Hakujin)  
 桑原弘之 (Kuwahara Koshi)  
 ラング明心 (Lang Myoshin)

前角博雄 (Maezumi Hakuyu)  
 松永然道 (Matsunaga Zendo)  
 松岡季雄 (Matsuoka Kiyu)  
 松岡操雄 (Matsuoka Soyu)  
 南 篤州 (Minami Tokushu)  
 村野孝顕 (Murano Koken)  
 永井成典 (Nagai Joten)  
 内藤竹路 (Naito Chikui)  
 中村宗一 (Nakamura Shuichi)  
 大場満洋 (Oba Manyo)  
 沖 道淳 (Oki Dojun)  
 長田康哉 (Osada Kosai)  
 斎藤龍童 (Saito Ryudo)  
 佐藤博道 (Sato Hakudo)  
 佐藤憲一 (Sato Kenichi)  
 佐山光巍 (Sayama Kogi)  
 立花孝全 (Tachibana Kozen)  
 立花隆幸 (Tachibana Ryuko)  
 高橋直文 (Takahashi Jikibun)  
 上野暉讚 (Ueno Kisan)  
 横尾太寿 (Yokoo Taiju)

## ◆行事・活動

坐禪、写経、御詠歌、茶道、和太鼓、寺子屋、エアロビクス、日本語教室、民謡教室、仏教講座、日曜礼拝、祥月法要、摂心

## 沿革史

## 1922年(大正11年)

7月15日 磯部峰仙師(山口県華嚴寺)、長崎豊吉氏宅(334 E. 2nd St. Los Angeles)2階に禅宗寺仮教会の標札を掲げる。  
 11月 曹洞宗北米仏教会の名称で披露法要厳修。婦人会結成。

## 1923年(大正12年)

現在の禅宗寺敷地(123 S. Hewitt St. Los Angeles)を金6,500ドルで購入。

## 1925年(大正14年)

本堂建立資金勧募開始。

## 1926年(大正15年)

洋風建築の禅宗寺が竣工。入仏開堂式の大導師に管長代理として松浦百英師を拝請し、慶讃法要厳修。  
 2月9日 林哲雄師(山口県西宗寺)、駐在就任。

## 1927年(昭和2年)

8月 Zenshuji Soto Missionとして法人組織登録完了。  
 9月 林哲雄師辞任、帰国。  
 加藤禪柱師(新潟県淵龍寺)、後藤古仙師

(愛知県成道寺)、黒岩義孝師(千葉県宝昌院)、駐在就任。

#### 1929年(昭和4年)

佐藤憲一師(三重県極楽寺)、池田文測師(静岡県光泰寺)、村野孝顯師(秋田県常光院)、内藤竹路師(僧籍地不明)、鈴木大等師(長野県藏沢寺)駐在就任。

#### 1930年(昭和5年)

中村宗一師(愛知県昌光寺)、駐在就任。

#### 1931年(昭和6年)

サンペドロ布教場、リバーサイド日曜学校、ドミングスヒル日本語学園を開設。

#### 1932年(昭和7年)

井上弘忍師(広島県薬師寺)、林正徳師(僧籍地不明)、駐在就任。

#### 1933年(昭和8年)

磯部峰仙師辞任。

上島泰岳師(山形県禅会寺)、駐在就任。

#### 1934年(昭和9年)

10月 黒岩義孝師辞任。上島泰岳師、第2代主任に就任。

#### 1935年(昭和10年)

9月21日 高橋直文師(僧籍地不明)、駐在就任。

#### 1936年(昭和11年)

上島泰岳師、辞任。

金井秀元師(新潟県龍門寺)、駐在就任。

#### 1937年(昭和12年)

9月 祥雲晚成師(新潟県耕雲寺)、第3代主任に就任。

12月1日 曹洞宗両大本山羅府別院に昇格、併せて北米布教総監部が置かれ、祥雲晚成師、初代布教総監に就任。

#### 1938年(昭和13年)

5月15日 山下顯光師(岐阜県大竜寺)、駐在就任。

北サンペドロ街に禪宗寺剣道場を開設。

#### 1939年(昭和14年)

立花隆幸師(東京都松門寺)、ハワイ別院より転任。

#### 1940年(昭和15年)

2月9日 松岡操雄師(山口県天淨寺)、駐在就任。

10月9日 祥雲晚成総監、辞任。

11月1日 越智道順師(愛媛県龍隱寺)、駐在就任。

#### 1941年(昭和16年)

越智道順師、第4代主任並びに第2代布教総監に就任。

鈴木大等師、サンフランシスコ桑港寺との兼務となる。

12月7日(現地時間) 日米開戦。布教活動中止。

#### 1945年(昭和20年)

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。

**1948年(昭和23年)**

越智道順総監、辞任。  
鈴木大等師(長野県藏沢寺)、駐在再任。

**1959年(昭和34年)**

7月24日 鈴木大等師遷化。  
11月4日 鳥羽瀬保道総監、辞任。

**1950年(昭和25年)**

長田康哉師(宮崎県台雲寺)、駐在就任。

**1960年(昭和35年)**

7月 山田靈林師(岐阜県保寿寺)、第6代主任並びに第5代開教総監に就任。

**1951年(昭和26年)**

10月18日 倉井秀雄師(三重県金剛寺)、  
加藤和光師(奈良県補巖寺)、駐在就任。

**1963年(昭和38年)**

曹洞宗管長高階瓊仙禪師、法脈会を修  
行。

**1953年(昭和28年)**

曹洞宗管長高階瓊仙禪師北米巡錫。鈴木  
大等師、第5代主任並びに第3代開教総  
監に就任。

7月 片桐大忍師(福井県泰藏院)、桑原  
弘之師(静岡県光泰寺)、沖道淳尼(京都府  
安泰寺)、南篤州師(茨城県大雄院)、駐在  
就任。

鷺見透玄師(愛知県泰増寺)、駐在就任。

**1954年(昭和29年)**

鈴木大等総監、辞任。  
桑港寺主任鳥羽瀬保道師(熊本県国照寺)、  
第4代開教総監に就任。

**1964年(昭和39年)**

新本堂建立資金勧募開始。第1回禪仏教  
徒大会をモントレー禪宗寺にて開催。

10月20日 山田靈林総監、辞任。

**1955年(昭和30年)**

曹洞宗管長高階瓊仙禪師、宗務総長佐々  
木泰翁師一行巡錫。  
松岡季雄師(山口県天淨寺)、駐在就任。

**1965年(昭和40年)**

曹洞宗管長高階瓊仙禪師、宗務総長金剛  
秀一師、南米巡錫の途次来羅。鷺見透玄  
師、第7代主任並びに第6代開教総監に  
就任。

**1956年(昭和31年)**

佐山光巍師(群馬県龍昌寺)、前角博雄師  
(東京都桐ヶ谷寺)、横尾太寿師(新潟県高  
安寺)、駐在就任。

**1966年(昭和41年)**

第2回禪仏教徒大会を禪宗寺にて開催。

**1957年(昭和32年)**

8月 山下顯光師、駐在再任。

**1969年(昭和44年)**

新本堂建築工事竣工。第5回禪仏教徒大  
会開催。

2月20日 鷺見透玄総監辞任、帰国。

**1970年(昭和45年)**

- 9月25日 沖道淳尼、倉井秀雄師、辞任帰国。
- 10月9日 斎藤龍童師(島根県竜昌寺)、駐在就任。
- 10月13日 小梶真栄師(福井県正明寺)、駐在就任。
- 12月 北村大栄師(山梨県善応寺)、第8代主任並びに第7代開教総監に就任。
- 12月25日 松永然道師(静岡県宗徳院)、カウアイ禅宗寺より転任。

**1971年(昭和46年)**

- 大本山永平寺東京別院監院丹羽廉芳師、梅花流詠讚歌布教師として来羅。
- 1月12日 荒木哲宗師(和歌山県全竜寺)、駐在就任。
- 12月3日 北村大栄総監辞任、帰国。

**1972年(昭和47年)**

- 1月8日 山下顯光師、第9代主任並びに第8代開教総監に就任。創立50周年別院昇格35周年慶讃報恩大法要を厳修。

**1973年(昭和48年)**

- 1月31日 小梶真栄師辞任、帰国。
- 4月 創立50周年記念誌上梓。
- 6月 禅宗寺開基長崎豊吉翁(91歳)逝去。
- 11月30日 永井成典師(愛知県宝珠寺)、駐在就任。

**1974年(昭和49年)**

- 8月 第16回カリフォルニアJr. YBA大会が禅宗寺Jr. YBAの主催でサンディエゴ・マスター・ホスト・インにて開催。

北米曹洞宗開教師会議開催。片桐大忍師、知野弘文師、前角博雄師の布教実態が報告される。

**1975年(昭和50年)**

- 4月 花祭り法要の際、藤井重利夫妻寄進の仏天蓋除幕式が行われる。
- 7月15日 立花孝全師(福島県昌源寺)、駐在就任。
- 9月 禅宗寺茶室完成。裏千家参事松本宗靜先生を講師に茶道教室開設。
- 10月 山下顯光総監、佐藤泰瞬禪師本葬、山田靈林禪師晋山式参列。

**1976年(昭和51年)**

- 5月 寺債完済祝賀会。
- 7月 ハワイ禅仏教婦人会一行135名来寺。
- 9月24日 永井成典師辞任、帰国。
- 10月 山下顯光総監、大本山永平寺新貫首秦慧玉禪師晋山式参列。

**1977年(昭和52年)**

- 3月 教団理事長に沢田九一氏、婦人会会長に山口明里氏就任。
- 3月3日 大場満洋師(山形県長雲寺)、駐在就任。

**1978年(昭和53年)**

- 4月 山下顯光総監、大本山總持寺貫首乙川瑾映禪師晋山式に参列。
- 10月25日 松永然道師辞任、帰国。
- 11月 柴綾子氏、本堂幢幡一对寄贈。両祖尊像金襯完成。

**1979年(昭和54年)**

11月 大本山永平寺貫首山田靈林禪師本葬に山下顯光総監参列。  
 2月5日 秋山洞禪師(新潟県興源寺)、駐在就任。  
 曹洞宗教化研修所より海外研修生福島伸悦師、半年間研修。

**1980年(昭和55年)**

1月 婦人会長に松本雪子氏就任。  
 7月1日 福島伸悦師(埼玉県興徳寺)、駐在就任。  
 3月31日 大場満洋師辞任。

**1981年(昭和56年)**

1月 教団理事長に氏家章氏、婦人会長に松本雪子氏就任。小山みつる氏靈牌堂額(秦禪師筆)寄贈。中広寿男氏天蓋寄贈。  
 5月 「禅と茶の湯」講座開催。講師: 山下顯光総監、松本宗静氏。

**1982年(昭和57年)**

2月 節分豆まき開催。高崎ダルマを入手し、禪宗寺ダルマ市を開催。  
 6月 Jr. YBA ハワイ親睦旅行実施(ホノルル別院、マウイ満徳寺Jr. YBAと交歓会)。  
 9月 氏家章氏本尊脇柱の金欄和幡一対、紺色のどんす本絹房の戸帖寄贈。  
 松本実氏絹糸編金欄御翠簾寄贈。  
 10月隣接駐車場購入。2ロット12,000平方、総額384,000ドル。西本願寺前の駐車場は193,600ドルで売却。

**1983年(昭和58年)**

8月 駒澤大学・愛知学院大学の、ロサンゼルス州立大学夏季英語研修生来寺。駒澤大学とロサンゼルス州立大学が姉妹校になる。  
 9月29日 城敬宝師(大分県仏光寺)、駐在就任。

**1984年(昭和59年)**

4月 桑港寺落慶法要参拝団出発。山下顯光総監、秋山洞禪師、福島伸悦師他30名余参列。  
 9月 禅アート展開催。

**1985年(昭和60年)**

1月 教団理事長に松本実氏、婦人会長に長谷川良子氏就任。  
 4月 山下顯光総監、大本山永平寺貫首秦慧玉禪師本葬儀、新貫首丹羽廉芳禪師晋山式に参列。  
 山下顯光総監、勲五等瑞宝章受章。  
 6月 ハワイ官約百年日米佛教徒大会、並びに曹洞宗海外開教総監会議に山下顯光総監、福島伸悦師参列。  
 11月 階下ホール拡張工事。  
 12月 本堂内陣大修理。

**1986年(昭和61年)**

2月 大本山永平寺貫首丹羽廉芳禪師を戒師として3日間にわたり授戒会修行。戒弟130名。戒師: 丹羽廉芳禪師、教授師: 山田康夫師、引請師: 山下顯光師、説戒師: 池田好雄師、直壇長: 武田秀嗣師。  
 6月 日曜佛教講座開講。講師: 山下顯光総監。

10月 梅花流講習会を特別梅花講師北野良昭師を迎えて3日間にわたり開催。

#### 1987年(昭和62年)

1月 禅仏教英語講座シリーズ始まる。講師：海野鉄雄師。

ブラジル・南米別院にて厳修の南米開教総監新宮良範師本葬に山下顕光総監、福島伸悦師出席。

3月 第2回禅仏教英語講座開催。講師：片桐大忍師。

5月 第3回禅仏教英語講座開催。講師：秋山洞禪師。

曹洞宗教化研修所海外研修生黒柳博仁師、半年間の研修。

6月 曹洞宗教化研修所主事中野東禪師「ホスピス」研究の為来寺。教養文化講座「観音経のこころ」「般若心経」を行う。

10月 第4回禅仏教英語講座開催。講師：ウイリアム・ラフルア師。

11月 梅花流講習会、講師：北野良昭師。禅宗寺創立65周年、別院昇格50周年法要厳修。大導師：楢山大典師。記念事業として坐禅堂、観音像、納骨堂建立。日本より100数名の参加。

#### 1988年(昭和63年)

3月5日 第5回禅仏教英語講座開催。講師：ブルーチョー教授。

5月9日 黒柳博仁師(長野県天周院)、北米開教総監部書記に就任。

秋山洞禪師、ミルウォーキー禅センターへ転出。

8月6日 Jr. YBA会議、禅宗寺ホストで開催。

10月1日 第6回禅仏教英語講座開催。講師：前角博雄師。

10月9日 第1回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会、ロサンゼルスにて開催。

10月14日～18日 山下顕光総監、ニューヨーク国連本部にて講演。

#### 1989年(平成元年)

1月28日 第7回禅仏教英語講座開催。講師：加藤和光師。

1月29日 仏教日本語講座開催。講師：加藤和光師。

2月26日、27日 北米開教師会議開催。

3月25日 第8回禅仏教英語講座開催。講師：ウェップ教授。

5月11日～17日 禅太鼓ワークショップ開催。

7月22日 第9回禅英語仏教講座開催。講師：秋山洞禪師。

8月5日 Jr. YBA 大会、ディズニーランドにて開催。

10月7日、8日 ハワイにて開催の、第2回曹洞宗ハワイ・北米信徒大会に参加。

11月20日～25日 北米開教師会議開催。

#### 1990年(平成2年)

1月28日 理事長氏家章氏、婦人会長田中敏子氏が就任。

3月27日、28日 曹洞宗北米・ハワイ開教師会議を開催。

4月30日 城敬宝師辞任、帰国。

5月13日 山下顕光総監の「般若心経」特別講話始まる。

6月30日 福島伸悦師辞任、帰国。

**1991年(平成3年)**

1月27日 定款改正案承認。理事数を80名から15名に改定。理事長職として副会長川名ハリー、松本ヘンリー、武良秀雄氏の3師就任。

3月 松本実氏「修証義」公布百周年記念行事実行委員長に選出。

3月6日 禅太鼓創立5周年記念パフォーマンスを日米劇場で行う。

6月10日 「六地蔵」購入。

10月20日 子どもの為の禅学校を開始。

11月21日、22日 山下顯光総監、国連に於いて「禅と平和」と題し講演。

**1992年(平成4年)**

1月26日 理事長川名ハリー氏、婦人会長氏家繁子氏が就任。

3月22日 特別功労者として、世木弘子、新井京子、田中敏子の3氏を表彰。

4月6日 山下静枝総監夫人、逝去。

4月 曹洞宗教化研修所より田中俊光師、半年間の研修。

7月5日 大本山永平寺より長谷川俊道師、半年間の研修。

9月27日 禅宗寺創立70周年記念行事開催。

駒澤大学教授田上太秀師の講演「神は無くとも救われる、仏教とは何か」、ホテルニューオータニにて開催。

10月9日 創立70周年記念祝賀晩餐会、ホテルニューオータニにて開催。

10月10日 創立70周年慶讃法要厳修。宗務総長大竹明彦師、ハワイ開教総監松浦玉英師など、30余名隨喜。また、開山歴住諷經、修証義百周年記念法要、おも

いやり地蔵尊の開眼法要も厳修。

10月11日 「禅を聞く会」(JACC劇場)、金沢市大乗寺住職板橋興宗師による講演開催。通訳:ベナージュ大圓師。

**1993年(平成5年)**

1月10日 曹洞宗教化研修所海外研修生小島秀明師、半年間の研修。

1月24日 理事長井上慎二氏、婦人会長氏家繁子氏が就任。

4月1日 黒柳博仁師、北米総監部より駐在に転任。

5月16日 思いやり地蔵尊縁日開催。

7月12日 曹洞宗教化研修所海外研修生新堂敏幸師、半年間の研修。

9月2日 写仏・写経の会発足。

9月10日~12日 第2回北米開教師協議会、並びに寺族会会議開催。

11月29日 大本山永平寺77世丹羽廉芳禪師本葬、並びに宮崎奕保禪師晋山式に山下顯光総監参列。

**1994年(平成6年)**

1月23日 理事長井上慎二氏、婦人会長長峰久子氏が就任。

2月26日、27日 北米開教師会議開催。

4月1日 古溪理哉師(群馬県雲門寺)、駐在就任。

9月9日~11日 第3回北米開教師協議会、並びに寺族会会議開催。

10月8日、9日 桑港寺創立60周年記念法要に禅宗寺御詠歌と禅太鼓が参加。

10月10日 「禅をきく会」開催。演題:「今ここを生きる」、講師:辻淳彦師。

10月15日、16日 在家得度式厳修。得度

者12名。

### 1995年(平成7年)

- 1月13日 小島秀明師(佐賀県本光寺)、駐在就任。
- 1月15日 婦人会総会、会長長峰久子氏留任。
- 1月19日 阪神大震災追悼法要厳修。当日の義援金1,868ドルを曹洞宗阪神大震災災害対策本部を通じて送る。
- 2月5日 教団総会開催。理事長に井上慎二氏を再任。本堂の屋根の修理を決定し、会員へ屋根瓦の志納を請う。
- 2月11日 第4回北米開教師協議会、並びに寺族会会議開催。
- 5月14日 禅センター オブ ロサンゼルス主任開教師前角博雄師遷化。8月27日本葬。秉炬師：鈴木格禪師、鎖龕師：秋葉玄吾師。
- 8月1日 黒柳博仁師辞任、帰国。
- 9月7日 南米別院佛心寺本堂落慶奉参団を結成し参加。
- 10月5日～9日 ハワイで開催の第4回曹洞宗ハワイ・北米信徒大会に参加。

### 1996年(平成8年)

- 1月 山下顯光総監日本での総監会議に出席。
- 2月4日 教団総会開催。理事長に武良勉氏就任。
- 2月18日 婦人会総会において、松本照子氏会長に就任。
- 3月17日 本堂屋根瓦志納目標を達成。
- 4月27日 禅太鼓創立10周年記念公演を日米劇場で開催。

9月22日 初のお焚き上げ供養をハンティントンステートビーチにて厳修。

11月17日 初の七五三法要厳修。禅宗寺創立75周年記念事業として、ハンディキャップランプの設置を予算5万ドルで決議。

### 1997年(平成9年)

- 1月23日 理事長武良勉氏、婦人会会長松本照子氏再任。
- 4月18日、19日 禅宗寺創立並びに北米開教75周年記念行事を開催。日本より大本山總持寺副貫首板橋興宗師、宗務總長大竹明彦師、大本山永平寺監院南澤道人師、大本山總持寺監院江川辰三師をはじめ北アメリカ開教師、伝道師など多数の隨喜を得て厳修。記念晩餐会をホテルニューオータニにて開催。
- 禅を聞く会を日米劇場にて開催。講師：大本山總持寺副貫首板橋興宗師、永六輔氏。
- 4月20日 北アメリカ開教センター開所式厳修。所長に奥村正博師(兵庫県安泰寺)就任。
- 両大本山北米別院禅宗寺開山歎経厳修。北米開教75周年・両大本山北米別院禅宗寺創立75周年慶讃法要厳修。檀信徒総回向万灯供養厳修。「仏種・北アメリカの大地に根付く」記念誌を発刊。
- 秋葉玄吾師(宮城県峰仙寺)、総監部贊事就任。
- 4月 横山泰賢師(広島県禪昌寺)、曹洞宗北アメリカ開教センター書記に就任。
- 5月27日 山下顯光総監、辞任。
- 5月28日 オークランド禪堂・好人庵主

任の秋葉玄吾師、第9代開教総監に就任。  
11月23日 山下顯光師の米寿祝賀会をモントベロで開催。

#### 1998年(平成10年)

1月25日 教団理事長に藤井讓氏、婦人会長に松本照子氏就任。  
2月20日 山下顯光師遷化(世寿88歳)。  
3月1日 山下顯光師の本葬。秉炬師：洞外文隆師、奠茶師：武田秀嗣師、奠湯師：松永然道師。  
3月25日～30日 愛知県第一宗務所徒弟研修会をカリフォルニアにて開催。  
4月 大本山總持寺貫首成田芳髓禪師本葬並びに、板橋興宗禪師晋山式に秋葉総監、横山書記参列。  
5月29日 秋葉玄吾師、禪宗寺の第10代主任に就任。  
7月26日 駒澤大学講師山口晴道師を招き、漢詩についての講演会。  
7月 古溪理哉師辞任、帰国。  
10月 禪宗寺寺子屋発足。

#### 1999年(平成11年)

1月31日 教団理事長に藤井讓氏、婦人会長に武良美代子氏就任。  
3月3日～7日 山下顯光師の1周忌法要厳修。大本山永平寺監院南澤道人師、大本山總持寺監院江川辰三師はじめ、多くの隨喜により厳修。  
7月31日 曹洞宗開教センター、サンフランシスコ桑港寺へ移転。  
8月8日～27日 道元禪師ご生誕800年慶讃事業「典座教訓参究英訳プロジェクト」翻訳研究会を開催(インディアナ州ブルー

ミングトン開教センター主催)。

10月23日、24日 スタンフォード大学にて、高祖道元禪師生誕800年記念シンポジウム開催。

10月25日、26日 道元禪師学会開催。日米の学者・教授が参加。  
12月 桑原弘之師によるコンピュータークラス、日本語クラス発足。

#### 2000年(平成12年)

1月23日 高祖道元禪師ご生誕800年慶讃法会。  
ダルマ会(シニアの会)発足。会長に松本実氏就任。  
1月30日 教団理事長に藤井讓氏、婦人会長に武良美代子氏就任。  
2月 写経会再開。  
3月4日、5日 山下顯光師3回忌嚴修。  
7月21日～23日 総監部主催開教師・伝道教師会議開催(出席者40名)。  
8月13日 「仏教講座」シリーズ始まる。講師：加藤和光師。  
10月27日～29日 第5回曹洞宗北米・ハイウェイ信徒大会を、ラスベガスにて開催(禪宗寺メンバー28名参加)。

#### 2001年(平成13年)

1月28日 教団理事長に三沢拓訓氏、婦人会長に武良美代子氏が就任。  
2月9日～14日 梅花流特派師範講習会開催。講師：曹洞宗梅花流特派師範葛西修哉師。  
5月11日 高祖道元禪師750回大遠忌予修法要特為献湯嚴修。導師：南澤道人大遠忌総監。

歓迎会をホテルニューオータニで開催。

5月12日 インディアナ大学・ジョンマクレー教授の「アメリカにおける曹洞禅の発展」のテーマで講演を開催。高祖道元禅師750回大遠忌予修法要特為献供出班を厳修。導師：大竹明彦宗務総長。

写経会のメンバーによる写経50巻を境内観音像台下に納経。

6月 禅宗寺ホームページ開設。

7月9日～21日 多々良学園語学研修会一行来訪。会場：グリーンガルチファーム蒼龍寺、サンフランシスコ禪センター。

9月8日 禅太鼓15周年記念パフォーマンスをジャバニーズ・アメリカン・ミュージアムにて開催。

9月11日 同時多発テロ事件発生。

9月18日 同時多発テロ事件犠牲者の追悼式厳修。150余名の参拝者があり、そのお布施は「September 11th Fund」へ寄付。

#### 2002年(平成14年)

2月8日 婦人会長に武良美代子氏再任。

2月 禅宗寺茶道部、ソルトレーク冬季オリンピックにてお茶事のデモンストレーションを行う。

2月12日 三沢拓訓氏理事長に再選。

4月6日 写経会の納経法要厳修。

6月1日 「ワンス・アポン・ア・タイム」と題したコンサートを本堂にて開催。ピアノ：丸山ひろみ氏、バイオリン：山家典子氏。

8月25日 乙川弘文師葬儀。会場：慈光寺。秉炬師：秋葉玄吾総監。

9月13日～18日 高祖道元禅師750回大

遠忌国際デーに北アメリカ総監部団参ツアー、禪宗寺参拝団合わせて150名余りが大本山永平寺に拝登。

9月15日 曹洞宗国際交流会開催。会場：大本山永平寺。各国から約250名参加。秋葉総監、道元禅師について講話。

9月16日 高祖道元禅師750回大遠忌厳修。焼香師：秋葉玄吾総監。その他、奥村正博、ベナージュ大圓、アンダーソン全機、ローリー大道各師が北アメリカ代表として勤む。

9月29日 高祖道元禅師750回大遠忌御正當に秋葉玄吾総監出席。

10月15日～17日 秋葉玄吾総監、南原一貴師、大本山總持寺貫首板橋興宗禪師退董式、同大道見仙禪師晋山式に参列。

#### 2003年(平成15年)

10月15日～19日 北アメリカ開教(国際布教)80周年、禪宗寺創立80周年の記念行事が開催され、授戒会を修行。戒師：板橋興宗禪師(大道見仙禪師の御代理として)、教授師：南沢道人師、引請師：野田大燈師、隨行長兼室侍長：江川辰三師、説戒師：丸子孝法師。戒弟94名。

#### 2004年(平成16年)

2月10日 藤井譲氏が教団理事長に就任。

2月15日 涅槃会、山下顯光師の7回忌法要、並びに静枝夫人の13回忌法要を厳修。

#### 2005年(平成17年)

11月6日 茶筅供養に臨濟宗の僧侶で陶芸家の高林玄機師が来寺。

**2006年(平成18年)**

1月14日、15日 日系寺院連絡協議開催。  
 10月5日 南カリフォルニア大学・メディアリージョンクラス学生10人来寺。  
 11月19日 カリフォルニア・ラザランユニバーシティから学生15名来寺。

**2007年(平成19年)**

1月10日 カリフォルニア・スティート・ノースリッジ校宗教科学生13名来寺。  
 1月13日 禅宗寺シンポジウム開催。50名参加。  
 2月13日 カルフォルニア大学ロサンゼルス校宗教文化学教授ドクター・ジェク氏来寺。  
 3月2日 ラング明心師(宮城県峰仙寺)、駐在就任。  
 3月8日 バサデナアートセンター・オブ・カレッジの学生20名来寺。サイアーグの学生15名来寺。  
 5月19日 ピアーズカレッジ学生15人来寺。  
 6月6日～14日 ヨーロッパ国際布教40周年記念行事に32名参加。  
 8月19日 禅宗寺創立85周年慶讃法要厳修。  
 10月20日～22日 第7回曹洞宗北米・ハイウェイ信徒大会をラスベガス・プラザホテルにて開催。101名参加。  
 11月11日 ロングビーチ仏教会創立50周年慶讃法要へ秋葉玄吾総監、小島秀明師参列。

**2008年(平成20年)**

3月14日～16日 唐津焼・鏡山窯井上東也作陶展が南加佐賀県人会主催により禅宗寺日校ホールで開催される。

**2009年(平成21年)**

1月18日 世木弘子理事が禅太鼓の指導育成を認められ、南加日系商工会議所より日系スピリット賞を受賞。  
 4月25日 マンザナ巡礼40周年。小島師出席。ユナイティド・メソジスト教会のメンバー10名訪問。  
 8月11日～15日 禅太鼓ワークショップインストラクターとして元鬼太鼓座メンバー・立石鈴太郎氏が就任。  
 8月15日 本堂の北側と西側の屋根修理。  
 11月13日～22日 南アメリカ国際布教総監部50周年記念慶讃法要に参列。  
 11月30日 ラング明心師辞任。

**2010年(平成22年)**

1月24日 加藤和光師が南加商工会議所より、日系スピリット賞を受賞。  
 3月31日 秋葉玄吾国際布教総監辞任。  
 4月 ルメー大岳師(福井県発心寺)、第11代主任並びに第10代国際布教総監に就任。

**2011年(平成23年)**

4月10日 花祭り法要の代わりに東日本大震災物故者追悼会厳修。  
 9月4日 東方大樹師(愛知県開眼寺)、駐在就任。

2012年(平成24年)

5月27日 梅花流創立60周年記念奉讃大会に禪宗寺梅花講が参加。

9月8日 北アメリカ国際布教90周年並びに禪宗寺創立90周年記念行事開催。



1926年竣工 禪宗寺正面



現在の両大本山北米別院禪宗寺



1973年 両大本山北米別院禪宗寺 50周年・別院昇格35周年慶讃報恩大法要



北アメリカ国際布教並びに両大本山北米別院禪宗寺創立90周年記念慶讃法要  
2012年(平成24年)9月9日



Soto Mission of San Francisco, Sokoji

# サンフランシスコ桑港寺



Address : 1691 Laguna Street,  
San Francisco,  
CA 94115 U.S.A.

TEL : 1-415-346-7540  
FAX : 1-415-346-0355  
E-mail : sokoji@sbcglobal.net



## ◆寺院の歴史

1934年創立

## ◆御開山と歴代住職

- 第1世 磯部峰仙 (Isobe Hosen)
- 第2世 佐藤憲一 (Sato Kenichi)
- 第3世 鈴木大等 (Suzuki Daito)
- 第4世 高橋理円 (Takahashi Rien)
- 第5世 烏羽瀬保道 (Tobase Hodo)
- 第6世 鈴木俊隆 (Suzuki Shunryu)
- 第7世 森山大行 (Moriyama Daigyo)
- 第8世 藤川享胤 (Fujikawa Kyoin)
- 第9世 細川正善 (Hosokawa Shozan)
- 第10世 南原一貴 (Nambara Ikki)
- 第11世 館寺規弘 (Tatedera Kiko)

## ◆現住職

不在

## ◆過去の所属僧侶

- 知野弘文 (Chino Kobun)
- 片桐大忍 (Katagiri Dainin)
- 加藤洪城 (Kato Kojo)
- 加藤和光 (Kato Wako)
- 大倉大雄 (Okura Daiyu)

## ◆行事・活動

坐禪、ワークショップ、写経会、祥月法要、涅槃会、花まつり、お彼岸、お盆、成道会、少林寺拳法、茶道、華道、詩吟



旧桑港寺 1881 Bush st. ユダヤ教教会跡



旧桑港寺本堂



旧桑港寺ホール

## 沿革史

### 1934年(昭和9年)

12月8日 磯部峰仙師(山口県華嚴寺)、北米別院より初代主任に就任。サンフランシスコの日本人街(1881 ブッシュ街)にユダヤ教教会跡を購入し日米山桑港寺とし開堂式を厳修。

### 1937年(昭和12年)

州当局より非営利事業団体の認可を受ける。

### 1939年(昭和14年)

10月 磯部峰仙師辞任、帰国。佐藤憲一師(三重県極楽寺)、北米別院より第2代主任に就任。

### 1941年(昭和16年)

8月 佐藤憲一師、辞任。鈴木大等師(長野県藏沢寺)、北米別院駐在と兼務して、第3代主任に就任。

12月7日(現地時間) 日米開戦。

### 1942年(昭和17年)

4月8日 鈴木大等師、釈尊降誕会を最後に立ち退き、日系同胞と共に強制収容所

へ収容され、主任を辞任(終戦後はロサンゼルス禪宗寺に転出)。以降桑港寺は、開教師不在で一時閉鎖されていた。

### 1945年(昭和20年)

8月14日(現地時間) 太平洋戦争終結。  
10月 鈴木大等師、再開堂。

### 1948年(昭和23年)

高橋理円師(北海道法王寺)、第4代主任に就任。布教が再開される。

### 1950年(昭和25年)

高橋理円師、辞任。ハワイへ転出。

### 1951年(昭和26年)

5月14日 鳥羽瀬保道師(熊本県国照寺)、第5代主任に就任。

6月23日 加藤和光師(奈良県補巖寺)、駐在就任。

### 1954年(昭和29年)

鳥羽瀬保道師、第4代開教総監に就任。

### 1959年(昭和34年)

3月4日 鈴木俊隆師(静岡県林叟院)、駐在就任。

11月4日 烏羽瀬保道師、北米開教総監を辞任。

#### 1960年(昭和35年)

鈴木俊隆師、第6代主任に就任。

#### 1961年(昭和36年)

10月25日 鈴木俊隆師、サンフランシスコ禪センターを開設。

#### 1963年(昭和38年)

1月 桑港寺再建問題を審議。  
6月 本堂移転問題を審議。移転地調査実施。候補地は元加州ホテル跡地。  
9月 本堂移転決定。1ドル献金改め建築基金を開設。  
片桐大忍師(福井県泰藏院)、駐在就任。

#### 1964年(昭和39年)

8月30日 創立30周年式典厳修。

#### 1967年(昭和42年)

5月 本堂移転候補地選定(再建局より提示)。移転候補地:ブキヤナン街とサター街の角地。  
第3回禪仏教徒大会開催。  
7月3日 鈴木俊隆師、モントレータサハラに禪センター禪心寺を設立。  
知野弘文師(新潟県耕泰寺)、駐在就任の後、タサハラ禪センターに転任。

#### 1968年(昭和43年)

9月 桑港寺新本堂建立移転計画中止(候補地の選定の遅延がその理由)。

#### 1969年(昭和44年)

2月10日 現行の本堂改築工事を行う旨決議。予算25万ドル。  
2月 鈴木俊隆師、サンフランシスコ禪センターに転出。  
10月20日 加藤洪城師(北海道法竜寺)、駐在就任。

#### 1970年(昭和45年)

2月23日 森山大行師(静岡県官養庵)、第7代主任に就任。  
8月 改築事業は時と共に予算が増し、移転の再審議に入る。移転候補地:アグレオ街とクレメント街の角地。

#### 1971年(昭和46年)

3月16日 建築委員会招集。本堂移転地をラグーナ街とサター街の角地に決定。  
4月25日 特別集会を招集。本堂売却を決定。売却価格15万ドル。  
12月4日 鈴木俊隆師、サンフランシスコ禪センターにて遷化。

#### 1972年(昭和47年)

2月20日 本堂移転に伴い買収地交渉の為、日本人町市民協会に1,500ドルの寄付をし、移転運動にあてる。  
6月18日 本堂売却成立。市再建局に15万ドルで売却。  
11月 藤川享胤師(山形県般若寺)、駐在就任。  
12月29日 桑港寺移転地として、デンズ自動車修理工場跡地(ラグーナ街とサター街の角地)買収契約成立。

**1973年(昭和48年)**

4月26日 森山大行師辞任、帰国。  
11月4日 藤川享胤師、第8代主任に就任。

**1974年(昭和49年)**

7月 本堂の什物盗難。仏像その他仏具紛失。

**1978年(昭和53年)**

2月 藤川享胤師辞任、帰国。  
10月11日 細川正善師(福島県天徳寺)、第9代主任に就任。  
移転地買収決定。

**1979年(昭和54年)**

5月17日 新本堂設計図最終決定。  
6月14日 移転地譲渡手続き完了。  
8月9日 大倉大雄師(滋賀県法藏寺)、駐在就任。  
8月21日 移転地先デンズ自動車修理工場を解体整地。  
12月1日 大本山永平寺貫首秦慧玉禪師、高祖道元禪師700回大恩忌予修法要巡錫のおり、地鎮祭を厳修。

**1980年(昭和55年)**

1月29日 半田工務店と本契約。総工費50万ドル。  
3月3日 本堂工事着工。  
12月 基礎工事並びに支柱工事完了後、オイルショックの影響で資材高騰。基礎地下工事と上部支柱を残し工事を中断。

**1982年(昭和57年)**

前主任藤川享胤師の協力のもと、日本にて資金援助の勧募行脚開始。

**1983年(昭和58年)**

3月24日 テイン・カン工務店と第2期工事本契約完了。工事費約50万ドル追加。  
10月30日 上棟式厳修。

**1984年(昭和59年)**

4月21日 工事完了(一部未完工のまま落慶式に臨む)。  
4月22日 大本山永平寺副貫首丹羽廉芳師のもと、落慶法要を厳修。  
12月9日 50周年記念慶讚法要を厳修。

**1986年(昭和61年)**

2月11日 大本山永平寺副貫首丹羽廉芳師のもと、因脈会を修行。

**1987年(昭和62年)**

4月5日 本堂移転3周年記念式典、並びに位牌堂落慶法要を厳修。

**1988年(昭和63年)**

5月 駐車場付帯整備工事完了。  
R Ferrado Co.に17,123ドル支払い。

**1989年(平成元年)**

7月 駐車場出入り口にゲート設置。工事費4,814ドル。

**1992年(平成4年)**

11月14日、15日 第3回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会を桑港寺にて開催。

**1994年(平成6年)**

5月 創立60周年記念事業として、本堂内外の塗装・改修工事に着手。

10月8日 創立60周年記念式典開催。

「禅を聞く会」講師：辻淳彦師。会場：カブキ8シアター。

10月9日 創立60周年記念慶讚法要を厳修。

創立60周年記念碑除幕式（辻淳彦・細川一純両師寄進）。

**1997年(平成9年)**

3月31日 細川正善師辞任、帰国。

4月1日 南原一貴師（静岡県医王寺）、オークランド好人庵禪堂より第10代主任として転任。

**1999年(平成11年)**

7月31日 曹洞宗北アメリカ開教センターが両大本山北米別院禪宗寺より桑港寺に移転。

**2002年(平成14年)**

4月1日 南原一貴師辞任。館寺規弘師（宮城県津龍院）、オークランド好人庵禪堂より第11代主任に就任。

7月31日 「曹洞宗北アメリカ開教センター」が「曹洞宗国際センター」となる。

**2004年(平成16年)**

10月 桑港寺開創70周年記念慶讚法要厳修。

**2007年(平成19年)**

2月 北アメリカ日系寺院連絡協議会開催。

10月 第7回曹洞宗北米・ハワイ信徒大会をラスベガスにて、桑港寺ホストで開催。

**2008年(平成20年)**

9月 北アメリカ日系寺院国際布教師連絡協議会、並びに研修会開催。

**2009年(平成21年)**

9月 北アメリカ日系寺院国際布教師連絡協議会、並びに研修会開催。

10月 桑港寺開創75周年記念慶讚法要・結制・首座法戰式厳修。

**2012年(平成24年)**

4月10日 館寺規弘師辞任、帰国。



旧桑港寺



Monterey Soto Zen Temple, Zenshuji

## モントレー禪宗寺



Address : 1159 Mono Court,  
Seaside, CA 93955 U.S.A.  
TEL : 1-831-899-2905



### ◆寺院の歴史

1962年創立

### ◆御開山と歴代住職

上野暉讚 (Ueno Kisan)

### ◆現住職

上野暉讚 (Ueno Kisan)

## 沿革史

### 1955年(昭和30年)

曹洞宗管長高階瓈仙禪師が、佐瀬淳光師とブラジルから日本に戻る途中にモントレーに立ち寄ったことがきっかけで設立された。寺院建設プロジェクトは当時口サンゼルスにいた山田靈林師の熱心なサポートによるものであった。明渡夫妻の所有の土地に建築も進められ、Casanova通り453番地に完成。住み込みの住職の人選が決定しない時期が続いたため、しばらくサンフランシスコの桑港寺の鳥羽瀬保道師や鈴木俊隆師らにより、ほぼ毎月、法要のたびに随喜をうけていた。

### 1962年(昭和37年)

10月 仏教東漸70周年記念日米文化会議に列席した日本佛教代表団の名誉団長である大本山總持寺副貫首岩本勝俊師の訪米を機に、モントレー禪宗寺が開創された。

### 1963年(昭和38年)

9月5日 上野暉讚師(ヒロ大正寺)が着任。

### 1964年(昭和39年)

3月1日 上野師に対し宗務庁より正式に開教師としての辞令交付。婦人会と役員護持会設立。参禪会や若者向けの日曜礼拝を開始。

### 1967年(昭和42年)

8月19日 モントレー禪宗寺の梅花講を設立。

### 1971年(昭和46年)

9月26日 明渡夫妻の土地に収容能力がなくなり、防災上にも危険になったため、現在の上野師自宅へ移転。



Montebello Sozenji Buddhist Temple

## モンテベロ曹禪寺



Address : 3020 West Beverly  
Boulevard, Montebello,  
CA 90640 U.S.A.

TEL : 1-323-724-6866  
FAX : 1-626-307-3839  
E-mail : stkurai@sbcglobal.net



### ◆寺院の歴史

1971年創立

### ◆御開山と歴代住職

開山 倉井秀雄 (Kurai Shuyu)  
第2代 倉井トーマス秀一 (Kurai Thomas Shuichi)

### ◆現住職

倉井トーマス秀一 (Kurai Thomas Shuichi)

### ◆行事・活動

坐禪、太鼓、そろばん、ヨガ、ろうけつ染め、詩吟  
新年、節分、春秋彼岸会法要、お盆、成道会、敬老  
の日、照り焼きチキンと揚げワンタン市、バザー、  
おまつり

## 沿革史

### 1971年(昭和46年)

倉井秀雄師(三重県金剛寺)によって設立。12月 米国のNPO(非営利宗教法人)となる。最初の2年は法要などをシーザーチャペス通り(前ブルックリン通り)にあるイーストロサンゼルスカレッジ宗教センターで行っていた。

### 1973年(昭和48年)

7月 定期的に法要が行える寺院をつくるため、ボイルハイツにある不動産2区画を取得。

### 1977年(昭和52年)

3月 モンテベロ市のビバリー通りにある教会を購入し、寺院として改築。

### 1978年(昭和53年)

11月2日 本堂の改修をはじめ正式に公開。これを記念して曹洞宗管長乙川瑾映禪師を導師に迎えて法要を行った。

### 1986年(昭和61年)

9月 倉井秀雄師遷化。弟子の倉井トマス秀一師、第2代主任に就任。

### 1970年代～現在

礼拝、坐禅、修行の場であるとともに、地域コミュニティや文化センターとしての役割を果たすようになる。現在日本の芸術(工芸や音楽)を学べる教室、ワークショップを備えている。



Long Beach Buddhist Church

# ロングビーチ仏教会



Address : 2360 Santa Fe Avenue,  
Long Beach, CA 90810  
U.S.A.

TEL : 1-562-426-4014  
FAX : 1-562-426-4014



#### ◆寺院の歴史

1957年創立

#### ◆御開山と歴代住職

- 第1世 長田康哉 (Osada Kosai)
- 第2世 松岡操雄 (Matsuoka Soyu)
- 第3世 加藤和光 (Kato Wako)
- 第4世 穀藏ロイ良尚 (Kokuzo Roy Ryosho)
- 第5世 杉山宗和 (Sugiyama Sowa)
- 第6世 栖川直道 (Sugawa Jikido)

#### ◆現住職

不在

#### ◆行事・活動

修正会、節分会、役員就任式、新年会、彼岸会、チャーメンセール、花まつり、ラメージセール、メモリアルデー、フードセール、施食会、創立記念法要、永代経法要、成道会、年末大掃除、除夜会、日曜礼拝、毎月最終日曜日の祥月法要、詩吟教室、墨絵教室、木目込み人形教室、カラオケ教室、サンデースクール

## 沿革史

### 1950年(昭和25年)

5月 カリフォルニア州ロングビーチ市に仏教寺院を発願し、後にロングビーチ仏教会初代主管になる長田康哉師(宮崎県台雲寺)が再渡米し、はじめは特派布教師として、ロサンゼルス市の禪宗寺に駐在していた。またその間、仏教徒ならば宗派の如何に関わらず参拝が出来る超宗派仏教寺院を新教田で開教するという抱負を持っていた。まずははじめに、仏教日曜学校の開設を目指し、場所の調査を開始。すると、日本から移民した日系人の多くいる、ロングビーチ市ハーバー地区に仏教的施設がない事を知る。そして、ハーバー地区に在住する人たちの集会の場所として、日系人会会長の大倉百太氏を中心として建立された日系人会館のあることを知った。

### 1951年(昭和26年)

10月4日 長田師は、大倉会長宅を訪れ仏教日曜学校の使用を申し入れた。しかし、大倉会長より、会館を宗教的行事に使用するのは不可能との回答であった。長田師は青少年少女に対する宗教的道徳教化の重要性を説き、地区在住の子どもたちの為に奉仕するとの固い熱意を持って披露した。これには大倉会長も理解をなし、会館使用の件は、大倉会長の全責任を持って引き受けるにつき、仏教日曜学校を開校する承諾を得た。

10月14日 午前10時より、ハーバー地区日系人会館にて、超宗派、通仏教による

日曜学校を32名の生徒と共に開校。

### 1952年(昭和27年)

7月 開教師と父母の連絡を図る為、日曜学校父母会を結成。

### 1955年(昭和30年)

仏教日曜学校教師である青木作夫氏、竹内貞夫氏等の指導により、準仏教青年会が組織された。この頃、仏教日曜学校の生徒及び父母会員の増加に伴い、次第に礼拝専用施設の必要性を痛感していた長田師の熱望と父母会の意見が一致し、父母会を発起人として、ハーバー地区並びに近郊在住の仏教徒と共に、超宗派仏教施設を建立することを決議した。

2月27日 河内幸次郎氏を委員長として、父母会員と有志により仏教会建設委員会が組織され、直ちに基金募集運動を開始し、連日連夜、各戸を訪問して浄財の寄進を願った。

### 1956年(昭和31年)

3月 集められた浄財をもって、委員会より、現ロングビーチ仏教会のある敷地を購入。

7月11日 ロングビーチ仏教会としてカリフォルニア州政府より法人認可を取得。

### 1957年(昭和32年)

4月1日 仏教会礼拝堂建立の鍵入式を厳修。約7ヵ月に及ぶ工事が開始された。

11月17日 有縁信徒参列のもとで、ロングビーチ市では初めての仏教会の開堂式が行われ、アメリカに於いて、初の超宗

派仏教会として仏教伝道教化活動を開始。  
12月 本堂完成と共に、長田師がロングビーチ仏教会初代主任に就任。

#### 1958年(昭和33年)

8月 羅府仏教連盟に加盟。しかしこの時点で、信仰の中心となるべき御本尊が未だ安置されていなかった為、日本美術展覧会彫刻部審査員であった瀬戸団治氏に教会御本尊として「出山釈迦像」の制作を依頼し、総丈四尺の木造釈迦尊立像完成の後、長田師が訪日、奉持して帰寺した。またこの頃、長田師の徒弟である新田庄二師を、勉学と補佐の為呼び寄せた。

#### 1960年(昭和35年)

3月3日 羅府仏教連盟各開教師の隨喜を得て、仏教徒及び在住者参加のもとに、入仏式大法要を厳修。

#### 1962年(昭和37年)

12月 信徒の増加と発展に伴い、教会隣接地を青少年の運動場兼駐車場として購入。その後、教会後部には日曜学校の教室や社交室を増築。

#### 1970年(昭和45年)

9月 長田康哉師辞任、帰国。  
10月 シカゴ禪センターより転出の松岡操雄師(山口県天淨寺)が第2代主任に就任。

#### 1971年(昭和46年)

6月 松岡師辞任。後任の主任が見つかるまでの主任として、加藤和光師(奈良県

補巖寺)が第3代主任に就任。

#### 1972年(昭和47年)

3月20日 裕蔵ロイ良尚師(北海道清輪寺)、第4代主任に就任。  
11月 創立15周年記念法要を厳修。

#### 2000年(平成12年)

4月 裕蔵ロイ良尚師、ワイバフ太陽寺へ転出。次期主任が見つかるまでの間、禪宗寺別院の各開教師が日曜礼拝等の法要を行った。

#### 2001年(平成13年)

7月 杉山宗和師(秋田県龍門寺)、第5代主任に就任。

#### 2005年(平成17年)

杉山宗和師、辞任。  
10月27日 栖川直道師(大阪府妙寿寺)、第6代主任に就任。

#### 2007年(平成19年)

11月11日 仏教会にて、創立50周年記念祝賀慶讚法要を、歴代主任をはじめ羅府仏教連合会の各寺院の開教師、また日本より僧侶、関係者の参列のもと厳修。法要後は、ロングビーチ市のハイアットリージェンシーホテルにて、記念昼餐会が行われた。

#### 2010年(平成22年)

4月20日 栖川直道師辞任、帰国。  
現在、仏教会主催の行事として、毎週日

曜日の日曜礼拝や月1回の祥月法要などの月間行事に加え、修正会・節分会・涅槃会・彼岸会・花まつり法要・盂蘭盆施食会・成道会などの特別法要を行っている。また、年2回チャーメンセールやチキンセールなどのフードセールを行い、仏教会を維持運営するための基金に充てている。その他に、ロングビーチ日系人会館主催のサマーカーニバルなどに参加している。



現日系人会館 サマーカーニバル

## 【北アメリカ地区 参考文献】

- 『佛教海外傳道史』1933年 北米山禪宗寺編
- 『曹洞宗ハワイ開教七十五年史』1978年 曹洞宗ハワイ協会
- 『Zenshuji Soto Mission 70th Anniversary』1992年 両大本山北米別院禪宗寺
- 『Zenshuji Soto Mission 75th Anniversary』1997年 両大本山北米別院禪宗寺
- 『佛心』両大本山北米別院禪宗寺会報
- 『Soto Mission of San Francisco 日米山桑港寺60周年記念』日米山桑港寺編
- 『Soto Mission of San Francisco 日米山桑港寺70周年記念』日米山桑港寺編
- 『日米時事』『北米毎日』（サンフランシスコ日系人新聞）
- 『Zen Center of Los Angeles 15th Anniversary』

# 南アメリカ地区

South America



## 南米の布教 概説

2013年に布教110周年を迎えた南アメリカ国際布教総監部の管轄エリアは、海外への曹洞宗の伝播がみられる最も古い地域であり、日系人社会の中で、心の拠り所として、また日本文化の発信拠点としての役割を果たしてきた。

曹洞宗の国際布教は、1899年、日本からサトウキビ栽培を目的とした第1回移民約790人がペルーに到着したことにより、その下地が作られた。

1903年、上野泰庵師が曹洞宗から南アメリカ国際布教のためにペルーに派遣され、これにより曹洞宗の国際布教の歴史が始まる。1907年には移民の喜捨により南アメリカ最古の寺院として慈恩寺が設立された。

1908年、日本政府とアメリカ合衆国政府の間で紳士協定が結ばれ、日本からの移民制限、ハワイから米国本土への移民禁止措置が行われ、事实上既に移民した者の親族以外の渡航が不可能となった。

さらに1924年、排日移民法が施行され、米国本土へのいかなる形の新規移民も認められなくなつて以降、第二次世界大戦前には、その代わりにブラジル、ペルー、アルゼンチン、ボリビア、巴拉グアイやチリへの移民が盛んに行われた。

南アメリカ最大の国であるブラジルでは、奴隸制の廃止に伴い、プランテーションでの労働力として移民を多く受け入れたが、労働環境の悪さのためヨーロッパからの移民が減少した。

労働力不足を補うため1908年に日本のブラジル移民政策が始まり、1993年に移民制度が廃止されるまでの間、約30万入もの日本人がブラジルに移民として渡った。

ブラジルにおいては、日系人社会が広がったにも関わらず、カトリックの国であったため、他宗教が制限され、曹洞宗の正式な寺院は第二次世界大戦後まで設立されなかった。

苛酷であった日本人移民の生活環境は、時代が下るにつれて土地の所有や農業組合の結成などにより少しずつ豊かになったため、寺院設立の要望が出始めた。

1952年には当時世界佛教徒会議総裁であった曹洞宗管長高階瓈仙禪師の招聘要望書を提出、1955年、高階禪師の3ヶ月の滞在と巡錫が実現した。このことがきっかけとなりブラジルに初の禪寺としてモジ禪源寺が創立された。

さらに1956年、宗務庁の新宮良範秘書課長が南アメリカ総監として単身ブラジルに渡り、1959年サンパウロ市に南アメリカ総監部および両大本山南米別院佛心寺を設立した。

1965年、南アメリカ総監部が現在の場所に移転。

1995年、本堂落慶。

2009年、総監部、南米別院創立50周年記念事業として禪堂、開山堂などが落慶し現在に至っている。現在、南アメリカ総監部で僧籍を持つものは、約50名。

国際総監部管内には、南米別院 佛心寺、ローランジャ佛心寺、禪光寺(旧イビラス佛心寺)、禪源寺、天隨禪堂、慈恩寺がある。

神奈川県 貞昌院副住職

S Z I 事務局長

亀野 哲也 記



Comunidade Budista Soto Zenshu da America do Sul, Bushinji

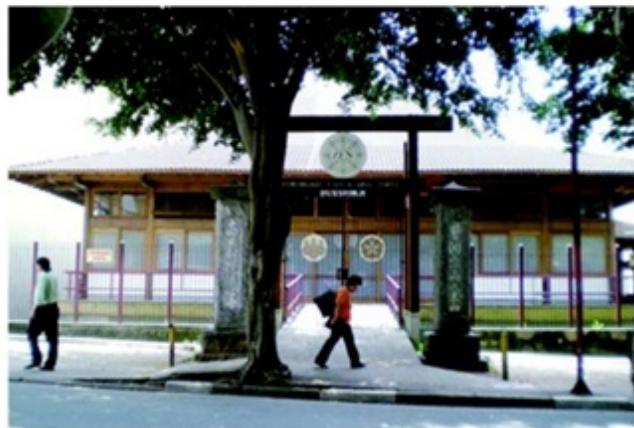
# 両大本山南米別院 佛心寺



Address : Rua São Joaquim 285, Bairro da Liberdade, São Paulo-SP,  
CEP: 01508-001 BRASIL

TEL : 55-11-3208-4515  
: 55-11-3208-4345

FAX : 55-11-3208-0418



## ◆寺院の歴史

1959年創立

## ◆御開山と歴代住職

開 山 高階瓏仙禪師 (Takashina Rosen Zenji)  
第2世 新宮良範 (Shingu Ryohan)  
第3世 青木俊亨 (Aoki Shunkyo)  
第4世 森山大行 (Moriyama Daigyo)  
第5世 三好晃一 (Miyoshi Koichi)  
第6世 采川道昭 (Saikawa Dosho)

## ◆現住職

采川道昭 (Saikawa Dosho)

## ◆過去の所属僧侶

大洞即心 (Daido Sokushin)  
ゴベイア高元 (Gouveia Kogen)  
平子興世 (Hirako Kosei)  
五十嵐良探 (Igarashi Ryotan)  
猪俣正孝 (Inomata Shoko)  
児島真竜 (Kojima Shinryu)  
黒澤慈典 (Kurosawa Jiten)  
桑原弘之 (Kuwahara Koshi)  
松永然道 (Matsunaga Zendo)  
水谷幸靖 (Mizutani Kosei)  
村山省三 (Murayama Shozan)  
中村良忍 (Nakamura Ryonin)  
浪花益造 (Naniwa Ekizo)

直一泰徹 (Naokazu Taitetsu)  
 大畠天昇 (Ohata Tensho)  
 佐藤鴻舟 (Sato Koshu)  
 ソーザ孤圓 (Souza Coen)  
 立花勇禪 (Tachibana Yuzen)

次山昌安 (Tsugiyama Shoan)  
 渡辺孝彦 (Watanabe Kogen)  
 八杉智鑑 (Yasugi Chikan)  
 吉田道彦 (Yoshida Dogen)

#### ◆所属僧侶

越賀道秀 (Koshika Doshu)

#### ◆行事・活動

梅花講、生け花、書道、坐禪、儀式（お葬式・結婚式など）、お盆、お彼岸、法事、得度式

## 沿革史

### 1938年(昭和13年)

大日本青年会主事秋山照禪師（岡山県上合寺）が世界一周の途中ブラジルを訪れ、2カ月にわたって滞在。その期間「修証義」を中心とする講演を行い、多くの人に感銘を与えた。

### 1956年(昭和31年)

高階瓈仙禪師は、南米全体の開教総監として新宮良範師（鳥取県補岩寺）を任命し、サンパウロに両大本山別院建立を決定した。10月に、初代開教総監として新宮良範師が就任。この後新宮総監による毎年4万キロにも及ぶ巡教の末、檀信徒は3千人ものぼった。

### 1952年(昭和27年)

八杉智鑑師が移民とともにブラジルへやってきて、他の仏教徒とともに暮らしはじめる。当時世界仏教徒会議の総裁に就任されていた曹洞宗管長高階瓈仙禪師を招き、正式開教を願うべく要望書を提出した。

### 1957年(昭和32年)

浪花益道師（鳥取県補岩寺）、駐在就任。

### 1958年(昭和33年)

1月13日 吉田道彦師（宮城県洞林寺）、駐在就任。  
 4月 平子興世師（群馬県桂昌寺）、駐在就任。

### 1955年(昭和30年)

八杉師の依頼をうけて高階瓈仙禪師のブラジル巡錫が実現する。高階禪師は3カ月かけて南米80会場を巡教され、多くの人々に感銘を与えた。このことがきっかけとなりブラジルに初の禪寺としてモジ禪源寺が創立されている。

### 1959年(昭和34年)

サンパウロ市トマス・デ・リマ205番地に南米別院・総監部を設置。  
 7月10日 桑原弘之師（静岡県光泰寺）、駐在就任。  
 8月 猪俣正孝師（静岡県浄土寺）、駐在就任。

浪花益道師辞任。

吉田道彦師、ローランジャへ転出。

**1960年(昭和35年)**

サンパウロ市リベルダーデ地区のサンジョアキン285番地に土地購入の計画成る(現在地の半分)。

**1962年(昭和37年)**

1月15日 桑原弘之師辞任。米本土へ転出。

**1964年(昭和39年)**

4月 平子興世師、(ルッセイア佛心寺より)辞任、帰国。

10月 児島真竜師(奈良県林泉寺)、駐在就任。

10月15日 渡辺孝彦師(神奈川県長光院)、水谷幸靖師(静岡県隨松寺)、駐在就任。

12月4日 猪俣正彦師辞任、帰国。

**1965年(昭和40年)**

サンジョアキン285番地に総監部並びに別院を移転。

3月30日 渡辺孝彦師辞任、帰国。

6月 児島真竜師辞任、帰国。

9月 曹洞宗管長高階瓈仙禪師が再伯。開教10周年記念法要を厳修。

**1967年(昭和42年)**

水谷幸靖師辞任、帰国。

**1968年(昭和43年)**

10月 宗務庁より釈迦牟尼仏像寄贈。大

本山永平寺より高祖像寄贈。大本山總持寺より太祖像寄贈。

**1977年(昭和52年)**

2月5日 中村良忍師(鳥取県補岩寺)、駐在就任。

**1978年(昭和53年)**

4月 中村良忍師、ローランジャ佛心寺へ転任。

**1979年(昭和54年)**

残り半分の土地購入。現在の敷地成る。

**1982年(昭和57年)**

5月10日～18日 駒澤大学教授小笠原隆元師、巡回布教のため来伯。

**1986年(昭和61年)**

11月18日 新宮良範総監遷化。

**1987年(昭和62年)**

青木俊亨師(群馬県岩松寺)、第3代主任並びに第2代開教総監に就任。

**1989年(平成元年)**

青木俊亨総監辞任、帰国。

植崎一光師、伝道訪問。

**1992年(平成4年)**

森山大行師(静岡県官養庵)、第4代主任並びに第3代開教総監に就任。

**1995年(平成7年)**

9月7日 本堂落慶並びに開教40周年記

念法要厳修。この後森山大行総監辞任、帰国。

**1997年(平成9年)**

南米梅花講員、梅花流創立45周年記念奉詠大会に参加。

**1998年(平成10年)**

新宮良範初代総監13回忌法要厳修。

**2000年(平成12年)**

1月21日 三好晃一師（北海道高沢寺）、第5代主任並びに第4代開教総監に就任。

**2001年(平成13年)**

高祖道元禪師750回大遠忌厳修。

**2005年(平成17年)**

4月30日 三好晃一総監辞任、帰国。

5月1日 采川道昭師（山形県宝泉寺）、第6代主任並びに第5代國際布教総監に就任。

**2009年(平成21年)**

11月13日～15日 南アメリカ國際布教総監部・両大本山南米別院佛心寺創立50周年慶讚法要を厳修し、坐禪堂を備えた大鑑閣を落成。境内北西部に開山塔・歴住塔・亡僧塔が、中庭に永代供養塔を建立。



両大本山南米別院佛心寺創立50周年記念慶讚法会（写真3枚すべて）

2009年（平成21年）11月13日～15日



Sociedade de Comunidade Budista Zenguenji do Brasil

## 禅源寺



Address : Rua Padre Eustáquio  
109 Vila Lavinia  
Mogi das Cruzes  
SP CEP: 08737-020  
BRASIL  
TEL : 55-11-4727-4579



### ◆寺院の歴史

1955年創立

### ◆御開山と歴代住職

開山 高階瓏仙 (Takashina Rosen)  
第1世 八杉智鑑 (Yasugi Chikan)  
第2世 新宮良範 (Singu Ryohan)  
第3世 彦坂信能 (Hikosaka Shinno)  
第4世 大洞即心 (Daido Sokushin)  
第5世 直一泰徹 (Naokazu Taitetsu)  
第6世 佐藤鴻舟 (Sato Koshu)

### ◆現住職

佐藤鴻舟 (Sato Koshu)

## 沿革史

### 1955年(昭和30年)

9月11日 永昌山禪源寺入仏式厳修。  
八杉智鑑師は初代主任として、ハワイ・  
ヒロ大正寺より来伯した特派開教師・穀  
藏禪戒師と共に、曹洞宗初開道場禪源寺  
の建立に貢献した。

### 1956年(昭和31年)

10月 南アメリカ総監部新宮良範開教総  
監(鳥取県補岩寺)、第2代主任に就任。

### 1957年(昭和32年)

10月 新宮良範師辞任。  
11月24日 彦坂信能師(愛知県東泉院)、  
第3代主任に就任。

### 1958年(昭和33年)

4月18日 彦坂信能師辞任、帰国。

### 1959年(昭和34年)

6月 曹洞宗の僧籍を持ちながら家族と共  
に渡伯し、モジ・ダス・クルーゼス市リ  
オ・アシーマ植民地に住んで農作業をし  
ていた大洞即心師(福井県洞雲寺)が、第  
4代主任に就任。

### 1969年(昭和44年)

2月2日 現在のビラ・ラビリア区にて鎮  
守祭を行い移転。

### 1972年(昭和47年)

庫裏完成(一時仮本堂とする)。  
8月17日 禪源寺守護神として三吉神社

がおかれる。現在この三吉神社はコクエ  
イラ地区に移されている。

### 1973年(昭和48年)

4月15日 鐘樓堂完成。

### 1974年(昭和49年)

1月20日 大洞即心師が高齢のため、直  
一泰徹師が副住職に就任。直一師は、豊  
和工業に勤めていたが臨濟宗の僧籍を  
持っていることから、大洞師の御付きを  
しており、大洞師が法務を出来なくなっ  
たため、後任となった。

### 1975年(昭和50年)

後藤静一氏(岐阜市)より梵鐘が寄進され  
る。

9月14日 彦坂昌美師(彦坂信能師の息  
子)、禪源寺20周年慶讃法要を厳修。

### 1977年(昭和52年)

10月12日 直一泰徹師、二等教師に補  
任。

### 1978年(昭和53年)

4月 境内に大平山社殿(三好神社)完成。

### 1979年(昭和54年)

1月 宗務庁より三尊仏が寄贈される。  
8月31日 本堂完成。

### 1980年(昭和55年)

9月21日 開山25周年記念法要厳修。

<b>1981年(昭和56年)</b>	10月17日 第1回御靈祭り開催。
7月 直一泰徹師、第5代主任に就任。	
10月 護持堂完成。	
<b>1982年(昭和57年)</b>	<b>1995年(平成7年)</b>
2月 護持堂落慶法要厳修。	9月2日 開山40周年記念法要厳修。山門及び觀音堂落慶法要厳修。
4月 護持堂延命地蔵が寄進される。	
<b>1983年(昭和58年)</b>	<b>1998年(平成10年)</b>
5月 隣接地を購入。	6月 曹洞宗永昌山禪源寺聖典(日本語・ローマ字・ポルトガル語)250冊制作。
	11月3日 旧事務所の改築工事開始。
<b>1984年(昭和59年)</b>	<b>1999年(平成11年)</b>
2月 調理室完成。	3月末 事務所完成。
	4月 カラオケ部発足。
<b>1985年(昭和60年)</b>	<b>2000年(平成12年)</b>
2月 大平山社殿(三好神社)が秋田県人会より寄贈される。	7月2日 第1回慈善カラオケ大会開催(福祉団体へ寄付の為)。
9月14日 開山30周年記念法要厳修。	9月7日 コクエーラ地区モジ箱根の觀音祭がモジ市の行事に認定される。
<b>1987年(昭和62年)</b>	<b>2003年(平成15年)</b>
4月 大平山社殿(三好神社)がサレゾボリスへ移管される。	6月23日 本堂の床・調理室の改修工事、ガス貯蔵庫・ガス配管工事開始。
6月1日 禪源寺会館建設起工式厳修。	8月25日 工事完了。
<b>1990年(平成2年)</b>	<b>2004年(平成16年)</b>
3月 禪源寺会館完成。	3月15日 直一泰徹師、護持会が用意した借家へ移転。
9月9日 開山35周年記念法要厳修。禪源寺会館落慶記念式開催。	3月17日 事務所設置。佐藤イレー氏勤務。
<b>1992年(平成4年)</b>	7月1日 佐藤鴻舟師(富山県明禪寺)、南米別院より転任。
7月 山門工事開始。	
<b>1993年(平成5年)</b>	
2月 山門完成。	
3月 山門仮落慶法要厳修。	

**2005年(平成17年)**

9月11日 開山50周年記念法要厳修。

**2008年(平成20年)**

6月4日 佐藤鴻舟師、第6代主任に就任。

**2009年(平成21年)**

11月19日 直一泰徹師遷化。

**2012年(平成24年)**

11月18日 佐藤鴻舟師、晋山結制修行。



2012年 佐藤鴻舟師の晋山式



現在の法要の様子



Templo Budista Dokozan Busshinji (Rolandia)

## ローランジャ佛心寺



Address : Rua Paranagua 325,  
Rolandia, Estado do Paraná,  
PR CEP: 86600-000  
BRASIL

TEL : 55-43-3256-2191



### ◆寺院の歴史

1958年創立

### ◆御開山と歴代住職

開 山 八杉智鑑 (Yasugi Chikan)  
第2世 吉田道彦 (Yoshida Dogen)  
第3世 藤井寿源 (Fujii Jugen)  
第4世 佐藤鴻舟 (Sato Koshu)  
第5世 黒澤慈典 (Kurosawa Jiten)

### ◆現住職

黒澤慈典 (Kurosawa Jiten)



## 沿革史

### 1955年(昭和30年)

曹洞宗管長高階瓈仙禪師、佐瀬淳光師、特派開教師穀藏禪戒師が布教と宗門寺院建立の為北パラナ地方巡錫の折、マリンガ市に至る各コロニア中ローランジャが一番適当であると見なされ、寺院建立の地として選ばれた。

### 1958年(昭和33年)

11月 ローランジャにおいての最初の僧侶、八杉智鑑師着任。  
飯塚彌十氏宅にて開創上堂の法要を厳修。  
飯塚氏宅を布教の基地として42日間にわたって宿食を共にする。伯国開教第3の道場となる。  
11月末 八杉智鑑師、別院に転任。

### 1959年(昭和34年)

1月13日 吉田道彦師(宮城県洞林寺)、南米別院より転任し、第2代主任に就任。吉田師は当日から本堂落成まで利光実氏宅に礼拝所を設け、寝食を共にし布教活動に従事。

### 1960年(昭和35年)

2月 利光実氏を委員長に、寺院建立のための建設委員会が結成され、浅田卯一郎、高松良一、利光実の3氏が土地代金を寄付することになり、信徒一丸となって準備が進められた。  
10月9日、10日 本堂、庫裡落成。落慶入仏法要厳修。ローランジャ佛心寺の寺号が下付される。祝賀仮装行列が行われ

る。本堂内後方に位牌堂設置。繰出し位牌75体安置。

### 1965年(昭和40年)

10月25日 曹洞宗管長大本山永平寺貫首高階瓈仙禪師、宗務総長金剛秀一師と共に2回目の拝登。

### 1970年(昭和45年)

12月 吉田道彦師辞任、帰国。

### 1971年(昭和46年)

藤井寿源師(僧籍地不明)、第3代主任に就任。

### 1973年(昭和48年)

11月 会館建設。

### 1976年(昭和51年)

9月3日 福島県円通寺住職吉岡棟一師拝登。

### 1978年(昭和53年)

4月 中村良忍師(鳥取県補岩寺)、南米別院より転任。

### 1983年(昭和58年)

5月21日 ロンドリーナ在住西田茂夫氏による本尊並びに両祖像制作。ご本尊は西田氏による寄贈、両祖は護持会奉納。

### 1988年(昭和63年)

3月23日 青木俊亨開教総監、大畠天昇師による彼岸会厳修。  
青木総監、ローランジャ佛心寺の沿革史

を調書として本山へ提出するように佐々木庄七夫妻に依頼。

6月21日 日本より吉岡棟一、善波俊典、服部栄隆の3師が拝登。大畠天昇師が随行。午後15時より座談会を開き、新しい僧侶の派遣を要請。

12月6日 青木総監、大畠天昇師、来寺。翌年6月頃より、日本から新任住職を迎えるとの報告あり。佐藤鴻舟師(富山県明禪寺)が就任予定。利光実氏、五十嵐正雄氏、佐々木庄七氏への記念品、感謝状贈呈式を執行。

#### 1990年(平成2年)

4月8日 佐藤鴻舟師、第4代主任に就任。

#### 1993年(平成5年)

9月22日 観音祭、彼岸供養と共に佐藤鴻舟師の送別会。この時に当時の森山大行開教総監が、佐々木栄子氏、五十嵐美佐氏に佐藤師の帰国後の寺院の管理を依頼。1997年まで、佐々木栄子氏による住職代理。

12月14日 佐藤鴻舟師辞任。

#### 1997年(平成9年)

2月23日 吉田道彦師の実弟である吉田暉彦氏が、佐々木栄子氏に替って寺院の管理にあたる。

#### 2000年(平成12年)

9月9日 吉田暉彦氏、実弟である愛媛県高昌寺住職高嶋武彦師について得度。この時にローランジャ佛心寺40周年記念法

要厳修。サンパウロをはじめ、開創吉田道彦師の自坊、宮城県洞林寺、またモジ禪源寺からも参拝団が訪れる。

#### 2003年(平成15年)

7月21日 吉田暉彦師遷化。以後ロンドリーナ森岡春子氏(春圓)による住職代務。護持会長片木馨氏より、サンパウロ総監部宛に新住職派遣依頼の文書届く。

#### 2004年(平成16年)

4月1日 黒澤慈典師(静岡県増善寺)、第5代主任に就任。

#### 2005年(平成17年)

9月4日 ローランジャ佛心寺45周年記念法要厳修。宮城県洞林寺参拝団一行拝登。

#### 2006年(平成18年)

5月28日 ローランジャ佛心寺梅花講45周年記念式典厳修。

#### 2008年(平成20年)

日本人ブラジル移民100周年記念式典をローランジャ農業センターにて開催。

#### 2010年(平成22年)

10月9日、10日 ローランジャ佛心寺開創50周年記念式典厳修。

#### 2011年(平成23年)

6月12日 ローランジャ佛心寺観音講発足50周年記念式典厳修。



Templo Japonaes, Jionji

## 慈恩寺



Address : Calle Almirante Grau 618,  
San Vicente, de Cañete,  
Prov. Cañete, Dpt. Lima,  
PERU



### ◆寺院の歴史

1907年創立

### ◆御開山と歴代住職

開山 上野泰庵 (Ueno Taian)  
第2世 斎藤仙峰 (Saito Senpo)  
第3世 押尾道雄 (Oshio Doyu)  
第4世 佐藤賢隆 (Sato Kenryu)  
第5世 中尾證道 (Nakao Shodo)  
第6世 清広亮光 (Kiyohiro Ryoko)  
第7世 大城慈仙 (Oshiro Jisen)

### ◆現住職

大城慈仙 (Oshiro Jisen)

### ◆過去の所属僧侶

後藤古仙 (Goto Kosen)



## 沿革史

### 1899年(明治32年)

790人が佐倉丸にてペルーへ集団移民(第1回航海)。うち785人が耕地での就労者(全員男性)であった。苛酷な環境の下、初年度に98人が死亡。

### 1903年(明治36年)

両大本山布教師・軍営布教師であった上野泰庵師(兵庫県宝樹寺)が管長辞令で移民1,178人(第2回航海)と共に渡航。これにより南米に仏教がもたらされた。

ペルーに渡った上野師は、ペルー北部のトゥマン耕地のプランテーションに赴き、移民監督をしながら生活費を稼ぎ、布教に取り組んだ。同時期に、浄土宗の樹下潜龍師はリマ郊外のサンタ・クララ耕地に、同じく浄土宗松本赫然師はカニエテ郡カサ・プランカ耕地に赴任しているが、翌年までに移民たちとの折り合いがつかず辞職、数年のうちに帰国している。

### 1905年(明治38年)

移民の中で殺傷事件が発生、1,134人の日本人全員解雇となり、上野師は移民たちを引き連れてリマ南150kmのカニエテ郡サンタ・バルバラ耕地に再雇用されていった。

### 1907年(明治40年)

移民たちの喜捨によりカニエテ郡サンタ・バルバラのブリティッシュシュガー社敷地の借地に慈恩寺創建。佛徳山(一説に太平山)南漸寺と称す。

小規模であるが、日本の寺院の建築様式であった。上野師の活動は死者供養とともに、各宗が当時世界各地で展開していた布教、伝道活動に向けられていた。

### 1908年(明治41年)

4月 大本山永平寺貫首森田悟由禪師および大本山總持寺貫首石川素童禪師より山号寺号下附。「泰平山慈恩寺」  
南米最古の日本人小学校サンタ・バルバラ日本人小学校が慈恩寺隣接地に開校。押尾師は日本人小学校の教鞭もとっていた。

### 1917年(大正6年)

2月 斎藤仙峰師(山形県積雲寺)がペルーへ渡る。  
8月 斎藤仙峰師、第2代主任に就任。上野泰庵師辞任、帰国。

### 1919年(大正8年)

4月5日 斎藤仙峰師遷化。  
7月 押尾道雄師(広島県龍雲寺)布教師補に就任。押尾師は広大な土地を法要、布教のために移動するため常に馬に乗っていたという。この頃から、移民たちは耕地から都市へ移住するものが多くなった。

### 1922年(大正11年)

斎藤師の墓地が慈恩寺境内に建立される。(2004年にカサ・プランカの日本人墓地に移設)。リマ日本人学校開校。

### 1923年(大正12年)

日本からペルーへの移民契約が廃止。こ

の年までに17,764名もの日本人がペルーへ移住した。

#### 1925年(大正14年)

ブリティッシュ・シュガー社倒産により、慈恩寺の立退きを求められ、カニエテ郡サン・ルイス町の民家を購入し移転。

#### 1926年(昭和元年)

佐藤賢隆師(山梨県慈眼寺)に駐在布教師の辞令公布。

#### 1927年(昭和2年)

4月 押尾道雄師辞任、帰国。押尾師は後に朝鮮半島で布教に従事、終戦後日本に引き上げた後、数年後に遷化された。  
同年、佐藤賢隆師着任。リマ市サムジオ街に布教所「慈光会」を開設。  
この時期には日系人は都市部に移住するものが増え、最盛期には各耕地500人を超えていた日系人は総数で100家族程度になっていた。

#### 1932年(昭和7年)

初期の移民たちを祀るための施設としてカニエテ郡カサ・プランカ郊外に日本人無縁塔(納骨堂)建立。カサ・プランカ郊外には日本人墓地が既にあり、墓標は木の杭で作られたり墓石や棺無しで埋葬されていることが多かった。1932年に墓地が改修整備された。この頃から各地に日本人墓地が作られ整備されていった。

#### 1935年(昭和10年)

7月 佐藤賢隆師遷化。慈光会閉鎖。

同年、中尾證道師(茨城県正福寺)布教師補に就任。

しかし、中尾師はカニエテ住民と仲違いをし、慈恩寺には晋住せずリマへ移住。

#### 1938年(昭和13年)

リマ市サン・クリスター・バル街に南米山中央寺を建立。中尾證道師、第5代主任に就任。  
サンタ・バルバラ小学校閉校。  
戦況は悪化の方向に向かう。在留民精神総動員運動始まる。

#### 1940年(昭和15年)

秋山照禪師(岡山県上合寺)がペルーに渡り長期滞在。各地で大政翼賛の立場から仏教講話、坐禅などの指導を行った。このころの各宗仏宗教団は国民精神総運動を推進する役割を担っていた。リマ市で排日大暴動発生。

#### 1941年(昭和16年)

日米開戦、ペルーの対日抗戦により慈恩寺は荒廃し、無縁塔は倒壊した。中央寺閉鎖。ペルー各地に設置されていた学校も日米開戦により強制的に閉鎖。日本人自治村も消滅。耕地時代の終焉を迎える。

#### 1942年(昭和17年)

ペルーと日本の国交断絶。アメリカの収容所への強制連行が始まる。日系人及び日本人移民はラテンアメリカ諸国の警察によって逮捕され、アメリカ海軍の艦艇でアメリカに連行された。第二次世界大戦中、延べ13カ国2264人の日系人及び

日本人移民がアメリカ国内の強制収容所に強制連行されたが、そのうちの8割、1,771人(80%)はペルー移民及びその日系子孫のペルー人であった。中尾證道師は、南洋テニアン島詰布教師となるが、戦時の混乱の中消息が不明となった。

#### 1945年(昭和20年)

終戦に伴い、アメリカの収容所から80名がペルーに戻る。数百人はアメリカに残留。

#### 1951年(昭和26年)

在留邦人の要請により新開至蹟師ペルーに渡り、慈恩寺に入る。但し新開師は真宗系の僧侶で、曹洞宗の僧籍は持たない。ペルーでは読経業者による読経師による時代となる。読経師として新開師が活躍。

#### 1952年(昭和27年)

新開至蹟師により倒壊した無縁塔が再建され、各地に日本人慰靈塔が開設された。

#### 1953年(昭和28年)

新開至蹟師遷化。慈恩寺は無住となり、数人の読経師が盆と彼岸法要を勤める状態が続く。

#### 1961年(昭和36年)

11月 曹洞宗管長辞令により清広亮光師(佐賀県妙音寺)、第6代主任に就任。立身未了のため宗制上は住職ではないが、寺門護持に尽力した。

#### 1962年(昭和37年)

カニエテ郡サン・ビセンテ公営墓地に日本人慰靈碑建立。

#### 1974年(昭和49年)

リマ一帯が大地震に見舞われ、慈恩寺が損壊した。

#### 1977年(昭和52年)

曹洞宗宗務庁、福島県円通寺、日系人、日系企業等からの寄進によりカニエテ郡サン・ヴィセンテ・デ・カニエテ町に慈恩寺が再興される(2度目の移転)。

#### 1990年(平成2年)

フジモリ大統領就任。大規模な経済改革を実行しペルーのマクロ経済は安定を取り戻し、ガルシア政権下で落ち込んでいた外国との貿易額も劇的に改善した。

#### 1992年(平成4年)

清広亮光師遷化。葬儀はカトリック形式で行われた。これ以降、曹洞宗僧侶不在の時期がしばらく続く。

#### 1995年(平成7年)

浄土真宗本願寺派など他宗僧侶たちがペルー日系人協会公認のもと、慈恩寺を管理するようになった。

#### 2000年(平成12年)

宗務総長大竹明彦師が慈恩寺を訪問、他宗僧侶が常住する問題の解決を図った。

**2001年(平成13年)**

元日本語ペルー新報記者太田宏人氏より慈恩寺の位牌リスト「IHAI」贈呈される(太田宏人編・曹洞宗宗務庁発行)。慈恩寺に祀られている2,000名を超える位牌のデータを纏めた資料。

**2004年(平成16年)**

8月 宗務庁主催「南アメリカ開教100周年行事」開催。慈恩寺、リマ市北部郊外に散在する日本人墓地や日本人慰靈塔を巡回。

**2005年(平成17年)**

日系アルゼンチン人の大城慈仙師(山口県弥勒寺)がペルーへ渡る。

**2007年(平成19年)**

11月3日 慈恩寺開山100周年記念法要を厳修。その際、麻生太郎外務大臣(当時)より寺誌プレートが送られた。

**2008年(平成20年)**

南アメリカ国際布教師として大城慈仙師任命。リマ市を拠点としながら、慈恩寺に月一回程通い法務等を行う。

**2009年(平成21年)**

4月1日 大城慈仙師、国際布教師に任命。

**2010年(平成22年)**

ペルー移民の日に伊豆大島・富士見観音で日系先没者追悼会厳修。

**2013年(平成25年)**

8月24日、25日 南アメリカ国際布教110周年記念行事開催。

**【南アメリカ地区 参考文献】**

- 『Soto Zen Buddhism International Symposium』2012年 Soto Zen Buddhism International Center
- 『南アメリカ国際布教総監部同大本山南米別院佛心寺創立50周年慶讃法会』2009年 曹洞宗南アメリカ国際布教総監部
- 『足立小平治叙伝』
- 『鞍藏禪戒老師略年譜』
- 『オブリガード佛心』2000年 錦柳山洞林寺編
- 『宗報』明治35年 第142号 論説「海外布教」
- 『宗報』平成15年8~10月号 国際インフォメーション 太田宏人
- 『宗報』平成21年9月号 国際インフォメーション 大城慈仙
- 『110年のアルバム』日本人ペルー移住110周年記念誌 現代史料出版・2009年・太田宏人
- 『SOTO禪インターナショナル会報』26号(SZI・2004年)ペルーにおける曹洞禪開教100年の軌跡・太田宏人
- 『慈恩寺考』曹洞宗総合研究センター学術大会紀要・2011年・太田宏人



# アジア地区

Asia



## アジアの布教 概説

現在、曹洞宗の国際布教総監部が置かれている地域を見てみると、ハワイ・北米・南米・欧州となっていて、アジア圏への国際布教は、少なくとも教団の公式なレベルでは行われていないといえる。

それには、鎖国による日本人の出国を制限していた江戸時代が終わり、明治時代になってから、第二次世界大戦敗戦に至る過程と密接に関係がある。

曹洞宗は、大日本帝国時代の日本が、その帝国主義のままに世界各地に植民地を広げていくのに呼応しながら、アジア圏における開教を行った。だが、第二次世界大戦の敗戦により、それらの行動は直ちに全て断ち切られ、むしろ、現代ではその時代は反省すべき歴史のひと幕になっている。

よって、本論もその時代を反省する立場に立ちつつ、後は機械的に、アジア開教について述べていきたい。

曹洞宗のアジア開教は、樺太（かつては北海道も含まれた）・朝鮮半島・満州・中国・台湾と行われた。開教方法は、一般的に先達となる僧侶が現地に入り、そして寺院を建立（この寺院の規模については、移民者コミュニティとの関わり方などで多種多様であったらしい）することを最初とする。そして、その事実を追うように、宗務局（現在の宗務庁）の側で関連の宗制を作り、その最中で、各開教地を両大本山貫首猊下が御親化されたり、特派された布教師が巡錫したりした。組織的にも、最初は小規模の開教所・寺院の建立に続いて、総監が置かれるようになるという段階を踏んだ場合が多い。

また、関連する当時の宗制（開教地布教関連）を見てみると、まずは「本邦より移住せる者」を優先し、その他の者へも布教伝道するとある。更には、寺院近くに教育機関などを作り、そこで、移住者への教育を行うことを目的にしていた。また、聞いた限りでは簡単な工場などの労働場所を提供した場合もあったという。よって、結局、曹洞宗関係者によって開かれた海外開教寺院の多くは、ほとんどが移民者を相手にした、ある意味旧来型の寺院であって、部分的には各地に日本文化を広めていったといえる。後者については、いわゆる同化政策加担ということだが、その一端に明らかに関わった事実は反省されるべきものと思う。

それでは、どのような状況でアジア開教が進められたのか、関連する事項を探り上げながら、以下には略年表の形で申し上げたい。

1890年(明治23)	武田範之が朝鮮半島に進出。
1893年(明治26)	長崎皓台寺に安居していた僧侶3名がシンガポールに渡る。
1895年(明治28)	両大本山によって命じられて従軍していた佐々木珍龍が、台湾全島を調査し、台湾曹洞宗大本山別院を建立。
1896年(明治29)	「台湾島布教規程」制定、台北に曹洞宗務支局設置。
1903年(明治36)	この頃、フィリピンのマニラに徳光山南天寺を建立。
1905年(明治38)	従来現地に入っていたながら死去した村松良寛の代わりに入った長田觀禪が、朝鮮半島の釜山に總泉寺を建立。
同年	年末に樺太を織田活道・有田法宗が視察。
1906年(明治39)	樺太大泊に梅溪寺を建立。
同年	「台湾布教規程」制定。
1907年(明治40)	正月に日置黙仙が満州・朝鮮を巡錫し、日露戦争戦没者慰靈のための護国塔を満州に設置。

同年	「曹洞宗朝鮮開教規定」公布。
1908年(明治41)	「曹洞宗樺太開教規程」制定。
同年	「曹洞宗韓國開教規定」制定。
同年	「曹洞宗満州開教規定」制定。
1911年(明治44)	台湾布教総監を置く。
同年	シンガポールに仏教山西有寺を建立。
明治時代末期、アジア各地で宗門に寺号公称を認められていたのは、朝鮮14カ寺、台湾7カ寺、満州5カ寺、樺太4カ寺。	
1914年(大正3)	第一次世界大戦に従軍した青木禪戒が、青島に曹溪寺を建立。
1920年(大正9)	「曹洞宗樺太布教規程」制定。
1927年(昭和2)	朝鮮半島の京城の曹溪寺に両大本山別院を設置。
1929年(昭和4)	「朝鮮布教法」を制定・施行。

このように、日本が帝国主義的膨張を行い、それに伴って移民活動が活発化するのに合わせて曹洞宗の開教も広がり、寺院も増えていった様子が分かる。全ては挙げなかったが宗制も、その都度状況に合わせて制定・改正がされている。

特に台湾は、1895年に日清戦争に伴って締結された「下関条約」で日本へ割譲されたため、同地への開教は早かった。また、朝鮮半島へはむしろ、1910年(明治43)の併合を前に武田範之が進出するなど、場合によっては僧侶が先に入していく状況もあったようである。

そして、上記の内容については、前項で述べた通り、1945年(昭和20)8月・9月に及んだ太平洋戦争敗戦にともなって状況が一変し、ほぼ完全に断ち切られた格好である。また、その後の伽藍や法物等の扱いについては、遺った物は現地に置いてきたり、朝鮮半島では曹溪宗へ委譲としたとも聞いているが、詳細については『曹洞宗海外開教伝道史』(1980年、曹洞宗宗務庁)が回収図書の現状、これ以上を述べる状況に無い。

アジア開教については、現状でも東アジア各国と日本との関係が決して良好とはいえない状況、これらの事項をどのように総括するかは、極めて難しい問題であると考えられる。宗制を確認する限り、移民者相手という基本線があったように思われる。移民自体がそうだと言われればそれまでだが、果たして、これらの活動が本当に、「日本帝国主義の尖兵」といえるほどの状況であったかどうかは、今後の客観的研究に委ねるべきであると思う。よって、本論では、部分的にそのような状況があった可能性が指摘できることを遺憾に思い、真摯に反省されるべきだという指摘に留めておく。

なお、東アジアへの布教を目指して、当時の曹洞宗では『修証義』に漢訳・鮮訳が作られ、また一部の宗侶有志によって、『正法眼藏』『伝光録』などの漢訳が作られた。これらも、実際の開教にどう利用されたのかは不明であるが、そのような事実があったことは付記しておきたい。

参考資料／『曹洞宗全書』「年表」卷

宮城県 城国寺副住職  
曹洞宗総合研究センター 専任研究員  
曹洞宗 広報委員  
菅原 研州 記

Nihonji

## シンガポール日本寺



Address : 134 Chuan Hoe Avenue,  
SINGAPORE, 0923



### ◆寺院の歴史

1911年創立

### ◆御開山と歴代住職

- 第1世 积種模仙 (Shakushu Baisen)
- 第2世 大塚智船 (Otsuka Chisen)
- 第3世 北川單傳 (Kitagawa Tanden)
- 第4世 堀江大給 (Horie Daikyu)
- 第5世 堀江晴行 (Horie Seiko)

### ◆管理担当

横山敏明 (Yokoyama Binmyo)



## 沿革史

### 1888年(明治21年)

日本寺のある日本人共有墓地は、事業主として成功した二木多賀治郎氏が自己所有のゴム林の一部を提供したことに始まる。それまでは、当地で死去した日本人の遺骨は牛馬の棄骨場などに埋められており、そのことを悲しんだ二木氏は、渋谷吟治氏、中川菊三氏と連名でチュアン・ホー・アベニューの土地8エーカーを日本人共有墓地として使用する申請を英國植民地政府に提出した。

同年、二木氏により「共済会」発足。

### 1891年(明治21年)

英國植民地政府から日本人共有墓地としての使用許可を取得。

### 1896年(明治26年)

兵庫県出身の釈種模仙師がシンガポールに渡り、日本人共有墓地に草庵を営む。

### 1911年(明治44年)

釈種模仙師、墓地内に曹洞宗釈教山西有寺を建立。

寺号の命名は釈種模仙師の旧師、日置默仙師によりなされた。

### 1912年(明治45年)

2月 釈種模仙師遷化。

### 1915年(大正4年)

日本人会が設立され、共済会と協同で墓地管理を行う。

### 1916年(大正5年)

大塚智船師、第2代住職に就任。

### 1920年(大正9年)

北川單傳師、第3代住職に就任。

### 1924年(大正13年)

堀江大給師、第4代住職に就任。

### 1926年(昭和元年)

堀江晴行師、第5代住職に就任。

### 1942年(昭和17年)

昭南島市政庁と在留邦人による「昭南奉公会」に墓地管理が委ねられる。

### 1949年(昭和24年)

敵産処分法により日本人共有墓地が接收される。

### 1953年(昭和28年)

敵産処分下に置かれたままで、日本総領事館に墓地管理が移される。維持管理されることの無かった旧西有寺は、白蟻により朽ち果ててしまった。

### 1957年(昭和32年)

戦後の日本人会が発足し、墓地管理にあたる。

### 1960年(昭和35年)

日本総領事館により、墓地内に御堂が建立され、市内の妙法寺と西本願寺にあった遺留品を御堂に保管。

**1969年(昭和44年)**

福田庫八郎氏他3名がシンガポール高等裁判所に日本人共有墓地の土地の返還を申請し、許可を得る。

**1973年(昭和48年)**

シンガポール政府が日本人墓地を含む市内42カ所の墓地の埋葬禁止令を発令。

**1978年(昭和53年)**

日本人学校の追加用地確保のため、日本人共有墓地8エーカーの土地をシンガポール政府に返還。

**1985年(昭和60年)**

曹洞宗により御堂が再建され、日本人会に寄贈される。「曹洞宗日本寺」。シンガポールでの正式名称は、「シンガポール日本人墓地御堂」。

**1987年(昭和62年)**

シンガポール政府より、日本人共有墓接収の告知がある。  
当時の橋本恕大使がダナバラン外相に陳情し、リースによる墓地存続が許可される。許可期間は1989年1月5日から30年間と更に20年間のオプション。

戦後の日本人会発足30周年記念事業として、シンガポールの公園法に基づき、日本人共有墓地の公園化工事を挙行。

これにより名称を日本人共有墓地から日本人墓地公園に改める。

**1991年(平成3年)**

日本人墓地開基100周年記念植樹式が行われる。

**1999年(平成11年)**

6月現在 墓地面積 29,359平米、墓標数910基。神奈川県西有寺および関係有志により、毎年6月4日に開山忌および施食会法要が営まれている。



日本寺

## 【アジア地区 参考文献】

日本人墓地公園掲示『日本人墓地公園の沿革』  
西海裕貴 2009、「シンガポール日本寺 開山忌法要に隨喜して」『会報』第41号。  
SOTO ZEN INTERNATIONAL.

## 「伝道史年表 曹洞宗国際布教及び関係事項(各宗海外伝道含)」

### 【凡例】

- ① 敬称を略しました。
- ② ハワイ布教総監部・ハワイ開教総監部、北アメリカ開教総監部、南アメリカ開教総監部は、現在それぞれハワイ国際布教総監部、北アメリカ国際布教総監部、南アメリカ国際布教総監部となっていますが、本書では当時の名称で表記しました。
- ③ 曹洞宗両大本山ハワイ別院正法寺、曹洞宗両大本山北米別院禪宗寺、曹洞宗両大本山南米別院佛心寺については、それぞれハワイ別院、北米別院、南米別院と略して表記しました。
- ④ 国際布教師とは宗制では「本宗の2等教師以上の教師のうちで、管長の任命を受け当該国際布教総監の指示を受けて布教教化に従事する者」をいいます。しかしこれらの定義に当てはまらないが実際現地で布教にあたった者もおり、本書では明確な区別を行っていません。
- ⑤ ( )内は、各々の当時の僧籍地を表しています。
- ⑥ 各項目中、年月日の不明なものは、その年の下部に・より始めて記載しました。
- ⑦ ハワイにおける「法務担当」とは、宗制に則した名称ではなく、ハワイ布教の独自性による名称です。
- ⑧ ハワイの洞門寺、曹洞寺に関しては現在廃寺となっていますが、ハワイの国際布教の歴史を伝える上で欠かせないものとして記載しました。
- ⑨ 本書のすべてにつきましては、平成25年12月現在SOTO禪インターナショナルが入手出来得た資料に基づいてまとめられたものです。訂正すべき情報がありましたら、SOTO禪インターナショナル事務局までお知らせください。
- ⑩ 本宗では僧侶の敬称は「師」で統一されていますが、本書では国際布教の歴史的背景を明確にするために、あえて「尼」という敬称を用いました。

# 伝道史年表

## 曹洞宗国際布教及び関係事項(各宗海外伝道含)

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師 (開教師) 動静	仏教界一般	社会一般
万延元年 (1860)				3月17日 日米修好通商条約の批准書を交換するため、遣米使節団一行がアメリカ軍艦ポーハタン号にて太平洋を横断。咸臨丸は別船としてサンフランシスコに入港。 ・桜田門外の変。
慶応2年 (1866)				5月21日 德川幕府、留学生・貿易商人の海外渡航を許可。
慶応4年 (1868) 明治元年				5月 ハワイに農業労働者渡航(150名)。グアムに農業労働者渡航(40名、3年後に連れ戻される)。 10月 明治に改元。
明治2年 (1869)	12月 政府は永平寺、總持寺の本山たることを確認する。		6月 真言宗大谷派、北海道開教を政府に出願する。	6月 北米大陸横断鉄道完成。 ・オランダ商人エドワード・スネール、日本を遙れるため、会津藩士等を伴い渡米する。北米移民第一団となる(カリフォルニア州サクラメント若松植民地)。 ・スエズ運河開通。

明治3年 (1870)	7月 大本山總持寺、五院輪番制を 廢す。 7月25日 大本山總持寺第1世に梅 崖美堂禪師就任。		・サンフランシスコ大地震。 ・駐米公使館開設。
明治4年 (1871)	10月9日 大本山永平寺第61世に久 我環溪禪師就任。		
明治5年 (1872)	2月 曹洞宗单独宗名を称す。 5月 曹洞宗、宗衛(ギヨ・ガ=役所 の意)東京芝青松寺内に設置。	・西本願寺歐米視察 団5名派遣(仏教渡米 史)。	
明治9年 (1876)	「曹洞宗教会条例」公布。		
明治13年 (1880)	2月16日 大本山總持寺第2世に畔 上権仙禪師就任。		
明治14年 (1881)			
明治15年 (1882)			
明治16年 (1883)	1月 麻布に曹洞宗大學林建つ。 10月24日 大本山永平寺第62世に 青藤雪鴻禪師就任。 11月21日 謂谷琢宗、宗務局總監に 就任。	・ハワイ公使J.M.カベナ来日。 ・日本移民の誘致申し入れ。日 本の人口3670万人。	

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
明治17年 (1884)				4月23日 ハワイ政府の移民誘致に対し、日本政府承諾。
明治18年 (1885)	11月6日 大本山永平寺第63世に瀧谷琢宗禅師就任。 ・「曹洞宗宗制」公布。			・ハワイ移民再開。第1回官約移民945名ホノルルに入港。
明治20年 (1887)			8月 西本願寺学徒は「歐州仏教通信会」を創立し、「反省会雑誌」創刊号を発刊し、英訳仏典の刊行に着手する(渡米史22)。ハワイ各島を巡り日本人に布教。	4月 北米在留邦人2,000人に達す。
明治21年 (1888)				7月15日 磐梯山噴火(福島県)。
明治22年 (1889)				・ハワイの真宗本願寺派日蒼龍とヒロ市移民監督官木村齊治、ヒロ市に教会堂を建設、本願寺ヒロ別院の前身となる(渡米史232)。
明治23年 (1890)				・「曹洞宗教会修証義」公布。

明治24年 (1891)			3月 アメリカは移民条例を改訂、貧困移民の入国禁止。
明治25年 (1892)	1月 大本山永平寺第64世に森田悟山禪師就任。	1月 米国軍はハワイ島ヒロに上陸し、王制の廢止と米国への合併を宣言し、臨時政府を樹立。市民軍は王宮を占領したが、リオカラニ女王は流血をさけてこれに服従する。	
明治26年 (1893)	3月 長崎県皓台寺安吾の糀種櫻仙、好城道法、北野精珠の3人は海外布教を発起し、同寺住職森玉仙の賛成を得てシンガポールに渡る。	9月 米国シカゴに於いて万国宗教大会開催。新宗演、士宣法龍、八洞蟠等6名の日本人宗教者が出席する(明教新誌、渡米史)。臨濟禪の渡米はこの時をもつて始まる。E.C.ヘーデラー、ポール・ケラースは後に「佛陀の福音」を著し、新宗演はこれを鈴木大拙に翻訳させる。	・日本政府はハワイ在留民保護のため、軍艦二艘を派遣。ハワイからガテマラへ140名転住。
明治27年 (1894)			・日清戦争勃発。
明治28年 (1895)			・日清講和条約調印。
明治29年 (1896)			・ハワイのハマクツに浄土宗初めての仏教第1回オリエンピック、アテネにて開催される。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
明治29年 (1896)			会堂を落成。	
明治30年 (1897)		6月 千崎如幻渡米し、のち臨濟禪の伝道を志し、西海岸中心に英語伝道に一生をささげる。 ・西本願寺、宮本惠順をハワイに特派し、その報告により各布教所を公認し、開教使を派遣する。	・在米同胞1万3,000人に達す。	
明治31年 (1898)	4月 能登總持寺焼失。		2月 本派本願寺・里見法爾、ハワイ布教のため渡航、開教監督となる。 7月 西本願寺の本多恵隆、宮本惠順らが海外布教事情視察のため渡米し、サンフランシスコに仏教青年会を発足。	7月7日 米国ハワイ合併宣言。 ・米国に日本人敗訴運動起る。 7月 ハワイ国日本移民事件解決(ハワイ政府、日本政府に7万5,000ドル支払い)。 ・米国、フィリピンを領有。
明治32年 (1899)			9月14日 西本願寺の開教使はサンフランシスコに出張所を開所。	4月 南米ペルーへ第1回契約移民790名渡航する。風土病のため死亡者15%にのぼり、移民中の仏具師が葬儀執行する。 12月 ハワイにおいてベスト

		予防の名目で、官憲による中国人、日本人商店街の焼き打ちあり。 これを機に、ホノルル日本人会発足する。
明治34年 (1901)	3月19日 大本山總持寺第3世に西有穆山禪師就任。	
明治36年 (1903)	3月 河原仙英、菅良雲を同胞懇問使としてハイワイへ派遣す(渡米史)。 3月18日 河原仙英、オアフ島ワイパフに仮布教所を開設。 3月 菅良雲、カウアイ島ワイアワに仮布教所を開設。 3月 菅良雲、カウアイ島ワイアワに布教所を開設。曹洞宗ハワイ布教のはじまり。 ・上野泰庵、管長辞令で移民(1,178名)と共にペルーへ渡航。南米布教のはじまり。	3月18日 河原仙英(広島県龍雲寺)、オアフ島ワイパフに仮布教所を開設。 3月 菅良雲(広島県龍雲寺)、カウアイ島ワイアワに仮布教所を開設。 ・上野泰庵、ペルーへ渡航。
明治37年 (1904)	・「海外布教者補助資金支出規定」制定。 ・平井隆機、オアフ島カワイロアに仮布教所を開設。 ・植岡祖暉(広島県徳寿院)、オアフ島アイエアに仮布教所を開設。	2月 日露戦争勃発。
明治38年 (1905)	1月 曹洞宗大学林を曹洞宗大学と改称。 4月16日 大本山總持寺第4世に石川素堂禪師就任。	9月5日 日露戦争講和条約調印。 11月 アメリカで黄禪説さかん、排日運動激しくなる。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
明治39年 (1906)	・「曹洞宗宗制」改定。「曹洞宗布教規定」成立。	11月7日 植岡祖暉、オアフ島アイエアよりマウイ島バイアに移住。		・南滿州鉄道株式会社(満鉄)設立。
明治40年 (1907)	・植岡祖暉、マウイ島に満徳寺建立。本山より「馬頭山満徳寺」の寺号下付。 ・上野泰庵、ペルーのカニエテに南漸寺建立。	3月 植岡祖暉、マウイ島にマウイ満徳寺建立。 ・上野泰庵、ペルーのカニエテに南漸寺建立。		・アメリカで、日本移民制限法成立。
明治41年 (1908)	4月 ペルーの南漸寺へ、「泰平山慈恩寺」の寺号下付。	6月5日 河原仙英、ワイバフ布教所にて遷化。 11月 岡田大豊(広島県金蓮寺)、ワイバフ布教所に就任。		・日本からブラジルへの第1回移民。
明治42年 (1909)		5月 矢原豊洲(広島県慶寿院)、カウアイ島ワヒアワ布教所に就任。 6月 菅良雲、カウアイ島ワヒアワ布教所より辞任帰国。		
明治43年 (1910)		・児玉介石(東京都大福寺)、マウイ満徳寺に就任。	1月 淨土宗經營布哇女学校開校。	・ハワイにおける日本人人口は、45%の7万9,000人となる。
明治44年 (1911)	7月 大森禪戒、歐米の視察より帰る。 ・般種堪仙、シンガポールに「般教山西有寺」を開設。 ・大本山總持寺、鶴見遷祖式及び放光堂上棟(宗報)。			3月20日 米国カリフォルニア州で、日本人の土地所有禁止案可決。 ・辛亥革命。
明治45年 (1912) 大正元年		2月 般種堪仙、シンガポール西有寺にて遷化。		2月25日 三教会同。内相原敬は宗教を国家目的に沿わせるため神道、仏教、キリスト教改める。 ・ロシアに社会民主労働党(ボルシェヴィキ)成立。

		教の代表を招き懇談会を開く。 ・高野山真言宗の青山秀泰、ロサンゼルスに米国大師教会を開設する。 ・ドイツ、ハレー市に仏教生活聯盟生まれる(佛教雑誌)。	7月30日 大正に改元。
大正2年 (1913)	2月 磐部峰仙、本重和助の招きにより、オアフ島ホノルルの薬師堂(光永良悟建立)にて布教開始。 4月 薬師堂を曹洞宗ハワイ仮別院とする。 ・曹洞宗大学、駒沢に移転。	2月24日 磐部峰仙(山口県華嚴寺)、オアフ島にて布教開始。 3月5日 佐藤昇雲(岐阜県千手院)、ワイバフ布教所に就任。	5月2日 カリフォルニア州議会上院で排日土地法案可決(8月11日より実施)。 ・在米日本人95,483人に達する。 ・ブラジル移民地入植始まる(定着移住の始まり)。
大正3年 (1914)	7月 児玉介石、ハワイ島コナに布教所開設。	3月 花井嵩松(三重県万寿寺)、ワイバフ布教所に就任。 5月 岡田大豊、ワイバフ布教所を辞任。米本土に転出。 7月25日 児玉介石、マイ満徳寺より、ハワイ島コナへ転出、布教所を開設。	7月28日 第1次世界大戦勃発。 8月23日 日本がドイツに戦布告。
大正4年 (1915)	3月28日 大本山永平寺第65世に福山黙童禅師就任。 10月4日 ハワイ島コナ布教所に「白峰山大福寺」の寺号下付。	6月 荒原見山(岐阜県大隆寺)、カワイロア布教所に就任。 7月 竹中修道(広島県福寿院)、カウアイ島ワヒアワ布教所に就任。 9月 矢原豊洲、カウアイ島ワヒアワ布教所より辞任帰國。 10月 江沢白道(山口県洞玄寺)、ハワイ仮別院に就任。	・在米仏教界はハバマ運河開通を記念して、サンフランシスコに「万国仏教大会」を開催し(7月)、日本各宗代表日置黙仙、日本仏教會代表山上曹源等6名が参加(渡米史51)。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
大正4年 (1915)		12月 平井隆機、カワイロア布教所より辞任帰国。	日置黙仙はホノルル別院に1ヵ月滞在し布教に勤む。 7月10日 日置黙仙、山上曹源等米国大統領ヴィルソンに会見。	
大正5年 (1916)	4月 江沢白道、ハワイ島ヒロに新町布教所を開設。 5月26日 大本山永平寺第66世に日置黙仙禅師就任。 12月27日 「ハワイ布教規定」・「朝鮮布教規定」制定。	4月6日 江沢白道、ハワイ仮別院よりハワイ島ヒロ市に転出。新町布教所を開設。 6月20日 佐藤昇雲、ワイバフ布教所を辞任。米本土に留学。 10月18日 津田黙龍(山口県淨光寺)、ハワイ仮別院に就任。 12月15日 井上道雄(岐阜県雲龍寺)、ワイバフ布教所に就任。 ・大塚智船(僧籍地不明)、シンガポール西有寺に就任。	12月 大谷派ハワイ別院(ホノルル)、真言宗別院(ホノルル)開設。	
大正6年 (1917)		2月 斎藤仙峰(山形県積雲寺)、ペルー慈恩寺に就任。 6月 神原義孝(広島県法常寺)、ハワイ仮別院に就任。 6月24日 村上彌宗(山梨県宝林寺)、ハイ島ヒロ市の新町布教所に就任。 8月 上野泰庵、ペルー慈恩寺より辞任帰国。 9月 花井嶺松、ワイバフ布教所より辞任帰国。 10月15日 中山宝瑞(新潟県潮山寺)、ワイバフ布教所に就任。	3月12日 ロシア2月革命。同月15日、ロシア皇帝退位。 10月 ハワイ・ホノルル日蓮宗布教所が落慶(連報)。	

大正7年 (1918)	4月14日 ヒロ新町布教所に「白峰山大正寺」の寺号下付。 7月17日 谷田黙龍、オアフ島アイエアに布教所開設。	3月25日 磬部峰仙、ハワイ布教管理に就任。 6月16日 墓浦明道(静岡県光明寺)、コナ大福寺に就任。 7月17日 谷田黙龍、オアフ島にアイエア布教所を開設。 7月 児玉介石、コナ大福寺より辞任帰国。 ・神原義孝、ハワイ仮別院よりマウイ満徳寺に転任。	11月11日 第1次世界大戦終結。 ・ペルサイユ条約。 ・中国国民党発足。
大正8年 (1919)	11月9日 「ハワイ曹洞宗婦人会」発足。	4月5日 斎藤仙峰、ペルー慈恩寺にて遷化。 6月8日 井上富山(新潟県光明寺)、ヒロ大正寺に就任。 7月17日 駒形善教(新潟県龍谷寺)、ハワイ仮別院に就任。 7月26日 小畑大拙(愛媛県実法寺)、カワイロア布教所に就任。 7月 柳尾道雄(広島県龍雲寺)、ペルー慈恩寺に就任。 9月15日 江沢白道、ヒロ大正寺より辞任帰国。	11月2日 米国カリフォルニア州議会、排日土地法案を可決。 ・アメリカ行写真結婚の花嫁に対する旅券発給停止。 ・国際連盟成立。
大正9年 (1920)	10月23日 大本山永平寺第67世に北野元蜂禅師就任。 12月23日 大本山總持寺第5世に新井石禅禅師就任。	2月29日 荒原見山、カワイロア布教所より辞任帰国。 5月 木下鑑牛(大阪府梅林寺)、カワイロア布教所に就任。 5月 竹中修道、カウアイ島ワヒアワ布教所より辞任帰国。 5月 村上頸宗、ヒロ大正寺よりカウアイ島ワヒアワ布教所に転任。 8月 井上道雄、ワイバフ布教所より辞任帰国。	

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
大正9年 (1920)	・北川翠傳(僧籍地不明)、シンガボール西 有寺に就任。			
大正10年 (1921)	5月 曹洞宗宗務院、芝新堀町の新 館に移転。 6月 新井石禅禪師、ハワイ別院入 仏開堂式並びに米国巡錫のため渡米。 7月3日 ハワイ仮別院をハワイ曹洞 宗別院として認可。 9月 新井石禅禪師、米国大統領ハーヴ ィングに会見。	8月10日 石黒法龍(東京都大光寺)、カワ イロア布教所に就任。 9月 木下鑑牛、カワイロア布教所を辞任。 米本土に留学。	2月12日 大本教不 敬事件。 8月 ハワイの大谷派 別院落成。	7月 ハワイ、外国语学校取 締法施行される。 ・中国共産党成立。
大正11年 (1922)	11月 磯部峰仙、ロサンゼルスに「曹 洞宗北米仏教会」開設。	2月27日 伊藤梅芳(新潟県大榮寺)、カウ アイ島ワヒアワ布教所に就任。 3月2日 村尾実英(東京都月懸院)、ヒロ大 正寺に就任。 4月28日 磯部峰仙、ハワイ別院布教管理 を辞任。ロサンゼルスへ転出。 4月28日 駒形善教、ハワイ別院第2代主 任に就任。 6月 中山宝瑞、ワイバフ布教所を辞任。米 本土に転出。 7月 石黒法龍、カワイロア布教所より辞任 帰国。 7月2日 後藤古仙(愛知県成道寺)、カワイ ロア布教所に就任。	11月14日 木村泰賢、 英國に於いて「阿尾達 磨論の研究」を著す。 12月30日 ソビエト社会主义 共和国連邦成立。	1月23日 横太町村制公布。 9月25日 日ソ長春会談、尼港・ 北横太撤兵問題で決裂。 10月28日 イタリアのファシ スト党、ローマに進軍。ムッ ソリーニ内閣成立。 11月14日 米最高法院、日本 人の帰化禁止を宣言。

	<p>8月24日 後藤古仙、カワイロア布教所を辞任。ホノルルへ転出後マウイ満徳寺に転任。</p> <p>8月 上島泰岳(山形県禪会寺)、ワイパフ布教所に就任。</p> <p>8月 墓浦明道、コナ大福寺より辞任帰国。</p> <p>8月 木下豊牛、米本土より帰布しカワイロア布教所に再任。</p> <p>9月 渋川太嶺(新潟県東福寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>・神原義孝、マウイ満徳寺よりコナ大福寺に転任。</p>	<p>8月24日 後藤古仙、カワイ満徳寺よりヒロ大正寺に転任。</p> <p>2月17日 後藤古仙、マウイ満徳寺よりヒロ大正寺に転任。</p> <p>4月28日 村尾実英、ヒロ大正寺より辞任帰国。</p>	<p>9月11日 関東大震災。</p> <p>9月 政府、ブラジル向渡航費貸付開始。この頃より政府の移民奨励本格化。</p> <p>・ペルーへの移民契約禁止。</p>
大正12年 (1923)	<p>1月20日 若本徳温、宗教哲学研究のため北米へ留学を命ぜられる(宗報630、第1義27)。</p> <p>4月8日 「ハワイ仏教青年会」(YBA)発足。</p>	<p>5月22日 林哲雄、宗教事情視察のため、米出張命ぜられる(宗報660)。</p> <p>7月4日 オアフ島アイエア布教所に「真珠山太平寺」の寺号下付。</p> <p>・曹洞宗磯部峰仙、日蓮宗池田順教、浄土宗佐山學順らが主唱し、親睦会「大乗会」を作る。のち1933年ロサンゼルス市仏教各宗連合会に発展する。</p>	<p>2月20日 清浦首相、シガポール西有寺に就任。</p> <p>4月12日 米国下院、排日移民法案可決、7月1日実施。</p> <p>9月 ブラジル向け震災援護金給付。移民に対し渡航補助金給付。</p> <p>・キリスト教各代表と国民精神作興と思想指導で懇談。</p>
大正14年 (1925)	<p>3月18日 佐々木珍龍、ハワイ及び北米在留同胞慰問両大本山特派布教師を命ぜられる(宗法681)。</p>	<p>2月6日 伊藤梅芳、カウアイ禪宗寺を辞任。</p> <p>8月 村上顯宗、カウアイ禪宗寺を辞任。ホノルルに転出。</p>	<p>1月 伊ムツソリ一二、ファシスト党独裁を宣言。</p> <p>3月12日 孫文死去。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
大正14年 (1925)	4月1日 「太祖大師600回大恩忌法会」修行。 9月 南米ペルー慈恩寺、サンルイスに移転。	9月 中山宝璫、再来布し、ハワイ別院に就任。		5月15日 日本軍北樺太より撤兵完了。 5月30日 5・30事件、上海の法人紡績工場で大ゼネストが暴動化し各地で反帝運動。
大正15年 (1926) 昭和元年	3月26日 ワイバフ布教所に「松嶽山大陽寺」の寺号下付。 9月9日 後藤古仙、教育制度研究のため米国视察を命ぜられる(宗報703)。 10月 中山宝璫、モロカイ島に布教所設立の為に派遣される。 10月 口サンゼルス禅宗寺本堂落慶。 管長代理松浦百英。 11月 管長代理松浦百英、米本土よりの帰途ハワイ巡錫。	2月9日 林哲雄(山口県西宗寺)、ロサンゼルス禅宗寺に就任。 4月26日 豊田法順(青森県全龍寺)、カウアイ禅宗寺に就任。 9月 神原義孝、コナ大福寺より辞任帰國。 9月 細川靠山(福井県天龍寺)、コナ大福寺に就任。 10月 中山宝璫、ハワイ別院よりモロカイ島に布教所開設の為、派遣される。 10月 鈴木光輪(愛知県西明寺)、ハワイ別院に就任。 ・堀江晴行(僧籍地不明)、シンガポール西有寺に就任。	10月 朝鮮僧の妻帯が認められる(李教)。 10月 還羅(シャラ・今)のタイ国)皇族ダニー親王、日本仏教教育视察のため来日(中止)。 12月23日 西本願寺の岡田英定はアラジルに渡り開教する(渡米史319)。	3月20日 萩介石の左派弾压クーデター。 7月7日 萩介石、中華民国々民革命軍總司令に就任、北伐開始。 12月25日 大正天皇崩御。 12月25日 摄政宮裕仁に親王践祚(センゾ=天子の位につく)。昭和と改元。
昭和2年 (1927)	2月 ロサンゼルス禅宗寺護持会を創立。 6月 ホノルル市仏教青年会館にてハワイ仏教青年連合大会開催。 8月 佐藤賢隆、南米ペルーのリマに布教所「慈光会」を開設。 11月14日 中山宝璫、モロカイ島カラカナイに布教所起工。	1月8日 渋川太嶺、ハワイ別院より、ヒロ大正寺に転任。 4月20日 後藤古仙、ヒロ大正寺よりロサンゼルス禅宗寺に転任。 4月 柳毛道雄、ペルー慈恩寺より辞任帰國。 9月 林哲雄、ロサンゼルス禅宗寺より辞任帰國。 10月 藤沢秀南(宮城県陽山寺)、ワイバフ大陽寺に就任。 11月 津田黙龍、アイエア太平寺よりロサンゼルス禅宗寺に就任。	12月 ハワイに於いて1920年以来提訴抗争中の「外国语学校取締法」違憲訴訟は日本語学校側勝訴する。これを機に教育会誕生す。	1月 中国革命軍、漢口租界を占領。 3月 金融恐慌、ヨーロッパ諸国との経済復興。中國民族革命の進展により対支貿易不振となり恐慌起ころる。 4月12日 上海で萩介石の反共クーデター。 9月 满州の排日運動激化。 9月 海外移住組合法公布。

		ンゼルス禅宗寺に転任。 ・吉住浩巖（山形県法眼寺）、アイエア大平寺に就任。 ・加藤禪柱（新潟県圓龍寺）、黒岩義孝（千葉県宝昌院）、ロサンゼルス禅宗寺に就任。 ・佐藤賢隆（山梨県慈眼寺）、ペルー慈恩寺に就任。	
昭和3年 (1928)	2月20日 大本山總持寺第6世に杉本道山禪師就任。 ・モロカイ島カウナカカイ布教所に「施苑山弘誓寺」の寺号下付。	8月 藤沢秀南、ワイバフ大陽寺を辞任。ワイヤホレ布教所開設の準備を始める。 8月28日 鈴木光輪、ハワイ別院を辞任。 米本土に転出。 9月 中山富端、モロカイ弘誓寺より、コナ大福寺に転任。 9月 木下豊牛、小畑大拙、カワイロア布教所より辞任帰国。 9月 細川葦山、コナ大福寺よりカワイロア布教所に転任。 9月6日 大内素俊（新潟県香積寺）、モロカリ弘誓寺に就任。 11月1日 駒形善教、ハワイ布教管理に就任。 12月 高橋理円（北海道法王寺）、ハワイ別院に就任。 12月 遠藤數元（僧籍地不明）、ハワイ別院布教補佐に就任。	5月 浄土宗の野崎靈海が米国に派遣され、浄土宗の米国布教が始まる。 7月 シンガホール西本願寺別院を中心とした南洋仏教会を設立（中南洋の東本願寺会堂で白人得度入門式修行） 11月10日 天皇裕仁、即位大礼を挙行。 11月11日 外移住組合法制定（いわゆる企業移民推進）。
昭和4年 (1929)	12月4日 大本山總持寺第7世に秋野孝道禪師就任。	10月 上島泰岳、ワイバフ大陽寺より辞任帰国。アイエア太平寺の吉住浩巖、ワイバフ大陽寺との兼務となる。 ・村野孝顯（秋田県常光院）、佐藤慧一（三重県極楽寺）、池田文潤（静岡県光泰寺）、鈴木大等（長野県藏沢寺）、内藤竹路（僧籍地	3月 カリフォルニアで北米仏教青年会連盟大会開かれ、渡米中の常光浩然が出席、汎太平洋仏教青年会大会を提案する（渡米史65）。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
昭和4年 (1929)		不明)、ロサンゼルス禅宗寺に就任。 ・鈴木大等、モンテベロ日本語学園に転任。	10月31日 西本願寺派北米開教財團が設立され、英文伝道書籍、サンデースクール教材などの開運事業基金とする(渡米史274)。	
昭和5年 (1930)	9月 藤沢秀南、オアフ島ワイアホレに布教所を開設。「臨海山洞門寺」となる。	5月2日 中村宗一(愛知県昌光寺)、ロサンゼルス禅宗寺に就任。 5月28日 光英勇猛(兵庫県大龍寺)、ワイバフ大陽寺に就任。 7月4日 横岡祖幹、マウイ満應寺に布教師補として就任。 7月8日 与野蒼玄(僧籍地不明)、ハワイ別院に就任。 8月 戸田泰雄(愛知県西光寺)、ハワイ別院に就任。		
昭和6年 (1931)		3月21日 小沢義淨(山梨県大聖寺)、カウアイ禅宗寺に駐在就任。 8月19日 西沢宏山(東京都宗參寺)、ハワイ別院に就任。	11月 日蓮宗石田日天、サンフランシスコに米国日蓮教会本部設立する。	9月18日 満州事変勃発。
昭和7年 (1932)				6月 高橋理円、ハワイ別院を辞任。同年「Zen Mission Hawaii」を設立。 ・井上弘忍(佐島県薬師寺)、林正徳(僧籍地不明)、ロサンゼルス禅宗寺に就任。

昭和8年 (1933)	5月20日 カワイロア布教所に「海雲山龍潛寺」の寺号下付。 12月6日 大本山永平寺第68世に秦慧昭禪師就任。 ・ロサンゼルス禪宗寺の磯部峰仙が「仏教海外伝道史」を発行。	5月10日 細川治学（福井県天龍寺）、カワイロア布教所に就任。 ・磯部峰仙、ロサンゼルス禪宗寺を辞任。 ・上島泰岳（山形県禪会寺）、ロサンゼルス禪宗寺に就任。	5月10日 ドイツにヒットラー内閣成立。国際連盟を脱退。 ・日本、国際連盟を脱退。
昭和9年 (1934)	4月2日 大本山總持寺第8世に栗山泰音禪師就任。 12月8日 磯部峰仙、サンフランシスコに「日米山桑港寺」を創設。	10月 黒岩義孝、ロサンゼルス禪宗寺を辞任。 12月8日 磯部峰仙、ロサンゼルス禪宗寺より初代サンフランシスコ桑港寺主任に就任。 ・上島泰岳（山形県禪会寺）、第2代ロサンゼルス禪宗寺主任に就任。	8月19日 ヒットラー、ドイツ総裁に就任。
昭和10年 (1935)	5月28日 大本山總持寺第9世に伊藤道海禪師就任。 9月3日 三尾透闇、北米及びハワイに於ける布教状態の調査並びに布教を命ぜられる。	6月 細川竜山、カワイロア龍潛寺より辞任帰國。 6月21日 大内素俊、モロカイ弘誓寺を辞任（朝鮮禪宗寺に転任）。 7月 佐藤賢隆、ペルー慈恩寺にて遷化。 8月 立花隆幸（東京都松門寺）、ハワイ別院に就任。 9月12日 穀藏禪戒（北海道清輪寺）、ハワイ別院に就任。 9月21日 高橋直文（僧籍地不明）、ロサンゼルス禪宗寺に就任。 11月1日 西沢玄山、ハワイ別院よりモロカイ弘誓寺に転任。 ・中尾證道（茨城県正福寺）、ペルー慈恩寺に就任。	
昭和11年 (1936)		3月3日 穀藏禪戒、ハワイ別院よりヒロカ正寺に転任。	2月26日 2.26事件。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和11年 (1936)	<p>4月 志田光隨尼(東京都勢至院)、コナ大福寺に就任。</p> <p>4月12日 渋川太嶺、ハワイ島ヒロ大正寺にて遷化。</p> <p>7月10日 豊田法順、カウアイ禪宗寺より辞任帰国。</p> <p>8月 光英勇猛、ワイバフ大陽寺を辞任(朝鮮布教総監部主任に転出)。</p> <p>8月 永井智峯尼(新潟県龍谷院)、ハワイ別院に就任。</p> <p>8月6日 松浦玉美(山形県宝林寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>10月15日 大川玄道(東京都永心寺)、ワイバフ大陽寺に就任。</p> <p>12月 棚方宏源(秋田県大川寺)、カウアイ禪宗寺に就任。</p> <p>・上島泰岳、ロサンゼルス禪宗寺を辞任。</p> <p>・金井秀元(新潟県龍門寺)、ロサンゼルス禪宗寺に就任。</p>			<p>5月28日 サンフランシスコ・ゴールデンゲートブリッジ開通。</p> <p>7月7日 虐溝橋事件「日華事変」。</p>
昭和12年 (1937)	<p>1月1日 「曹洞宗ハワイ布教法」を廃止し、「海外布教法」制定。</p> <p>12月1日 ロサンゼルス禪宗寺を両大本山別院として認可。あわせて北米総監部設置。</p>	<p>3月3日 木下豊牛、ヒロ大正寺に再任。</p> <p>4月 細川靠山、カワイア龍潛寺に再任。</p> <p>4月 細川治学、カワイア龍潛寺より辞任帰国。</p> <p>7月 志田光隨尼、コナ大福寺よりハワイ別院に転任。</p> <p>9月 祥雲曉成(新潟県耕雲寺)、第3代口サンゼルス禪宗寺主任に就任。同年12月初代北米布教総監に就任。</p>		

	12月 鈴木大等、北米布教総監部主事に就任。		
昭和13年 (1938)	<p>2月 池田文庵、北米に於ける本宗の教線調査と在留邦人の慰問布教を命ぜられる。</p> <p>6月1日 ハワイ布教管理が布教総監と改正。 ・秋山証道、razilに滞在し「修証義」を講ず。 ・中尾証道、ペルー・リマに「南米山中央寺(後の慈恩寺)」を建立。</p>	<p>3月 佐藤憲一、北米別院よりサンフランシスコ桑港寺に転任。</p> <p>4月1日 松浦玉英、ハワイ別院よりカウアイ禪宗寺に転任。</p> <p>4月30日 小島賢道尼(富山県万泉寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>5月15日 山下顯光(岐阜県大龍寺)、ロサンゼルス別院に就任。</p> <p>6月1日 棟方宏源、カウアイ禪宗寺より辞任帰国。</p> <p>6月 駒形善教、ハワイ布教総監となる。</p> <p>8月 立花隆幸、ハワイ別院を辞任。米本土に転出。</p> <p>10月 田中哲翁(広島県聖光寺)、カワイロア龍潛寺に就任。</p> <p>12月 志田光隨尼、ハワイ別院より、マイ満徳寺に転任。</p>	<p>3月28日 中華民国維新政府(カライ)を南京に成立。</p> <p>4月1日 国家総動員法制定。</p>
昭和14年 (1939)	<p>6月22日 「曹洞宗米布教会」を設立し、宗務院に於いて発会式を行う。 理事長中根環道、理事三尾透闇、竹内道説、小坂明詮等就任。</p>	<p>1月14日 立花隆幸(東京都松門寺)、ハワイ別院より北米別院に転任。</p> <p>4月30日 山崎自性(長野県金鳳寺)、ワイバフ大陽寺に就任。</p> <p>8月3日 森田宏悦(群馬県宝珠寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>10月 磯部峰仙、サンフランシスコ桑港寺より辞任帰国。</p> <p>11月 永井智孝尼、ハワイ別院より辞任帰国。</p>	<p>5月11日 ノモンハン事件。</p> <p>9月1日 ドイツ軍ボーランド進駐。</p> <p>9月3日 ドイツ軍、英・仏に宣戰布告。第二次世界大戰勃発。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和15年 (1940)	7月16日 大本山總持寺第10世に鈴木天山禪師就任。  2月9日 松岡操雄（山口県天淨寺）、北米別院に就任。 2月 細川幕山、カワイロア龍潛寺より辞任帰国。 3月 室賀龍海尼（新潟県妙喜寺）、ハワイ別院に就任。 7月 伊藤貢禪尼、マイ満徳寺に就任。 8月 藤沢秀南、ワイアホレ洞門寺よりハワイ別院に転任。 8月 森田宏悦、ハワイ別院よりワイアホレ洞門寺に転任。 8月 戸田泰雄、ハワイ別院より辞任帰国。 10月9日 祥雲晩成、北米布教總監を辞任。 11月1日 越智道順（愛媛県龍隱寺）、北米別院に就任。		9月27日 日独伊三国軍事同盟条約調印。 ・東京オリンピックが、日中戦争の拡大やソ連のフィンランド侵攻により中止される。	
昭和16年 (1941)	4月1日 大本山總持寺第11世に大森柳戒禪師就任。 5月1日 大本山永平寺第69世に鈴木天山禪師就任。 6月28日 大本山永平寺第70世に大森柳戒禪師就任。 6月28日 大本山總持寺第12世に高階瓈仙禪師就任。 7月17日 大本山永平寺第71世に高階瓈仙禪師就任。 7月17日 大本山總持寺第13世に福山界珠禪師就任。 12月8日 太平洋戦争が始まり、在米邦人や開教使(師)の大部分は強制	1月 木下豊牛、ヒロ大正寺より辞任帰国。 5月 小島賢道尼、ハワイ別院より辞任帰国。 8月1日 植岡祖曉、マイ満徳寺を辞任引退。 8月 越智道順、第4代北米別院主任並びに第2代北米布教總監に就任。 8月 佐藤憲一、サンフランシスコ桑港寺より辞任帰国。 9月 松浦玉英、カワイアイ禪宗寺よりヒロ大正寺に転任。 ・志田光隨尼、マイ満徳寺より辞任帰国。 ・鈴木大等、北米別院駐在とサンフランシスコ桑港寺主任を兼務。	12月8日 真珠湾攻撃。太平洋戦争始まる。ハワイにおいても日本人は抑留され、ハイイ日系二世による442部隊が編成され、翌年第100大隊と共にヨーロッパ戦線に加わる。戦死者506名、戦傷者2,000名。	

<p>収容所に抑留される。各仏教団は収容所内でのみ活動。聖職者が最も多く取容されていたのは、ニューメキシコ州サンタフェ取容所であった。カナダ政府は仏教関係の活動を一切禁止する。また終戦後、カナダ政府は仏教会堂を売却し開教使(師)を強制送還する。</p> <p>*開教使の名称は北米仏教団(浄土真宗系)が使用。曹洞宗では開教師と称する。</p>	<p>昭和17年 (1942)</p> <p>4月8日 サンフランシスコ桑港寺、この日を最後に「积敷降誕会」を終修し閉鎖する。</p> <p>*禪宗寺・桑港寺は、日系人の強制収容に伴い、日系人の家財保管所として提供。</p>	<p>6月 ミッドウェー海戦敗戦。</p>	<p>11月27日 カイロ宣言(米英・華三国巨頭日本反撃統一宣言)。</p>
	<p>昭和18年 (1943)</p> <p>3月15日 大本山總持寺第14世に久我篤立禪師就任。 3月19日 大本山總持寺第15世に佐川玄輝禪師就任。</p>		
	<p>昭和19年 (1944)</p> <p>2月4日 大本山永平寺第72世に佐川玄輝禪師就任。 2月7日 大本山總持寺第16世に熊澤泰禪禪師就任。 2月8日 大本山總持寺第17世に渡辺玄宗禪師就任。 2月18日 大本山永平寺第73世に熊沢泰禪禪師就任。</p>		<p>・ロンドンオリンピック、第二世界大戦のため中止。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
昭和19年 (1944)	11月 河合真英、宗務総長に就任。			
昭和20年 (1945)	8月 終戦により、米国に於ける日本人開教師は各寺院に復帰、復興に尽力する。 12月 森田宏悦、ワイアホレ洞門寺に帰任。	10月 鈴木大等、サンフランシスコ桑港寺を再開堂。 12月 森田宏悦、ワイアホレ洞門寺に帰任。		5月 ドイツ降伏。 5月 東京大空襲。 8月6日 広島に原子爆弾投下。 8月9日 長崎に原子爆弾投下。 8月15日 日本降伏。太平洋戦争終結。 ・国際連合成立。
昭和21年 (1946)	11月 以降、ハワイ開教師は米本土より復員し寺院学校など復興する。	2月 松浦玉英、ヒロ大正寺よりコナ大福寺に転任。		2月20日 ソ連、千島・樺太の正式領有を宣言。 4月1日 マウイ島、ハワイ島に大洋渡襲来。
昭和22年 (1947)	5月 ハワイ島ヒロ大正寺開創30周年慶讃法要を歎修。戦後ハイ曹洞宗最初の行事となる。同時に開教師懇談会開催。 6月3日 宗務庁、この日より2日間、外地帰還開教師大会を大本山總持寺において開催。引き受け開教師187名、未帰還開教師138名を記録す(宗報、続年表)。 8月3日 小坂準爾、宗務総長に就任。 12月 北米別院禪宗寺機関誌「仏心」を創刊。	10月17日 中山宝瑞、コナ大福寺より辞任帰国。		5月3日 日本国憲法施行。 10月 海外移住協会発足。

昭和23年 (1948)	1月29日 錦島宗純、宗務総長に就任。 10月28日 中根環堂、宗務総長に就任。 ・「代議員制ハワイ曹洞宗協会」設立。	・越智道順、北米布教総監を辞任。 ・鈴木大等、北米別院に再任。 ・高橋理円(北海道法王寺・前ハワイ別院駐在)、サンフランシスコ桑港寺に就任。	1月30日 ガンジー暗殺される。 ・朝鮮が南北に分裂。
昭和24年 (1949)	3月10日 本多喜禪、宗務総長に就任。 10月23日 オアフ島['エワ曹洞寺']本堂落慶法要を厳修。	10月23日 大川玄道、ワイバク太陽寺とエワ曹洞寺の兼務となる。 10月 上野輝讚(山形県泉藏寺)、留学生として来布。 ・山崎自性、ワイバフ大陽寺より辞任帰国。	5月3日 蔣介石、台湾に入る。 10月1日 中華人民共和国成立。主席に毛沢東。 ・北大西洋条約機構(NATO)が結成される。 ・東西ドイツ分裂。
昭和25年 (1950)	3月17日 小松原國乗、宗務総長に就任。 ・松岡操雄、シカゴ禪センターを開設。	1月4日 金井秀元(新潟県竜門寺)、ハワイ別院に就任。 ・長田康哉(宮崎県台雲寺)、北米別院に就任。 ・高橋理円、サンフランシスコ桑港寺を辞任。ハワイに転出。	5月 第1回世界仏教徒会議がセイロノン・コロンボで開催される。 日本代表高階龍仙禪師(中外、潮音)。
昭和26年 (1951)	2月25日 佐々木泰翁、宗務総長に就任。	5月14日 島羽瀬保道(熊本県国照寺)、サンフランシスコ桑港寺に就任。 6月23日 加藤和光(奈良県補巖寺)、サンフランシスコ桑港寺に就任。 8月 西沢宏山、モロカイ弘誓寺よりカウアイ禪宗寺に転任。 8月 小沢義淨、カウアイ禪宗寺よりワイバフ大陽寺に転任。同年9月エワ曹洞寺を兼務。	9月4日 サンフランシスコ講和会議。 9月8日 講和条約、日米安保条約調印。
昭和26年 (1951)		9月25日 大川玄道、ワイバフ大陽寺、エワ曹洞寺より辞任帰国。	

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和26年 (1951)	10月18日 倉井秀雄(三重県金剛寺)、北美別院に就任。 11月9日 森田宏悦、ワイアホレ洞門寺よりモロカイ弘誓寺に転任。 ・加藤和光、サンフランシスコ桑港寺より北美別院に転任。			
昭和27年 (1952)	・八杉智鑑、移民と共にブラジルに移住。当時世界仏教徒会議總裁、曹洞宗管長高階龍仙禅師を招聘する。 3月3日 「曹洞宗宗憲・曹洞宗規則」等制定施行。「布教文化規程・第4章 海外布教」に基づき、「ハイ布教監部」が「ハイ開教總監部」と改称。	3月1日 ハント真覚アーネスト、曹洞宗伝道師としてハイ別院に就任。 3月3日 駒形善教、初代ハイ開教總監に就任。 10月 田中哲翁、カワイロア龍潛寺より辞任帰国。 11月 町田時保(埼玉県東昌院)、ワイアホレ洞門寺に就任。 12月 駒形善秀(新潟県龍谷寺)、ハワイ別院に就任。	9月 第2回世界仏教徒会議が日本で開催される。	・米国で移民国籍法成立、日本移民の割り当ては1ヵ年185人、在住者には帰化権が与えられる。
昭和28年 (1953)	5月9日 両大本山ハイ別院、本堂入仏落慶法要を斎修。曹洞宗管長高階龍仙禅師親修。ハイ開教50周年に際し、ロサンゼルス、サンフランシスコ、シカゴ、ワシントン、ニューヨーク等巡錶。	6月13日 善波卓道(神奈川県勝興寺)、カワイロア龍潛寺に就任。 ・駒形善秀、ハイ別院より辞任帰国。 ・鈴木大等、第5代北美別院主任並びに第3代北米開教總監に就任。	5月 ブッダガヤの管理がヒンズー教から仏教徒に移された。 8月 第1回日本仏教徒会議を高野山にて開催。	9月 外務省欧米局に移民課設置。 12月1日 在ソ同胞第一次帰還船興安丸舞鶴港に帰着。
昭和29年 (1954)		3月11日 植岡祖幹、マウイ満徳寺に帰山。 ・鈴木大等、北米開教總監を辞任。 ・鳥羽瀬保道(サンフランシスコ桑港寺主任)、第4代北米開教總監に就任。	12月 第3回世界仏教徒会議がビルマ・ラグーンで開催される。	3月6日 バラグアイ国計画移住者第一陣出発。

		・市村承秉(新潟県大輪寺)、ハワイ別院の留学生として来布。	
昭和30年 (1955)	8月 オアフ島「ワイアホレ洞門寺」 9月11日 八杉智鑑、「ブラジル禪源寺」開創。 ・曹洞宗管長高階龍仙禪師、ブラジル並びに北米巡錫。	2月20日 上野暉讃、ロサンゼルス・カリフォルニア州立大学を卒業しヒロ大正寺に就任。 3月11日 植岡祖暎、マウイ満徳寺にて遷化。 9月11日 町田時保、ワイアホレ洞門寺魔寺となり、ハワイ別院に転任。 9月11日 八杉智鑑(静岡県可睡齋)、ブラジルのモジ・ダス・クルーゼス市に禪源寺開創。 12月5日 岩井恵澄尼(富山県吉祥寺)、ハワイ別院に就任。 ・松岡季雄(山口県天淨寺)、北米別院に就任。	・ワルシャワ条約機構結成。 ・東西対立深刻化。
昭和31年 (1956)	5月 南米別院、州政府に登録。 10月 新宮良範、南米初代開教総監として渡泊。	1月 穂藏禪戒、約1年の南米布教よりヒロ大正寺に帰任。 2月 上野暉讃、ヒロ大正寺を辞任。米本土へ転出。 10月12日 大本山總持寺第18世に孤峰智璽禪師就任。 ・「曹洞宗教化研修所(海外開教課程)」開設。	12月18日 国連総会、日本の国連加盟を全会一致で可決。 11月 第4回世界仏教徒会議がカトマンズで開催される。
昭和32年 (1957)	4月4日 西沢浩仙、宗務總長に就任。 11月17日 「ロンクヒーチ教会」建立。	6月29日 上野暉讃、米本土よりヒロ大正寺に帰任。	5月 タイ国佛紀2500年記念式典に日本から4名の代表者出席。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和32年 (1957)		<p>7月9日 穀藏禪戒、ヒロ大正寺より辞任帰國。</p> <p>8月5日 高橋千鶴(新潟県福勝寺)、コナ大福寺に就任。</p> <p>8月 山下翼光(岐阜県大龍寺)、南米別院に再任。</p> <p>10月 新宮良範、南米禪源寺の主任を辞任。</p> <p>11月24日 彦坂信能(愛知県東泉院)、南米禪源寺に就任。</p> <p>・長田康哉(宮崎県台雲寺)、ロングビーチ仏教会を建立。</p> <p>・浪花益道(鳥取県補岩寺)、南米別院に就任。</p>	<p>・「全日本佛教会」発足。</p>	
昭和33年 (1958)		<p>1月 ハワイ・ホノルル市にて「曹洞宗アワー」の放送開始。</p> <p>11月 八杉智鑑、ブラジル・ローランジャに布教所開設。</p>	<p>1月13日 吉田道修(宮城県洞林寺)、南米別院に就任。</p> <p>4月18日 彦坂信能、南米禪源寺より辞任帰国。</p> <p>4月 平子興世(群馬県桂昌寺)、南米別院に就任。</p> <p>5月15日 八杉智鑑(静岡県可睡齋)、ブラジル・ローランジャに着任。</p> <p>7月30日 高橋千鶴、コナ大福寺より辞任帰国。</p> <p>9月28日 ガーリック禪巖、ハワイ別院より辞任。日本へ転出。</p> <p>11月 八杉智鑑、ブラジルの禪源寺よりローランジャ市に移り、布教所開設の後、南米別院に転任。</p>	<p>・第5回世界仏教徒会議がパンコクで開催される。</p> <p>・「ブラジル移民50周年記念式典、サンパウロで開催。</p>

昭和34年 (1959)	<p>4月9日 佐々木泰翁、宗務総長に就任。</p> <p>9月 南米別院兼総監部、アラジルサンパウロ市トーマス・デ・リマ205番地に設置。</p> <p>1月28日 中島貫道(愛知県常福寺)、ニューヨーク禪センターに就任。</p> <p>3月4日 鈴木俊隆(静岡県林叟院)、サンフランシスコ桑港寺に就任。</p> <p>5月 植闘宗孝、日本留学より帰布しマウイ満徳寺に就任。</p> <p>6月 大洞卯心(福井県洞雲寺)、南米別院に就任。</p> <p>7月10日 桑原弘之(静岡県光泰寺)、南米別院に就任。</p> <p>7月24日 鈴木大等、北米別院にて遷化。</p> <p>8月10日 福谷静岳尼(愛知県)ハワイ別院に就任。</p> <p>8月 猪俣正孝(静岡県淨土寺)、南米別院に就任。</p> <p>8月 松永然道(静岡県宗德院)、南米別院に就任後、ポンペイア開教所に転任。</p> <p>11月4日 鳥羽瀬保道、北米開教総監を辞任。</p> <p>・浪花益道、南米別院を辞任。</p> <p>・吉田道彦、南米別院よりブラジル・ローランジヤの布教所へ転任。</p>	<p>・ハワイが米国第50番目の州となる。</p> <p>・ハワイ官約移民75周年。</p> <p>・ライ・ラマ、インドへ亡命。</p> <p>・キューバ革命。</p> <p>・ハワイビニ園美化運動行われ、誕生仏と資金贈呈。</p> <p>8月 ハワイ官約移民75周年記念式典をホノルルで開催。</p> <p>11月 アラジル国と移住協定調印。</p>
昭和35年 (1960)	<p>3月8日 米馬道断、宗務総長に就任。</p> <p>10月 ブラジル・ローランジヤの布教所に「ローランジヤ佛心寺」の寺号下付。</p> <p>10月 大本山總持寺貫首孤峰智樂禪師、ハワイ、米国、欧洲を巡錫。</p> <p>・ハワイ別院開創50周年記念法要】斎修。</p>	<p>7月 山田謹林(駒沢大学教授・岐阜県保寿寺)、北米別院第6代主任並びに第5代北米開教総監に就任。</p> <p>12月18日 秋田新隆(静岡県法幢寺)、カウアイ禪宗寺に就任。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和36年 (1961)	11月 鈴木俊隆、「サンフランシスコ禪センター」を開設。 ・北米別院内に「禅仏教昂揚研修所」を設立。	1月26日 西沢宏山、カウアイ禪宗寺より 辞任帰国。 11月 清広亮光(佐賀県妙音寺)、ペルー慈 恩寺に就任。		1月20日 ケネディー、第35代アメリカ大統領に就任。
昭和37年 (1962)	2月10日 金剛秀一、宗務總長に就任。 10月 北米カリフォルニアに「モントレー禪宗寺」を開創。	1月15日 桑原弘之、南米別院を辞任。米 本土へ転出。 6月 梅本為隣(山梨県大聖寺)、ワイバフ 大陽寺に就任。 8月31日 上野暉讚、ヒロ大正寺を辞任。 米本土に転出。 12月12日 竹之内栄禪(新潟県正応寺)、 ハワイ別院に就任。	9月 仏教東漸70年 記念式典並びに中央 仏教文化会議が開催 される。同会出席のた め、副貫首岩本勝俊、 宗務総長金剛秀一等、 ニューヨークに赴く途 次、各地の教会を視察。	2月20日 アメリカ、有人宇 宙飛行に成功。 ・キューバ危機
昭和38年 (1963)	10月 曹洞宗管長高階龍仙禪師、北 米別院にて法脈会を修行。	1月8日 楠岡祖幹、マウイ満徳寺にて遷化。 2月14日 中島貫道(愛知県常福寺)、ニューヨーク禪センターよりヒロ大正寺に就任。 7月 南篤州(茨城県大雄院)、片桐大忍(福 井県泰藏院)、沖道淳尼(京都府安泰寺)、桑 原弘之(静岡県光泰寺)、北米別院に就任 (北米禪宗寺仏教昂揚研修所第一期生とし て入所)。 9月5日 上野暉讚、ヒロ大正寺よりカリフオ ルニア州・モントレーリー禪宗寺に転任。 9月11日 秋田新隆、カウアイ禪宗寺より 辞任帰国。 10月18日 善波卓道、カワイロア龍潛寺よ り辞任帰国。 ・片桐大忍、北米別院よりサンフランシスコ 桑港寺に転任。		11月23日 J.F.ケネディー米 大統領暗殺。

		・鷺見透玄(愛知県泰増寺)、北米別院に就任。	
昭和39年 (1964)		<p>2月29日 大八木春邦(山形県福生庵)、コナ大福寺に就任。</p> <p>3月 松永然道、南米ポンペイア開教所を辞任。</p> <p>4月 平子興世、南米ルッセイア佛心寺より辞任帰国。</p> <p>6月 松永然道、カウアイ極宗寺に就任。</p> <p>8月 福谷静岳尼(愛知県)、ハワイ別院を辞任。米本土に転出。</p> <p>10月15日 渡辺孝彦(神奈川県長光寺)、水谷幸精(静岡県隨松寺)、南米別院に就任。</p> <p>10月20日 山田豊林、北米開教総監を辞任帰国。</p> <p>10月 児島真竜(奈良県林泉寺)、南米別院に就任。</p> <p>12月4日 猪俣正彥、南米別院より辞任帰国。</p>	<p>10月24日 净土宗はハワイ開教70周年記念法要を、ホノルル別院で厳修。</p>
昭和40年 (1965)		<p>4月1日 「大本山總持寺、二祖峨山禪師600回大遠忌」。</p> <p>4月24日 「ハワイ曹洞宗連合婦人会」結成。</p> <p>9月 南米別院にて「南米開教10周年記念法要」厳修。曹洞宗管長高階瑞仙禪師、宗務總長金剛秀一、南米巡錫。</p> <p>・南米別院兼南米開教総監部、アラジル・サンバウロ市、サンジョヨアキン285番地に移転。</p>	<p>3月30日 渡辺孝彦、南米別院より辞任帰国。</p> <p>3月 穀藏口イ良尚(北海道清輪寺)、ハワイ曹洞宗協会(ハワイ別院)に就任。</p> <p>6月5日 松浦玉英、大八木春邦、コナ大福寺よりカワイロア龍潛寺に転任。</p> <p>6月 児島真竜、南米別院より辞任帰国。</p> <p>7月13日 佐藤博道(静岡県運乗院)コナ大福寺に就任。</p> <p>7月 大八木春邦、カワイロア龍潛寺より辞任帰国。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
昭和40年 (1965)	・鷺見透玄、北米別院第7代主任並びに第6代北米開教総監に就任。 ・松岡操雄、北米別院よりシカゴ禪宗寺に転任。			
昭和41年 (1966)	5月7日 中村貞元、宗務總長に就任。 8月21日 北米別院に於いて「第2回 憨仏教徒大会」開催。 9月18日 アイエア太平寺移転。本堂落慶法要厳修。	2月 吉住浩哉、アイエア太平寺を辞任。 2月 田宮繁友(新潟県興源寺)、アイエア太平寺に就任。	11月 第8回世界仏教徒会議がタイで開催される。	3月 學園紛争。 ・ソ連の無人月面探査機ルナ9号が月面に軟着陸。 ・中国で文化大革命。
昭和42年 (1967)	7月3日 鈴木俊隆、カリフォルニア・モントレー・タサハラに禪センター「禪心寺」を創建、入佛開單式を厳修(中外、金松、続年表)。 ・大本山總持寺第19世に岩本勝俊禪師就任。	2月7日 ハント真覚アーネスト、ハワイ別院にて遷化。 5月 知野弘文(新潟県耕泰寺)、サンフランシスコ桑港寺に就任後、タサハラ禪センターに転任。 8月3日 三好見一(北海道高沢寺)、ハワイ別院に就任。 8月31日 中島貫道、ヒロ大正寺を辞任。 ・米本土に転出。 ・水谷幸靖、南米別院より辞任帰国。		
昭和43年 (1968)	1月7日 大本山永平寺第74世に佐藤泰舜禪師就任。 2月 ブラジル南米別院に「禪文化研究所」を設立。所長に新宮良範開教総監が就任。 4月30日 前角博雄、ロサンゼルス「ヴィルシャー禪センター佛真寺」開設。 5月6日 山田義道、宗務總長に就任。	6月13日 青木俊亨(群馬県岩松寺)、ヒロ大正寺に就任。 8月22日 金井秀元、ハワイ別院にて遷化。 10月10日 駒形善秀(新潟県龍谷寺)、再来布しハワイ別院に就任。	・ハワイ・オアフ盆ダンス選盟発足。 ・アメリカ黒人運動指導者ルーサー・キング牧師がメンフィスで暗殺される。 6月5日 ロバート・ケネディ暗殺される。 8月20日 ソ連とワルシャワ条約機構軍、チエコ全土を制圧(プラハの春)。	4月4日 アメリカ黒人運動指導者ルーサー・キング牧師がメンフィスで暗殺される。 6月5日 ロバート・ケネディ暗殺される。 8月20日 ソ連とワルシャワ条約機構軍、チエコ全土を制圧(プラハの春)。

	10月 「ロサンゼルス禅センター」、 曹洞宗北米開教所に認可(中外、続年 表)。	12月10日 川端康成がノーベ ル文学賞を受賞。	
昭和44年 (1969)	1月7日 口サンゼルス禅センターに、 「大龍山佛真寺」の寺号下付。 2月2日 南米禪源寺、ブラジル・モ ジ・ダス・クルーゼス市のビラ・ラ ビリア区に移転。 10月5日 両大本山北米別院禪宗寺、 本堂落慶法要を厳修。 12月23日 北米禪センター主管鈴木 俊隆、師家に任命される。	2月20日 驚見透玄、北米開教總監を辞任 帰国。 2月 鈴木俊隆、サンフランシスコ桑港寺 より、サンフランシスコ禪センターに転任。 10月20日 芳村良元(北海道興禪寺)、バー クレー禪センターに就任。 10月20日 加藤洪城(北海道法竜寺)、サ ンフランシスコ桑港寺に就任。 ・荒木哲宗(和歌山県全竜寺)、開教師見習 いとして渡米。	・アボロ11号月面到達。
昭和45年 (1970)	1月 大本山永平寺東京別院監院丹羽 廉芳が梅花流特派布教師として渡米。 4月 桑港寺より新寺4カ寺独立、宗 務庁より仏具等寄付。 4月 大本山總持寺、「国際禪セン ター」を開設する。 9月 カリフォルニア州モントレー・ タサハラ禪堂に「蓮華婆羅山禪心寺」 の寺号下付。同年10名の得度者つく る。	2月23日 森山大行(静岡県官養庵)、サン フランシスコ桑港寺に就任。 5月31日 駒形善教、ハワイ別院の第3代 主任を辞任。 6月1日 駒形善秀、ハワイ別院の第3代主 任に就任。 6月30日 岩井恵澄尼、ハワイ別院より辭 任帰国。 6月30日 緋藏口良尚、曹洞宗協会(ハ ワイ別院)を辞任。日本へ転出。 8月 弟子丸泰仙、ヨーロッパ開教主管に 任せられる(宗報)。 9月1日 藤木道明(滋賀県東円寺)、ハワ イ別院に就任。 9月1日 山田隆邦(大分県長松寺)、サン フランシスコ禪センターに就任。	3月31日 日航よど号ハイ ジャック事件。 ・日本万国博覧会開催。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和45年 (1970)		<p>9月25日 沖道淳尼、倉井秀雄、北米別院より辞任帰国。</p> <p>9月 長田康哉、ロングビーチ仏教会より辞任帰国。</p> <p>10月13日 小梶真栄(福井県正明寺)、北米別院に就任。</p> <p>10月 松岡操雄、シカゴ禅センターよりロングビーチ仏教会に転任(ロングビーチ禅センター開設)。</p> <p>12月25日 松永然道、カウアイ禪宗寺より北米別院に転任。</p> <p>12月 北村大榮(山梨県善恵寺)、第8代北米別院主任並びに第7代開教総監に就任。</p> <p>12月 吉田道彦、南米ローランシャ佛心寺より辞任帰国。</p>		
昭和46年 (1971)		<p>11月21日 リチャード・ベーカー(サンフランシスコ禅センター)、タサハラ禪心寺主任として晋山式修行する。</p> <p>・倉井秀雄、「モンテペロ曹禪寺」を設立。</p> <p>1月12日 荒木哲宗(和歌山県金龍寺)、北米別院に就任。</p> <p>1月14日 三好見一、ハワイ別院よりカウアイ禅宗寺に転任。</p> <p>3月16日 駒形宗彥(埼玉県真福寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>4月6日 一ノ瀬妙真尼(新潟県龍谷寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>6月16日 田中哲彥(広島県聖光寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>6月 松岡操雄、ロングビーチ仏教会を辞任。</p> <p>6月 加藤和光、北米別院よりロングビーチ仏教会に転任。</p> <p>8月2日 竹之内榮輔、ハワイ別院より辞任</p>	<p>・ニクソンショック。</p>	

		帰国。 8月19日 中小路国道（京都府祥雲寺）、ハイ別院に就任。 12月3日 北村大榮、四大不調のため北米開教總監を辞任帰国。 12月4日 鈴木俊隆、サンフランシスコ禪センターにて遷化。 ・藤井寿源（僧籍地不明）、南米ローランジヤ佛心寺に就任。	
昭和47年 (1972)	・「北美別院 創立50周年・別院昇格35周年慶讃報恩大法要」を厳修。	1月8日 山下顯光（岐阜県大竜寺）、第9代北美別院主任並びに第8代北美開教總監に就任。 2月7日 駒形善教、ハワイ開教總監遷化。 3月20日 穀藏口イ良尚、ロングビーチム教会に就任。 4月1日 駒形善秀、第2代ハワイ開教總監に就任。 8月12日 長棟梅峰（新潟県新光寺）、アイエア太平寺に就任。 8月15日 田宮繁友、アイエア太平寺より辭任帰国。 11月 藤川亨胤（山形県般若寺）、サンフランシスコ桑港寺に就任。	・ウォーターゲート事件発覚。 ・田中角栄首相訪中、共同声明發表。 ・冬季札幌オリンピック開催。
昭和48年 (1973)	・ワイバフ大陽寺、移転。	1月31日 小鶴真榮、北美別院より辭任帰国。 3月31日 梅本為隣、ワイバフ大陽寺を辞任。 4月26日 森山大行、サンフランシスコ桑港寺より辭任帰国。 10月31日 池谷秀光尼（静岡県龍泉寺）、ニューヨーク禪センターに就任。	・円の変動相場制移行。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和48年 (1973)	11月30日 永井成典(愛知県宝珠寺)、北米別院に就任。			
昭和49年 (1974)	3月 室賀竜海尼、ハワイ別院を辞任。 5月29日 大山陽堂(千葉県長安寺)、ワイバフ大陽寺に就任。エワ曹洞寺を兼務。 6月19日 小沢義淨、ワイバフ大陽寺、エワ曹洞寺を辞任引退(12月7日遷化)。 7月 藤木道明、ハワイ別院より辞任帰国。 12月 渋谷行雲(僧籍地不明)、インド日本寺へ赴任。		10月 ベルーに大地震発生。	
昭和50年 (1975)	2月8日 田辺哲崖、宗務監長に就任。 2月28日 大本山永平寺第75世に山田靈林禅師、就任。 10月9日 大本山永平寺前貫首佐藤泰舜禪師荼毘式並びに新貫首山田靈林禪師晋山式を機に「開教總監會議」を開催。 10月 フランス・パリ市の「巴里山仏国禪寺」に寺号下付。 10月15日 ハワイ別院に「布畦山正法寺」の寺号下付。 10月15日 オアフ島カワイロア龍潛寺に「龍仙寺」の寺号変更認可。	2月28日 駒形善秀、ハワイ開教總監を辞任帰国。 3月15日 中小路阿道、ハワイ別院より辞任帰国。 4月13日 大山興隆(千葉県長安寺)、第4代ハワイ別院主任に就任。 6月15日 大山興隆、第3代ハワイ開教總監に就任。 7月15日 立花孝全(福島県昌源寺)、北米別院に就任。 8月30日 藤本ウォーレン宗道(伝道師)、ハワイ別院に就任。 11月20日 工藤正典(群馬県天宗寺)、ハワイ別院に就任。	4月 ブノンベン陥落。南ベトナム民族解放戦線が全土解放。 7月 沖縄海洋博開催。 7月7日 日本共産党と創価学会が協定発表。	
昭和51年 (1976)	4月 大本山永平寺第76世に秦慧玉禪師就任。 5月11日 フランス・パリ市の「仏国	3月15日 佐藤博道、コナ大福寺より辞任帰国。 4月26日 駒形宗彦、ハワイ別院よりコナ	・第11回世界仏教徒会議がタイで開催される。	2月4日 米上院でロッキード事件発覚。 7月14日 日本の賠償金支払

	<p>「神寺」内にヨーロッパ開教総監部を設置する。</p> <p>10月20日 秦慧玉禅師晋山式を機に「海外開教総監会議」を開催。</p>	<p>大福寺に転任。</p> <p>9月24日 水井成典、北米別院より辞任帰国。 ・弟子丸泰仙、ヨーロッパ開教総監に任命される。</p> <p>・福田靖宏、ロンドン日本人学校教諭赴任にともない、ヨーロッパ開教総監部配属、イギリス駐在開教師として任命される。</p>	<p>い完了。</p> <p>7月27日 田中角栄前首相ロックード事件で逮捕。</p> <p>12月24日 三木内閣退陣。福田赳夫内閣成立。</p>
昭和52年 (1977)	<p>10月15日 大本山總持寺第20世に乙川璽映禪師就任。</p> <p>・南米ペルー慈恩寺、カニエテに2度目の移転。</p>	<p>2月5日 中村良忍(鳥取県補岩寺)、南米別院に就任。</p> <p>2月7日 柴山輝行(群馬県宗泉寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>3月3日 大場満洋(山形県長義寺)、北米別院に就任。</p> <p>8月30日 藤本ウォーレン宗道(伝道師)、ハワイ別院を辞任。</p> <p>10月12日 直一泰徹(南米禪源寺)、二等教師に補任。</p>	
昭和53年 (1978)	<p>3月2日 町田宗夫、宗務總長に就任。</p> <p>4月 「海外開教総監会議」開催。</p> <p>10月29日 「ハワイ開教75周年記念式典」挙行。曹洞宗管長乙川璽映禪師親修。</p>	<p>2月 藤川亨麗、桑港寺より辞任帰国。</p> <p>4月 中村良忍、南米別院よりローランジャヤ佛心寺へ転任。</p> <p>6月12日 三浦清光(愛知県広目寺)、ハワイ別院に就任。</p> <p>10月11日 繩川正善(福島県天徳寺)、サンフランシスコ桑港寺に就任。</p> <p>10月25日 松永然道、北米別院より辞任帰国。</p> <p>11月30日 田中哲彦、ハワイ別院より辞任帰国。</p>	<p>10月1日～6日 第12回世界仏教徒会議が日本で開催される。</p> <p>6月18日 ブラジル日本人移住70周年記念式典サンパウロで開催。</p> <p>8月12日 日中平和友好条約調印。</p> <p>5月20日 成田空港開港。</p>
昭和54年 (1979)	11月 「大本山永平寺二祖国師700回大遠忌ハワイ予修法要」斎修。秦慧玉	2月5日 秋山洞禪(新潟県興源寺)、北米別院に就任。	・ソ連がアフガニスタンに侵攻。 ・米中国交樹立。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
昭和54年 (1979)	僧師親修の予修法要と因縁会修行。 12月18日 岡田已成、宗務総長に就任。	8月9日 大倉大雄(滋賀県法藏寺)、サン フランシスコ桑港寺に就任。		
昭和55年 (1980)	4月20日 「大本山永平寺二相国師 700回大遠忌」歎修。	3月31日 大場満洋、北米別院を辞任。 6月8日 長棟梅峰、アイエア太平寺より辞 任帰国。 6月10日 三浦清光、ハワイ別院を辞任後、 ホノルル市内に居住。 7月1日 福島伸悦(埼玉県興徳寺)、北米別 院に就任。 7月5日 萩久保正潤(山梨県広福院)、ハワ イ別院に就任。 12月20日 浅山賢榮(青森県儒童寺)、アイ エア太平寺に就任。		・イラン・イラク戦争 ・モスクワリンビック、ソ連 のアフガニスタン侵攻に抗議 し、日本を含め西側諸国不参加。
昭和56年 (1981)	6月1日 田中亮三、宗務総長に就任。 10月 「海外開教総監会議」開催。	4月3日 大山興隆、ハワイ開教総監を辞 任帰国。工藤正典、ハワイ別院より辞任帰 国。町田時保、ハワイ別院主任代行に就任。 5月15日 西澤聰人(東京都詳雲寺)、ハワ イ別院に就任。 9月27日 松浦玉英、ワヒアワ龍仙寺在任 中、第4代ハワイ開教総監に就任。 11月1日 松浦玉英、ワヒアワ龍仙寺より ハワイ別院に転任。第5代ハワイ別院主任 に就任。 11月3日 駒形宗彥、コナ大福寺よりワヒ アワ龍仙寺に転任。 11月6日 市村承秉、再来布し、コナ大福 寺に就任。		

昭和57年 (1982)	3月5日 伊藤治雄、宗務総長に就任。 10月16日 大本山總持寺第21世に 梅田信隆禪師就任。	4月23日 市村承秉、コナ大福寺より米本 土へ転出。 11月12日 飯島尚之（東京都宗清寺）、ハ ワイ別院に就任。
昭和58年 (1983)	9月6日 水井孝道、宗務総長に就任。 10月 「ハワイ開教80周年記念法要」 厳修。	7月20日 柴山輝行、ハワイ別院より辞任 帰国。 9月29日 城敬宝（大分県仏光寺）、北米別 院に就任。 10月3日 長田敬道（静岡県洗耳寺）、コナ 大福寺に就任。
昭和59年 (1984)	・「海外開教シンポジウム」開催。	8月2日 第14回世界 仏教徒会議がスリラ ンカ・コロンボで開催 される。
昭和60年 (1985)	1月 大本山永平寺第77世に丹羽廉 芳禪師就任。 7月3日 桑原眉尊、宗務総長に就任。 ・シンガポールに「曹洞宗日本寺」建 立。	8月13日 浅山賛榮、アイエア太平寺より 辞任帰国。 8月24日 工藤正典（群馬県天宗寺）、再来 布し、アイエア太平寺に就任。 8月 森田宏悦、モロカイ弘誓寺を辞任後、 ホノルル市に居住。
昭和61年 (1986)	2月 ハワイ別院、北米別院にて授 戒式修行。サンフランシスコ桑港寺 にて因縁会修行。大本山永平寺賛首 丹羽廉芳禪師観修。	2月11日 小野月舟（岩手県報恩寺）、ハワ イ別院に就任。 3月7日 萩久保正潤、ハワイ別院よりモロ カイ弘誓寺に転任。 9月 倉井秀雄、モンテベロ曹洞寺にて遷 化。倉井トーマス秀一、後任となる。 11月 新宮良範南米開教総監化。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
昭和62年 (1987)	6月29日 植山大典、宗務総長に就任。  3月29日 背木俊亨、ヒロ大正寺より辞任後(以降森田宏悦、代務者として駐在)、第3代南米別院主任並びに第2代南米開教総監に就任。 10月30日 秋葉玄吾(宮城県峰仙寺)、オークランド好人庵禅堂に就任。 12月11日 酒井俊晃尼(長野県無量寺)、ハワイ別院に就任。	3月29日 背木俊亨、ヒロ大正寺より辞任後(以降森田宏悦、代務者として駐在)、第3代南米別院主任並びに第2代南米開教総監に就任。 10月30日 秋葉玄吾(宮城県峰仙寺)、オークランド好人庵禅堂に就任。 12月11日 酒井俊晃尼(長野県無量寺)、ハワイ別院に就任。	・大韓航空機爆破事件。 ・ニューヨークの株暴落(ブラックマンデー)。	・大韓航空機爆破事件。 ・ニューヨークの株暴落(ブラックマンデー)。
昭和63年 (1988)	10月7日～9日 「第1回曹洞宗北米・ハワイ檀信徒大会」を北米別院にて開催。  5月 黒柳博仁(長野県天閑院)、北米開教総監部に就任。 5月 秋山洞禪、北米別院よりミルウォーキー禅センターへ転任。 6月19日 長田敬道、コナ大福寺より辞任帰国。 6月 加藤孝正(静岡県永明寺)、ヒロ大正寺に就任。 9月14日 田宮隆児(新潟県興源寺)、コナ大福寺に就任。 ・萩久保正潤、モロカイ弘誓寺より辞任帰国。	10月7日～9日 「第1回曹洞宗北米・ハワイ檀信徒大会」を北米別院にて開催。  5月 黒柳博仁(長野県天閑院)、北米開教総監部に就任。 5月 秋山洞禪、北米別院よりミルウォーキー禅センターへ転任。 6月19日 長田敬道、コナ大福寺より辞任帰国。 6月 加藤孝正(静岡県永明寺)、ヒロ大正寺に就任。 9月14日 田宮隆児(新潟県興源寺)、コナ大福寺に就任。 ・萩久保正潤、モロカイ弘誓寺より辞任帰国。	・第16回世界仏教徒会議が米・ロサンゼルスで開催される。 ・リクルート事件発生。	10月17日 サンフランシスコ大地震(M6.9)死者63名。 ・イラン・イラク戦争停戦。
平成元年 (1989)	6月30日 嶽山光堂、宗務総長に就任。 10月7・8日 「第2回曹洞宗ハワイ・北米檀信徒大会」をハワイ別院にて開催。	11月26日 大山陽堂、ワイパフ大陽寺並びにエワ曹洞寺より辞任帰国。 ・背木俊亨、南米開教総監を辞任帰国。		・天安門事件。 ・マルタ会談。米ソ冷戦の終結。
平成2年 (1990)		1月24日 佐藤博隆(東京都慈光院)、ワイパフ大陽寺に就任。 3月1日 片桐大忍、ミネソタ禪センター主任遷化(63歳)。		・ペルーにて、日系移民初のフジモリ大統領誕生、大規模な経済改革で劇的な経済成長をとげる。

	<p>4月8日 佐藤鴻舟（宮城県明禪寺）、ローランジヤ佛心寺に就任。</p> <p>4月30日 城敬宝、辞任帰国。</p> <p>6月30日 福島伸悦、北米別院より辞任帰国。</p> <p>8月20日 工藤正典、アイエア太平寺より辞任帰国。</p> <p>8月27日 篠田一法（愛知県長松院）、アイエア太平寺に就任。</p> <p>9月2日 植岡宗孝、マイ満徳寺にて遷化（59歳）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西ドイツ統合。</li> <li>・バブル経済崩壊。</li> </ul>
平成3年 (1991)	<p>4月1日 宗務庁教化部に国際課が設置される。</p> <p>6月29日 大竹明彦、宗務総長に就任。</p> <p>10月 宗務庁主催による「伝道教師研修所」を、サンフランシスコ禅センター・タサハラに於いて開催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湾岸戦争勃発。</li> <li>・ソビエト連邦解体。</li> <li>・アバルトヘイトの撤廃。</li> </ul>
平成4年 (1992)	<p>10月10日 「北米別院禅宗寺創立70周年慶讃法要」歎修。</p> <p>11月14日・15日 「第3回曹洞宗北米・ハイ檀信徒大会」をサンフランシスコ桑港寺にて開催。</p>	<p>8月 佐藤博隆、ワイバフ大陽寺を辞任。市内に居住。</p> <p>・清広亮光、ペルー慈恩寺にて遷化。</p> <p>・森山大行、第4代南米別院並びに第3代南米開教監督に就任。</p>
平成5年 (1993)	<p>2月8日 「SOTO禅インター・ショナル」創立。松永然道（静岡県宗德院）、初代会長に就任。</p> <p>6月28日 伊東盛熙、宗務総長に就任。</p> <p>7月9日 「曹洞宗海外開教伝道史」回収通達教部国際課）。</p> <p>9月 大本山永平寺第78世に宮崎突保禪師就任。</p>	<p>2月2日 葉貴成悟（福島県石雲寺）、マウイ満徳寺に就任。</p> <p>4月1日 黒柳博仁、北米開教監部より北米別院に転任。</p> <p>6月10日 小野月舟、ハワイ別院にて遷化。</p> <p>12月14日 佐藤鴻舟、ローランジヤ佛心寺を辞任。</p>

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
平成6年 (1994)		<p>3月15日 加藤孝正、ヒロ大正寺より辞任帰国。</p> <p>4月1日 古渕理哉(群馬県雲門寺)、北米別院に就任。</p> <p>4月15日 梅沢原憲(岐阜県西光寺)、ワイバフ大陽寺に就任。</p> <p>4月17日 吉田宏得(静岡県萬松院)、ヒロ大正寺に就任。</p> <p>5月31日 飯島尚之、ハワイ別院より辞任帰国。</p> <p>6月20日 水野克彦(静岡県積雲院)、ハイ別院に就任。</p> <p>8月1日 篠田一法、アイエア太平寺より辞任帰国。</p>		
平成7年 (1995)		<p>1月 宗務庁主催による「伝道教師研修所」をサンフランシスコ禅センター・グリーンガルチにて開催。</p> <p>6月27日 大竹明彦、宗務総長に就任。</p> <p>8月25日 「北米開教・寺庭婦人会」(北米開教総監部主催)をネバダ・ラスベガスにて開催。</p> <p>10月7・8日 第4回「曹洞宗ハワイ・北米檀信徒大会」をオアフ島で開催。 ・南米別院、「開堂式並びに開教40周年記念法要」厳修。</p>	<p>1月13日 小島秀明(佐賀県本光寺)、北米別院に就任。</p> <p>5月14日 前角博雄、ロサンゼルス禪センター主任遷化(65歳)。</p> <p>6月30日 梅沢原憲、ワイバフ大陽寺より辞任帰国。</p> <p>7月20日 長谷川俊道(群馬県瑞岩寺)、ハイエア太平寺に就任。</p> <p>7月 町田勝保、ワイバフ大陽寺臨時主任に就任。</p> <p>8月1日 黒柳博仁、北米別院より辞任帰国。 ・水野克彦(静岡県積雲院)、ハイ別院よりワイバフ大陽寺の在住となる。 ・森山大行、南米開教総監を辞任帰国。</p>	<p>1月17日 版神・淡路大震災(M7.3)。</p> <p>3月20日 地下鉄サリン事件発生。</p>

平成8年 (1996)	1月24日 「開教総会議」を宗務庁にて開催。	・香港が中国に返還される。
	4月17日 大本山總持寺第22世に成田芳徳禪師就任。	
平成9年 (1997)	4月18日 「北米開教75周年・両大本山北米別院神宗寺創立75周年記念式典」を挙行。 4月20日 「曹洞宗北アメリカ開教センター」開所式を挙行。 6月28日 乙川良英、宗務総長に就任。	3月31日 細川正善、サンフランシスコ桑港寺より辞任帰国。 4月1日 南原一貴（静岡県医王寺）、オークランド好人庭禪堂よりサンフランシスコ桑港寺に転任。 4月20日 奥村正博（兵庫県安泰寺）、パイオニアバレー禪堂より、曹洞宗北アメリカ開教センターに転任。 4月 横山泰賀（広島県極昌寺）、曹洞宗北美リカ開教センター書記に就任。 5月27日 山下顕光、北米国際布教総監を辞任。 5月28日 秋葉玄吾（宮城県峰仙寺）、第9代北米国際布教総監に就任。 12月31日 松浦玉英、ハワイ国際布教総監を辞任。ハワイ市内に居住。
平成10年 (1998)	4月9日 大本山總持寺第23世に板橋興宗禪師就任。 4月30日 「海外開教関係者会議」開催。	1月1日 町田時保、第6代ハワイ別院主任並びに第5代ハワイ国際布教総監に就任。 1月1日 駒形宗彦、ワヒアワ龍仙寺とモロカイ弘誓寺の兼務となる。 2月20日 山下顕光、元北米国際布教総監遷化（世寿88歳）。 5月29日 秋葉玄吾、第10代北米別院主任に就任。 7月12日 葉賀成悟、マウイ満徳寺より辞任帰国。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
平成10年 (1998)		7月 古溪理哉、辞任帰国。 8月11日 大谷有為(東京都長泰寺)、マウイ満徳寺に就任。 11月30日 水野克彦、ワイバフ大陽寺より辞任帰国。 11月 三好見一、カウアイ禪宗寺より辞任帰国。		
平成11年 (1999)	2月17日 藤川亨胤(山形県般若寺)、第2代S Z I会長に就任。 6月18日 大竹明彦、宗務総長に就任。 7月31日 「曹洞宗北アメリカ開教センター」が北米別院よりサンフランシスコ桑港寺に移転。 10月23日・24日 スタンフォード大学にて「高祖道元禅師生誕800年記念シンポジウム」開催。	4月2日 板垣光昭(僧籍地不明)、カウアイ禪宗寺に就任。 6月15日 吉田宏得、ヒロ大正寺よりハワイ総監部に転任。 7月16日 秋田新隆(静岡県法輪寺)、再来布し、ヒロ大正寺に就任。		
平成12年 (2000)	2月20日 「ハワイ曹洞宗協会」を「ハワイ曹洞宗寺院連盟」と改称。 10月27日～29日 「第5回曹洞宗北米・ハワイ檀信徒大会」をラスベガスにて開催。	1月21日 三好見一(北海道高沢寺)、第5代南米別院主任並びに第4代南米国際布教総監に就任。 5月1日 飯藏ロイ良尚、ロングビーチ仏教会より、ワイバフ大陽寺に転任。		
平成13年 (2001)	6月9日 「エワ曹洞寺」、魔寺となり、ワイバフ大陽寺と合併。	7月 杉山宗和(秋田県龍門寺)、ロングビーチ仏教会に就任。	12月5日～11日 第21回世界仏教徒会議がタイ・バンコクで開催される。	9月11日 同時多発テロ事件発生、ニューヨーク貿易センタービル崩壊。

平成14年 (2002)	<p>7月31日 「曹洞宗北アメリカ開教センター」が、「曹洞宗国際センター」となる。</p> <p>10月17日 大本山總持寺第24世に大道晃仙禅師就任。</p> <p>10月18日 有田惠宗、宗務総長に就任。 ・「高祖道元禪師750回大遠忌」歿修。</p>	<p>4月1日 南原一貴、サンフランシスコ桑港寺より、曹洞宗北アメリカ開教センターに転任。</p> <p>4月1日 館寺規弘(宮城県津龍院)、オーランド好人庵禪堂よりサンフランシスコ桑港寺に転任。</p> <p>7月 長谷川俊道、アイエア太平寺より辞任帰国。</p>	<p>12月10日～13日 第22回世界仏教徒会議がマレーシア・クアラルンペールで開催される。</p>
平成15年 (2003)	<p>2月 SZI創立10周年記念シンポジウム「ハワイ開教 現代と未来」開催。</p> <p>10月25日・26日 「ハワイ開教100年記念式典」挙行。</p>	<p>3月12日 大山健治(秋田県補陀寺)、マウイ満徳寺に就任。</p> <p>3月27日 大谷有為、マウイ満徳寺より辞任帰国。</p>	<p>・イラク戦争勃発。</p>
平成16年 (2004)	<p>8月 「南米開教100周年行事」がペルー慈恩寺にて開催される。</p>	<p>4月1日 黒澤慈典(静岡県増善寺)、ローランジャ佛心寺に就任。</p> <p>4月30日 田宮隆児、コナ大福寺より辞任帰国。</p> <p>5月1日 中出慈光(新潟県興源寺)、コナ大福寺法務担当に就任。</p> <p>7月1日 佐藤鶴舟、南米禪源寺に就任。</p>	
平成17年 (2005)	<p>2月10日 福島伸悦(埼玉県長光寺)、第3代SZI会長に就任。</p>	<p>4月30日 三好見一、南米国際布教監を辞任帰国。</p> <p>5月1日 采川道昭(山形県宝泉寺)、第6代南米別院主任並びに第5代国際布教監に就任。</p> <p>10月27日 柄川直道(大阪府妙喜寺)、ロングビーチ仏教会を辞任。</p> <p>・杉山宗和、ロングビーチ仏教会を辞任。</p> <p>・勝形宗二(新潟県大久寺)、アイエア太平寺法務担当に就任。</p>	

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動態	仏教界一般	社会一般
平成18年 (2006)	10月17日 潮英徳、宗務総長に就任。 6月 「ヨーロッパ国際布教40周年記念行事」開催。	9月20日 板垣光略、カウアイ禪宗寺を辞任。以降、ハワイ総監部書記吉田宏得、法務を担当。 3月2日 ラング明心（宮城県峰仙寺）、北米別院に就任。	4月19日～23日 第23回世界仏教徒会議が台湾・高雄で開催される。	
平成19年 (2007)	8月19日 「北米別院禪宗寺創立85周年慶讃法要」を般修。 10月20日 「第7回曹洞宗北米・ハワイ檀信徒大会」をラスベガスにて開催。			
平成20年 (2008)	1月 大本山永平寺第79世に福山謙法禅師、就任。 2月20日 SZ1創立15周年記念シンポジュームを開催。記念誌として「海外寺院ガイドブック」発刊。	7月31日 吉田宏得、ハワイ総監部より辞任帰国。以降、カウアイ禪宗寺は駒形宗二が法務を担当。 8月30日 町田時保、ハワイ国際布教総監を辞任。 9月1日 駒形宗彦、第7代ハワイ別院主任並びに第6代ハワイ国際布教総監に就任。 11月1日 酒井俊見尼、ハワイ別院より辞任帰国。 12月20日 石井愷慧、（埼玉県正覚寺）、ハワイ別院に就任。 ・大城慈山（山口県弥勒寺）、ペルー慈恩寺に就任。	11月14日～17日 第24回世界仏教徒会議が日本・東京で開催される。	
平成21年 (2009)	3月2日 細川正善（福島県天徳寺）、SZ1第4代会長に就任。 5月1日 「北米日系寺院連絡協議会」をサンフランシスコ桑港寺に於いて	2月28日 秋田新隆、ヒロ大正寺より辞任帰国。 11月19日 直一泰徹、南米禪源寺にて遷化。 12月1日 ラング明心、北米別院よりヒロ		

	開催。 10月 「桑港寺開創75周年記念慶讌法要」を斎修。 11月 「南北米国際布教監督部・両大本山南北別院創立50周年記念慶讌法要」斎修。	大正寺に転任。
平成22年 (2010)	1月24日 加藤和光、南カリファオルニア商工会議所より、日系スピリット賞を受賞。 10月18日 佐々木孝一、宗務総長に就任。	3月31日 秋葉玄吾、北米国際布教總監を辞任。 4月20日 棚川直道、ロングビーチ仏教会より辞任帰国。 4月 ルメー大岳(福井県発心寺)、第11代北米別院主任並びに第10代國際布教總監に就任。
平成23年 (2011)	9月6日 「北アメリカ国際布教師会議」開催。 4月17日 大本山總持寺第25世に江川辰三禪師就任。 10月4日 「国際シンポジウム」開催。	9月4日 東方大樹(愛知県開眼寺)、北米別院に就任。 12月14日 駒形宗彥、ワヒアワ龍仙寺を辞任。 10月4日 「国際シンポジウム」開催。
平成24年 (2012)	3月10・11日 「第8回曹洞宗ハワイ・北米檀信徒大会」をオアフ島にて開催。 9月8日 「北米別院禅宗寺創立90周年記念行事」開催。	1月20日 駒形宗二、国際布教師に就任。 4月10日 築寺規弘、サンフランシスコ桑港寺より辞任帰国。
平成25年 (2013)	6月18日 「SZI創立20周年記念オープントーク」開催。 8月24・25日 ベルーニにて「南アメリカ国際布教110周年記念行事」開催。 11月9・10日 「ハワイ国際布教110周年・両大本山ハワイ別院正法寺	6月11日～16日 第26回世界仏教徒会議が韓国で開催される。 9月 大山健治、マイ満徳寺より辞任帰国。 9月21日 稲村秀樹(宮城県活牛寺)、マイ満徳寺に就任。

年月日 (西暦)	布教展開及び宗門一般	国際布教師(開教師)動静	仏教界一般	社会一般
平成25年 (2013)	100周年記念行事」開催。 ・天平山禪堂起工式挙行。			
平成26年 (2014)	2月 SZI 創立20周年記念事業と して、「曹洞宗海外日系寺院史」を発 刊。			

### 【伝道史年表 参考文献】

- 「曹洞宗ハイクワイ教七十五年史」1978年 曹洞宗ハイクワイ協会  
「HISTORY OF THE SOTO SECT IN HAWAII」2002年 Hawaii Soto Mission Bishop's Office  
「佛教海外傳道史」1933年 北米山極宗寺編  
「Zenshūji Soto Mission 70th Anniversary」1992年 両大本山北米別院禪宗寺  
「Zenshūji Soto Mission 75th Anniversary」1997年 両大本山北米別院禪宗寺  
「佛心」両大本山北米別院禪宗寺会報  
「Soto Mission of San Francisco 日米山桑港寺60周年記念」日米山桑港寺編  
「Soto Mission of San Francisco 日米山桑港寺70周年記念」日米山桑港寺編  
「日米時事」「北米毎日」(サンフランシスコ日本人新聞)  
「Zen Center of Los Angeles 15th Anniversary」  
「Soto Zen Buddhism International Symposium」2012年 Soto Zen Buddhism International Center  
「南アメリカ国際布教総監部両大本山南米別院佛心寺創立50周年慶讃法会」2009年 曹洞宗南アメリカ国際布教總監部  
「足立小平治叙伝」  
「寂藏禪戒老師略年譜」  
「オブリガード佛心」2000年 錦柳山洞林寺編  
「宗報」明治35年第142号 論説「海外布教」  
「宗報」平成15年8~10月号 国際インフォメーション太田宏人  
「宗報」平成21年9月号 国際インフォメーション 大城慈仙  
「110年のアルバム」日本人ペルー移住110周年記念誌 現代史料出版・2009年・太田宏人  
「SOTO禪インターナショナル会報」26号(SZI・2004)ペルーにおける曹洞禪開教100年の軌跡・太田宏人  
「慈恩寺考」曹洞宗総合研究センター学術大会紀要・2011年・太田宏人  
日本人墓地公園掲示「日本人墓地公園の沿革」  
西海裕貴・2009、「シンガポール日本寺 開山忌法要に隨喜して」『会報』第41号, SOTO ZEN INTERNATIONAL.  
「宗報」630号、660号、681号、703号

**【編纂委員】(敬称略)**

監修／小笠原隆元

編纂委員長／細川正善

編纂委員／福島伸悦、龟野哲也、菅原研州、佐藤慧真、内山温子

**【協力者】(敬称略)**

淺井宣亮、太田賢孝、太田宏人、大山健治、加藤孝正、黒澤慈典、小島秀明、佐藤鴻舟、館寺規弘、田宮隆児、古溪理哉、吉田宏得、吉田俊英

曹洞宗宗務局、曹洞宗国際センター、ハワイ国際布教総監部、北アメリカ国際布教総監部、南アメリカ国際布教総監部

# 曹洞宗海外日系寺院史

2014年(平成26年)2月13日 発行

発行者 細川 正善

発 行 SOTO禪インターナショナル事務局

〒233-0012 神奈川県横浜市港南区上永谷5-1-3 貞昌院内

Tel. 045-843-8852 Fax. 045-843-8864

URL. <http://www.soto-zen.net/>

© 2014 SOTO禪インターナショナル

SOTO ZEN INTERNATIONAL 2014

